# 建築と社会

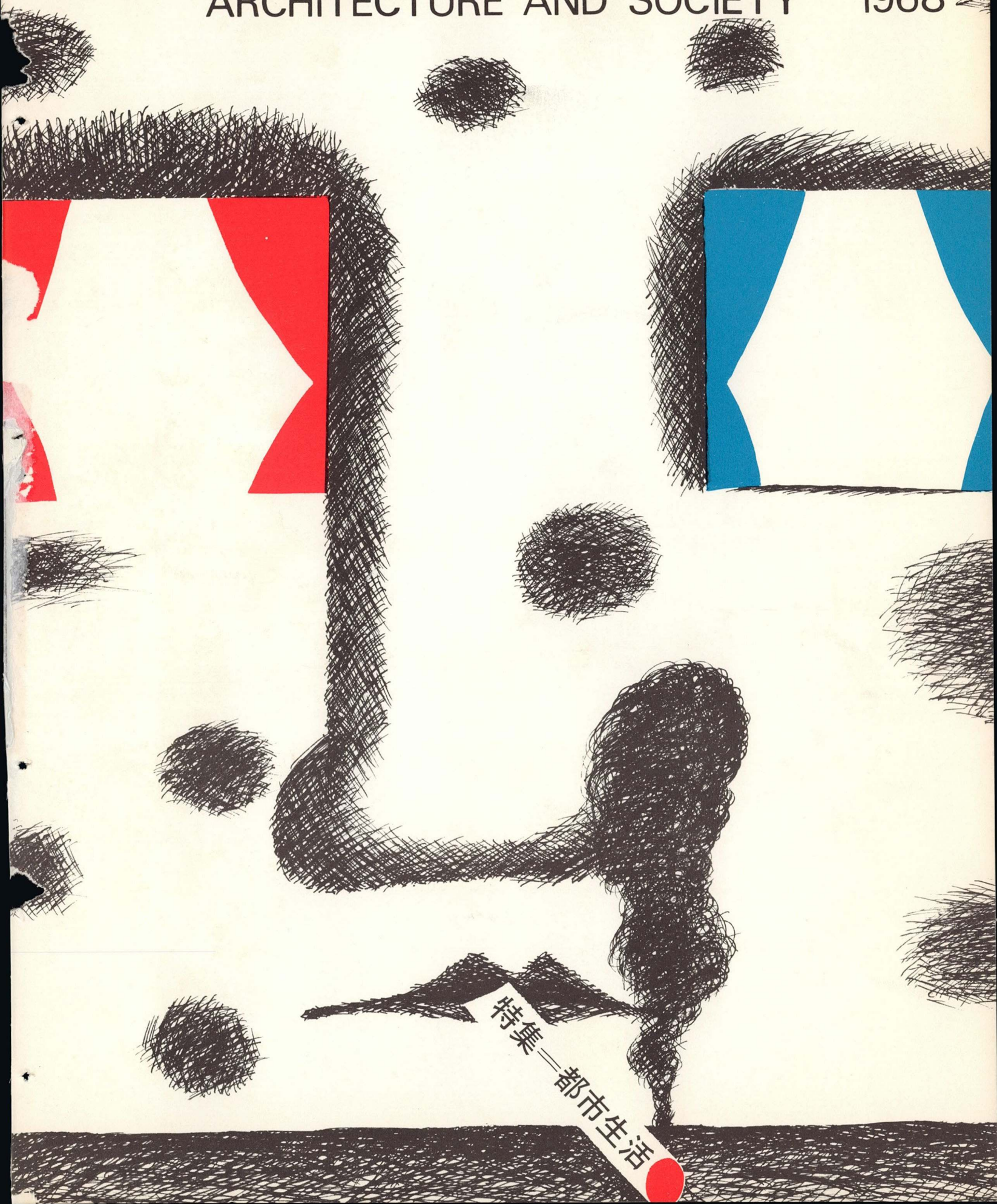
社団法人 日本建築協会
昭和43年1月25日発行第49輯第1号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

1

VOL. 49

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1968



"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



# 同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

住友のプレハブ骨組

# スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ── 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ── 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ── 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌

# 謹賀新年
# 1968

## 新しい年を迎えて

日本建築協会会長 東畑謙三

新しい年を迎え気持ちを新たにするのは毎年頭のこととはいえ、業界進展の一つの節ができると思えば、また一入と気持が引きしまる思いである。万博もいよいよ近づき、旧年は何だか追込まれるような気持ちであったが、実は建築界も声のみ盛んで量はそれほどでもなく、一方仕事は、片より勝ちで人手は不足という状態で一年を送ったのであった。

建築界の発展は一つに経済力の発展に左右されるものだが、最近わが国経済力も世界の大国の一つとしての様相をそなえて来たのであるが、わが国の建築の量ならびに質においても、また世界の先進国としての地歩を占めてきたことは慶びにたえない。これに対し、鉄鋼、セメント等の主要建築材料の生産も目ざましく、ややもすれば生産過剰となっているのに反し、建築労働力が不足勝ちになっているのが現状である。

この事実が建築費の高騰、建設期間の遅延となって表われ始めたと言えよう。これを裏返して考えるならば、他産業は近代化が進んでいるのに比して、わが建築界には今なお一部に近代化のおくれている場合があるのではなかろうか。

本年度は業界はひとしくこの方面の研究をしなければならぬ。近代化は建築界に関する限り、労務関係が新年度の最大の課題であろう。

日本建築協会は建築と社会とのつながりの上に既に50年を経過した。古きものにありがちな硬直化をつつしまなければならぬ。下半世紀の第一年を迎えたという新鮮な気持ちで会を通じて業界の発展のため努力をしたいものである。



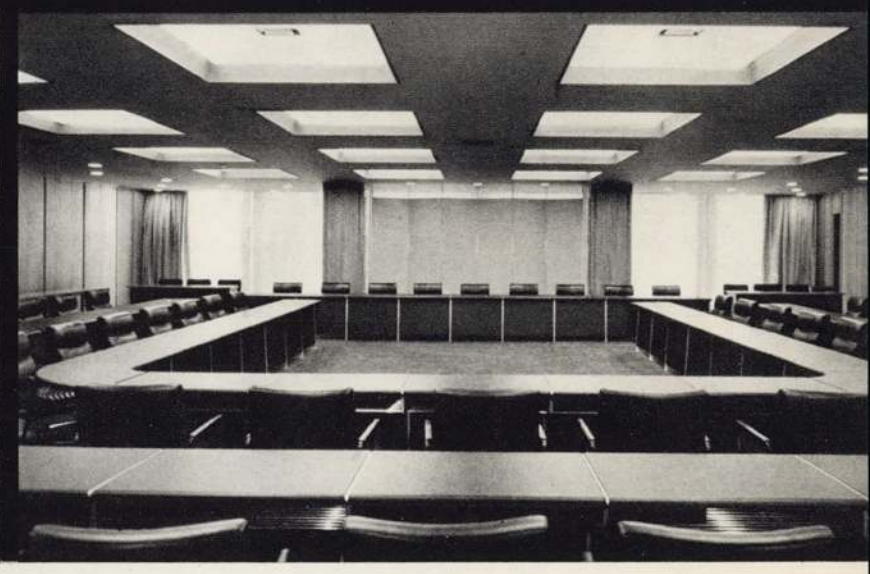
# 名古屋商工会議所ビル

| | |
|---|---|
| 設　計 | 日建設計工務株式会社 |
| 所在地 | 名古屋市中区栄町2丁目10 |
| 延面積 | 26,906m² |
| 構造規模 | SRC、B2、11F、P3 |
| 工　期 | 昭和41年2月～昭和42年10月 |

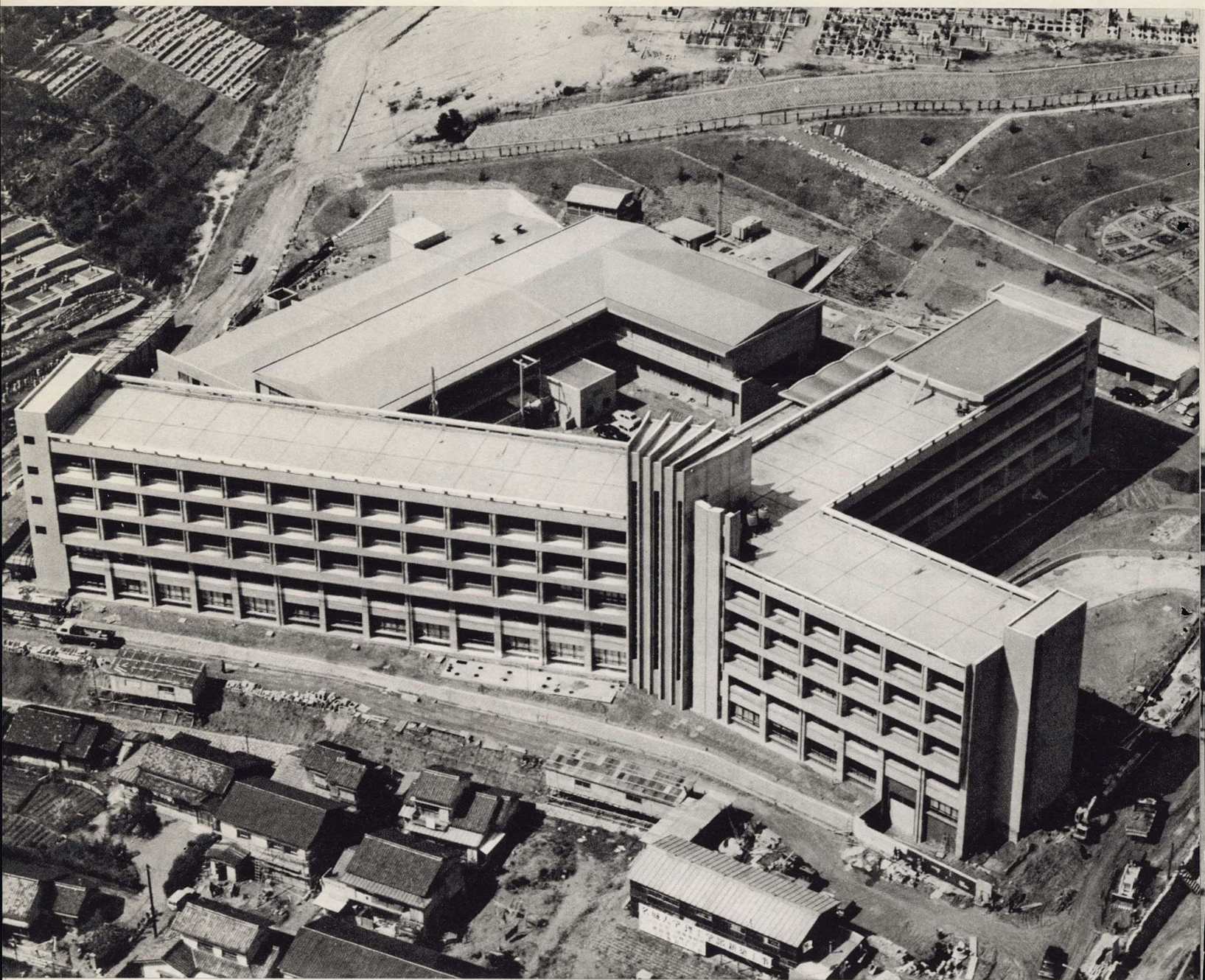


右　：2階ホール
左下：4階議員室
右下：4階特別会議室





施　工　株式会社　竹中工務店名古屋支店　株式会社　大林組名古屋支店　共同企業体



# 名城大学理工学部

**施 工　鹿島建設株式会社名古屋支店**

| | |
|---|---|
| 設　計 | 丹羽英二建築設計事務所 |
| 所在地 | 名古屋市昭和区天白町八事裏山69 |
| 建築面積 | 3,100.231m² |
| 延面積 | 12,546.823m² |
| 構造規模 | RC、一部SRC、B1、4F、P1 |
| 工　期 | 昭和41年3月～昭和42年3月 |




# 第三相互銀行本店

| | |
|---|---|
| 所在地 | 三重県松阪市京町５１０番地 |
| 建築面積 | 1,053.03m² |
| 延面積 | 6,615.90m² |
| 構造規模 | ＲＣ、Ｂ１、５Ｆ、Ｐ１ |
| 工期 | 昭和41年７月～昭和42年９月 |

設計施工　清水建設株式会社名古屋支店





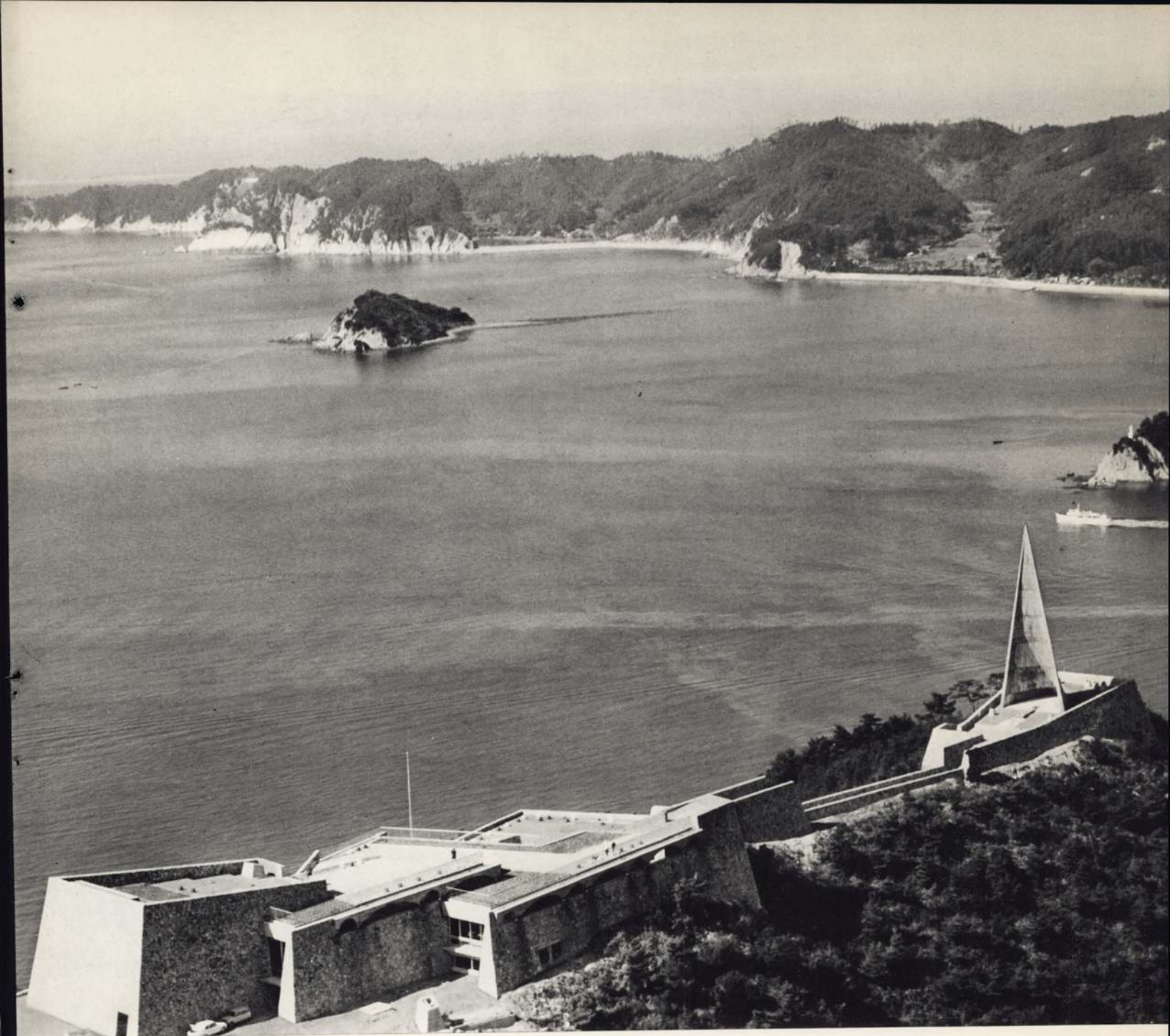




# 桜井寺本堂

**施　工　株式会社 淺沼組**

| | |
|---|---|
| 設　計 | 村野森建築事務所 |
| 所在地 | 奈良県五条市 |
| 本　堂 | RC、1F、308m² |
| 会　館 | SRC1F、216.9m² |
| 庫　裏 | 木造、221.9m² |
| その他 | 鐘楼・経蔵・山門 |
| 工　期 | 昭和41年2月～昭和42年10月 |



# 戦没学徒記念若人之広場

| | |
|---|---|
| 設　計 | 丹下健三十都市・建築設計研究所 |
| 所在地 | 兵庫県三原郡南淡町阿万大見山山上 |
| 記念塔 | RC、高さ25m |
| 付属建物 | RC、B1、1F、一部中2階、延 1,274m² |
| 工　期 | 昭和40年12月～昭和42年9月 |

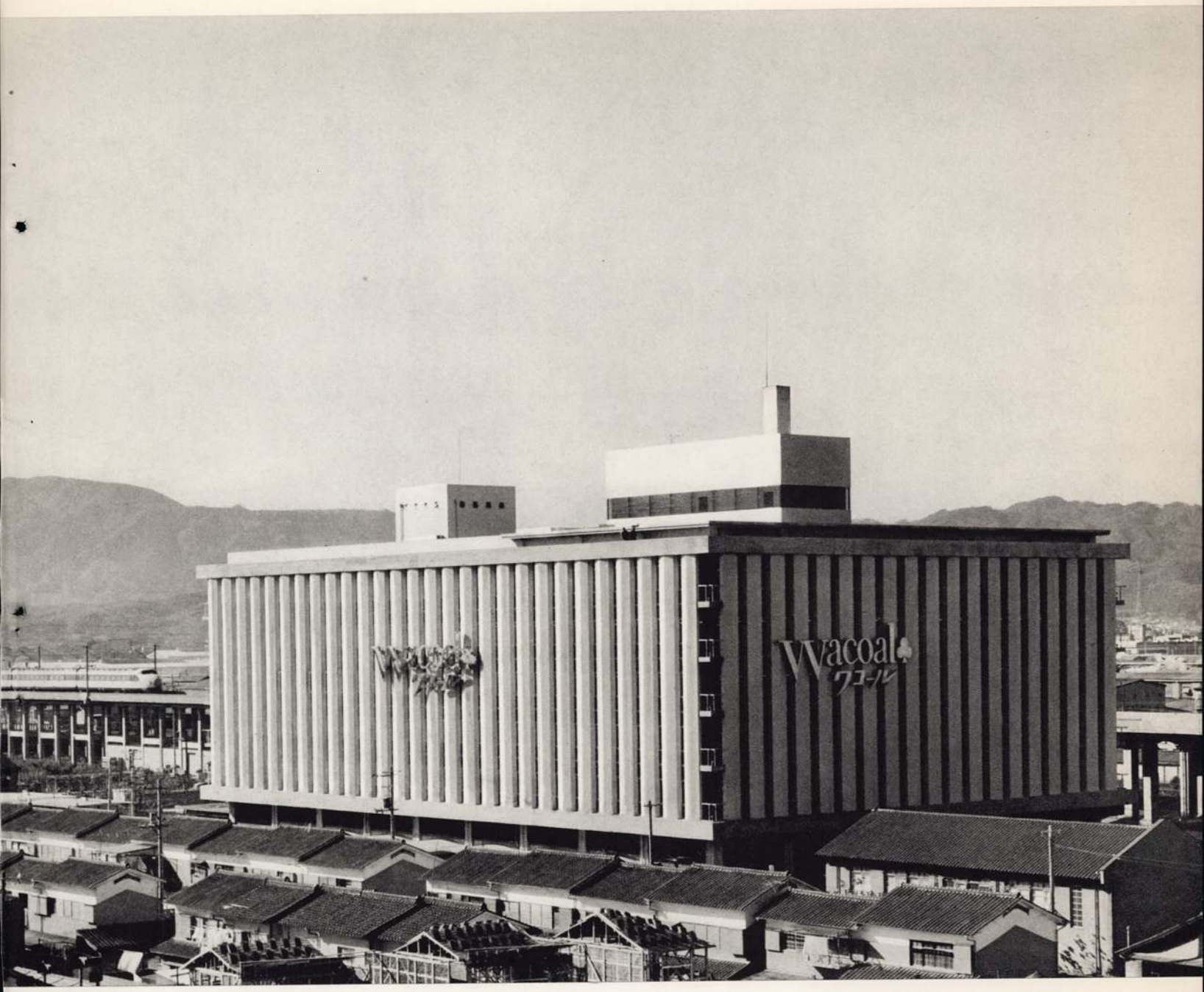
施　工　株式会社 **大林組**



# 大津市庁舎

**施　工　清水建設株式会社大阪支店**

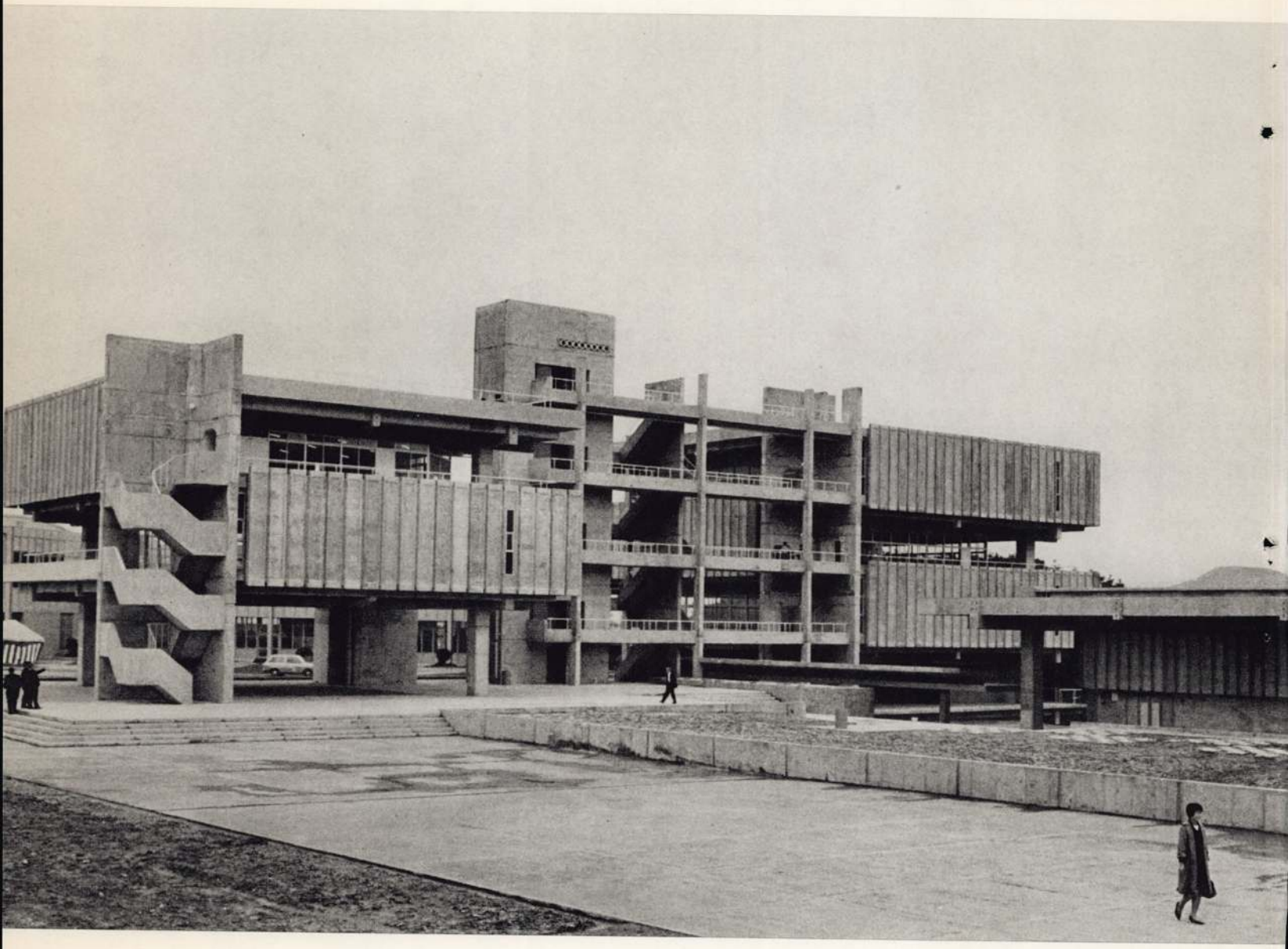
| | |
|---|---|
| 設　　計 | 佐藤武夫設計事務所 |
| 所 在 地 | 滋賀県大津市御陵町3番1号 |
| 建築面積 | 3,836m² |
| 延 面 積 | 14,345m² |
| 構造規模 | SRC、B1、5F、P2 |
| 工　　期 | 昭和40年12月～昭和42年3月 |




# ワコール本社ビル

| | |
|---|---|
| 設　計 | 富家建築事務所 |
| 所在地 | 京都市南区吉祥院中島町29 |
| 建築面積 | 2,290.66m² |
| 延面積 | 20,499.43m² |
| 構造規模 | SRC、B1、7F、P2 |
| 工　期 | 昭和41年11月～昭和42年11月 |

施　工　戸田建設株式会社大阪支店



# 大阪芸術大学(二期)

**施　工　大成建設株式会社大阪支店**

| | |
|---|---|
| 設　　計 | 第一工房構造計画研究所 |
| 所 在 地 | 大阪府南河内郡河南町金剛台 |
| 建築面積 | 2,245.94m² |
| 延 面 積 | 4,200.00m² |
| 構造規模 | RC,PS構造、梁P.C.L24m |
| 工　　期 | 昭和41年9月～昭和42年3月 |




# 中川電機門真工場

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪府門真市大字門真８３８ |
| 建築面積 | 11,421.53m² |
| 延面積 | 13,901.86m² |
| 構造規模 | 事務所棟 RC、２Ｆ、<br>工場棟 SRC、1F(外壁RC、屋根Ｓ) |
| 工期 | 昭和41年11月～昭和42年５月 |

設計施工　株式会社 **竹中工務店**



# 兵庫農科大学専門教育校舎

**施　工　株式会社 銭高組**

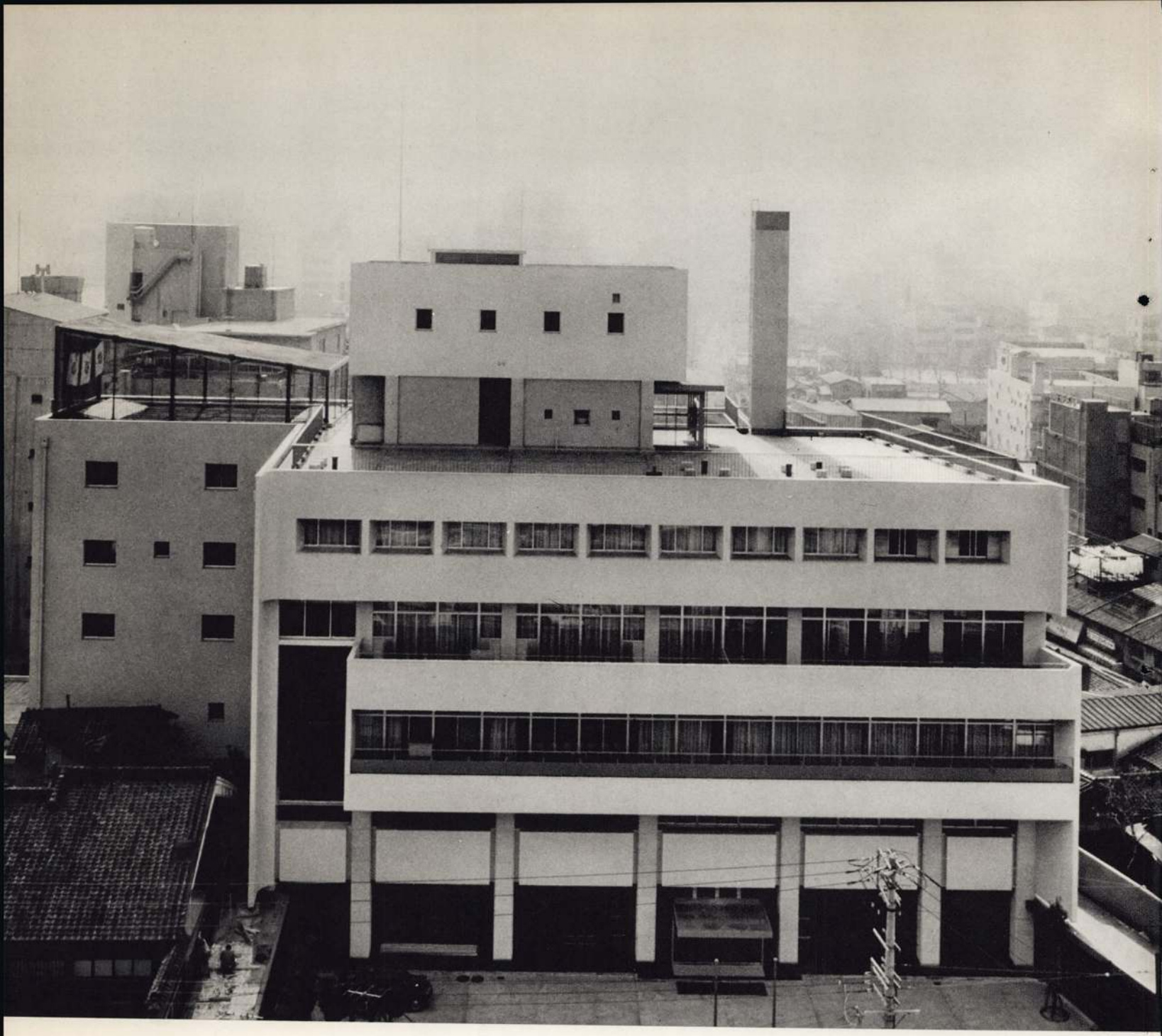
設　　計　㈱教育施設研究所、
　　兵庫県建築部営繕課
所 在 地　神戸市灘区六甲台町２
延 面 積　13,236.31m²
構造規模　RC、1F～6F、5棟
工　　期　昭和41年９月～昭和42年10月



# 神戸中央郵便局

| | |
|---|---|
| 設　計 | 郵政大臣官房建築部 |
| 所在地 | 神戸市生田区栄町6丁目19 |
| 建築面積 | 2,622.55m² |
| 延面積 | 16,238.47m² |
| 構造規模 | SRC，B1，5F，P1 |
| 工　期 | 昭和41年3月～昭和42年10月 |

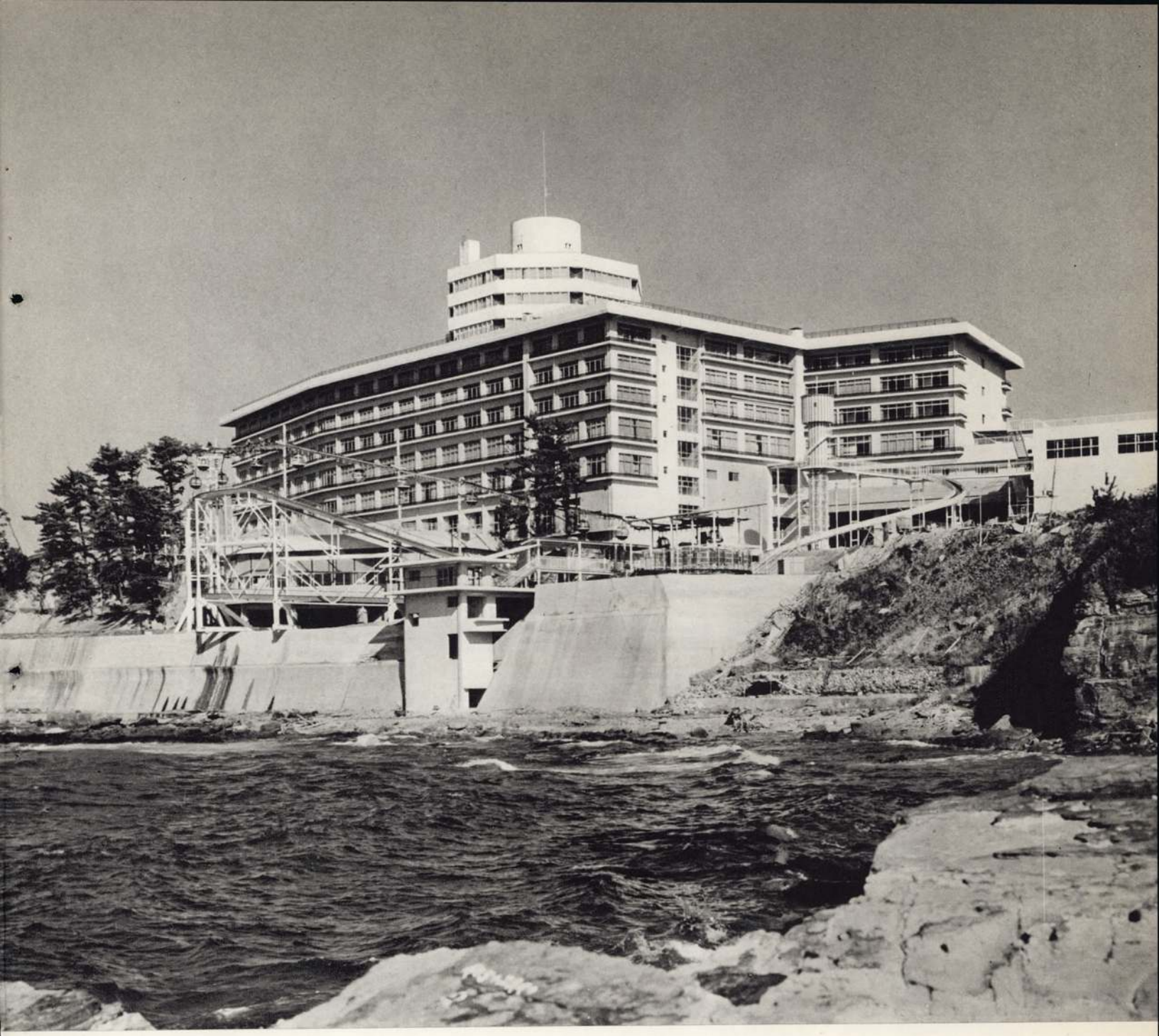
施　工　**鹿島建設株式会社大阪支店**



# 住友銀行大阪厚生会館

施　工　株式会社 **鴻池組**

| | |
|---|---|
| 設　計 | 日建設計工務株式会社 |
| 所在地 | 大阪市西区江戸堀上通2－47 |
| 建築面積 | 988.435m² |
| 延面積 | 4,685.048m² |
| 構造規模 | RC，B1，5F，P2 |
| 工　期 | 昭和41年8月～昭和42年11月 |



# ハイプレイランド「天山閣」

| | |
|---|---|
| 設　計 | 富家建築事務所 |
| 所在地 | 和歌山県西牟婁郡白浜町1821 |
| 延面積 | 30,098.10m² |
| 構造規模 | SRC，B1，10F，P3 |
| 工　期 | 昭和41年5月～昭和42年8月 |

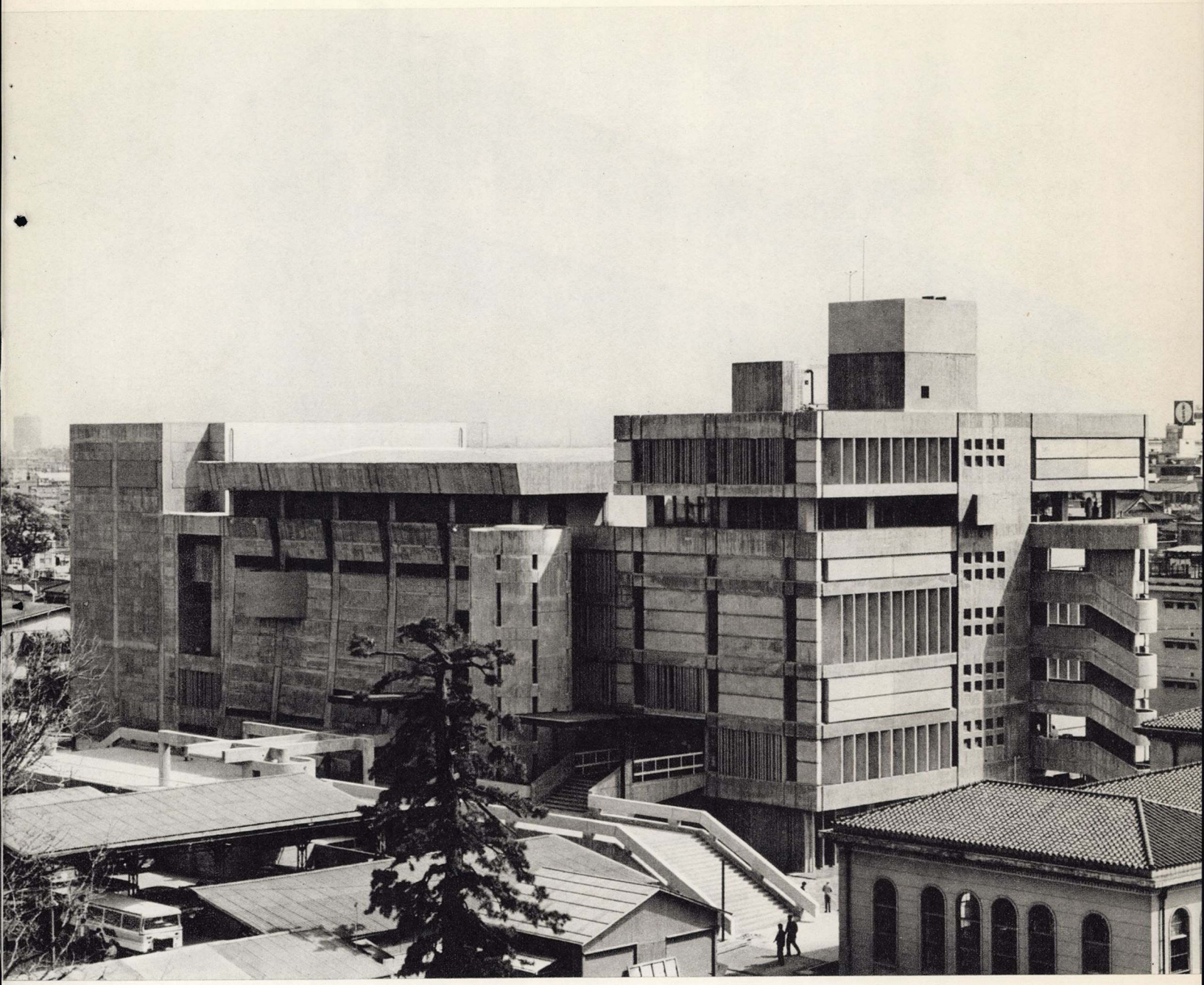
施　工　株式会社 **藤田組大阪支店**



# 近畿大学商経学部学舎

施　工　株式会社 **松村組**

| | |
|---|---|
| 設　計 | 富家建築事務所 |
| 所在地 | 大阪府東大阪市小若江３２１ |
| 延面積 | 19,724.5m² |
| 構造規模 | ＳＲＣ，８Ｆ，Ｐ２ |
| 工　期 | 昭和40年12月～昭和42年４月 |



# 西宮市民会館

| | |
|---|---|
| 設　計 | 財団法人建築研究協会一級建築士事務所<br>（京都大学工学部建築学教室内） |
| 所在地 | 西宮市六湛寺町10番11号 |
| 建築面積 | 2,062.29m² |
| 延面積 | 7,187.55m² |
| 構造規模 | RC，一部S，B1，6F，<br>中6階、P付 |
| 工　期 | 昭和40年12月～昭和42年3月 |

施　工　株式会社 **新井組**




# 大阪日産自動車㈱本社社屋

**設計施工　不二建設株式会社**

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市福島区下福島１の４ |
| 建築面積 | 1,204.158m² |
| 延面積 | 6,077.573m² |
| 構造規模 | ＲＣ、５Ｆ、Ｐ２ |
| 高さ | 地上28.000m |
| 工期 | 昭和42年３月～昭和42年10月 |



# 西阪神ビル

| | |
|---|---|
| 監　理 | 阪神電気鉄道株式会社 |
| 施　工 | 阪神土木工業株式会社 |
| 所在地 | 大阪市北区梅田町8番地の1 |
| 建築面積 | 3,503m² |
| 延面積 | 42,064m² |
| 構造規模 | SRC，B4，15F，P3 |
| 竣　工 | 昭和42年4月 |

**設　計　日建設計工務株式会社**



# 大阪商業大学図書館

**設計監理　株式会社 竹内建築事務所**

| | |
|---|---|
| 施　工 | 村本建設株式会社大阪支店 |
| 建築面積 | 967.00m² |
| 延面積 | 2,703.00m² |
| 構造規模 | RC，B1，3F |
| 工　期 | 昭和41年11月～昭和42年7月 |



# 又穂公団アパート

設　計　株式会社 **大阪建築事務所**

| | |
|---|---|
| 監　　理 | 日本住宅公団名古屋支所 |
| | 名鉄不動産株式会社 |
| 施　　工 | 戸田建設株式会社 |
| 所在地 | 名古屋市西区又穂町２－１ |
| 敷地面積 | 33,140.982m² |
| 床延面積 | 住宅面積　51,258.94m² |
| | 施設面積　3,891.29m² |
| 工　　期 | 昭和40年５月～昭和42年５月 |



# 社団法人 京都府農協会館

**設　計　株式会社 東畑建築事務所**

| | |
|---|---|
| 構造設計 | 翼建築設計事務所 |
| 施　工 | 西松建設株式会社 |
| 所在地 | 京都市南区東九条西山王町2 |
| 建築面積 | 1,170m² |
| 延面積 | 7,070m² |
| 構造規模 | RC，B1，5F，P3 |
| 工　期 | 昭和41年9月～昭和42年8月 |



# 大阪市水道局豊野浄水場本館

設　計　株式会社 **昭和設計事務所**

| | |
|---|---|
| 施　工 | 株式会社　鴻　池　組 |
| 所在地 | 大阪府寝屋川市大字太秦 |
| 建築面積 | 2,975m² |
| 延面積 | 13,537m² |
| 構造規模 | SRC，B2，4F，P3 |
| | 軒高　21.76m |
| 工　期 | 昭和40年9月～昭和42年6月 |




# 神戸楠公前ビル

設　計　株式会社 **安井建築設計事務所**

| | |
|---|---|
| 施　工 | 鹿島建設株式会社 |
| 所在地 | 神戸市生田区多聞通３丁目 |
| 建築面積 | 646.92m² |
| 延面積 | 4,751.78m² |
| 構造規模 | RC，B１，６F，P２ |
| 工　期 | 昭和41年12月～昭和42年12月 |

床材の総合メーカー

TOYO LINOLEUM

**洗練された美しさがマチコタイルの生命**　スキッとした美しさ…マチコタイルだけが表現できるフロアカラー。独特のカラーが、インテリアデザインを、みごとに、新鮮に演出します。

**品質の良さは、すでに、欧米でも実証ずみ**　マチコタイルは美しいだけでなく、耐摩耗性、耐薬品性歩行感などにすぐれ、品質の面でも、折り紙つき。インテリアデザイン時代をリードするドイツやイタリアなどでもドシドシ使われています。

■床材のハイ ファッション

# マチコV

ビニールアスベストタイル®

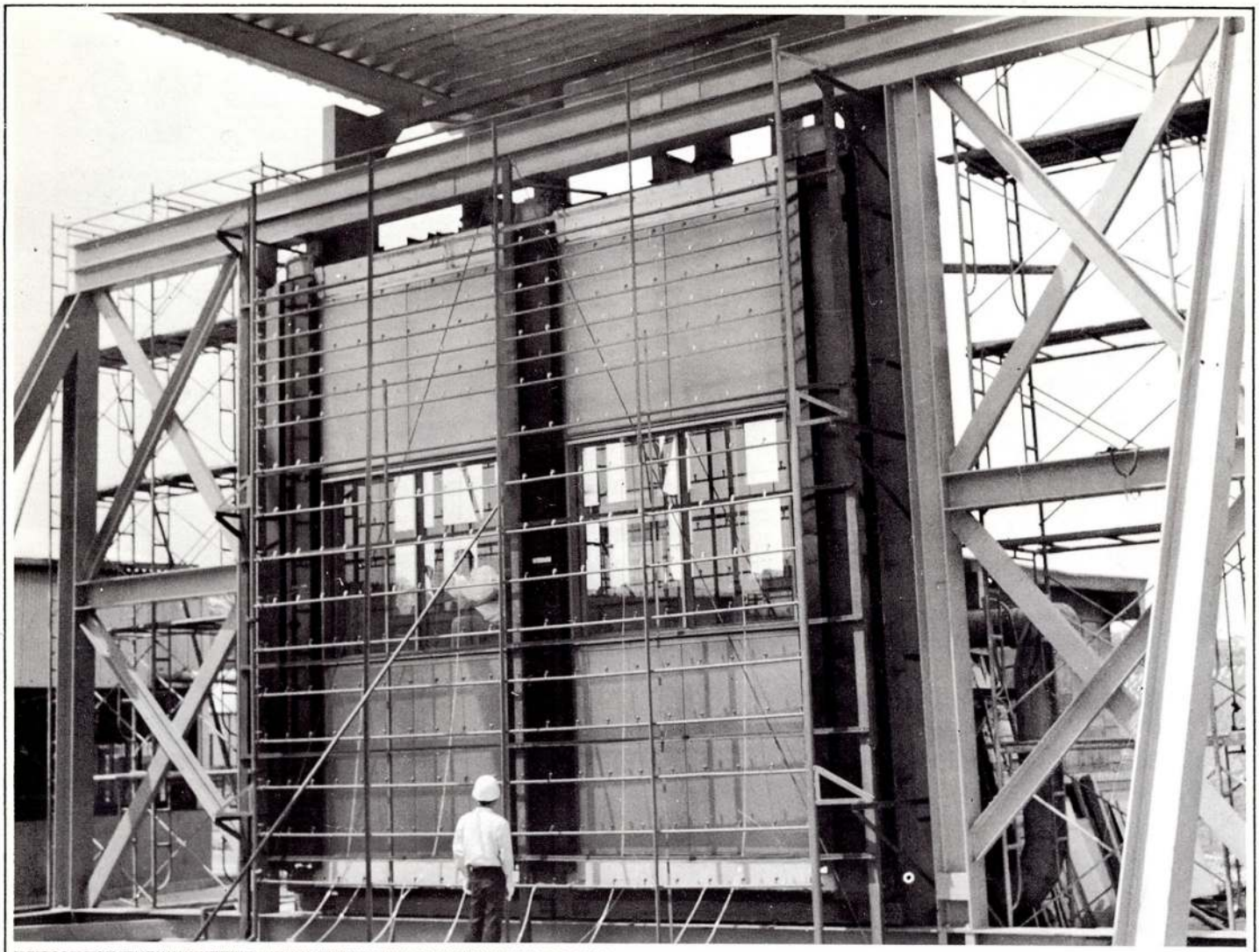
リノリューム・リノタイル・マチコタイル・ナイアンタイル総発売元

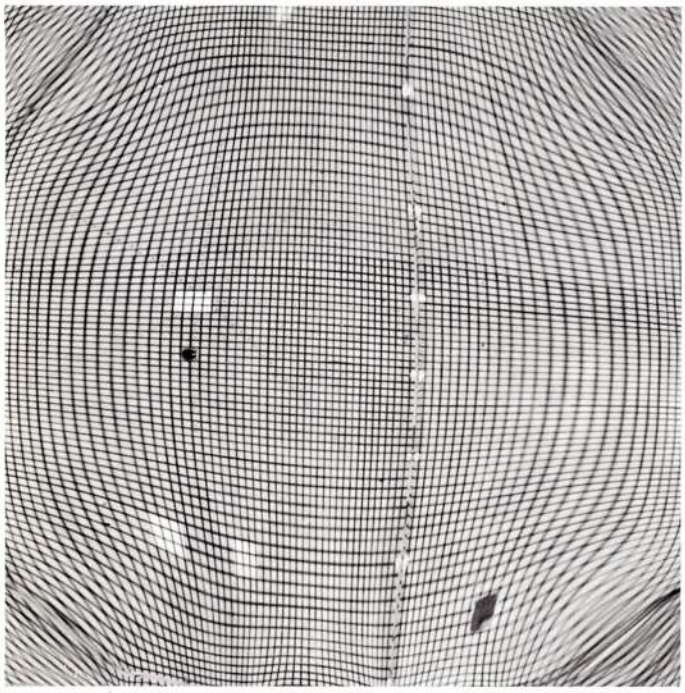
## 東洋リノリユーム株式会社

本　社　大阪市南区順慶町通り4の25　三和ビル

札幌 / 仙台 / 東京 / 長野 / 名古屋 / 広島 / 高松 / 福岡







# 風にいどむガラス

旭硝子は，建築におけるガラスの性能と構法の研究開発をつづけています．高所におけるガラスの耐風圧性能に関する独自の研究もそのひとつで，超高層建築の設計に不可欠のデーターを集積することができました．

旭硝子研究所の世界最大の耐風圧試験機(高さ6.3m，幅6.5m)も，この研究に大きく貢献しました．実物のカーテンウォールを取付けてテストできるこの大型試験機は旭硝子の開発した脈動方式を採用，息のある本物の風と同様の脈動する風圧を再現でき，また水密テストも同時に行なえる画期的なものです．

旭硝子では，この風圧に関する諸研究のほかにも，建築の設計にフィードバックする基礎研究，そして新構法の開発に努力しています．

◀ 耐風圧実験で，縞模様の歪曲で風圧による
ガラスの歪をとらえた写真


旭 硝 子

本　　社　東京都千代田区丸の内2-14　ＴＥＬ(211)0411大代表
大阪支店　大阪市北区堂島船大工町53　ＴＥＬ(363)1121大代表
（毎日大阪会館）

# 常温で使えるアスファルト

# フリントコート




屋根防水工事に
世界各地で40年間の実績があり、その安全性には定評があります。

床工事に
セメント、砂、砕石と混合した独得の床で、一例をあげると各地日本専売公社の倉庫の床に採用されております。

(株)シエル石油大阪発売所
大阪 (302)5937
東京 (535)5616
福岡 (29)8631

SHELL
シエル石油

シエル石油アスファルト部　東京都千代田区丸の内2～3　TEL(212)4371大代表

着色耐摩耗性床材
**カラ・クリート**
**フェロ・コン**

美装塗床仕上材
**チッピー**

照明器具各種

機械台座用材
**ノンシュリンク**

不燃性吸音材
**ミクライト**

コンクリート用接着補修材
**クリートボンド**

大阪支社
大阪市西区京町堀１—126
ＴＥＬ 443—０７３１(代)

水島営業所
ＴＥＬ倉敷44—８９１２

四国営業所
ＴＥＬ高松31—３５３９

姫路ＡＢＣ商会
ＴＥＬ姫路25—１５０５

中国ＡＢＣ商会

九州ＡＢＣ商会




本社
東京都千代田区永田町2-12-14
ＴＥＬ 580—1411(大代)

# 月星印 ペンタイト

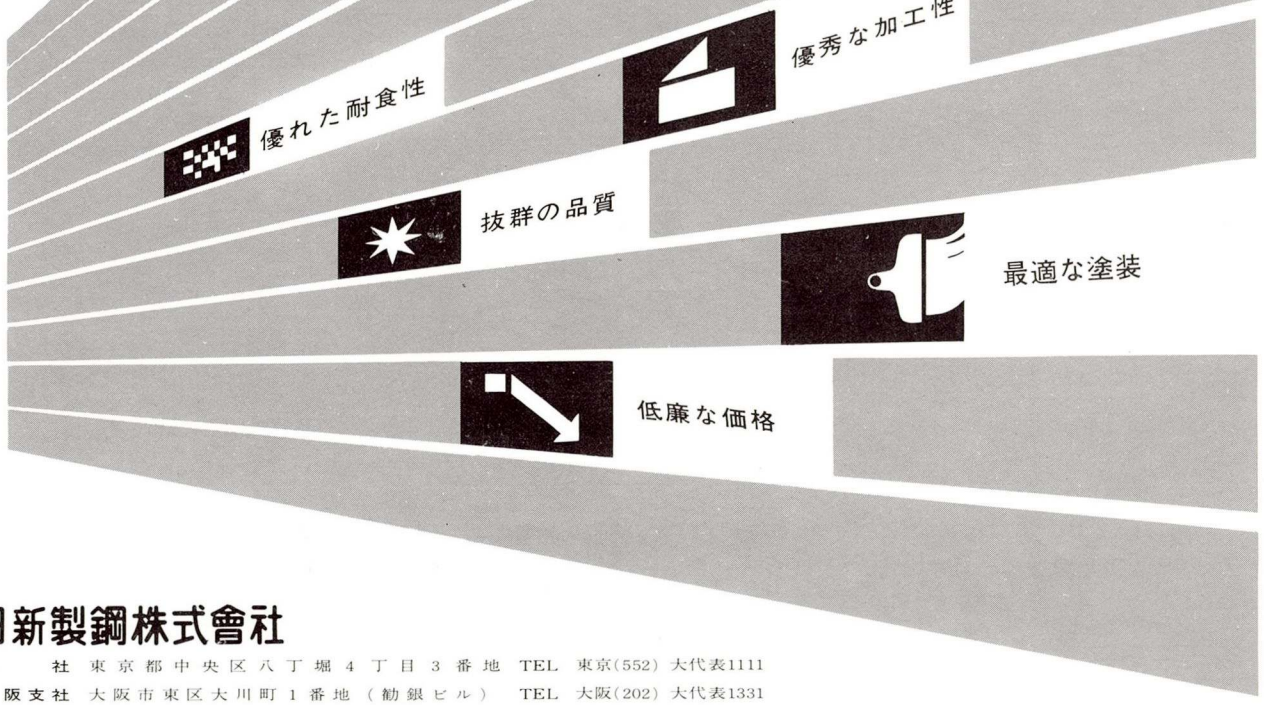
NISSHIN STEEL

## 現代建築が〝選ぶ〟日新の新製品
## 〈ペンタイト〉

ペンタイトは、当社独自の技術で開発した
特殊亜鉛メッキ処理鋼板です。特に湿気
の多い我が国では、常に、鉄の錆に
なやまされていますが、これを
一気に解決したのが、月星印
ペンタイトです……

1．腐食の心配がいりません……
2．加工性に富んでいます……
3．品質がすぐれています……
4．塗装に最適です……
5．コストダウンを
もたらします……

PAINTITE




**日新製鋼株式會社**

本　　社　東京都中央区八丁堀4丁目3番地　TEL　東京(552)大代表1111
大阪支社　大阪市東区大川町1番地（勧銀ビル）　TEL　大阪(202)大代表1331
名古屋支店　名古屋市中村区笹島町1丁目221番地2（豊田ビル）　TEL　名古屋(582)代表6061
営業所　札幌（24）7524　・　広島（47）9456　・　八幡（67）4235　・　福岡（28）5304

# 〈新発売〉三星プラスタイル"M"

## 日本の感覚"M"タイル——気品と風格のあふれる床



風格あるビルづくりに——いままで、これほど気品のある床材があったでしょうか。みなさまには初お目見えの色と模様。いつまでもアキのこないのが特長です。風格あるビルづくりにぜひ欠かせません。

優れた品質と性能で——ますます高級化する最近のインテリア・デザインがこの床材を求めていたのです。床材でいちばん経験の深い田島応用化工。その優れた技術と経験でついに登場させました。

●色と模様は12種類—豪華な見本帖を用意しております。ハガキにてお申し込みください。

三星プラスタイルPの

**田島応用化工株式会社**

東京／千代田区岩本町3—11　TEL 866—6101(代)　大阪／西区京町堀1—74　TEL 441—5951(代)

東・西アス協組 統一年限仕様確立

特許

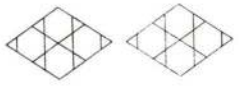
# ギル・アス防水

ギル・アス防水は
世界の防水の
九〇%以上をしめる
アスファルト防水の
安定した実績と
長い伝統の上に開発された
〈強力ギルソイド・
アスタイト防水〉
の略称です

ずばぬけた耐候・耐久性
幅広い温度特性
下地亀裂に順応する延伸性
きわだった柔軟性…など

建築防水として必要な
かずかずの苛酷な実験に耐え
あらゆる面で
現代最高の防水であることが
実証されています

**強力ギルソイド**



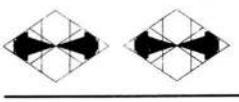
合成繊維の不織布にアスタイトをタップリと含浸させた特許製品で、いわばアスタイトの層に維繊が内在する〈**プレハブ防水被膜**〉ともいえる防水補強材の決定版です。
下地亀裂に順応する延伸性のほか、低温でも脆化しない柔軟性、粘りと強靱性、腐朽・老化しないずばぬけた耐候・耐久性など補強材として理想的な特性をもっています。

**アスタイト**



特殊な製法によってつくりだされる最高の防水材で、一般の合成樹脂にもまさる画期的な特性をもち、〈**黒いプラスチック**〉ともいえるものです。
耐候・耐久性、温度によって硬化・軟化しない幅広い温度特性加熱安定性、強い粘着性、適度な塑性流動性など、防水材として要求されるあらゆる特性をそなえています

**ギル・アス防水**



すぐれた性能のアスタイトと、特許・補強材強力ギルソイドを組み合わせた防水層は、その相乗効果によって、どんなきびしい自然条件にもよく耐えて、老化・変質することなく、破損・漏水などの事故をおこさない〈**最高の防水層**〉です


建設省東計65号認可 **東日本アスファルト事業協同組合**
建設省阪建22号認可 **西日本アスファルト事業協同組合**

東　京・千代田区岩本町３の１１の１３田島応用内　ＴＥＬ代表（866）６１０１
大　阪・大阪市西区京町堀１の７４　ＴＥＬ代表（441）５９５１
札　幌・ＴＥＬ（22）6038　仙　台・ＴＥＬ（22）6413　名古屋・ＴＥＬ（571）6361
福　岡・ＴＥＬ（28）2807　広　島・ＴＥＬ（21）2281　岡　山・ＴＥＬ（24）2692

# Art の製品には……

日本住宅公団指定規格品

## DR-844 ヒンジ

**RA** システム



●デルリンブッシュ入
平頭角型ギボシ丁番

- ＲＡシステム(90°抜け芯装置付)です
- ドアーの開閉時に音を立てない。
- 長期の使用にも摩耗する事がない。
- 注油の必要がない。
- 温度の急激な変化にも耐えられる。
- 衝撃にも強い
- 完全防錆のボンデライズ焼付塗装である。

寸法 (㎜)

| 呼名 | 全長 | 横巾 | 板厚 | ナックル外径 | ブッシュ | SWAGING | 取付巾 | 鋼材 | 十字穴付木捻子 JIS.B1112 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | E | F | G | JIS G3307 | H・I | 本数 | 太サ | 長サ |
| 89㎜(3½) | 89 | 89 | 2.5 | 12.3 | 4.5 | 1.6 | 29 | SPH-1 | 10×6 | 6 | 4.5 | 25 |
| 102㎜( 4 ) | 102 | 102 | 2.8 | 13.0 | 4.5 | 1.6 | 32 | SPH-1 | 10.5×6.2 | 8 | 4.8 | 25 |
| 127㎜( 5 ) | 127 | 127 | 3.2 | 14.7 | 5.0 | 1.6 | 39 | SPH-1 | 12×6.7 | 10 | 5.1 | 32 |

●丁番の取付けが簡単、作業能率の向上！

木ネジの革命 **スパイラー**



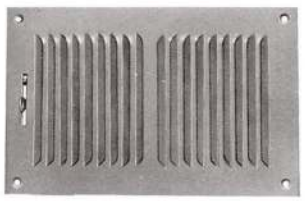
- 錐で**ガイド**(下穴)を設ける必要がない。
- **全ネジ**式ですから密着が良く振動のために抜けてくるようなことはない。
- 釘状の部分で木部へ安定した嵌合が出来るのでドライバーの**横滑り**がなく製品を傷めずに固定出来る。
- **表面硬化**をしてあるためにネジ山の破損が少なく**反復作用**によく耐えます。

※〝アート〟のヒンジの中級品以上（ＤＲ-844. ＮＲ-64. ＳＴ-84. ＳＴ-ＳＬ-84-1）には**スパイラー**が附属されています。

●最新型ウォール
レジスターセット **EWレジスター** ●米国ＦＨＡ規格品

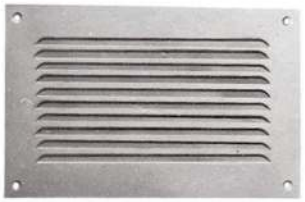
- 自然換気により室内の空気はいつも爽やか。
- 室内冷暖房の保温調節が容易。
- シャッター120°迄自在調節止め付。
- 錆の発生、変色がなく湿度の高い所、バスルーム等にも安心して使用出来る。
- スッキリとしたデザイン中間色の落ちついた色調。
- 風雨の晒す場所でも雨の吹込む心配がない。
- ソフトシートにて取付けの際のガタつきがなく、完全密着取付け施工が出来る。

レジスター
No.55—R



| 取付部分切込み寸法 ㎜(吋) 縦 | 横 | 表面板寸法(㎜) 縦 | 横 |
|---|---|---|---|
| 150 ( 6″) | 260 (10″) | 195 | 295 |
| 150 ( 6″) | 310 (12″) | 195 | 345 |
| 150 ( 6″) | 360 (14″) | 195 | 395 |

グリル
No.55—G
防虫網付



| 取付部分切込み寸法 ㎜(吋) 縦 | 横 | 表面板寸法(㎜) 縦 | 横 |
|---|---|---|---|
| 150 ( 6″) | 260 (10″) | 195 | 295 |
| 150 ( 6″) | 310 (12″) | 195 | 345 |
| 150 ( 6″) | 360 (14″) | 195 | 395 |

※鉄筋住宅のお部屋の換気、冷暖房装置の通風口には理想的な吸入、排気のレジスター、グリルをセットして使用ください。

●ＪＩＳ規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー


**永和工業株式会社**

本　社　大阪市生野区巽矢柄町１２８　TEL 大阪(751)1271～5
工　場　東大阪市布市町５０　TEL 枚岡(81)５５６６
東　京　東京都中央区日本橋本町4—4　TEL 東京(663)６７４８
営業所　（クラウンビル内）

NEW★STAR

# NEW★STAR



ドアチェック 60シリーズ



ドアチェック 70シリーズ



ドアチェック 80シリーズ



フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピボットヒンジ
ドアハンドル

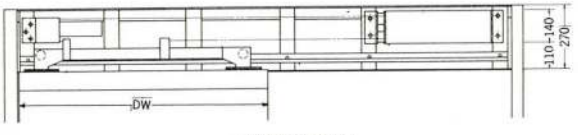


## ✳ 品質・性能ともに定評ある

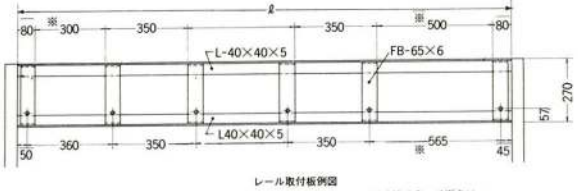
●スイング式・スライド式

# ニュースタードアオペレータ

片引き戸内観図



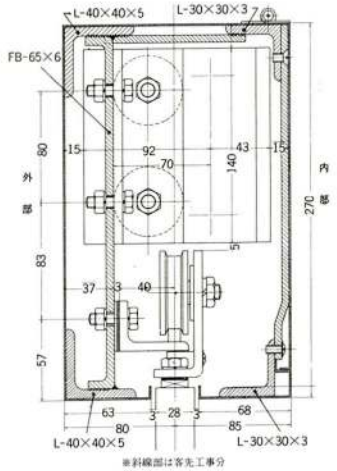

エンジン及ドア関係要領




レール取付板例図

※印寸法は守って下さい。
※印寸法NSL-4の場合は $\frac{535}{600}$ に変更されます。

上枠断面懸吊要領




※斜線部は客先工事分

■ニュースタースライド式ドアオペレーターの特徴

●油圧の長所と電気式の利点とを組合せた新製品です。●油圧装置がついているために閉る速度が「ゆるく」「なめらか」です。●バルブの調整で閉る速度が自由に変えられます。●閉る手前で一旦止って、その后ゆるく閉ります。●停電の場合、すぐに手で軽く開閉が出来ます。●価格が安く、別途工事がほとんどない。●取付工事、保守が非常に簡単です。

生産高日本一


**日本ドアーチエック製造株式會社**

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(06)(758)1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2—12(信愛ビル) 電話(03)(293)4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314－1 電話(0122)(86)8255～6
仙台出張所 仙台市北6番丁187 電話(0222)(34)6049
名古屋出張所 名古屋市北区浪打町2－80－2 電話(052)(981)7531～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(08287)(7)1611
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(092)(74)2372・3312




完全責任施工 | 年限保証

BK 日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法(特許出願中)
■メルタン防水工法

■全国に配置された組合員の強力な連繋と技術で完全な施工工事をお引受けいたします。

| 地区別 | 会社名 | 代表者 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 日本スレート株式会社 | 滝山米太郎 | 札幌市三条通4－1 | (22)3458・4426(23)8016 |
| | 日新建工株式会社札幌出張所 | 大木　久俊 | 〃　南大通り西13丁目 | (22)5015 |
| 東北地区 | 日新建工株式会社仙台出張所 | 滝沢　慶則 | 仙台市二日町1－2 | (25)5431代 |
| 関東地区 | 伊藤建材株式会社 | 伊藤　豊吉 | 東京都台東区西浅草2－15－9 | (842)1431代 |
| | 北条瀝青工業株式会社 | 北条　弘太 | 〃　中央区湊町3－7 | (551)2676・4382 |
| | 有限会社金岡興業 | 金岡辰次郎 | 〃　新宿区柏木5－1172 | (363)4341代 |
| | 瀝青建材株式会社 | 山中喜代治 | 〃　千代田区神田佐久間河岸51号 | (866)2892・7687 |
| | 日新建工株式会社 | 山下　直衛 | 〃　荒川区南千住6－48－19 | (803)2411 |
| | 日本綜合防水株式会社 | 山崎　慎二 | 〃　千代田区神田猿楽町1－9 | (292)2661代 |
| | マサル瀝青工業株式会社 | 西田　勝治 | 〃　台東区北上野2－21－10 | (842)6311代 |
| | 藤井工業株式会社 | 藤井　喜昌 | 〃　文京区千石4－37－4 | (941)0271・2582 |
| | 富士工材株式会社 | 小島　英夫 | 〃　江東区深川住吉町1－14 | (634)0161代 |
| | 鐙田工業株式会社 | 鐙田　武 | 〃　千代田区富士見町1－6－13 | (263)4861代 |
| | 木下工業株式会社 | 木下　一 | 〃　墨田区江東橋4－11東亜ビル | (634)0821代 |
| | 野口工材株式会社 | 坂田　正博 | 〃　渋谷区広尾1－14－3 | (441)3751 (444)0405 |
| | 大和工業株式会社 | 楡井　喜重 | 〃　荒川区南千住5－5－10 | (802)4751代 |
| | 協立工業株式会社 | 関谷　克巳 | 〃　大田区南蒲田1－14－2 | (731)0358 (738)3401 |
| | 株式会社奈良屋商店 | 市橋　祐造 | 水戸市泉町1－6－26 | (3)0171～6 |
| | 石田建材工業株式会社 | 石田　想吉 | 高崎市八島町117 | (2)3301～2 |
| | 同和建業株式会社 | 徳永　昭二 | 新潟市流作場宮浦1－1711 | (45)2251代 |
| 北陸地区 | 島屋建設株式会社 | 島　勝人 | 金沢市此花町5－7 | (21)0085 (31)6420 |
| | 有限会社折橋政次郎商店 | 折橋彌一郎 | 富山県高岡市二番丁 | (2)0999 |
| | 有限会社小島工業所 | 小島　一公 | 〃　〃　志貴野町25 | (3)0391 |
| | 大和工業株式会社富山営業所 | 島田　真一 | 富山市堀川小泉町776 | (31)4385 |
| 東海地区 | 株式会社三井工業所 | 三井　辰雄 | 静岡市大和町1－20 | (85)9151～3 |
| | 協和建材工業株式会社 | 渡辺　亘 | 清水市渋川520 | (2)2221代 |
| | 中央建材工業株式会社 | 木下　作二 | 名古屋市中区南久屋町3－12 | (251)3541 |
| | 日本建材鋼業株式会社 | 伊藤　隆造 | 〃　西区南押切町5－12 | (571)5541～4 |
| | 宮崎建材店 | 宮崎　勇 | 〃　中区伊勢山町100 | (331)1531代 |
| | 東京建材工業株式会社 | 伊藤　鎮善 | 〃　中村区稲上町1－41 | (461)9363 (481)5621 |
| 近畿地区 | 日新工材株式会社 | 井場　績 | 大阪市西区新町北通1－17 | (541)3785～6 |
| | マルエス工業株式会社 | 山崎　達夫 | 〃　福島区上福島南1－152 | (458)4841～3 |
| | 清水興業株式会社 | 清水　実 | 〃　北区鶴野町34 | (372)0251～3 |
| | マサル瀝青工業株式会社大阪営業所 | 勝見　勲 | 尼崎市水堂加茂64 | (429)7355 |
| | 中村瀝青工業株式会社 | 中村秋太郎 | 神戸市生田区北長狭通6丁目神鐵共栄ビル | (34)5884・5658 |
| | 棚田建材有限会社 | 棚田　英吉 | 〃　葺合区上筒井通8－221 | (22)9182代 |
| | フタバ興業株式会社 | 友長　保男 | 大阪市福島区上福島北4－49 | (458)7431～3 |
| | 石橋建材株式会社 | 石橋　節雄 | 福井市宝永9－13 | (3)0775 |
| 中国地区 | 豊永建材株式会社 | 木村　豊 | 広島市若草町1065 | (61)6371～4 |
| | 大和工業株式会社広島出張所 | 神垣　信一 | 〃　庚午南町1－2－28 | (71)4687 |
| | 株式会社三洋技建 | 谷岡　馨 | 広島県大竹市立戸4－1－47 | (2)5155～7 |
| | 東中国防水工業有限会社 | 馬場　久 | 岡山市磨屋町7－18 | (23)1181代 |
| 四国地区 | 株式会社山本商会 | 山本　進 | 松山市三番町7－8－1山本ビル | (31)6261～3 |
| | 大三工業株式会社 | 飯間　浅吉 | 高松市本町2－17 | (51)6811～5 |
| | 高知瀝青株式会社 | 横井　良一 | 高知市塩屋崎町2－20 | (5)9258～9 |
| | 徳島大三工業株式会社 | 柴田　秋男 | 徳島市矢三町東野181－1 | (4)4161 |
| | マルマス河野商店 | | 今治市寺町56 | (2)5000～2 |
| 九州地区 | 日新興業株式会社 | 河野　考義 | 延岡市本小路74 | 4305・4306 |
| | 株式会社工材社 | 竹村　藤一 | 北九州市門司区大里東通10丁目 | (38)1468～9 |
| | 株式会社大二商会 | 戸高　藤雄 | 宮崎市知和川原365 | (2)5001 |
| | 株式会社北原建材商会 | 北原　正 | 鹿児島市草牟田町3980 | (3)9395 |
| | 安藤工事株式会社 | 川勝　正之 | 福岡市大博町8－5 | (28)5207～9 |
| | 日建工材株式会社 | 進藤　博一 | 〃　大手門2－8－6 | (75)7752 |

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（882）2424(代)
関東支部　東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（882）2424(代)
関西支部　大阪市西区新町北通1－18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281～3
九州支部　福岡市大手門1－6　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461




<営業品目>

カーテン　ウォール
アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア
住宅用アルミサッシ〝エリート〟
アルミレディーメード　サッシ・ドア

サッシの綜合メーカー

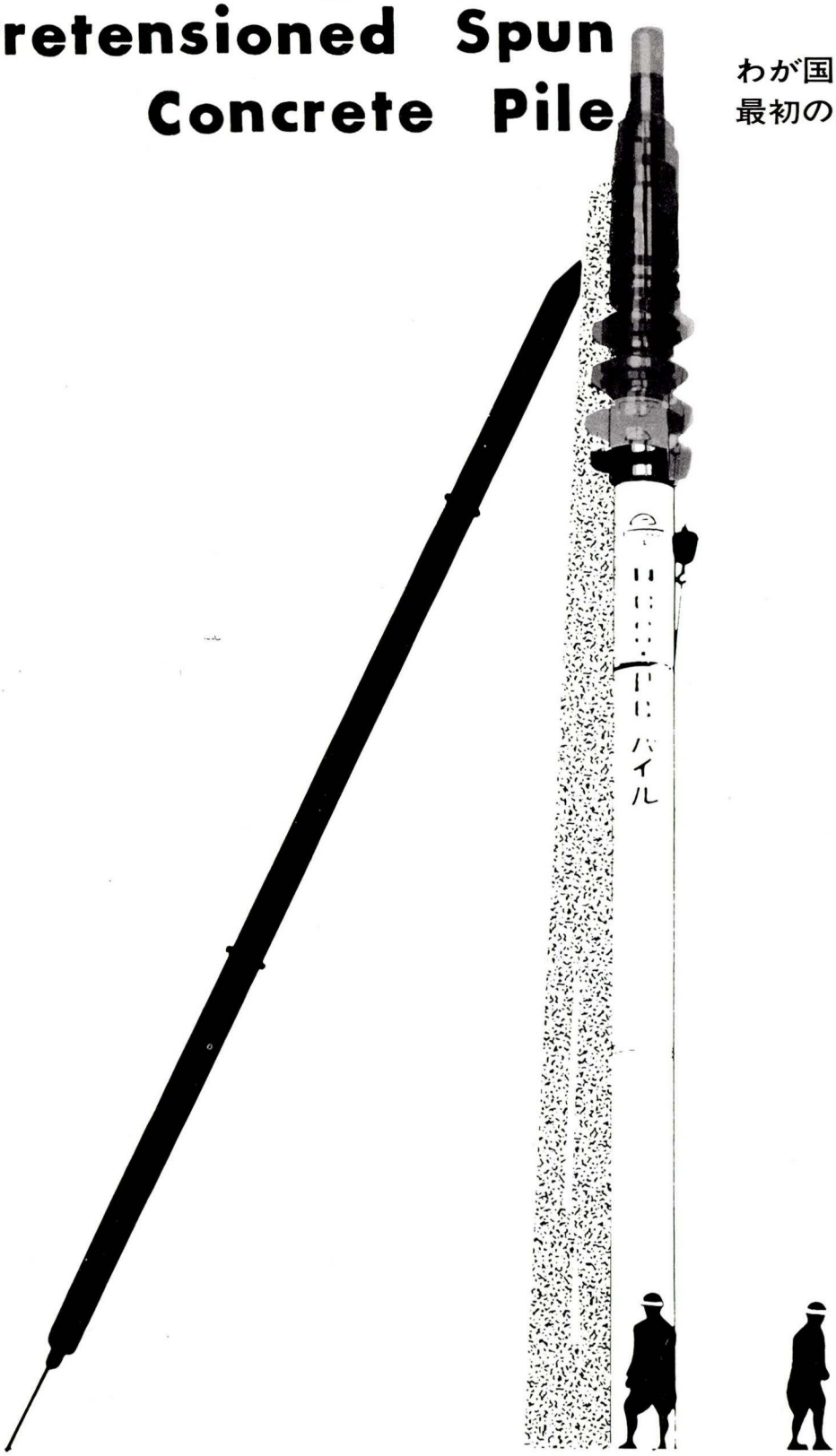
dsk ダイケンサッシ株式会社

本社・工場　堺市松屋町1－6　TEL 堺(38)大代表 1141
鳳　工　場　堺市平岡町48　TEL 堺(7)代表 5541
営　業　所　大　阪・東　京・名古屋・金　沢・福　岡・長　野

# NCS-PCパイル

## Pretensioned Spun Concrete Pile

わが国における
最初のPCパイル



**日本コンクリート工業株式会社**

大阪営業所／大阪市阿部野区天王寺町南２－23 TEL（718）代表1881
本　社／東京（573）大代表0361　　営業所／名古屋(581）代表9706

お部屋のポイントは
床材から……
明るい配色…落ちついたムード
色種類……34色

マルエスの

# ビニエスタイル

合成ゴム系(ネオプレンゴム)
異形建物に最適
最終仕上材はハイパロン
色彩……21色

気候較差の著しい
所に最適
防水工事をプレハブ化　新材料
(合成ゴム系コンパウンドにて加工)

マルエス
日新

## NS 塗膜防水工法

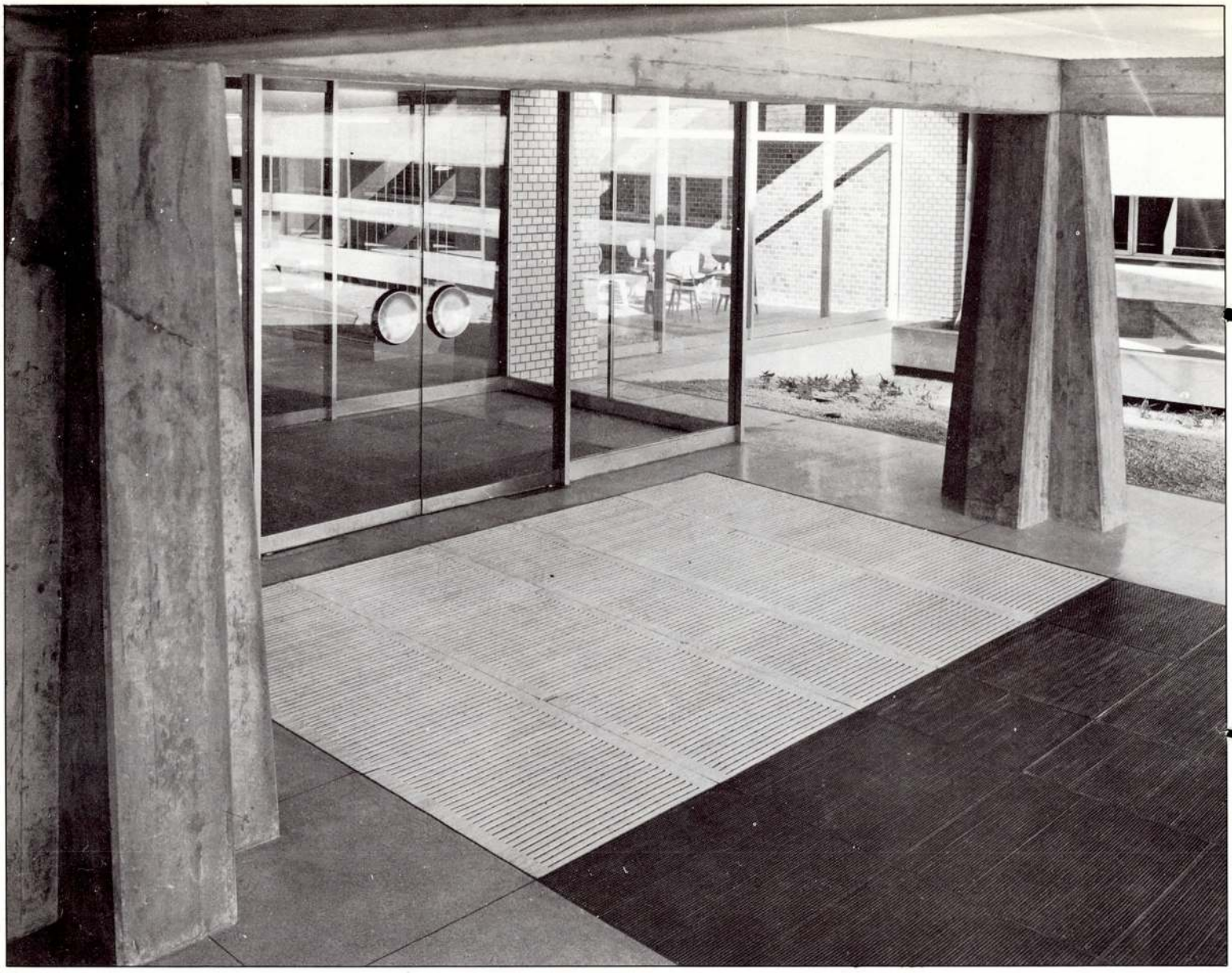
## メルタン ルーフィング

●カタログ
お入用の方は御一報下さい

マルエス ルーフィング製造元

## 日新工業株式会社

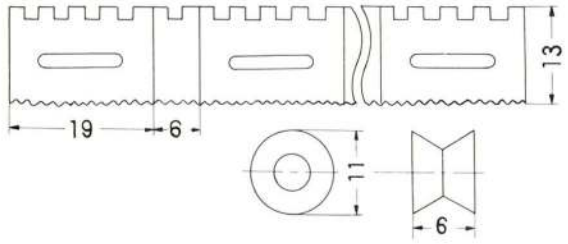
大阪支店／大阪市西区新町北通1－18　TEL(531) 5281～3
本　　社／東京都足立区千住東町93　TEL(882) 2424～34
出 張 所／名古屋(741)6257～8・広島(21)1019・6061
福　岡(74) 3461～3・札幌(51) 6885・5659



各種玄関マット設計製作　ミツシマ

# ストレートラインアット
（ビニール）

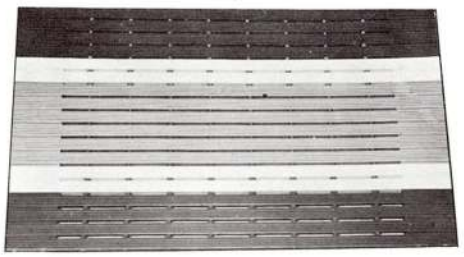
断面詳細図




ハイセンスを
しこう！

グッドデザインを
選ぼう

●PAT.NO.748401



ミヅシマ

おそうじ百貨
**ミヅシマ工業株式会社**

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）3514・8246・9347
本社工場／京都市南区久世築山町380の2　TEL（92）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（666）4714（668）4873
名古屋／TEL（731）5138・5396
京　都／TEL（22）5363・0214
大　阪／TEL（531）3514・8246
福　岡／TEL（29）2706



熊本県庁舎　外装セラスキン施工

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

# セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

# セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

# セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

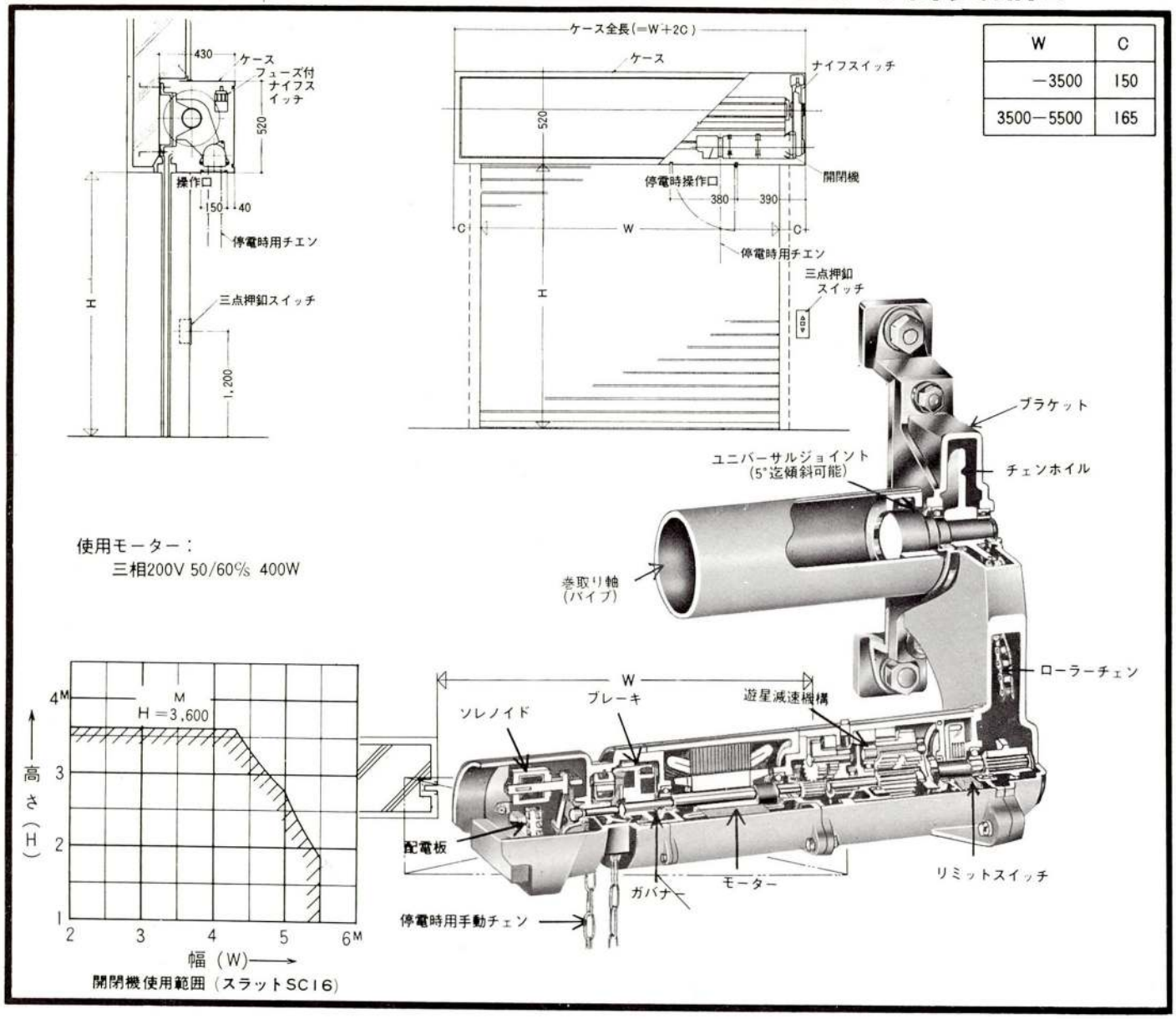
**特　徴**

- ●色　彩　高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
- ●防水性　通気性、防水皮膜を形成します。
- ●耐薬品性　弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
- ●耐寒性　－20℃に4時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
- ●下　地　コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc.
  鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。


## 山本窯業化工株式会社

大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL (322) 4851～4
東京出張所・東京都港区西新橋2－21－6　TEL (431) 7106～7
瀬戸工場・愛知県瀬戸市大字山口字南山138　TEL (82) 8847

# 日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!




| W | C |
|---|---|
| −3500 | 150 |
| 3500−5500 | 165 |

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W

開閉機使用範囲（スラットSC16）

# L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　実用新案　巻取り軸との連結機構
ガバナー機構　およびL型機構
手動機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

## ●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。


株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301) 3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361) 7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**青盛繁男**

青盛建材株式会社　取締役社長
広島市鉄砲町5－16　電話（21）2281
自宅・広島市翠町1507－10　電話（51）6730

**青柳不折**

株式会社　岡本組　取締役社長
大阪市西成区玉出本通4の1　電話（651）7775
自宅・大阪市西成区玉出本通5の113　電話（661）3370

**青山正義**

株式会社二葉建築設計事務所大阪支所　所長
大阪市西区江戸堀1の114（たまやビル）　電話（443）0598
自宅・京都市左京区修学院中林町89　電話（78）6051

**赤崎尚信**

赤崎建築事務所　所長
大阪市北区南森町29－1（新南森町ビル）　電話（361）0982・8388
自宅・西宮市田代町50
高松不動産田代町住宅南棟5～3　電話 西宮（67）7129

**赤松修**

株式会社赤松菅野建築設計事務所代表取締役
大阪市北区梅ヶ枝町123（瑞穂ビル）　電話（364）5651
自宅・豊中市千里園2の186　電話㊗（52）4622

**浅井貞治**

双星社　竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2の37－3　電話（341）6671代
自宅・豊中市蛍ヶ池東町3の109　電話 豊中（52）5861

**東秀侃**

株式会社　三国タイル　代表取締役
大阪市東淀川区十八條町3の7　電話（391）3912・3341（393）1951代
自宅・吹田市藤白台2の28　電話㊗（72）3256

**網野栄**

株式会社　研文社　代表取締役
大阪市北区堂山町66　電話（361）2091代

**荒木芳邦**

株式会社荒木造園設計事務所　代表取締役
池田市鉢塚2の8－21　電話（61）池田1298
自宅・池田市鉢塚2の9－8　電話（61）池田8874

**安藤俊雄**

安藤俊雄建築設計事務所　所長
大阪市東区常盤町2の30（高木産業ビル）
電話（942）4603㊗　（941）1331

**井上正一**

名古屋建築設計事務所　所長
名古屋市中村区椿町4の28（国鉄会館内）　電話大代（571）1271
名古屋市千種区下方町4の30　電話（711）9400

**井上浄夫**

株式会社　井上浄夫商店
日本特殊化成　株式会社　取締役社長
大阪市西区江戸堀1の101　電話（441）8531～6
自宅・西宮市甲子園3番町9－5　電話西宮（41）4661

**井上泰資**

有限会社　一級建築士
井上泰資設計事務所　神戸店　代表取締役
神戸市兵庫区湊川町5の94　電話（51）6910
自宅・兵庫県城崎郡城崎町桃島1257－7　電話 2734

**井上福蔵**

株式会社　井上組　代表取締役
大阪市都島区東野田町2の15　電話（351）0530（352）4031～4
自宅・東大阪市石切山荘1727　電話 0729（81）2526

**井上達明**

井上達明建築事務所　所長
大阪市西淀川区竹島町3の24
電話（473）1069（471）4871

**井ノ口政雄**

株式会社　レイヒ　代表取締役
大阪市東区横堀2の29　電話（231）1466代

**井手新太郎**

日本合成化学工業株式会社　取締役社長
大阪市北区神山町40－4　電話（313）3412

**井手正雄**

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
京都建築会館内　電話（21）2857

**伊丹久吉**

株式会社　藤木工務店　専務取締役
大阪市東区両替町1の13　電話（942）1461代
自宅・尼崎市武庫之荘1の23－6　電話（421）7733

**伊東正也**

伊東建築設計事務所　所長
大阪市浪速区幸町通2の6　電話（562）4343代
自宅・西宮市松生町129　電話（22）3598

**伊藤康夫**

有限会社　伊藤工務店　社長
大阪市東淀川区十三南之町3の7　電話（301）3091（302）1460
自宅・同　上

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**飯田精次郎**

共同設計株式会社　取締役社長

大阪市北区富田町9　電話(364) 5836
自宅・豊中市本町2の56　電話㊗(52)5775

**稲葉重郎**

建財設計工務株式会社　取締役社長

大阪市北区芝田町97　電話(372)5097～8
自宅・八尾市山本町南5－13　電話0729(2)3587

**上田寅一**

光洋建設株式会社　代表取締役

大阪市南区長堀橋筋2の7　電話(211)0991～3
自宅・豊中市旭ケ丘6　電話(52) 2438

**生田重政**

日本建設株式会社　取締役社長

大阪市東区安土町4の5　電話(261)7591～6
自宅・芦屋市朝日ケ丘町258－2　電話0797(3)0657

**指宿真智雄**

株式会社　建築デザイン　一級建築士事務所
代表取締役社長

京都市上京区河原町通
今出川上ル　青龍町248　電話(22)7921代
自宅・京都市左京区八瀬野瀬町54　電話(78) 6573

**上田良治**

U.A.建築事務所　代表取締役

大阪市東区谷町5の30
（新野村ビル）　電話(768) 2942
自宅・寝屋川市本町17の18　電話 0720 (21)0320

**池田宮彦**

株式会社　池田宮彦設計事務所　代表取締役

大阪市南区瓦屋町3番丁68　電話 (761) 0360 (762) 5551
自宅・堺市上野芝向ケ丘町4丁1405　電話0722(78)0034

**今西茂雄**

株式会社今西建築デザインルーム　代表取締役

大阪市西区北堀江通2の47　電話 (541) 3051～2
自宅・　同　上

**内田成之**

須賀工業株式会社

**石川寛三**

石川建築事務所　所長

大阪市天王寺区茶臼山町111　電話 (779) 9491
東京都豊島区駒込1－28　電話 (946) 5431
自宅・宝塚市切畑長尾山2－317　電話池田(59)2963

**今西壽雄**

株式会社　今西組　取締役社長

**浦辺鎮太郎**

株式会社浦辺建築事務所　代表取締役所長

大阪市北区梅田8（新阪急ビル）電話(341)1727・1680

**石田秀宏**

松田平田坂本設計事務所大阪出張所所長

大阪市北区堂島上3－10　電話(344) 7821

**岩佐直則**

有限会社　岩佐建築設計事務所　代表取締役

本　社　尼崎市西本町7の268　電話 大阪(411)3094
東京事務所　東京都新宿区四谷4の23　電話 東京(351)3256
自宅・西宮市上甲子園2の11－23　電話 西宮(41)5753

**江川好巳**

株式会社山下寿郎設計事務所大阪事務所所長

大阪市東区北浜5－11（新立川ビル）
電話(231)4217・7321
自宅・芦屋市山手町16　電話0797(2)9269

**石原季夫**

株式会社石原建築設計事務所代表取締役

大阪市北区宗是町1　大ビル内　電話㊙(441)7826
東京都千代田区内幸町1の3－6
新日比谷ビル内　電話㊙(502) 8926
自宅・神戸市生田区中山手通6の38　電話㊙(34) 2073

**岩崎甚太郎**

社団法人　日本建築協会　参与

大阪市東区北浜3の37　電話 (231)9640
自宅・兵庫県川西市花屋敷1の32－11　電話 池田(59)8722

**榎利夫**

株式会社三都建築事務所　代表取締役所長

尼崎市扶桑町2の1　電話 大阪(401) 7865代
自宅・尼崎市塚口町2の11－7　電話 大阪(421) 9476

**諫早信夫**

日本シルバクール株式会社　社長

東京都中央区銀座西4の1　電話(567)1751
自宅・東京都世田谷区烏山町453　電話(300)3705

**宇賀一郎**

宇賀一郎建築設計技術研究所

大阪市北区若松町28（尾崎ビル12号室）　電話(364) 5178
自宅・神戸市東灘区住吉鴨子ケ原町3の34　電話㊙ (85) 5460

**遠藤巖**

株式会社 間組大阪支店 常務取締役支店長

大阪市東区横堀2の70　電話(203) 2821代

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**遠藤　誠**

株式会社 遠藤建築設計事務所　所長
大阪市南区順慶町3の51　電話(251) 2146
自宅・西宮市里中町2の3－13　電話西宮(41)1845

**大木末次**

大木建設株式会社大阪支店
常務取締役　支店長
大阪市西区南堀江通3の3　電話(538)3075～9

**岡本行善**

株式会社 昭和設計事務所　取締役社長
大阪市西区西長堀通1の8
（四つ橋ビル）　電話(532) 0415代
自宅・芦屋市打出大東町74　電話芦屋(2)7102

**小笠原祥介**

株式会社　大阪建築事務所　取締役
大阪市西区京町堀2の75　電話(441) 9351
自宅・大阪府吹田市千里山34－3　電話(384) 2471

**大澤幸平**

大幸建設株式会社　代表取締役社長
大阪市東区今橋5の2　電話㊥(203)0065代
自宅・豊中市玉井町1の8－18　電話㊧(52)3237

**奥村安太郎**

奥村組土木興業株式会社　取締役社長
大阪市港区市岡浜通4の46　電話(572)5301大代
自宅・大阪市港区市岡浜通5の28　電話(571)0571

**小川　正**

株式会社　竹中工務店　取締役
大阪市東区本町4の27　電話㊥(252)1201

**大下順三郎**

平和建設株式会社　取締役社長
大阪市城東区関目町1の40　電話(939)4741～5代
自宅・大阪市旭区新森小路3の94　電話(952) 1240

**海上静一**

株式会社　海上静一建築事務所
本社・大阪市南区鰻谷仲之町62
（市川ビル）　電話 (271) 1149
三重分室・三重県津市岩田1270　電話 津 (8)9340
自宅・堺市日置荘西町13の2　電話0722(85)2120

**小河吉之助**

株式会社小河建築設計事務所 取締役社長
大阪市南区瓦屋町4の8　電話(761)6957代
自宅・寝屋川市東香里園町18－14　電話 0720 (31)2609

**大林芳郎**

株式会社　大林組　取締役社長
大阪市東区京橋3の75

**梶本秀尾**

八千代電設工業株式会社 取締役社長
大阪市東区森之宮東之町392　電話 (941) 6531
自宅・堺市大美野107－4　電話0723(7)2548

**尾亀清四郎**

株式会社　三晃商会　会長
大阪市北区富田町16　電話(364) 7031
自宅・枚方市岡山手町15－4　電話0720(41)3427

**大森久司**

近畿電気工事株式会社　取締役社長
大阪市北区南扇町11　電話(312) 1281代
自宅・奈良市今辻町12　電話奈良(22)2390

**辛木貞夫**

東海興業株式会社　顧問
自宅・芦屋市宮川町77の2　電話(2)0321

**置塩章**
**置塩光**

置塩建築事務所
大阪市北区堂島上1丁目　電話㊥(341) 6724
神戸市生田区京町70　電話㊧(39) 3515
自宅・神戸市東灘区御影町
上ノ山1661　電話神戸(85)4681

**岡田金次郎**

株式会社　久米建築事務所　大阪事務所
取締役　所長
大阪市北区堂島中1の23　電話 (312) 3302
自宅・大津市中庄2の5－13　電話07754(2)3619

**柄谷吉太郎**

株式会社　柄谷工務店　取締役社長
尼崎市玄番南之町4　電話 (411) 1451
自宅・西宮市甲子園浦風町9－14　電話西宮(41)0700

**大井弘治郎**

株式会社　大井建築設計事務所
大阪市北区宗是町44（第一ビル）　電話(444) 4521代
自宅・箕面市百楽4の4－11　電話箕面(21)4113

**岡橋作太郎**

日建設計工務株式会社
大阪市東区横堀2の38

**川崎敬三**

株式会社　近畿建設　代表取締役
大阪市西区靱本町4の103　電話(532)0081～5
自宅・大阪市浪速区新川2の666　電話(632)7396

# 謹賀新年

昭和43年元旦

(50音順)

**河井覚弘**

河井建築設計事務所

大阪市北区兎我野町15　電話(341)3330～9
自宅・奈良市登美ヶ丘四丁目　電話奈良(45)4378

**木下國男**

株式会社　内外写真　代表取締役

大阪市北区堂島北町16　電話(361)9055代
自宅・大阪市西区京町堀2の102　電話(441)2503

**黒川徳一**

旭リフト株式会社　代表取締役

守口市大久保町1の28　電話(993)2877代

**河内義就**

有限会社河内義就設計事務所　代表取締役

広島市上幟町2－37　電話(28)2271

**木下光雄**

株式会社　木下謹三商店　取締役社長

大阪市西区江戸堀5の5　電話　(443)0115代
自宅・豊中市上野6の12　電話 068 (52) 7284

**小泉善重**

株式会社　栄和設計事務所　取締役社長

大阪市福島区堂島浜通4の14　電話(458)1727(451)2175
自宅・羽曳野市南宮 180の3　電話　阪南 (55) 4416

**河津喜之助**

河津装飾株式会社　代表取締役

大阪市北区堂島上1丁目　電話(341)1351～3
自宅・豊中市服部本町1丁目　電話　(62) 6865

**木戸口信義**

大洋建設工業株式会社　取締役社長

大阪市天王寺区北河堀町54　電話 (771)代2672・3880
自宅・堺市浜寺元町6丁807　電話0722(61) 1370

**小西岬**

株式会社田中小西建築事務所　社長

大阪市西区阿波座南通2の60　電話 (532)4051代
自宅・大阪市東住吉区
平野西脇町373－4　701) 0297

**神谷新一**

株式会社　竹中工務店　専務

大阪市東区本町4の27　電話06(252)1201

所長 **工藤雅三**
次長 **工藤建夫**

工藤雅三建築事務所

大阪市此花区四貫島大通2の12　電話(461)0043・4198
自宅・大阪市此花区四貫島大通2の12　電話(461)4393・9293

**小林清**

株式会社　新住宅社　代表取締役

大阪市大淀区豊崎東通3の13－9　電話 (371)3220
自宅・大阪市阿倍野区北畠3の1－7　電話 (651)1594

**神田正平**

株式会社日本シャッター製作所　代表取締役

大阪市東淀川区田川通6の38　電話 (301)3656代
自宅・神戸市東灘区住吉町赤塚山　電話　(85) 0248

**熊澤六朗**

矢島建設株式会社大阪支店 取締役営業部長

大阪市南区北炭屋町8　電話 (271) 5837
自宅・吹田市内本町3の23－8　電話 (381) 0451

**小林得志**

株式会社小林得志建築事務所　代表取締役所長

大阪市北区堂島北町20藤田ビル　電話(362)5658～9
(341)6251～5
自宅・西宮市丸橋町31　電話(66) 2394

**菅野栄**

株式会社大阪城口研究所　常務取締役

大阪市北区高垣町1　電話 (371)7151代
自宅・京都市左京区西梅ノ木町50

**汲川圭司**

泉工業株式会社　取締役社長

大阪市住吉区北加賀屋町3-3　電話 (672)1801代
自宅・和泉市太町聖ヶ丘41－28　電話0725(41)3332

**小林三甫朗**

小林住宅株式会社　社長　一級建築士

大阪市東区御堂筋難波神社前　電話 (251)1134・8371

**北野正雄**

中西建築事務所　代表取締役

大阪市北区中ノ島3(朝日ビル)　電話(231) 9531

**栗林一馬**

栗林建築事務所

和歌山市和歌浦鶴立嶋527　電話 (44) 3623

**小松英二**

東海興業株式会社　大阪支店　常務取締役支店長

大阪市北区梅田町27
(サンケイビル)　電話 大阪(313)0451代
自宅・西宮市天道町13

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**後藤典夫**

大阪府建築部長

**佐原忠雄**

株式会社 浪花組 副社長
大阪市南区玉屋町12 電話(211)1501 代
東京都港区赤坂4の14−17 電話(584)1571 代

**白井周二**

清水建設株式会社大阪支店 常務取締役大阪支店長
大阪市西区土佐堀通2の2 電話(443) 5431
自宅・芦屋市船戸町44 電話芦屋（2）4948

**鴻池藤一**

株式会社 鴻池組 取締役社長
大阪市此花区伝法町北3の67 電話（462)1631代
自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話京都(44)1526

**雑賀孝夫**

株式会社雑賀建築設計事務所 代表取締役
和歌山市八番丁3−4 電話（31）1371代
自宅・和歌山市小松原通5の1 電話（23）5888

**白石登喜男**

東洋不動産株式会社 専務取締役
大阪市南区順慶町通4の25 電話(251)2475
自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話(671)3794

**金剛利隆**

株式会社 金剛組 代表取締役
大阪市天王寺区椎寺町66 電話(779)7731代
自宅・東大阪市旭町8−3

**酒井辰三**

三光金属工業株式会社 代表取締役
大阪市南区鰻谷中之町80 電話（271）6234代
自宅・豊中市本町10−98 電話068(52) 3888

**城口庸平**

株式会社大阪城口研究所 取締役社長
大阪市北区高垣町1 電話(371)7151 代
自宅・西宮市相生町6−40

**佐藤音松**

株式会社 今西組 会長
大阪市天王寺区上本町7の2 電話（772)1251
自宅・芦屋市六麓荘町97 電話 097（2）2226

**貞永直義**

貞永建築士事務所 所長
豊中市曾根東1の41 電話豊中(52)3172
自宅・川西市加茂字柚木谷5−1 電話池田(5)3607

**須賀豊治郎**

須賀工業株式会社 取締役社長

**佐藤太**

近畿電気工事株式会社 相談役
大阪市北区南扇町11 電話(312)1281大代
自宅・箕面市桜ヶ丘3の9−27 電話 箕面(21)2167

**清水和彌**

株式会社清水和彌設計事務所 代表取締役
大阪市北区神山町26（富国信用ビル） 電話(312)7278・4616
自宅・豊中市桜塚東通5の8 電話 068（52）7056

**菅谷知巳**

大阪電気暖房株式会社 取締役社長
大阪市西区江戸堀1の60 電話(441)8231 大代

**佐野正一**

株式会社安井建築設計事務所 代表取締役社長
大阪市東区淡路町2の34 電話(202)3836代・8091 代
自宅・西宮市雲井町4−9 電話西宮(22) 1569

**設楽貞三**

株式会社 洋建築事務所 代表取締役
大阪市南区日本橋筋2−58 電話(631)1019
自宅・神戸市須磨区桜木町3の23 電話（71）0324

取締役社長 **杉村正三郎**
専務取締役 **柏岡十三介**

阪急電気工事株式会社
大阪市東淀川区十三西之町3の34 電話(302)0231〜5

**佐々木廣**

株式会社 大阪硝子店 代表取締役
大阪市東区本町5の4 電話(261)3029・7185
自宅・西宮市甲風園2の117 電話西宮（67）2602

**庄野勝**

不動建設株式会社 代表取締役社長
大阪市南区鰻谷仲之町57 電話(271)4771
自宅・大阪市住吉区帝塚山西5の18 電話(671)5014

**隅田正美**

第一工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市北区富田町30 電話（364）0977

# 謹賀新年

昭和43年元旦

(50音順)

**錢高輝之**

株式会社 錢高組 取締役社長
大阪市西区阿波座上通3の2 電話(531)6431大代

**財田文夫**

芦屋市業平町20 電話 芦屋(2)0072

**塚本猛次**

日建設計工務株式会社
大阪市東区横堀2の38

**田阪朋美**

株式会社田阪建築設計事務所 代表取締役
大阪市東区森の宮東之町545大阪紙器会館 電話(941)9648
自宅・吹田市片山町1の21 電話(388)6510

**竹中錬一**

株式会社 竹中工務店 取締役社長
大阪市東区本町4の27 電話 (252) 1201大代

**土田隆通**

旭フアイバーグラス株式会社大阪支店 支店長
大阪市北区堂島中通1の25 電話(312)0957
堂島勧銀ビル内

**田中功**

株式会社 生建社 代表取締役
大阪市西区京町堀2の82 電話 (443) 4921
自宅・堺市大美野147～39 電話0723(7)5171

**竹腰健造**

株式会社双星社竹腰建築事務所 代表取締役
大阪市北区堂島中2の37－3 電話 (341)6671
自宅・西宮市松園町7－22 電話西宮(34)2650

**恒成一訓**

合名会社つねなりすたじお 代表者
大阪市東区北浜3ノ40 電話 (231) 0141・7781

**田中政二**

大島応用化学工業株式会社 取締役社長
東大阪市新庄114 電話(782)4171－3・6734－8
自宅・大阪市城東区野江東ノ町4の99 電話(931)3506

**武井伴治**

セメダイン株式会社大阪支店 支店長
大阪市南区大宝寺町東之丁41 電話(271)3456～9
自宅・西宮市田代町128

**東畑謙三**

株式会社東畑建築事務所 代表取締役
大阪市東区伏見町5丁目19 電話(202)0391
自宅・神戸市東灘区住吉町繩手下1680 電話078(85)5043

**田淵誠也**

株式会社田淵建築設計事務所 取締役社長
和歌山市下町19 電話 (31) 0261～2

**谷幸一**

浅野スレート株式会社大阪支店 支店長
大阪市北区芝田町35 電話 (372) 5351～7

**時山龍太郎**

時山設計事務所 所長
大阪市北区曾根崎上2－21美都ビル 電話(361)6248
自宅・大阪市東淀川区三国本町2の127 電話(393)9557

**高須洪一郎**

株式会社 朝日工業社 取締役社長
大阪市東淀川区加島町357 電話 (302) 2271 代
自宅・西宮市甲子園町3－8 電話西宮 (41) 0494

**知見義夫**

株式会社斎藤省三商店大阪店 取締役支店長
大阪市西区土佐堀通1の1 電話(443)3361代
大同ビル 616

**徳永正三**

株式会社三座建築事務所 代表取締役
大阪市北区中之島4の33 電話 (443) 0051 代
自宅・芦屋市三条町53 電話芦屋(2) 4953

**高橋慶夫**

株式会社大阪建築事務所 取締役社長
大阪市西区京町堀2の75 電話(441)9351
自宅・大阪市東淀川区相川中通2の2-4 電話(328)0935

**地頭政人**

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市北区若松町30 電話(364)4825・9004・9016

**富家宏泰**

富家建築事務所
京都市中京区押小路通東洞院西入 電話京都(23)6357代

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**内藤一真**

株式会社竹内建築事務所　代表取締役

大阪市浪速区元町1−742藤本ビル　電話(641)5089・1156

**内藤資忠**

株式会社内藤建築事務所　代表取締役

京都市左京区田中大堰町189　電話京都(78)6196
自宅・京都市左京区北白川山ノ元町38　電話京都(78)3353

**内藤正克**

株式会社内藤建築設計事務所　専務取締役

兵庫県小野市上本町240−4　電話(07946)4757代
（小野ビル）
自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話(07946)4668

**中川匠**

中川匠建築設計事務所所長

大阪市北区浪花町38新興ビル　電話(371)3651直通・6412〜4
自宅・宝塚市米谷石田1 8　電話　宝塚（86）2 3 9 1

**中川真佐吉**

アポロ印刷株式会社　代表取締役

大阪市東区北新町2の7　電話（942)2951代

**中澤誠一郎**

中澤建築事務所所長

大阪市北区富田町38新日清ビル　電話（363)3881
自宅・守口市滝井元町3の27　電話（991)1848

**中野順次郎**

株式会社中野建築事務所　代表取締役

大阪市北区堂島上2の39　電話（341）3561
毎日産業ビル内
自宅・豊中市岡町7の10　電話068(52)4145

**中原茂**

安宅エンヂニヤリング株式会社　取締役建築部長

大阪市東区京橋2の15−1　電話（942)2312代・3539直
（松村ビル9階）

**中村金三**

中村金三商店　店主

京都市下京区楊梅通烏丸西入　電話京都(35)1002・1184
8380

**長井策一郎**

鹿島建設株式会社関西役員室　常務取締役

大阪市東区瓦町5の71瓦町ビル　電話(202)7461代・8166代
自宅・神戸市東灘区御影町御影　電話神戸（85）4809
字滝ヶ鼻1337の6

**長尾正大**

日本エレベータ工業株式会社　代表取締役

大阪市大淀区天神橋筋6　電話（351)4927代
天六阪急ビル
自宅・池田市城南町3の33　電話0727(51)9381

**西嶋徳太郎**

株式会社大阪建築事務所　専務取締役

大阪市西区京町堀2の75　電話（441)9351
自宅・大阪府箕面市桜ヶ丘3の11−35　電話0727(21)2432

**西村庄市**

工藤電気株式会社

**日本建築協会兵庫支部**

支部長　宮飼克二

神戸市生田区下山手通5の23　電話（34）1603
兵庫建設会館内

**根津耕一郎**

株式会社根津建築事務所　代表取締役

大阪市東区平野町3の35　電話(231)1632〜3
昭和ビル
自宅・宝塚市川面字宝塚5−19　電話宝塚(86)7862

**野崎謙三**

株式会社山下寿郎設計事務所　取締役社長

東京都中央区西八丁堀2の4（大石ビル）　電話（552)8311
東京都文京区本駒込1の10−10　電話（941)8747

**長谷川為一**

長谷川組株式会社取締役社長

大阪市天王寺区大道4の130　電話（771)4148
自宅・大阪市阿倍野区　電話（622)1730
長池町13−11

**浜口幹三郎**

株式会社　淺　沼　組　取締役

大阪市天王寺区東高津町8の1　電話（762)0251
自宅・大阪市阿倍野区文の里1の4−21　電話（623)0608

**原田富一**

昭和アルミニウム株式会社　取締役社長

堺市海山町6の224　電話堺（3）1181代
自宅・堺市浜寺昭和町3の404　電話堺(61)1258

**原田守**

株式会社　新日本技術コンサルタント

大阪市南区長堀橋筋1　電話（271)1251代
丸善石油ビル
自宅・吹田市古江台1の21−10

**伴秀雄**

株式会社　西原衛生工業所　大阪支店

# 謹賀新年

昭和43年元旦

(50音順)

## 久田良吉

株式会社東洋建築設計事務所　社長
大阪市天王寺区上本町6の3—26 電話(768)2029・2020直
阿部ビル2階2号室
自宅・八尾市山本町南4の73　電話0729(2)3095

## 福賴圭蔵

株式会社新興建材工業所　取締役社長
大阪市西区西長堀南通1の5　電話(541)5757代
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22　電話(673)5120

## 前川敬藏

株式会社東畑建築事務所　取締役大阪事務所長
大阪市東区伏見町5の9　電話(202)0391
自宅・京都市下京区西木屋町松原上ル　電話(35)2083

## 平山京平

平山工業株式会社取締役社長
大阪市西区江戸堀2の2　電話(441)1994代
自宅・豊中市上野2の107　電話豊中(63)1744

## 藤田邦昭

RIA建築綜合研究所
大阪市北区太融寺町33　電話大阪(312)9154
大阪合同ビル　名古屋(231)5511
東京(270)5861

## 前野慶太郎

株式会社あめりか屋　取締役社長
43．2月初迄
大阪市大淀区豊崎東通3の13—5　電話(371)2931代
43．2月10日以後
大阪市北区常安町17　電話(444)1501代
自宅・芦屋市打出翠ヶ丘町166　電話(2)2005

## 平田作太郎

株式会社平田タイル　副社長
大阪市西区阿波座中通1の5　電話(532)1234代
自宅・京都市下京区
綾小路大宮東入　電話(81)1203

## 藤村清一

株式会社日新建築設計事務所　代表取締役
本社・大阪市北区壺屋町1の66 電話(352)6161代
仮事務所・大阪市北区信保町1の13
自宅・京都市右京区山の内山の下町 電話京都(311)2564

## 政岡基次

日新ビルダーズ株式会社　取締役会長
大阪市南区久左衛門町60　電話(211)6843

## 福田朝生

株式会社双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2の37—3　電話(341)6671代
自宅・西宮市建石町6の10　電話(34)6591

## 藤本庄之助

株式会社　工盛社
大阪市城東区西鴫野6の43　電話大阪(961)4460
(962)1288

## 松尾陽三雄

内外アスベスト株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市都島区都島北通1の14 電話(922)1371
自宅・大阪市阿倍野区阪南町3の3—21 電話(621)8640

## 福田好雄

ダイケンサッシ株式会社 取締役社長
堺市松屋町1の6　電話堺(38)1141
大阪市住吉区帝塚山東3の37　電話(671)3254

## 星廣文

平和建設株式会社常務取締役
大阪市城東区関目町1の40　電話(939)4741～5
自宅・門真市城垣町12の16　電話0720(81)0667

## 松田昌平
## 松田順吉

株式会社　松田設計事務所
福岡市綱場町2の1 明治屋ビル

## 福中定三郎

社団法人　日本建築協会　常務理事
大阪市東区北浜3の37　電話(231)9640
自宅・枚方市香里園町26の68　電話寝屋川(31)0549

## 本庄弘樹

株式会社三晃商会常務取締役
大阪市北区富田町16　電話06(364)7031
自宅・箕面市桜丘3の6—11　電話0727(21)2655

## 松平藤佐根

特許松平式白蟻殺滅予防所　所長
近畿白蟻防除士協会　会長
奈良市南城戸南方町28　電話0142(22)4098

## 福永薫

株式会社福永建築設計事務所　代表取締役
大阪市南区順慶町通4の61　電話(251)3102
自宅・大阪市南区順慶町通4の61　電話(251)5189

## 本田史郎

本田工業株式会社取締役社長
大阪市北区芝田町65　電話(372)0831～6
自宅・京都市東山区山科御陵平林町2　電話京都(58)2217

## 松本大平

田島応用化工株式会社大阪営業所　所長
大阪市西区京町堀1—74　電話(441)5951

# 謹賀新年

昭和43年元旦

（50音順）

**三輪泰司**

株式会社地域計画・建築研究所 代表取締役
京都市左京区吉田本町12－15　電話075(77)5879
自宅・京都市伏見区向島与五郎町1－4　電話075(60)3962

**元吉勇太郎**

株式会社大末組 専務
ODOプレハブ株式会社 社長
大阪市南区大和町1　電話(213) 0555
大阪府南河内郡美原町小平尾380　電話0723(61)2505～6
自宅・大阪市旭区橋寺町417　電話(951) 8716

**山田新治郎**

株式会社 山田建築事務所 代表取締役
大阪市北区神山町26 富国信用ビル　電話(312)0937代

**南長吉**

斉久工業株式会社 大阪支店
代表取締役支店長
大阪市北区常安町11　電話(443) 5041～8

**盛道雄**

株式会社 盛工務店 代表取締役
大阪市旭区赤川町2の8　電話大阪(921)3471
自宅・宝塚市切畑字長尾山12－53　電話宝塚(86) 2431

**山出敬二**

山出興産株式会社 代表取締役
大阪市南区大宝寺西ノ町21　電話(251) 5238代
電話(271) 8121
自宅・大阪府豊中市新千里北町2の7－10

**宮飼克二**

明石市人丸町2の47　電話(911) 2298

**森川喜代之助**

森川一級建築士事務所
池田市住吉1の1－20　電話0727(61)8149
自宅・同上

**山本潔**

山本窯業化工株式会社 取締役社長
大阪市東淀川区西淡路町3の176　電話(322) 4851～4
自宅・豊中市東豊中町3の209　電話(52) 4387

**宮後健**

株式会社宮後建築事務所 代表取締役
大阪市天王寺区上汐町6の35　電話(771) 0393
(771) 9281
(772) 2908
自宅・大阪市東住吉区山坂町1の5　電話(662) 5130

会長 **安田誠一**
社長 **安田嘉雄**
安田レール株式会社
大阪市南区末吉橋通1の17　電話(251) 7091代

**山本博三**

朝陽電気株式会社 代表取締役
大阪市北区中之島3の3
朝日ビルディング　電話(448) 1361代

**村上秀二**

株式会社 村上工務店 取締役社長
大阪市北区太融寺町73　電話(341)8651～3
自宅・西宮市仁川町2の68　電話 西宮 230

**藪本芳一**

藪本建築士事務所
和歌山市東長町10の13　電話和歌山(22)9930

**山本義樹**

西日本建設業保証株式会社 専務取締役

**村田鞆二**
（通名篤信）

明研化学工業株式会社 代表取締役
明石市中谷町888　電話明石(913) 3456代
自宅・神戸市垂水区
塩屋町西の田164　電話垂水(76)4186

**山口吾郎**

不二建設株式会社 取役締社長
大阪市西区阿波座上通4の8　電話(541) 5534代
自宅・宝塚市切畑字長尾山2の788　電話0727(59)2018

**横田喜一郎**

株式会社 工英社 代表取締役
大阪市西成区橘通9の24　電話(661)8861～3
自宅・大阪市住吉区万代西2の28　電話(671) 3306

**室谷山水**

室谷商事株式会社 取締役社長
大阪市北区綿笠町50（堂ビル）　電話(364)2031～4
自宅・神戸市生田区山本通4の161　電話（22） 5050

**山下密男**

合同特許建材工業株式会社 代表取締役
大阪市東住吉区駒川町3の54　電話(702)7814代
自宅・大阪市東住吉区田辺東ノ町3の193　電話(621) 9086

**和田達也**

株式会社 和田組 代表取締役社長
大阪市北区高垣町61　電話(313) 2021代
自宅・芦屋市西山町52　電話芦屋(2)2860

# 謹賀新年　昭和43年元旦　（50音順）


**和田村太郎**
浪速建材工業株式会社　代表取締役
大阪市城東区茨田横堤町41　電話(911)1171代
自宅・大阪市旭区新森小路南1の439　電話(951)8250

**鷲尾健三**
大阪大学工学部建築工学教室

**社団法人 日本建築協会**
**事務局員一同**

**若林繁吉**
二葉屋装備工業株式会社　社長
大阪市大淀区本庄川崎町2の6　電話(371)3321～3
自宅・京都市東山区清水2の232　電話(56)6283

**渡邊勇**
株式会社 間組　名古屋支店　建築部長
名古屋市中区錦2の4－16　電話052(201)7511
自宅・京都市中京区西ノ京御輿岡町10　電話075(84)8697


## 日本建築協会会告

### ◀ 会員の受章

このたび下記会員諸氏は、叙勲ならびに褒章を受けられました。こゝに　誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

秋の叙勲

| | | | |
|---|---|---|---|
| 勲三等 | 瑞宝章 | 伊藤政恵 | 氏（大鉄工業社長） |
| 〃 | 〃 | 後藤猛 | 氏（近畿車輛社長） |
| 勲四等 | 旭日小綬章 | 奥村太四郎 | 氏（奥村組社長） |
| 〃 | 瑞宝章 | 足立節治 | 氏（菱産スレート会長） |
| 〃 | 〃 | 内田昌吾 | 氏（永和工業社長） |
| 〃 | 〃 | 岡本茂樹 | 氏（岡本茂樹建築事務所長） |
| 〃 | 〃 | 新文夫 | 氏（関電興業社長） |
| 勲五等 | 双光旭日章 | 青盛繁男 | 氏（青盛建材社長） |
| 〃 | 瑞宝章 | 坂内幾三郎 | 氏（坂内建築設計事務所長） |
| 〃 | 〃 | 山田文次 | 氏（山田工業社長） |

褒章（科学技術庁関係）

| | | |
|---|---|---|
| 紫綬褒章 | 山田義行 | 氏（竹中工務店常務取締役） |
| 藍綬褒章 | 保園源三 | 氏（田島応用化工副社長） |
| 〃 | 菅要助 | 氏（東芝商事社長） |

### ◀ 寄贈品御礼

このたび近畿建築会館の内部改装を行なうに当り、下記のとおり各社よりご寄贈を受けました。

こゝに誌してご厚志に対し深く謝意を表します。

記

| | |
|---|---|
| 田島応用化工KK | 会館の床貼工事（材工共） |
| | 3階会議室の天井（〃） |
| 同光商事KK | 3階会議室の壁貼用ビニール・レザー |
| 神東塗料KK | 3階会議室の塗装工事（材工共） |
| 日本ドアーチェック製造KK | 3階会議室のドアーチェック |
| 永和工業KK | 3階会議室の蝶番 |

### ◀創立50周年記念事業資金受領報告

**その7（12月1日迄分）**

50周年記念事業資金を下記のとおり受領いたしました。厚くお礼申し上げます。

| | |
|---|---|
| （株）小笠原浜田建築事務所殿 | 5,000円 |
| 累計 | 5,835,000円 |

### ◀ 鉄骨構造設計講習会

（鋼構造設計規準案による設計例を主にして解説）

**日時**　43年2月9日（金）午前9時30分→5時（6時間30分）
**会場**　大阪科学技術センター8階・大ホール
（大阪市西区靱1，市バス靱公園前）
**定員**　500名（先着受付順で〆切ります）
**テキスト**　日本建築協会・発刊『**鉄骨のデザイン**』

**受講料**　3,000円（テキスト代を含む）
1,000円（テキスト持参者のみ）
**申込方法**　1月27日までに，申込書（氏名・勤務先を記載）と受講料を添えて事務局へ願います。受講券とテキストをお渡しします。
**講師**　（順不同・略敬称）
鷲尾健三（大阪大学），木田幸夫（大林組），宮川達郎（泉設計事務所）
長田正雄（大阪建築事務所），若林嘉津雄（日建設計）

**●創立50周年記念出版**
新らしい鋼構造設計規準案による『**鉄骨のデザイン**』
**＝実例と考え方＝**

●設計例はすべて新規準案により計算し部分的に現行規準と対照できるよう編集した。
**体裁**●B5判・8ポイント活字一段組・約400頁，表紙・特クロース上製本●**特価**（1月31日まで）**2,000円**・定価2,500円・送料250円

**【総目次】**
鉄骨構造の考え方
実例　平家建の倉庫・溶接構造の給油所・鋸屋根のある工場　クレーンのついた倉庫・2階建の工場内食堂・3階建の事務所・鋼管構造の工場・屋上独立鉄塔・軽量形鋼による工場
建築鉄骨の溶接設計・構造計算書について
設計資料・鋼構造設計規準案による断面算定表・外
特別資料・各種鉄骨材料一覧表とその解説

# 日本建築協会常設委員会・本年の抱負……

## 協会創立51年目の抱負

事業委員長　**政岡基次**

会誌を作っている編集委員会は別格として、数ある委員会の中で本事業委員会は、会員に最も密接につながる仕事をしている。それだけに、この委員会の活動は会勢に大きい影響を及ぼす。懇親会・若い会員の集い・展示会・講演映画会・各種説明会・見学会の6つの小委員会は、この重大な使命を瞬時も忘れてはならない。

小委員会の活動も、その時々によって緩かではあるが変化する。たとえば見学会を取り上げてみても、10年位前まではまだそれ程多くの現場もなく、いわば一寸したものでも珍しい時があった。それに比べて、最近は建築界全般のレベルが向上し、会員の望むところも高くなった。いきおい質のよい、高度なものを対象にしなければ無意味になってきた。他の小委員会も同様なことがある。

協会創立51年目の年頭に当っては、この点を新に見極め、諸先輩が果された輝かしい業績の上へ、一層の成果を積重ねて、会員各位のご期待に応えたいと思っている。

## 本年にやりたいこと

教育委員長　**橋本忠保**

本年特に力を入れてやりたいと思っている項目と要点を報告し、会員諸氏や建築関係の広い方々のご支援をお願いすることにしました。くれぐれも絶大なご指導を希望いたします。

1. 現場実務講習会……大阪のほか主要支部で開催
2. 左官工事講習会……主要支部や主要都市でも開催
3. 現場主任講習会……内容その他を検討実施
4. 設備講習会……建築技術者を対象にして、給排水衛生設備、空気調和設備講習会の企画
5. 建築の知識講習会……設備技術者を対象にして、建築の一般的な講習会
6. 鉄骨構造設計講習会……大阪のほか主要支部、都市で開催
7. 工高生デザインコンクール……応募のＰＲと作品の発表方法（日刊新聞やテレビ等社会に向ってのＰＲ問題検討）
8. 工高生施工教育……反応の把握等も含めて検討

以上のほか、本会出版物を教材にした新しい講習会、シンポジウム方式・パネルディスカッション方式、新建材の開発に伴う施工等の図書の作成などを考えています。

## 新春「住」談

住宅委員長　**岡橋作太郎**

1967年のわれわれの大きな話題の一つは、アビタ67でありました。経済的な面などから批判もありましたが、なんといっても新鮮な魅力に満ちていました。

同じモントリオール市の一角、ウエストマウントの住宅地はまた別の美しさを誇っていました。思い思いの好みの家々が花に包まれ芝生を従えて静まりかえっていました。スプリンクラーの水だけが陽に輝いてなにか歌っているようでした。しかしこれは大都市のぼう大な数の人々の「住」を賄う風景ではあり得ないようです。アビタ67のように空間の新しい処理によらないわけにはいかないでしょう。

猫の額のような敷地を切り売りするために山の緑を剝ぎとり、こまっちゃくれたモダン住宅に財布をはたき、満員の通勤電車を運転して赤字を出す、などということは愚の骨頂だということは「分っているけどやめられない」のでしょうか。

## 建材委員会の使命と抱負

建材委員長　**堀内三郎**

昨年4月、政岡前委員長のあとを受けて大役をお引受することになった私には、「建材の燃焼による煙と有害ガス」という、現在最も緊急を要する主題ではあるが困難な問題が待ち受けていた。幸い委員諸氏の熱心なご協力により、その一応のまとめを昭和43年2月号に発表することができるので、引続き「左官用セメント」について検討中で、近く本誌の技術の頁に発表される予定である。建材委員会は当協会の特色を生かした委員会の一つで、最近の急速な科学技術の発展に対応して日進月歩する建材の適正な使用方法などを会員諸氏にお知らせするとともに、使用者の側からの経験や検討を通じて、より良い建材の発達を促すという重要な使命を担っているものである。今後もこの方針に則り、広く会員諸氏のご意見を採り入れつつ、建材を通じて建築の進歩に微力を捧げたいと念願しているので、忌憚ないご意見を積極的にお寄せ下さるよう全会員のご協力をお願いする次第である。

## 出版委員会の希望

出版委員長　**石崎潑雄**

出版ということは建築協会の主要事業の一つであり、協会の発展のためにも今後ますます重要になってくるであろう。しかし協会がどのような書物を出すべきかは、きわめてむずかしい。出版社ではないから、さほど多くの書物を出すわけにはいかないし、数は少なくても会員にとって有益なもの、あるいは必要なものが出版されなくてはならない。したがって現在、どのような書物が要求されているかということを知るのが協会の出版事業の第一歩である。それについては一部の方々に聞いたりしているが、まだ不十分のように思う。会員の方で何か出版に関してご希望があれば、お手数ながら出版委員会宛、お申し越しいただけると幸である。新年にあたり誌上をかりて、特に会員の方へお願いしておきたい。

# ……日本建築協会常設委員会・本年の抱負

## 法規委員会

法規委員長　**佐野正一**

昨年は建設省に設けられた建築審議会がかなり活発な動きを示し建築関係法規について伏在している問題を摘出し検討を開始した。

政界でも各党が都市政策を競い、マスコミは都市の中と周辺部に多い違反建築やスプロールを話題にとりあげた。しかし具体的にどう立法化するかとなると建築界、官界それぞれの事情でなかなかまとまるところまで到達しないまま年を越してしまった。今年はぜひとも建築基準法、建築士法二法についてたとえ小規模にせよ改正が進められるべきである。本委員会としてもいささか努力を払いたいと念願している次第である。

「建築と社会」誌上に法令コーナーを設ける企画が昨年後半から実現したのはうれしい。これは椚座、竹口委員らの非常なご尽力によるものであるが、今後読者の反響を聴いた上で極力平易で充実したページにしたいと思う。

## 委員会・本年の抱負

建築データシート編集委員長　**中原茂**

建築データシート編集委員会は42年度から、新しく発足しました。本委員会の主たる目的は当協会50周年記念事業の一つとして企画された建築データシートの発刊を行なうことであり、協会会員のために、新しい角度より各種データとして編集された、カタログの集大成を実現させようと、この一年足らずの間全委員が非常な熱意をもって一丸となり、努力を続けてまいりました。

また編集に際しては、監修者・顧問のご指導を仰ぎ、各シート掲載会社からは、絶大なご賛同を得ることができて、ここにすべての力の結集がいよいよ皆様の前に姿を現わす日の近くなったことを、何よりも慶びたい気持であります。そして本年は、先ずこのデータシートが会員諸氏の手元に渡り、これを活用して頂くとともに、さらにご批判や希望の声を繁く頂いて、ますます委員会の活動に張り合いと、自信が加わって行くことを深く望んでおります。

## 創立50周年記念出版の建築データシート無料頒布と再び入会勧誘についてお願い

会勢委員長　**鷲尾健三**

本会は昨年3月30日を以て創立50周年を迎え、逐次有意義な記念事業を実行してまいりましたが、かねてより記念出版の一つとして建築実務にもっとも必要な建築資材、工法のデータシートを新しい構想と編集により刊行することとなり、委員会を設けて熱心に企画を進めて来ました。

漸くにして準備が整い、会誌「建築と社会」の附録として本年3月号から30シート宛毎月号に同封して、全会員に洩れなく無料頒布することにいたしました。

すなわち43年3月号から44年10月号に至る向う20か月計600シートを予定しておりますが、多少の追加あるいは改訂、増補もあることと思います。

これはまさしく我々建築技術者の待望久しき必携の書であり、本会々員はもとより広く我国建築界において絶賛を博するものと確信しております。

さきの創立50周年を期しての会員倍加運動について、各位の格別のご尽力を忝うし誠に有難くお礼を申し上げます。なお今般建築データーシートの発刊に当り、本年1月から3月までを期間として再び会員各位の入会勧誘運動を強力に展開し、期限内に新に本会に入会された方には、現会員同様データシートの無料頒布とともに、入会金を免除することにいたします。

また同じく記念出版として「鉄骨のデザイン(実例と考え方)」を担当編集委員会の非常な努力によって本年1月末発刊の運びにいたりました。

これは学会新規準案による鉄骨設計における絶好の実務書でありますので、この書物による「鉄骨構造設計講習会」を本年2月から大阪をはじめ各支部の所在地や全国の各都市において開催する予定でございます。

なにとぞ本会の意図をご賢察の上、この際多数ご入会にご協力下さいまして、本会発展にご寄与賜わりますよう伏してお願い申し上げます。

## 編集委員会の今年の道

編集委員長　**長谷川哲之助**

新年を迎えるにあたり、編集委員会としましては、協会と皆様を繋ぐ「建築と社会」のより充実した発展を心掛けております。皆様が会員となられた意義を感じていただけることを使命と深く心に念じております。

昨年度は、50周年を迎え社会における建築の立場について考えてみました。今年は、社会構成の変化にともなって、ますますその重要性を増してきた「都市」について色々の角度から取りあげてみたいと思います。その他、皆様と協会とを直接に結び付ける「読者の頁」報道性を計る「ニュース」の欄を設けております。皆様のご投稿により充分その目的を果したいと思います。さらに「技術の頁」その他のシリーズものの頁等皆様にとって魅力ある雑誌とすべく、会員皆様のご協力を得て、一層の努力をいたしたいと念じております。

なお、発行日についても事務局のご苦労により定日といたします。

創立50周年記念出版

# 建築データシートの発刊にあたって

およそ，建築業務に携わる技術者は設計・積算ならびに現場施工において，その材料や工法の選定にあたっては，各資材業者からのカタログを取り寄せて比較検討されるのが通例であります。また各資材メーカや販売商社は有効な宣伝広告を目的としてカタログを需要者の手元に配布することのために，相当の時間と経費を費しているのが実情であります。しかもそのカタログは千差万別，各社にとって都合のよい宣伝文句が多くならべられているが，使用者にとっては最も知りたい点が欠けていたり，信頼性の薄いデータが示されていたりすることがあります。建築技術者にとって，これらのカタログが統一された内容で，信頼度の高いデータシートがもし手近にあるとすれば，どれだけ仕事の能率を増進し，適材適所に使用することができて，その便利さは図り知れないものがありましょう。ここに日本建築協会においては創立50周年記念事業として建築データシート編集委員会を新設し，官公庁，設計事務所，建設業者，設備業者，資材業者など斯界の絶大なるご支援を得て，熱意ある30余名の委員が協力して今日まで何回となく審議を重ねた結果，ここに立派なデータシートの出版が実現することになり，「建築と社会」の附録としてようやく本年3月号より会員諸氏のもとにお送りする予定に到りました。特に本データシートの総監修者として京都大学名誉教授，日本建築総合試験所々長の坂静雄博士をお願いすることができましたことは，この建築データシートが一層の権威と信頼の度を高めることになりました。どうか建築データシートの発刊をご期待下さい。

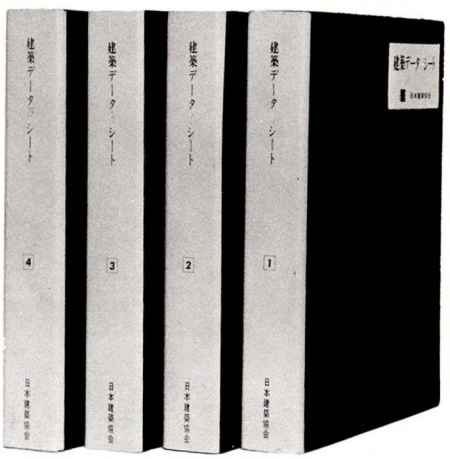
建築データシート編集委員会　委員長　**中原　茂**

## 建築データシート発行計画

1. 建築実務に携る，計画，意匠，構造，積算，現場施工，資材の各部門の技術者に，建築資材・工法の広く新しい知識と，適材・適所の選択に必要な資料を，工事別に分類・整理したデータシートを新しい編集により刊行する。
2. 第1回発行は，昭和43年3月を予定し，毎回，30シート（60頁）を「建築と社会」誌の附録として，会員には無料頒布する。発行目標としては20回（20ケ月）計600シート（1200頁）を予定している。
3. シートは特別上質紙を使用して，建築と社会誌と同形(257×364㎜)8P活字，横組2段となっている。
4. ファイルを特別に作成（写真版参照）し有料頒布（総目次，各工事別扉紙を添付）とする。

総　目　次

A．**仮設工事**　工事機械／型わく／型わく用合板／型わく用金物／はく り剤／仮設組立ハウス／鋼製足代
B．**土工事**　工事機械／山留材／覆工板
C．**基礎・地業工事**　既製鉄筋コンクリート杭／場所打コンクリート杭／鋼杭／地盤改良／無音無振動基礎工法
D．**コンクリート工事**　セメント／骨材／セメント混和剤／気泡コンクリート／ALC板／コンクリート製品／プレストレストコンクリート
E．**鉄筋工事**　異形鉄筋／ガス圧接／鉄筋スペーサーブロック／溶接金網／スチールリング
F．**鉄骨工事**　鋼板／一般形鋼／H形鋼／鋼管／軽量形鋼／デッキプレート／キーストンプレート／高力ボルト／溶接棒／P.C鋼棒／ワイヤー／レール／特殊鋼管／高張力鋼／プレハブ鉄骨／鉄骨構法／加工業者
G．**コンクリートブロック・煉瓦工事**　空胴コンクリートブロック／煉瓦
H．**防水・防湿工事**　アスファルト防水／塗膜防水／シート防水／防水剤／急結剤／撥水剤／止水板／ジョイント目地材／コーキング材
I．**屋根工事**　亜鉛鉄板／長尺屋根／瓦／スレート／波形合成樹脂板／ルーフドレン／雨どい／ベンチレータ
J．**石・タイル工事**　石工事／タイル工事
K．**木工事**　木材／銘木／集成材／フローリング／モルパ
L．**金属工事**　一般構造金物／一般附属金物／内・外装金物／特殊金物
M．**左官工事**　内装用／外装用／その他
N．**建具工事**　木製建具／鋼製建具／アルミ建具／ステンレス建具／シャッター／可動間仕切／オペレータ／自動扉／特殊扉／建具金物
O．**硝子工事**　硝子／有機硝子
P．**塗装工事**　一般用塗料／特殊塗料／吹付塗料／その他
Q．**内装工事**　床材／壁・天井材
R．**雑工事**　壁紙／クロス／敷物／たたみ／カーテン／ブラインド／金庫／家具／ステンレス流し／保全美装／チョークボード／放射線防護／接着剤／その他
S．**外部工事**　造園／運動場／遊戯施設／運動具／囲障／道路／噴水／ハンザーマスト・ポール
T．**電気工事**　受変電機器／予備発電機／蓄電池／充電器／配分電盤／操作盤／照明器具／舞台照明／拡声装置／電気時計／電話設備／表示器／インタホーン／火災警報／盗難防災警報／自動車管制／テレビ共同聴視／避雷針／ネオン／換気扇




U．**給排水衛生工事**　水槽／洗濯装置／ポンプ／温水ボイラー／湯沸器／太陽熱温水器／浴槽／ユニット便槽／浄化槽／サク泉／消火装置／マンホール類／トラップ類／厨房器具／衛生器具
V．**暖冷房工事**　大型冷凍機／冷却塔／ボイラー／放熱器／送風機／空気清浄機／ハンドリングユニット／ファンコイルユニット／パッケージ型空調機／ファーネス式暖房機
W．**機械設備**　エレベータ・ダムウェータ／エスカレータ／動く歩道／機械式駐車場設備／舞台設備／屋内コンベヤ／エアカーテン／ゴンドラ／エアシュータ／塵芥処理設備
X．**特殊工事**　断熱材料／防音・防振材料／プレハブ／ドラフトチャンバー／模型／製図用具／青写真／調査測量／防露釘／土質調査／テント／プール／浴場および備品／ムーブネット／ユニットバスセット／建築写真

### 建築データシート編集委員会

（50音順，略敬称）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 監修 | 坂　静雄（日本建築総合試験所長） | 委員 | 喜多　聖泰（大日本土木） |
| 顧問 | 塙井　敏克（新工務所） | 〃 | 木村　武雄（木村機械技術士事務所） |
| 〃 | 岡本　弘（浅沼組） | 〃 | 近藤　護（団建築事務所） |
| 委員長 | 中原　茂（安宅エンジニヤリング） | 〃 | 酒井　蔚津（大阪建築事務所） |
| 副委員長 | 松村志津男（大阪建築事務所） | 〃 | 正法院陽三（日本建築総合試験所） |
| 幹事 | 池田　博（日本住宅公団） | 〃 | 田中　隆（竹中工務店） |
| 〃 | 伊藤　幸一（清水建設） | 〃 | 種村　恒夫（大成建設） |
| 〃 | 樫原　章雄（鴻池組） | 〃 | 堤　兼雄（大林組） |
| 〃 | 木村　博己（大阪郵政局） | 〃 | 中村　昭二（近畿地方建設局） |
| 〃 | 篠崎　一郎（浅沼組） | 〃 | 西谷　清（藤田組） |
| 〃 | 西川幸之輔（大阪市建築局） | 〃 | 橋本　正章（田中・小西建築事務所） |
| 〃 | 宮武　三郎（日建設計工務） | 〃 | 浜田　文和（西原衛生工業所） |
| 委員 | 上野　豊（近畿電通局） | 〃 | 真塚　達夫（東畑建築事務所） |
| 〃 | 小川　博三（竹内建築事務所） | 〃 | 山田　義信（日本住宅公団） |
| 〃 | 岡田　圭司（大阪電気暖房） | 〃 | 吉岡源次郎（高砂熱学） |
| 〃 | 金子　敏男（鹿島建設） | 〃 | 渡辺　英秋（不二建設） |



《中西ビル》 外装 セルコートA吹付

# 壁材の《光和建材》が化学製品のトップメーカー**ダイセル**との技術提携のもとに研究開発した天然砕石吹付材料

# セルコートA

**現場での調合がいりません。**

**セルコートAは**、天然砕石と特殊な合成樹脂(バインダー)を配合した「外装用吹付仕上材料」です。調合ずみの材料ですから、施工現場での調合作業がまったく必要なく、すぐに作業にかかれます。

**各種の材料に適用できます。**

**セルコートA**に配合した特殊な合成樹脂は、非常にすぐれた付着力をもっていますから、コンクリート、モルタル、石膏プラスター、ドロマイトプラスター、スレート、木材、合板、耐火ボードなど、各種の材質に塗装できます。

**施工時間が短縮でき、経済的です。**

従来、外装仕上げとしては、〝かき落とし〟や〝洗い出し〟などの施工方法がありますが、これらの方法は仕上げに長時間かかる欠点がありました。**セルコートA**は調合材料なので、現場ですぐに使用でき、そのうえ吹付け塗装ですから、施工時間が短かくてすみます。さらに、付着性のよい材料の吹付けですから、〝かき落とし〟や〝洗い出し〟にくらべて、材料が少量ですみます。

**仕上りの美しさも研究成果の一つです**

**セルコートA**を施工した仕上りは、天然石材、タイルなどを使用した壁面にくらべて、まさるとも劣らない、立体感のある効果が得られ、各方面で大好評をいただいています。

**商品の容量と塗り面積は…**

- **容量**…1缶18ℓ　石油缶入り
- **塗り面積**…1缶で10m²(約3坪)の吹付けができます。塗り面積は、配合された砕石により多少の差はありますが、2回吹付けで3.3m²(約1坪)に約10kgいります。

＊お問合わせ・ご用命をお待ちしています

**大阪　光和建材株式会社**

大阪市西成区玉出新町通4の15　(659)5101～5103

《光和建材》がおすすめする…
**新しい吹付・左官工事材料**

| | |
|---|---|
| 砕石コテ塗用樹脂…… | **セルコートK** |
| 樹　脂　壁…… | **セルウォール** |
| 防水工事用樹脂…… | **セルタイト** |
| モルタル打ちつぎ用樹脂… | **プラスタイト** |
| 樹脂吹付塗装材…… | **プラスコート** |

《**ダイセル**》との技術提携品

# 法令コーナー

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております。

## ◇ 建築基準法施行令の一部改正について

道路法施行令の一部改正（昭和42年10月26日公布，政令第335号）の際，その附則で，建築基準法施行令第145条（道路内に建築することができる建築物）の規定が次の如く改正されています。（改正個所は～～で示しておきます）

令第145条

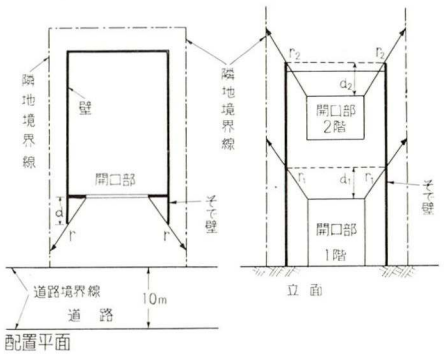
法第44条第1項ただし書の規定により政令で定める建築物は，道路（建築物の高さの最低限度が定められている高度地区内の自動車のみの交通の用に供するものを除く。）の上空に設けられる渡り廊下その他の通行または運搬の用途に供する建築物で，次の各号の一に該当するものであり，かつ，主要構造部が耐火構造でありまたは不燃材料で造られている建築物に設けられるもの，建築物の高さの最低限度が定められている高度地区内の自動車のみの交通の用に供する道路の上空に設けられる建築物および高架の道路の路面下に設けられる建築物および自動車のみの交通の用に供する道路に設けられる建築物である休憩所，給油所および自動車修理所（建築物の高さの最低限度が定められている高度地区内の自動車のみの交通の用に供する道路の上空に設けられるものおよび高架道路の路面下に設けられるものを除く）とする。(以下略)

2　前項の建築物のうち道路の上空に設けられるものの構造は，次の各号に定めるところによらなければならない。（以下略）

## ◇ 法令相談

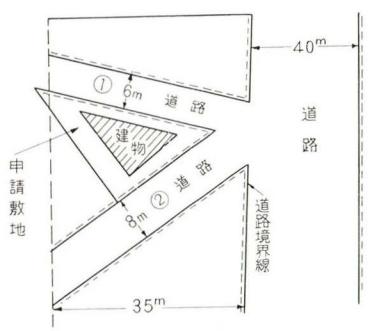
**問（1）延焼の恐れある部分の開口部（出入口窓）を乙種防火戸としなければならない場合に袖壁をつけることがあるが，意匠的に扱って斜めの袖壁としたとき，袖壁の出の寸法はどの部分を考えるか？**

答　御質問のそで壁は令第109条(防火戸その他の防火設備)第2項の「隣地境界線等から当該開口部をさえぎる耐火構造または防火構造の外壁そで壁，へいその他これらに類するもの」をさしておられると考えますが，隣地境界線から1階にあっては3m以下，2階にあっては5m以下の距離にある建築物の開口部をさえぎるそで壁でありますから，その寸法は配置によって決定されるものでありまして，そで壁のどの部分の寸法ということは簡単にいえないと思います。（次図参照）




（註）　r　＝1階で3m・2階以上で5m
$r_2$＝5m
$r_1$＝3m
d……そで壁の必要寸法（平面）
$d_1, d_2$……そで壁の必要寸法（立面）

**問（2）次の配置図のとき，①の部分は40m巾があるとして法第58条の適用ができるか？**




答　申請敷地は40m巾の道路に接していないので，①の部分に40m巾道路があると見なして道路巾の高さを考えることはできません。

**問（3）大阪市における容積地区指定の見通し如何？**

答　将来指定されることは確かのようですが，その時期はわかりません。

**問（4）1棟の解釈について**

答　使用も構造耐力も，防火，避難もあきらかに別の建築物とみられるものをいうと考えます。木造，耐火構造，木造とサンドイッチ式になった建築物が法第27条の耐火建築物規定上別棟扱いされる例規があります（昭和26.3.6付住防発14号各都道府県建築主務部長あて）。詳細は例規を参照して下さい。この場合他の規定についても別棟扱いされることにご注意下さい。

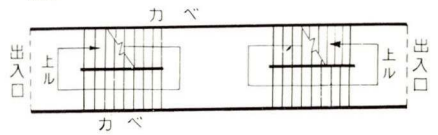
**問（5）延べ面積1,000m²をこえる耐火構造の建築物にも法第26条の防火壁設置義務があると思うが如何？**

答　当然適用があります。延べ面積が1,500m²をこえるときは更に防火区画を設置する義務が生じます（令第112条第1項参照）。

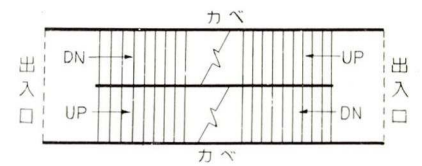
**問（6）2ケ所以上の階段を自動閉鎖の甲種防火戸で区画した場合，2ケ所の階段として適法か？**

答　図がないので解りませんが，図①のような階段は，直通階段としては1ケ所になります。図②のものは2ケ所の直通階段となります。

図①



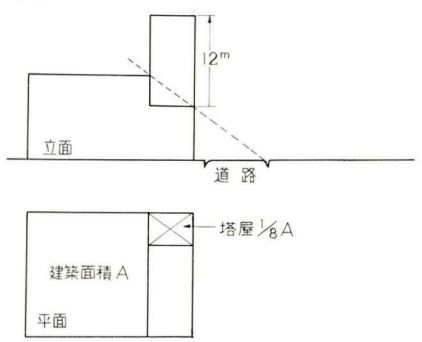

図②




**問（7）前面道路に勾配のある場合の法第57条第58条の高さの算定如何？**

答　法第57条（高さの限度）と第58条（道路巾員と建築物の高さとの関係）の高さの算定は，令第2条第1項第5号イにより前面道路の路面の中心からの高さによるとあります。前面道路に勾配のあるときは，その道路の路面の中心の各点から高さを検討する必要がありますので，一番路面の低い処から高さを検討することになります。少くとも法第57条については，前記の結論になります。法第58条については敷地が道路面より1m以上高いときは，その高低差から1mを減じたものの½だけ道路面が高いとみなすとあります（令第135条の4第1項第2号）。各府県によって前記の如く1m以上高低差のあるとき路面の高さを別に定めている処がありますが，大阪府および大阪市においては，その規定を設けておりません。他府県のものは紙面の都合で省略させて頂きます。

**問（8）法第58条（道路巾と高さ）の高さに算入しない塔屋について次図のものが含まれるか。**




答　令第2条第1項第5号ロの塔屋として本図の如き形のものは含まれると考えます。

## ◇ あとがき

今月は，若干の御質問がありましたので，それをもとにして，法令相談をかきました。ご質問の内容について，回答し易いように多少改めておりますので，ご了解を頂きたくお願い申上げます。

（大阪市建築局　竹口信夫）



# 日進式ボード下地天井
# 日進式遮音パーティション

軽量・強度・耐火・耐震・遮音・合理的施工法

天井・間仕切・アルミニウムのことなら 何でも ご相談下さい


## 株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60　電話大　阪 (364)4131
福岡市住吉松月町293　電話福　岡 (29)0459
東京都太田区南馬込4－1－18　電話東　京 (772)7856
名古屋市中村区志摩町4の7　電話名古屋 (551)3013

# 読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には粗品進呈いたします。

## □ S君の就職で感じたこと □

昨年の3月に卒業したS君の就職に相談をうけた。S君の希望は都市の再開発や機能的な面ですでに耐用年限となっている建物を取りこわしたり撤去する仕事を希望していた。そこでこの仕事の技術の面を考えてみると何もないことに気づいた。鉄筋コンクリート造などの建物では，ただ重力の法則に従いハンマーなどでたたきこわす方法以外にはないようである。先日もテレビジョンでアメリカにおける建物の取こわしの作業を見たが，やはり同状で，自動車に大きな錘をぶら下げて建物にぶつけて取こわしているのを見た。アメリカのようにプレファブリケーションによる建材を広く用いられている国でも，このような技術しかないのではと考えさせられた。

建物を撤去したり取こわしたりする場合の技術を考えてみると，建物を設計したり工事をする際に考えていなくてはならない。最近 Tilt up 工法がなされているが，この工法は各部材をモデュールに合せて，床やカベなどをプレファブ材として工場生産されたものである。現場ではただ組立るということを行なえばよい。このような工法ではある程度技術的に解体や取こわしが可能なのではないだろうか。床やカベのコネクションの部分を取外せば簡単に解体ができそうである。鉄骨構造の建物も部材（はり，はしら）のコネクションにリベットに代って，high tension bolt を使用している場合は，トルクレンチを使ってネジをゆるめて外せばよいということになる。

このようなことを考えていると，撤去取こわしの技術も案外可能であるかも知れない。これから建物も機能的な面からの耐用年数がどんどん短くなってくるので，いずれ建物も耐久消費材化するのではないだろうかと考えられる。こうなれば20年位に一度建物を建直さなくてはならないことになるだろう。そうなれば益々耐用年限が短くなり建物の撤去取こわしの仕事が多くなるため，撤去取こわしの技術の要求が高まるだろう。

これからの建物は設計や施工をする際に，撤去取こわしの技術とその方法を最初から考慮した建物を考えなくてはならないことを，S君の相談から痛切に感じた。

S君は結局このような業界への就職はあきらめて，最初の希望であった取こわしとは全く逆になったが，建設業の方に進んでしまった。

1967年12月5日

（大阪工業大学高等学校教諭　脇本　啓一）

## □ 日本ディスプレイ・プロデューサー協議会創立 □

最近，情報伝達の分野の認識が高まって，ディスプレイの分野でも新らしい創造理念の追求をせざるをえない段階になっている。とくに，1970年の日本万博をひかえて，そのプラニングからプロダクトの中枢的役割をになうディスプレイプロデューサーの任務が重要視されている。このときにあたり，今回，浜口隆一氏を委員長とする「日本ディスプレイ・プロデューサー協議会」（ＤＰＡ）が結成され，その創立記念の会が去る昭和42年12月6日，大阪輸出繊維会館で開催され，「ディスプレイへの理論的アプローチ」などのテーマで，加藤秀俊氏，坪居恭平氏，松田逸郎氏その他のエキスパートを交えての座談会や講演会があり，その後記念パーティが開催された。

## □ 訪欧「'68ヨーロッパの新製品と新技術」調査団について □

日本能率協会（東京都港区芝公園25号地協立ビル電 03-434-6211）では標記調査団を編成して4月11日～5月6日にわたって視察する計画をもっている。参加費用59万8千円。申込期日は43年2月末の由。

## □明治建築土木史年表・関西篇（その12）（明治11年7月28日～8月3日）□

明治
11年7月28日　明治天皇北陸御巡幸のお供に写真師内田九一の門弟長谷川吉次郎が行く筈だったが病気のため辞退し，同門の飯岡仙之助が代って行くことになった。この内田九一は慶応2年頃長崎から上阪して石町に写真館を開いた小曽根正雄の下で，技師長をしていた人物である。当時鴻池の手代をしていた後年（明治28年より大正6年まで）の大阪商工会議所会頭土居通夫は，このころ暫らく小曽根写真館に写真師見習として入り，内田九一から直接教えを受けたことがある。土居は後に上京したときに，多忙な中からわざわざ時間を割いて，浅草の写真館に内田を訪ねている位である。

〃　〃　〃　加州金沢にも吉田一良という写真師が開業中。春3月頃，後に大久保利通内務卿を暗殺した島田一郎がここで写真を撮って行ったときの種板があるので，ブロマイドのように焼増して市販したところ，よく売れているという。

〃　〃　31日　内務省7等属柏木某。古器宝物取調べのため神奈川より静岡県下に出張す。

〃　8月3日　伊予宇和島の近況記事。毎年7月17，18両日の和霊神社の大祭当日には，「京坂中国九州筋よりも参詣おびただしく」四国各地の人も多く船でやって来るので，樺崎，灘，葦原，川口，神田川の各港口は船が輻輳し，神社の前の須賀川の大橋から下流は，16日の夕方から立錐の余地もなく，讃岐の金刀比羅宮に次ぐほどの賑はひだとある。流石に昨年は西南戦争中で寂寞としていたが，今年は「土佐，九州より参詣の船が15日の朝より押かけ」「旅篭屋，割烹店，劇場，寄場（寄席）などの繁昌は近来の不景気を埋合せし。」とある。（東京都北区神谷2／22／13　須藤　欣二）



故 藤木正一氏

明治24年1月11日生。昭和42年10月23日死亡。本籍地大阪府豊中市本町5丁目140番地。現住所大阪府豊中市本町5丁目140番地

明治43年3月徳島県立工業学校建築科卒業。明治43年4月大阪市山本鑑之進建築工務店入社。大正9年11月店主山本鑑之進氏病気の為業界引退に伴いその事業を引継ぎ藤木工務店創業。昭和11年12月株式会社藤木工務店に改組し取締役社長に就任。昭和17年9月大阪土木建築工業組合副理事長に就任以来，没年までに大阪土木建築業協会理事，（大阪建築協会と改称），日本建築協会理事，大阪商工会議所議員，全国建設業協会理事，大阪工業会理事，西日本建設業保証株式会社中央審査会委員，日本建築協会の評議員，会勢委員長，名誉正会員などの役職に就任。昭和32年5月建設関係功労者として大阪府知事の表彰を受く。同7月建設大臣の表彰を受く。昭和33年12月黄綬褒章受賞。自昭和37年2月至昭和42年10月大阪建設業協会顧問就任。昭和40年11月勲五等双光旭日章受賞。昭和41年8月紺綬褒章受賞。昭和42年10月正六位に叙せらる。

## 藤木君の死を悼む

彼と私とは，生れたときこそは違っておりましたが，工業学校にはいってから今日まで，ほとんど全くおなじ道を歩いて来たわけで，ふりかえってみるまでもなく，60年の長丁場であって，始めの1ミリの差は，彼我の晩年には，片や横綱格，こなた十両の何枚目という次第で，感慨無量のものがあるのであります。

そこのところの原因は天禀と努力との二点につきると断言できるのであります。すなわち学校では常に首席で級長で授業料はいつも免除という具合で，とんと比較の対象にはならなかったが，学校を出てからの勉強と努力とは真に頭の下ることばかりで，私どもはただただ彼のあとを走るだけが，精一杯という有様でありました。晩年には黄綬褒章，勲五等双光旭日章など受賞の慶びがつづいて，物心双方に充実した生活を送り迎えて，公的にも私的にも恵まれた日々であったのに，10月23日という悪い日を迎えねばならなかったのであります。ご家族はもちろん社員の方々，関係のあった私ども，内容こそ異ってはいたろうが，皆々深い哀しみを悼み，在りし日の彼の明晰なる頭脳，豁達な度量，秀れた経営的手腕，殊に，美術工芸に対する優れた審美眼のあったことなどを，ただ偲ぶ許りでまことに名残りはいつまでも尽きません。

（栗本建設取締役技師長　滝　邦一）



東京神田・小学館ビル

ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

# エルミン窓

## ビルが変れば窓も変ります

ビルが高層化・マンモス化するにつれて、その窓も変ります。大きなビルの窓には、気密性・遮蔽性・清掃の安易さ・熱損失の多少・採光性能など、あらゆる面から検討され、すぐれたものが要求されます。さらにビルの顔ともいえる窓には、ビルの外装を生かす美しさも忘れることはできません。スイスで生まれたエルミン窓が各方面で話題になり、注目を集めているのも、こういうビルのマンモス化時代に窓の性能が再検討された結果にほかなりません。

### ◆エルミン窓は ブラインド内蔵・回転式アルミ二重窓です

二重構造と内蔵ブラインド、すぐれた断熱構造及び高い気密性が、抜群の遮蔽性を発揮します。騒音・外気は室内にオフリミット。冷暖房効果もたかめます。外光調整も思いのままです。またエルミン窓は横軸180度回転式ですから、ロックをはずし障子部分を回転させることにより、高層窓の外面も手がるに清掃できます。ブラインドにも埃りがつきません。このように数々の特色を持つエルミン窓は、ホテル病院・学校・寒冷地の住宅など各方面で、時代の要求にこたえた新しい窓としてご好評いただいております。



標準換気位置（約15度回転）

### ◆エルミン窓には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少い
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します
エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

**日本エルミンサッシ株式会社**

本　社 東京都中央区日本橋江戸橋3−7（第2三木ビル）電(272)1841代表
営業所 大阪市西区京町堀１－１２５（東洋ビル）電(441)1979直通

**住友軽金属工業株式会社**

# 建築と社会
# ニュース

ニュース原稿をお送りください。

## ■「名鉄バスターミナルビル」竣工

名古屋市近郊における郊外バスの輸送力増強と，名古屋駅前付近における交通緩和をはかるため，さる39年8月から建設工事を進めてきた名鉄バスターミナルビルは，高層部のホテル部門を含めて10月26日，全館竣工した（下記写真）。総工費86億円を投じて建設した同ビルは，中部圏における郊外バスの中枢センターとしての機能から百貨店形式の名店街，オフィス，ホテル部門を収容した多目的ビルである。1日，3,200台の郊外バスの発着をさばく，バスセンター施設は3階に設けられ，ここへのアプローチは，延長430mの誘導車路が，ゆるい傾斜と曲線を描いている。東洋一を誇るバスターミナルビルの，今後の大きな役割が期待される。概要は次のとおりである。

▷建　設　地＝名古屋市中村区笹島町1の223
▷施　　主＝名古屋鉄道株式会社
▷設計指導＝谷口吉郎研究室
▷管　　理＝名鉄不動産株式会社
▷設計監理＝日建設計工務株式会社
▷施　　工＝建築土木工事・鹿島建設、清水建設、大成建設、竹中工務店、間組。設備総合・伊藤忠商事
▷工　　期＝着工昭和39年8月、完成昭和42年5月末（10階まで）昭和42年10月末（11～20階）
▷本　　館＝①構造鉄骨鉄筋コンクリート造1部鉄骨造 ②階数地下2階、地上20階③軒高64.15メートル④最高部72.00メートル⑤建築面積9,384平方メートル⑥延べ床面積86,217平方メートル
▷昇降設備＝エレベーター15基、エスカレーター25基



## ■ 村野藤吾氏文化勲章受章お祝いの会

さきに文化勲章を受章された村野藤吾氏のお祝いの会が，建築6団体有志によって，去る11月28日午後2時より輸出繊維会館で盛大に行なわれた。来会者は115名で，定刻より佐野正一氏の司会で進められ，森忠一氏の開会の挨拶，東畑謙三氏のお祝いの挨拶，小河吉之助氏より記念品の贈呈があり，松村雄吉氏の音頭で乾杯のあと，村野藤吾氏の謝辞があって盛会裡に3時半散会した。

左から二人目が，よろこびの村野藤吾氏



## ■ 日本建築総合試験所竣工

かねて千里山に建設中の日本建築総合試験所はこの程竣工し，さる12月1日関係者300余名が出席し，盛大な開所式がとり行なわれた。式は東畑副理事長の式辞，錦田副所長の経過報告日建設計工務並びに大林組に感謝状の贈呈，続いて建設大臣，大阪府知事，大阪市長，大阪府会議長，大阪商工会議所会頭，建築6団体代表よりそれぞれ祝辞があり，坂所長の謝辞があり閉式，引続いて所内見学後，祝賀パーティが開かれ，盛会裡に午後4時半散会した。

## ■ 1967年京都科学シンポジウム

さる12月2日と3日にわたって，同志社大学新町校舎において，昨年1昨年に引きつづいて，「科学の破壊，腐朽と闘い，われわれの科学をいかに創造するか」を全体テーマとした京都科学シンポジウムが開かれた。第1部の「自然と生活の破壊に抗して」のテーマの部では，「都市化による災厄の予測―京都市の交通問題」「新宮津火力発電所公害調査報告」「住宅とともに国土を守る」の三つの報告が行なわれ，つづいて第2部の「帝国主義の侵略と日本の科学者」の部では「東南アジアの農業開発と農学研究者，アメリカ帝国主義と中東問題」の報告が行なわれた。第二日目には第3部の「自国に根をおろした科学の創造のために」と，第4部の「民主的で民族的な科学運動の発展のために」というテーマで，植物地理学，素粒子問題，中高校の教科書問題，産学協同，地質学問題，考古学のそれぞれの立場から報告と討論が行なわれた。特別報告として，ベトナム戦犯調査委員会よりベトナムでのアメリカの残虐兵器のスライド映画があり，そのあと，総括討論してコミュニケを採択した。

## ■ キャンバスを使用したテンション構造構築物設計競技の入選発表

標記コンペは，10月31日に〆切り，応募総数92点を数えた。11月14日，東京・赤坂プリンスホテルで審査員出席のもとに審査した結果，つぎのように当選がきまった。

最優秀作　北村　定（戸田建設機設計部）ほか7名共同作品
入選作①　森　英治（大林組建築本部設計部）ほか2名共同作品
〃　②　石井一夫（横浜国立大学）ほか1名共同作品
〃　③　青野　紘（早稲田大学大学院）ほか2名共同作品
佳　作　磯辺行久（画家在ニューヨーク）ほか1名共同作品
〃　佐々木治行（大成建設設計部）ほか1名共同作品
〃　高橋　勇（松田平田坂本設計事務所）
〃　田坂皓司（鹿博報堂SP局企画室）ほか1名共同作品
〃　中山　実（佐藤工業KK）ほか1名共同作品

## ■ 防水技術と接着技術の二書出版

日本建築学会近畿支部では，今般「建築施工における防水技術」（300円）と，「建築施工における接着技術」（450円）をつくって，希望者に頒布している。いずれも一流専門家による執筆で，施工畑の技術者に好適の本。

希望者は，大阪市西区靱1―118，の日本建築学会近畿支部（電大阪443―0538）へ申込みのこと。

# すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

# シポレックス



旭硝子(株)尼崎独身寮

設計　シポレックス販売株式会社
　　大阪支店一級建築士事務所

施工　株式会社柄谷工務店

使用場所　屋根・床・間仕切・壁

**軽　　量**（比重 0.5コンクリート1/4の重量）

**断　　熱**（コンクリートの１０倍の断熱性）

**耐　　火**（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物

2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等

3　鉄骨大張間の工場・体育館等

4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物

5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

**シポレックス販売株式会社**

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



## 289. 橘女子学園女子大学(第1期)

設計：まおたに建築設計事務所
施工：K　K　浅　沼　組
a．京都市東山区山科大字岩屋山田34
b．3,398.25m²
c．7,923　m²
d．RC，5棟，2～4F，C・B造1棟1F
e．昭和41年6月～昭和42年6月



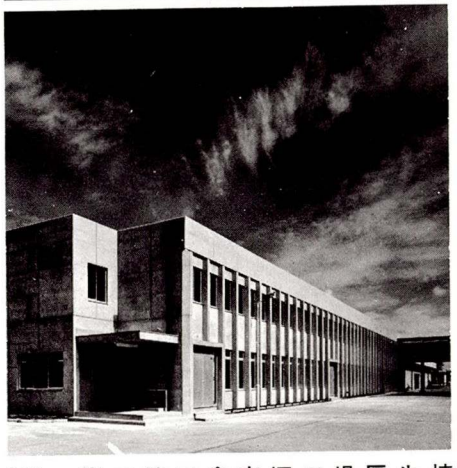
## 290. 帝国学園滝井校新館

設計：共　同　設　計　K　K
施工：K　K　新　工　務　所
a．大阪府守口市馬場町2丁目
b．780m²
c．3,005m²
d．RC，4F
e．昭和41年10月～昭和42年3月



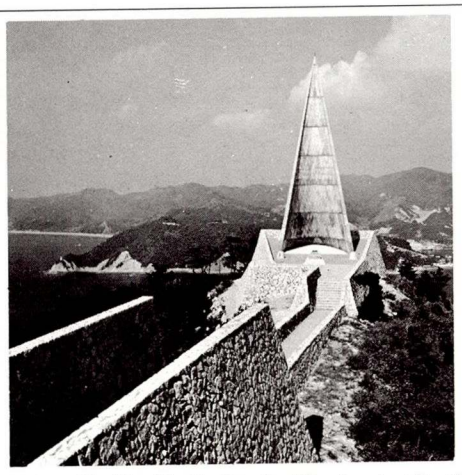
## 291. 大阪府立大学農学部第二期農芸化学科実験室研究室(増築)

設計：日建設計工務K K
施工：K　K　浅　沼　組
a．堺市百舌鳥梅町4～804
b．1,649.62m²
c．6.272.10m²
d．RC，4F，P付
e．昭和41年9月～昭和42年7月



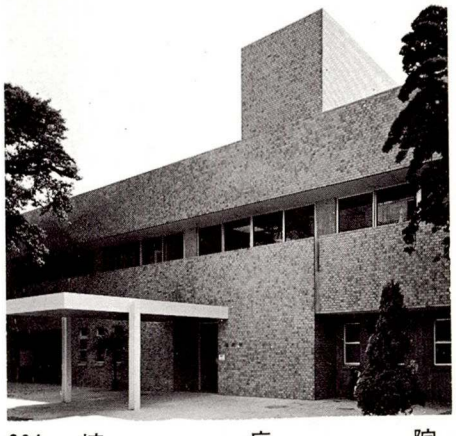
## 292. 第二精工舎高塚工場厚生棟

設計施工：K K竹中工務店
a．千葉県松戸市高塚新田563
b．2,435.1m²
c．4,906.7m²
d．RC，2F
e．昭和42年2月～昭和42年8月



## 293. 戦没学徒記念若人之広場

設計：丹下健三十都市・建築設計研究所
施工：K　K　大　林　組
a．兵庫県三原郡南淡町阿万大見山山上
b．記念塔：RC，高さ25m
c．付属建物：RC，B1，1F，一部中2階，延1,274m²
e．昭和40年12月～昭和42年9月



## 294. 楠　病　院

設計施工：K K竹中工務店
a．久留米市日吉町3～115
b．358.1m²
c．739.2m²
d．RC，2F，P1
e．昭和42年1月～昭和42年6月



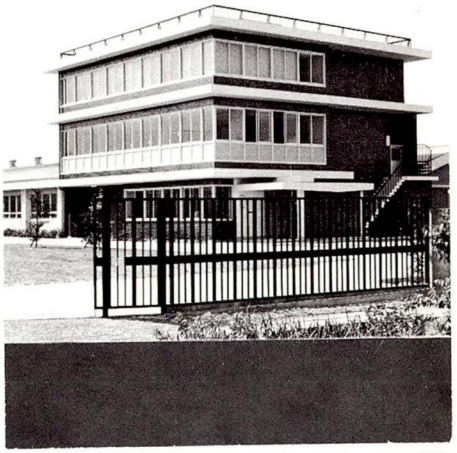
## 295. 旭化成摂津グランド(第2期)クラブハウス

設計施工：大日本土木K K
a．茨木市大字大田の内上野304番地外
b．275.44m²
c．275.44m²
d．S造
e．昭和42年6月～昭和42年9月



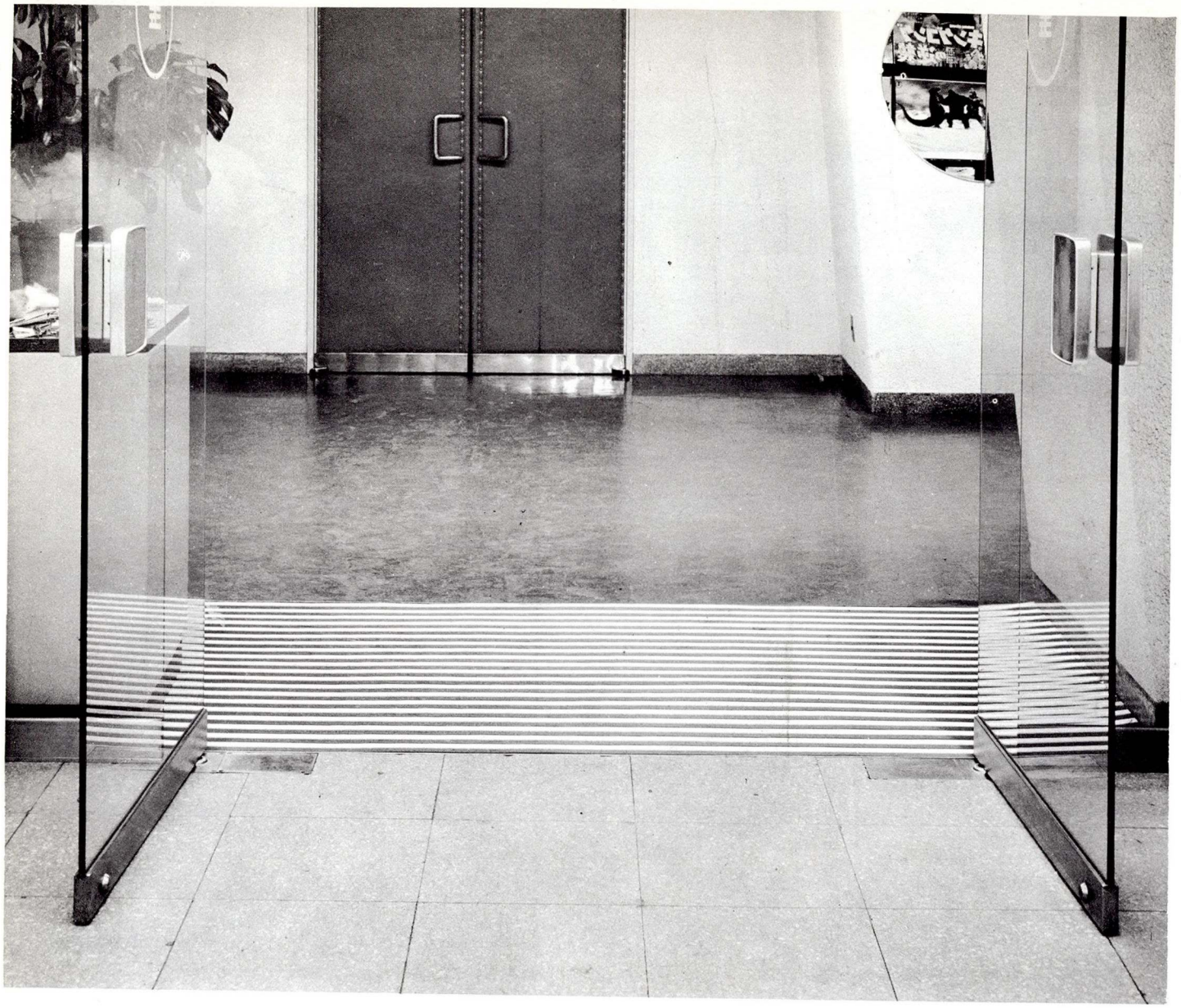
## 296. 出雲ボーリングセンター

設計施工：K K竹中工務店
a．出雲市渡橋町40～1
b．1,269.5m²
c．1,269.5m²
d．S，1F
e．昭和42年4月～昭和42年9月



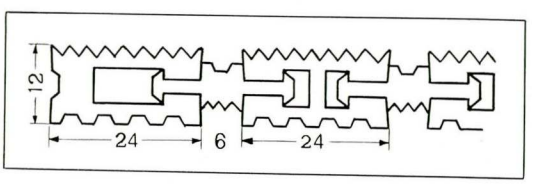
## 297. ㈱　花房商店　事務所および工場

設計：松浦構造設計事務所
施工：豊　国　建　設　K　K
a．加古川市神野西条
b．2,377.m²(工場2,247事務所130)
c．2,930.m²(〃2,247〃683)
d．R.C.3F(事務所)，1F(工場，小屋鋼管造)
e．昭和41年4月～昭和42年5月





- 良質塩化ビニール製で大変丈夫
- 靴底の土砂を良く取り除く鋭い山が魅力
- ダイナミックな直線と美しい色彩で玄関を飾る




ヤマザキ

コンドル

# ワンラインマット

実用新案・意匠登録済

玄関用マット設計施工

**山崎産業株式会社**

大阪市浪速区逢阪町3の8　TEL 633—1251
工　場／伊丹市北村正蓮畑382　TEL 72—0991
東京店／東京都港区芝西久保八幡町16　TEL 432—3821
名古屋店／名古屋市中村区白子町4の20　TEL 481—2422
広島店／広島市横川新町2番1号　TEL 32—0581
福岡店／福岡市天神3丁4～11　TEL 76—4348



（大阪ガスビルにて）



（小田島邸にて）

# クラスメート

**32**〔東大・大正11年卒〕

写真上・左より　（敬称略）
**西澤　藤生**　（ＫＫ大林組顧問）
**岡本　茂樹**　（岡本一級建築士事務所長）
**石川純一郎**　（石川純一郎建築事務所）
写真下
**小田島兵吉**　（ＫＫ大林組顧問）

大正11年東大卒業後50年に近く、ほとんど古稀の齢だが元気、20名のクラスメートも９名が生存している。５名は東京、４名は大阪近くに在住している。大阪４人は卒業年に因み11会と名付けて、毎月11日に顔を揃えて健康を祝し合っている。

**石川**　竹中工務店在職中は設計に秀でた腕で多数の傑作を残したが、現在設計事務所を経営。多量製作などに催促せず芸術一図に専念している。芸術趣味に徹し、陶芸では自作もかなりできているらしい。酒は楽しんで飲む。

**小田島**　大林組では設計で一貫し、傑作も多数。現在顧問として陰で活躍。読書に趣味あり、蒐集も多いようだ。昔ながらの真面目一方で、ビールは一杯位、酒は全然飲まないのが困ったものである。

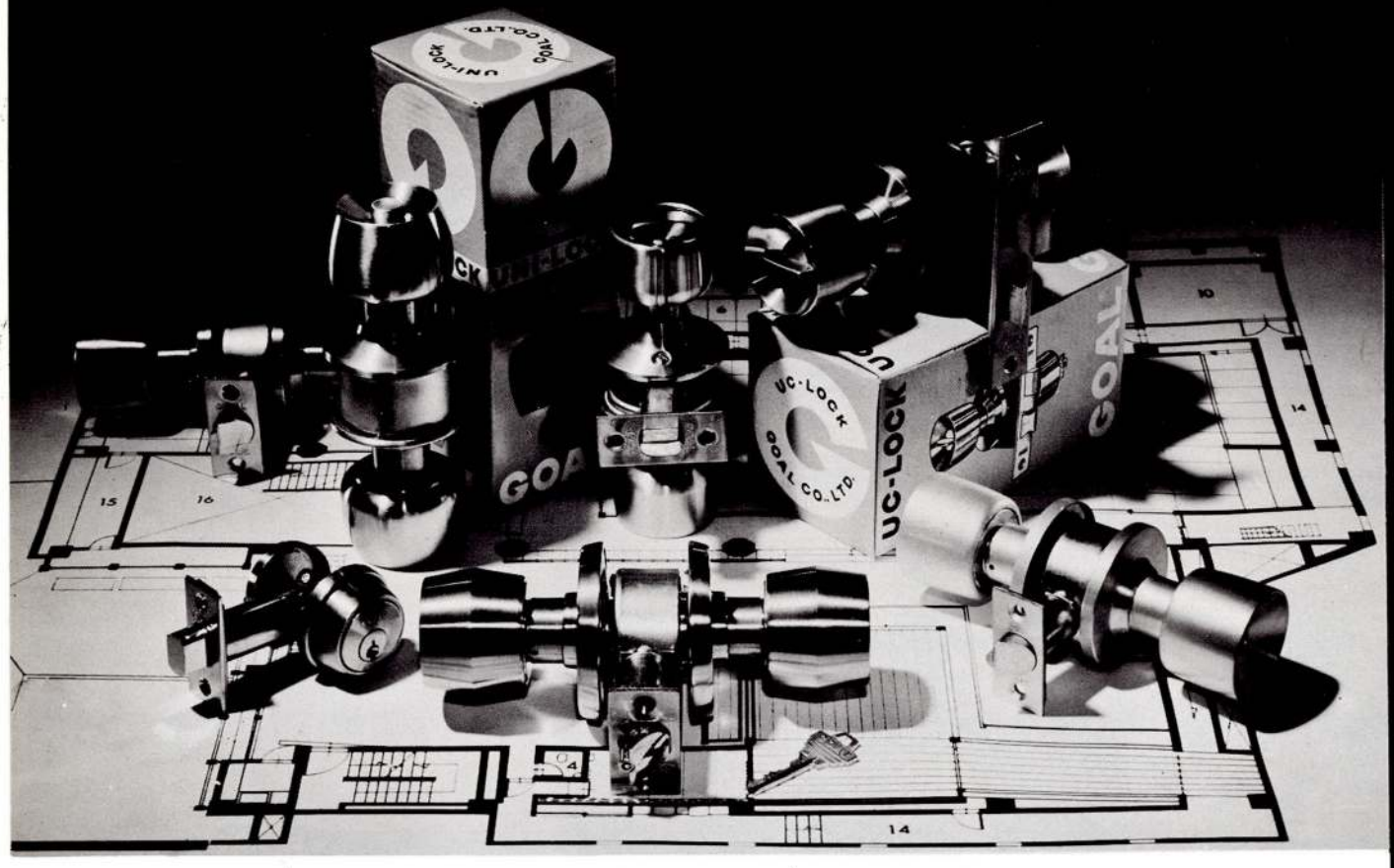
**西澤**　大林組では現場営業方面で腕を振ったが、現在顧問として陰で活躍している。多趣味で長唄もやり碁は三段の腕前。一時陶芸に没頭傑作も多い。最近は俳句の道に熱心、酒は好きな方である。

**岡本**　真面目に役人で終始。陰で学校にも関係した。現在設計事務所自営、何にでも手を出す癖あり。仕事をよそにヘボ付の謡や碁に熱中。最近はまた西澤君に薦められ俳句に手を出し始めている。酒は大の好物である。

（岡本記）

# GOAL®〝信頼〟のシンボル

## 豊富な品種も自慢のひとつです




**精密さ・堅牢さ・美しさ**
**三拍子揃ったユニロックは**
**信頼のできる錠(ロック)です**

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く
評価されているからです

建設省・日本住宅公団・日本電信電話公社
各府県市庁・有名建築設計事務所ご指定

G ゴール ドアー ロック



ユニロック　最高級の錠 UHシリーズ

**株式会社ゴール**

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通り四－三〇☎(三〇二)一七七一
佐賀工場／佐賀県神埼郡三田川町☎(神埼)三一七七
米子工場／米子市夜見町米子鉄工センター内☎(二)九四七六
東京支店／東京都港区海岸3－17－2☎(四五二)六三四一
営業所／札幌・仙台・静岡・金沢・名古屋・広島・高松・福岡

# 建築の眼


上田光雄
大阪市立大学教授・工博

富家宏泰
富家建築事務所長

山口吾郎
不二建設株式会社　取締役社長

西村庄市
工藤電気株式会社　取締役社長


正月号より6月号まで上記の4人の執筆者で担当してもらいます。

本号より新執筆者

## 片割れのモニュメント

一対の燭台の片方が失われて、ポツンと残る他方は妙にうら淋しく見えるものだ。薬師寺の東塔はそれが極めて華麗で均斉がとれているのと、木造である事の宿命から、今はなき西塔の行方に諦めがつく。だが、ルクソールの神殿塔門の美しいカラー写真が、文化史蹟の新刊書に色鮮やかに見開きを飾っているのに接すると、片方しかないオベリスクの姿は何としても痛ましい。高24m、重さ150トンを越える右方のオベリスクは今遠くパリのコンコルド広場に立つ。ナポレオンの頃、遙々持ち返ってシャンゼリゼーを背景に立てた事は、贈り物ですといってはいても、権力者の強引さをいつまでも公告している様で甚だ気にかゝる。といって、オベリスクのないコンコルドは今更、自由の像とギロチンのある以前の姿に帰す訳にもゆくまい。北と南に分れ分れになって、いつまでも異国で立っていねばならない虜囚のオベリスクの悲哀を、故郷に残る片割れの姿に感じる。（U）

## もう1度建築士法を熟読しよう。

建築士法の改正をめぐって、建築家協会、建築士会連合会、事務所協会の三団体が、それこそ三巴、三人三様の改正案をかゝげて、てんやわんやの大騒動である。一体、この三つの建築士の団体は真険に、本当に「建築の設計」と言う本筋に立脚して話合いをしたことがあるのであろうか。それぞれの団体が他の団体から提出された改正案が立法化されるのを恐れて、何となく改正そのものに熱が入らないというのが実情ではないか。

しかし私は本質的に、現行の「建築士法」を忠実に熟読、実行さえすれば、何もあえて士法改正などする必要はないと断言する。

建築士法第廿二条にはっきりと、

「建築士とは、業として他人の求めに応じて報酬を得て建築の設計及び工事監理を行う者を言う…」。と明記されているではないか。

建築士の乱用が無用の混乱の原因なのだ。（T）

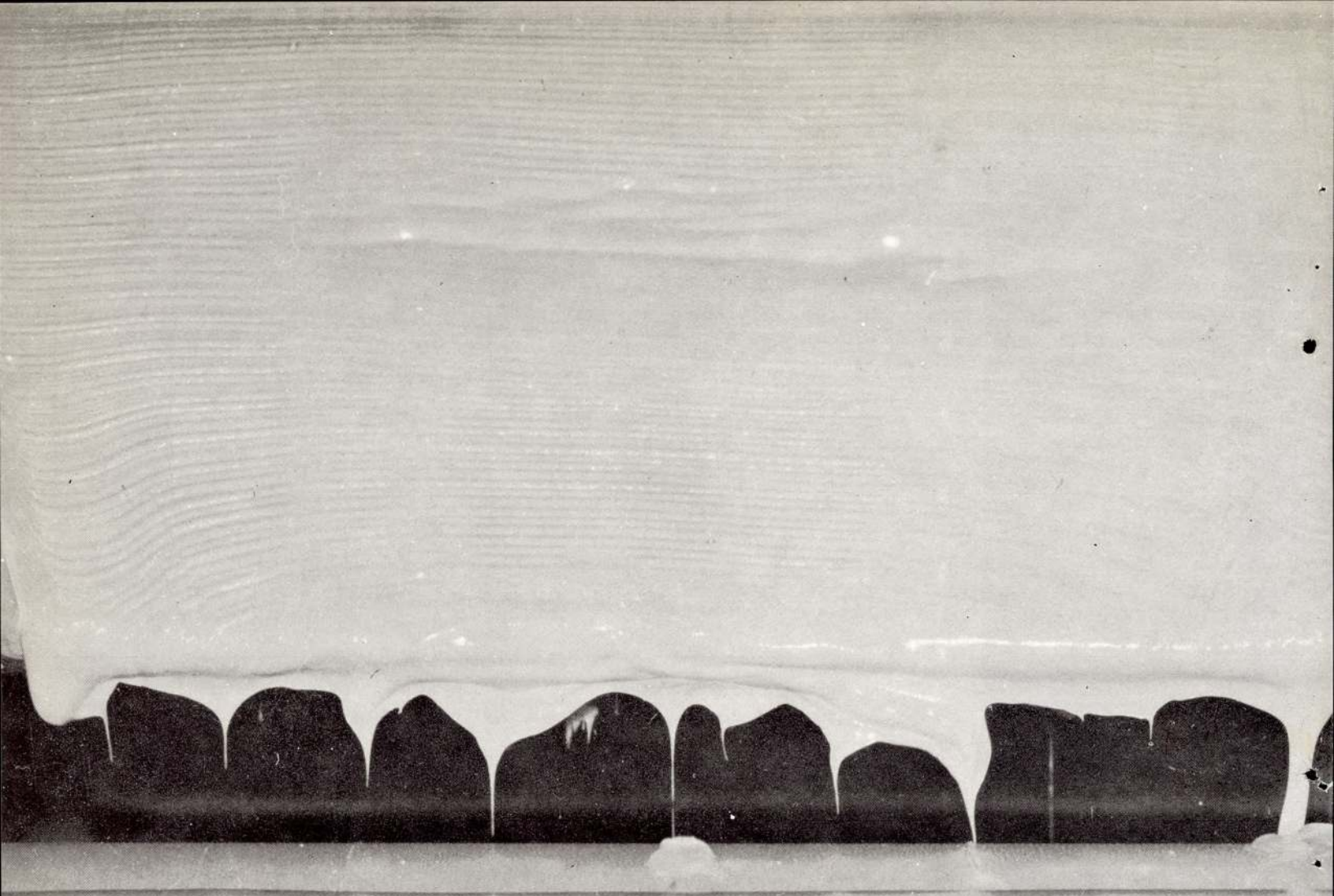
## 人間の習性

およそ人間と謂う生物は猫とあまり変りのない習性を持っていることに気付いている人は少ないだろう。最近皆が熱狂しているゲームを考えてみましょう。野球、撞球、ゴルフにルーレット、パチンコ、数え上げれば限りない程、〝球〟に関係したものに趣味を持って打込んでいく性質を持っている。球体の微妙な動きは誰もが自由にできない神秘性を持っているからだろう。しかしある程度それをコントロールできる熟練者はその各部門のオーナーとして認められ、もてはやされていくことは事実である。要するに球に戯れることそれ自体が極めて猫的であるといいたい。換言すれば球に関係のある事業をすれば、ある程度の盛況間違なしである。最近ボーリング熱が盛んであり、各所にボーリング場が建設されているのをご覧になれましょう。水球蹴球も、またその内に数えられましょう。しかしよく似た型の囲碁の碁石はちょっと異った意味を持ち、もっと深い第二次元のものがあることはいなめない。（Y）

## 照　明

頭の上に、東京銀座通電灯建設図という錦絵が架っている。「電気灯ハ他ノ火ヲ点スルニ非スシテ一ノエレキ機械ヲ以テ火花ヲ発シ其ノ光明数十町ノ遠キニ達シ、恰モ白昼ノ如シ。実ニ日月ヲ除クノ外、之ト光ヲ同スルモノナシ」明治十六年三月、とある。これが200ワットの白熱灯であった。戦后米軍から神宮球場のナイター設備の指示があり、バッテリー間600ルックスの照明工事をやった。日本のプロ選手はその明るさに目を見張った。それが現在一流球場では、2000ルックスを要求されている。事務所でも住宅でも、ただただ明るさを追って進歩だといわれがちである。蛍光灯をこんなに沢山使っているのも日本だけで、欧州でもアメリカでも事務所以外では、やはり白熱灯が喜ばれているのはご承知の通り、高級レストラン、ホテルの食堂ではローソクの明りをとっている。

明るいばかりでなく、照明にもムードやカラー、その他の変化と工夫が是非欲しいと思う。（N）



ABS樹脂塗料(仏国特許・日本など７国特許申請中)

# ミリオンNo.1000

関西ペイント株式會社

建築と社会

Vol.49 No.1 1968 目次

1

特集＝都市生活

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山田崇雄

年頭のことば ——新らしい年を迎えて——……東畑 謙三…… 1
会告 会員の受章・鉄骨構造設計講習会・寄贈品御礼…… 50
日本建築協会常設委員会本年の抱負…… 51
建築データシートの発刊にあたって…… 53
法令コーナー…… 55
読者の頁…… 57
ニュース…… 59
スケッチブック 最近竣工の新建築9点…… 61
クラスメート 32. 東大大正11年卒（石川純一郎・小田島兵吉・岡本茂樹・西澤藤生）…… 63
建築の眼 担当：上田光雄・富家宏泰・山田吾郎・西村庄市…… 65
海外写真 ……写真と文：恒成 一訓… 69
コンクール 第13回工高生デザインコンクール入選作…… 70

特集＝都市生活

①都市生活

都市の生活構造 ……奥田 道大… 74
都市の生活空間 ——新しい近隣空間を考えよう——……上田 篤… 79
座談会——都市と人間生活——…… 83
出席者：稲見悦治・恩田一則・近藤達夫・中西健一・南野三郎
梁 雅子・（司会）大薮寿一

②都市建設のしくみ

都市建設とその隘路……吉富 重夫… 94
経済成長と都市建設……竹内 正己… 96
都市建設についての一考察……雲 和夫… 98

③都市化時代の展望

都市対策のあるべき方向……浦西 良介… 100
都市住宅生産の展望……島津 良樹… 102

建設業界史話10 屋根葺工史話(3)板葺史話（その2）……宮村 次郎… 105
技術の頁 64. 材料部門：砕石コンクリートについて……広橋 康充… 107
月報 日本建築協会月間の動き（昭和42年11月分）…… 109

編集人 松井昭光
印刷 昭和43年1月20日
発行 昭和43年1月25日
発行人 福中定三郎
発行所 (社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975
印刷者 網野栄
印刷所 (株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価 1部 300円・送料共

# KENTIKU TO SHAKAI No. 1 Vol. 49, January 1968

## (Architecture and Society)

*A Journal of "The Architectural Association of Japan"*

Cover design: T. Yamada

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price ¥300*


# CONTENTS


New Year's Wording——Greeting a New Year ..... 1 — by *Kenzo Tohata*
This Year's Aspiration by the Standing Committees of The Architectural Association of Japan ..... 51
Regarding the Publication of Construction Data Sheet ..... 53
Column for Laws & Ordinances about Architecture ..... 55
Column for Readers ..... 57
News for Architecture and Society ..... 59
Column of New Buildings ..... 61
Class-mates ..... 63
Essayes ("Kentiku no Me") ..... 65 — by *Mituo Ueda, Hiroyasu Tomiie, Goro Yamaguchi & Syoichi Nishimura*
Photograph: Blonde in New York ..... 69 — photo: *Kazunori Tunenari*
Accepted Plan of Technical High School Student's Design Competition ..... 70

*SPECIAL FEATURE ON CITY LIVING*

**1 City Living**
Living Formation in a city ..... 74 — by *Michihiro Okuda*
Living Space in a City——Pursuing New Environment Living Space ..... 79 — by *Atushi Ueda*
Symposium——City and its Human Life ..... 83
Attendance; T.Oyabu, E.Inami, K.Onda, T.Kondo, K.Nakanishi, S.Nanno, M.Yana

**2 Mechanism of Urban Construction**
City Construction and its Bottleneck ..... 94 — by *Shigeo Yoshitomi*
Economic Growth and City Construction ..... 96 — by *Masami Takeuchi*
One Consideration Regarding City Construction ..... 98 — by *Kazuo Tatumi*

**3 Observation to Urbanization**
Direction which should be for Urban Countermeasure ..... 100 — by *Ryosuke Uranishi*
Observation on City Housing Production ..... 102 — by *Yoshiki Shimazu*

*HISTORICAL STORY OF THE CONSTRUCTION FIELD*

10. Shingle Roofer (2) ..... 105 — by *Jiro Miyamura*

*COLUMN OF ENGINEERING*

64. Regarding the Crushed Stone Concrete ..... 107 — by *Yasumitu Hirohashi*

*BULLETIN* ..... 50,109



**海外写真** 〈写真と文：恒成一訓〉ニューヨークにて。ブロンド、ブルーの眼、ピンクのドレス。実物の方が美しい。

# 第13回工高生デザインコンクール入選作品

## 設計課題：博覧会場に建つ公衆休憩所
## 主　　催：日本建築協会

**■総評**　課題に対して恒久的な建物と考えるか、仮設的な建物と考えるかという点で二つの傾向に分れていた。この点博覧会場に建つという課題の意味からも、仮設的なものでアイディアの優れたものに選考の重点を置いた。また、建物をモニュメントなように考えたものもかなり目についたが、あまりオーバーなものは避けた。選考された案は、全般的に詳細については難点をもってはいるが、工高生らしい夢とアイデアをもったものになった。さて果して独創的であるかどうかという点では、多少問題もある。建物を恒久的に考えて、図面も優れたもので入選できなかった作品に惜しまれるものもあった。平面的には比較的制約の少い課題だけに全般的に屋根の材料と構造で競いあう型になったが、最優秀賞を得たものは特に優れて目立つ作品であった。

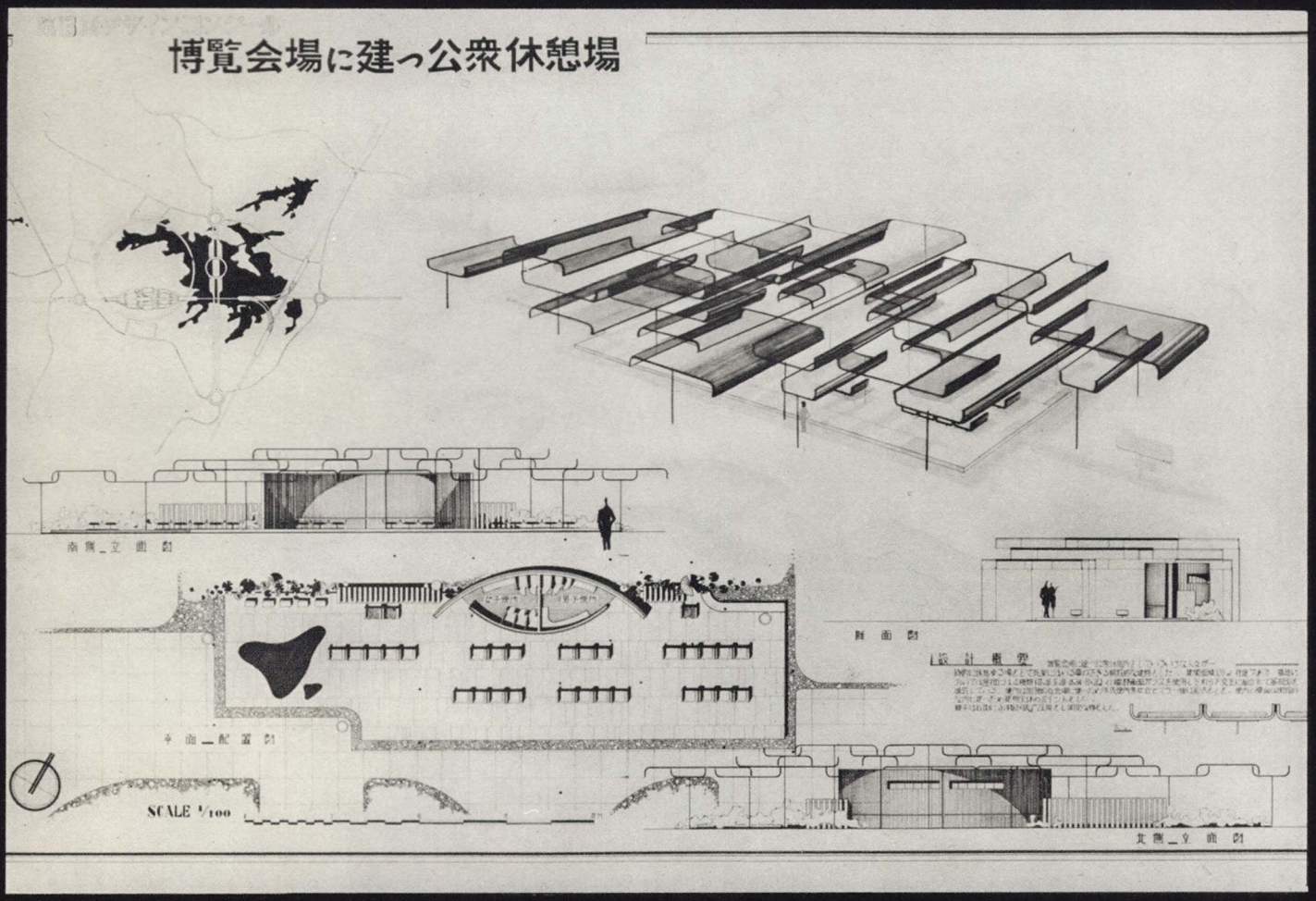
なお選外となったが、つぎの諸君の案は最後まで候補となったことを付記する。

名古屋市立工芸高校３年・原真佐美，東京工業高校３年・高橋一夫，東京工業高校２年・石井誠，神奈川工業高校２年・伊藤正孝

（審査委員長：彦谷邦一）

**■審査経過**

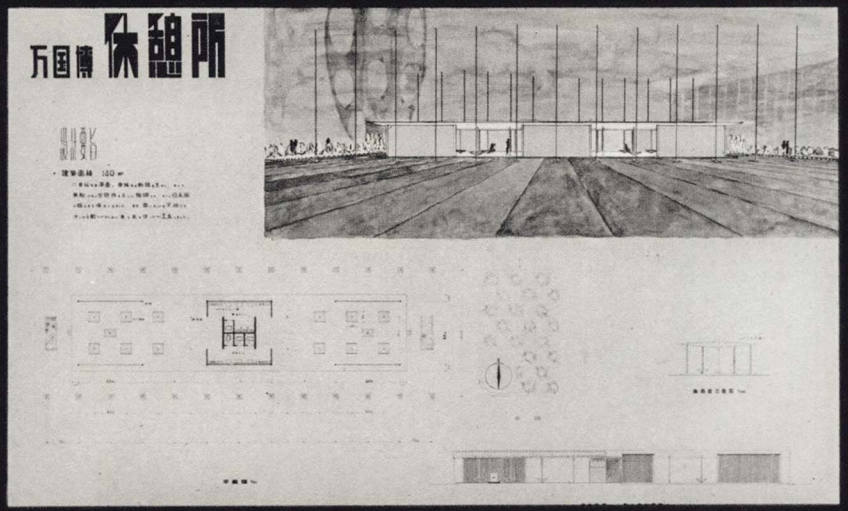
審査会は、昭和42年10月７日㈯正午より５時にわたって開催された。出席者は、彦谷邦一委員長、井上滉・岡田光正・木村康彦・島田勝次・中川秀夫・橋本喬行・右田広・山本純孝委員であった。審査は、本会４階集会室に応募作品（25校・123点）を掲示した会場で投票による第１次審査から進められた。36点の作品が第２次審査対象となり、各作品の批評・討議の後に投票により20点の作品を選んだ。その后第６次に亘る投票審査などを経て入選作品と最優秀作品を決定した。




### 最優秀作品　谷口好孝

名古屋市立工芸高校・３年

博覧会の雰囲気があり、図面のレイアウト、仕上がすぐれている。現実的には構造に問題はあっても、アイディアに感心させられる。




### 入選作品　福田広治

大阪市立都島工業高校・３年

日本的なものを主張しようとしたのはよいが、線が細いし、スペースのとり方が狭い。仕上が暗い感じのするのは難点て表現に工夫がほしい。

## ■設計要件

a．敷　　地：300m² 程度で地形など任意の敷地を想定する。

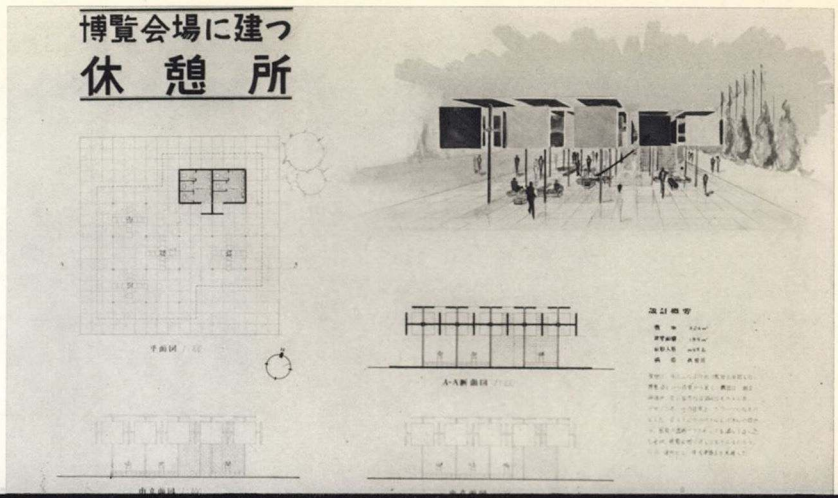
b．規模および設備：公衆休憩所は最高50名程度収容。尚便所を併設し、管理人を置く施設は一切併設しない。

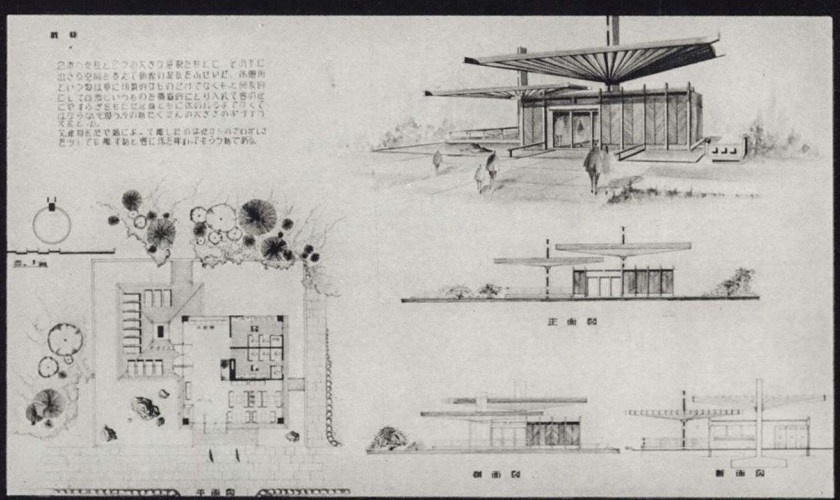
c．構　　造：任意とする。解体容易な仮設的構造のものでもよい。

## ■審査員（50音順）

委員長　彦谷邦一氏（彦谷建築設計事務所所長）

委　員　井上　滉氏（大阪建築事務所業務部長）
岡田光正氏（大阪大学工学部助教授）
木村康彦氏（清水建設株式会社大阪支店設計課長）
嶋田勝次氏（神戸大学工学部助教授）
鈴木洋也氏（東畑建築事務所設計部長）
中川秀夫氏（日本万国博覧会協会第二建設課長）
橘本喬行氏（日建設計工務株式会社計画部長）
花房文一郎氏（竹中工務店設計課長）
右田　広氏（大林組設計部主任技師）
山本純孝氏（安井建築設計事務所第２設計部長）



### 入選作品　小山信昭

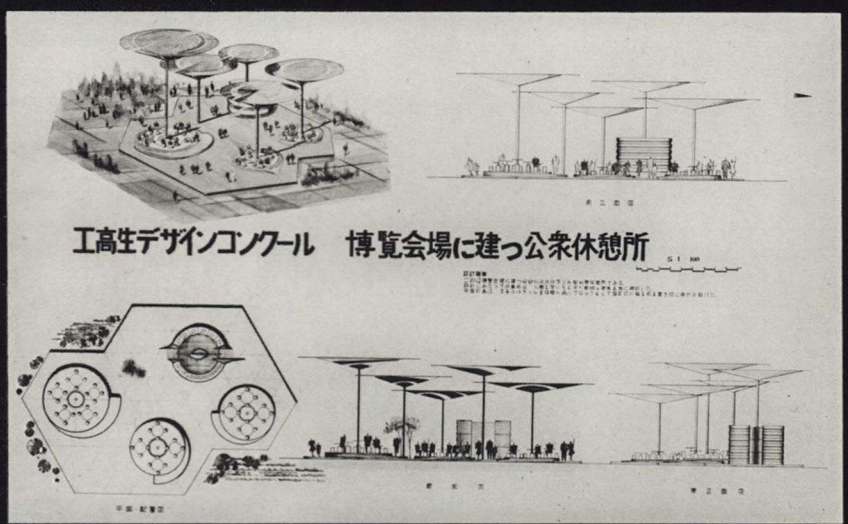
大阪市立都島工業高校・３年

色彩を有効に使った点はよいが、常識的である。仮設に徹している点がよい。

### 入選作品　山森　正

名古屋市立工芸高校・３年

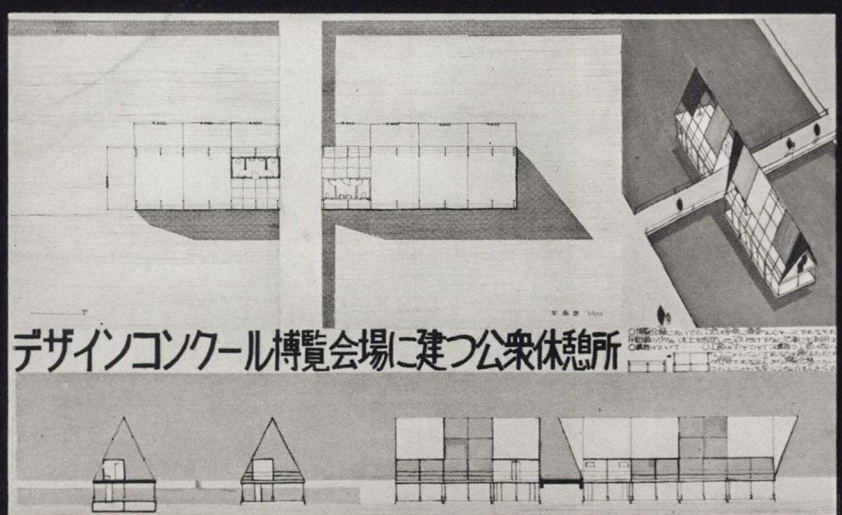
堅実・常識的・極めて現実的な作品。優等生らしいすぐれた製図技術ではあるが、形からすればスケールが小さい。色彩はもっと派手な方がよかったのではないか。




### 入選作品　神谷吉孝

名古屋市立工芸高校・３年

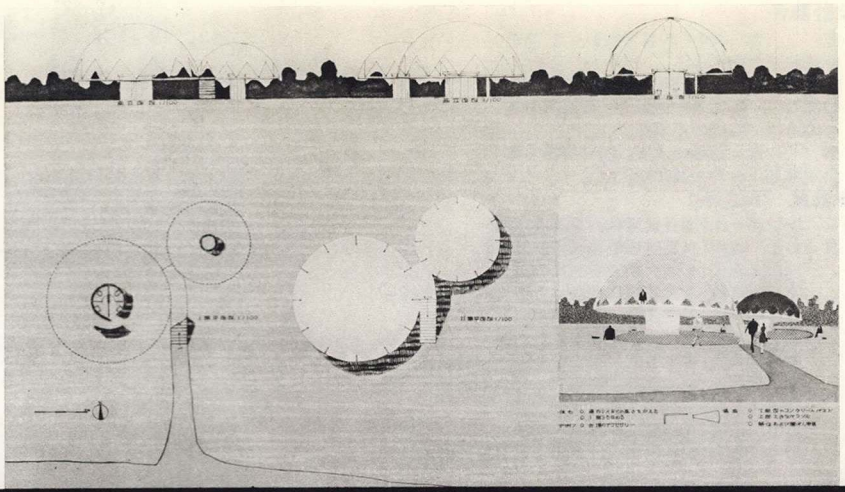
成いが高過ぎる。休憩所としては日蔭が得られない。
独創的な感が乏しい。



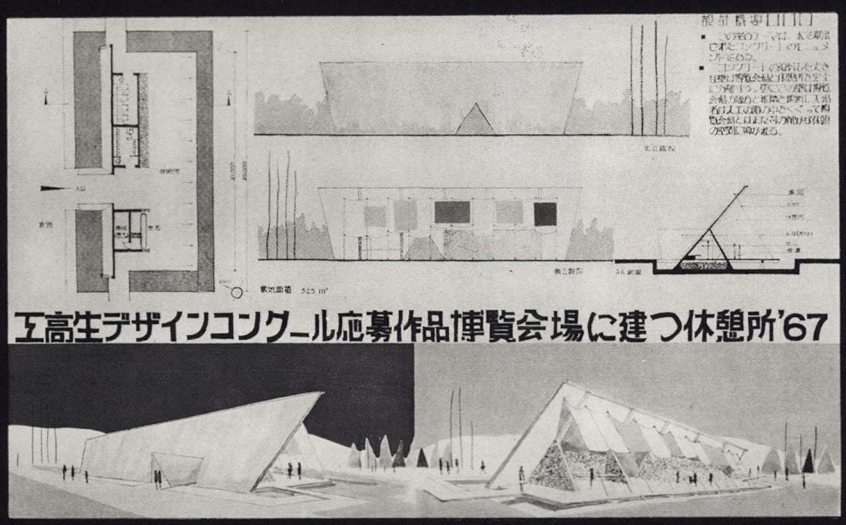

### 入選作品　小杉敏夫

静岡県立島田工業高校・３年

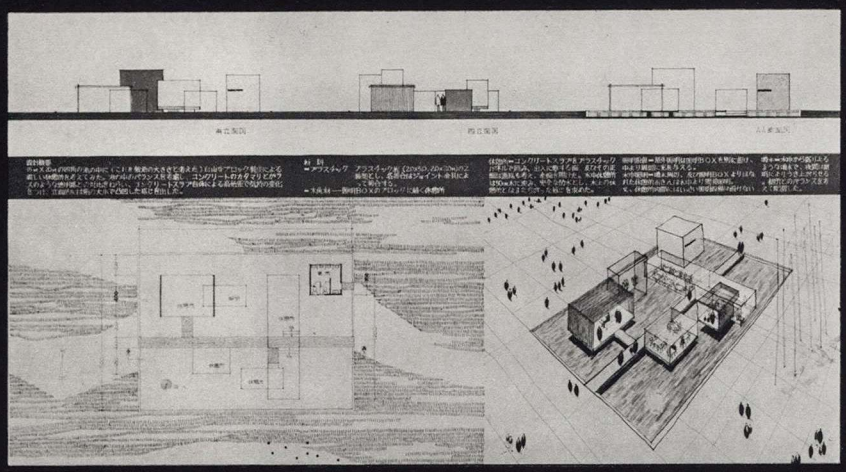
構造であいまいな所はあるが、目につきやすいプランであり、水を使ったうちではよい方で、レイアウト、表現がグラフィックでアイディアによい点を見受ける。アプローチはまあよいとしても便所は数など再考されたい



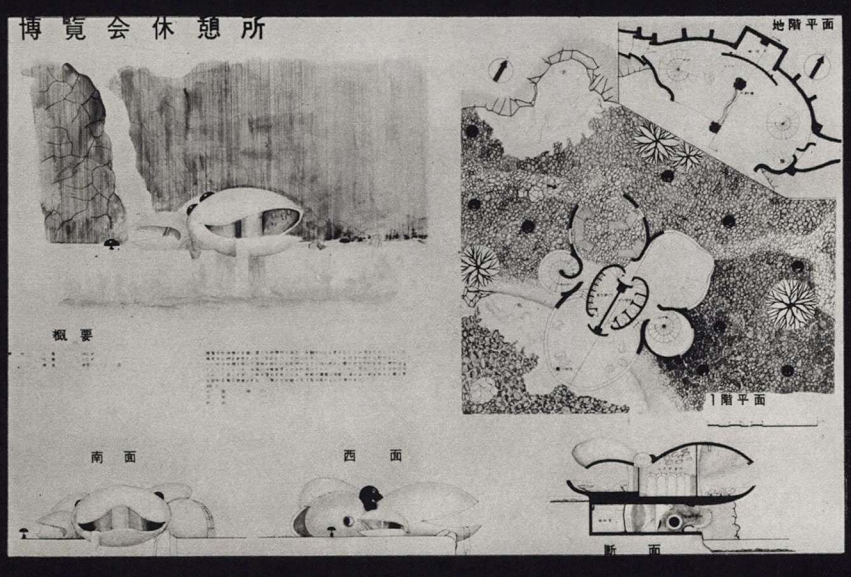
入選作品
小杉敏夫（3年）
松本　登（2年）
静岡県立島田工業高校
グラフィックで上手に仕上げているが建築の図面といえるかどうか。休憩所としては階段を上ることに問題はあるが、アイディアに面白さがある。




入選作品　伊久美新一
静岡県立島田工業高校・3年
コンクリート造として不完全な点をテントでカバーしているのは面白いが、コンクリート版面のアイディアが不足、アプローチから休憩所という感じが弱いし雨天の時の感じに問題がある。



入選作品　三津原秀樹
静岡県立島田工業高校・3年
夜間の照明によればムードがあり、内部の人影の映像など変化ができて面白いアイディアである。構造的なことはおいても、池の中のレイアウトとしては少々うるさい感じである。




入選作品　小西久雄
神奈川県立神奈川工業高校・3年
アイディアにユーモラスな点があり、遊園地向きで目につきやすい点がよい。着想の面白さがあげられる。

# 特集＝都市生活

## 1 都市生活

都市の生活構造／奥田道大

都市の生活空間——近隣生活空間の追求／上田　篤

座談会＝都市と人間生活／大藪寿一・近藤達夫・中西健一・稲見悦治・恩田一則・南野三郎・梁 雅子

## 2 都市建設のしくみ

都市建設とその隘路／吉富重夫

経済成長と都市建設／竹内正己

都市建設についての一考察／巽　和夫

## 3 都市化時代の展望

都市対策のあるべき方向／浦西良介

都市住宅生産の展望／島津良樹

今年から編集メモを付け加えることになった。編集者がひとことも物申さず，ただひたすら力持ちの役を引き受けている雑誌というのも，あまり聞いたことがない。本誌は特異な雑誌であったのだ。

'68年度は「都市」を基本テーマとして通すことになった。昨年の「社会と建築」に引き続き，現代における最大の問題のルツボ「都市」にさまざまな側面より光を当ててみようと考えたからである。おそらく今年も「都市問題」は大きな関心の的になるに違いない。そしてどのような分析や提案が新らしくなされることだろうか。いろんな問題を「空間的」に考えることは，私たちの一番得手とするところであろう。しかし，都市に住むごく普通の人々——奥さんたちや商店で働いている店員さんたち——は必ずしも「空間的」な思考方法に慣れてはいない。もちろん私たちも解決しようとしてできないたくさんの「空間的」問題に日頃から当面している。道路でも，下水道でも景観でもすべてがいろんな問題を用意している。そういった問題をひとつひとつ解きほぐして住みよく新らしい都市につくりかえていくためには，まず問題が出てきた原因を深くかつ広く認識することが必要だろう。そしてそれを「空間的」に表現するところに私たちの任務が始まる。これから一年の間に，どれくらいこの目標が達せられるかは，一年の最後になってからふたたび総括されることになるだろう。

まずは，年頭にあたっての「所信表明」である。

（島津編集幹事記）

本号は，「都市生活」特集とした。本年のテーマ「都市」のプロローグでもある。社会学者など，建築以外の第一級の方々からの所見もあるので，熟読されれば得るところもあろうかと信ずる。

次号は，「都市のいこいの場」特集の予定である。

本号特集担当幹事：大藪寿一（特別幹事），上田隆夫（特別幹事），多胡進，島津良樹

# 都市の生活構造

奥田道大

## 一

生活構造には，同心円型と異心円型のふたつがあるといわれる。同心円型とは，家庭生活と職場生活とが空間的には重ね合わされており，機能的にも相互に未分化な生活体系を有するものである。農業生活はそのひとつの典型であるが，都市でも，自家営業者などは，〝都市のなかのムラ的生活者〟といえるかもしれない。これにたいして，異心円型とは，いうまでもなく，家庭生活と職場生活とが空間的には分離し，機能的にも相互に独自の生活体系を特色としている。都市のホワイトカラーはまさにその典型である。異心円型生活構造は，都市の鼓動ともいわれる日々の通勤現象に端的に表現されているが，ある社会学者によれば，この現象を「勤め人も学生も，朝の一定時刻頃までには皆間違いなく職場か学校の一定の席について，その日の生活の型をはじめる。夕方その日の業が終れば皆それぞれに定まった世帯に帰る。朝の一定の時刻頃と夕方の一定の時刻頃には，世帯から職場へ，職場から世帯への往復のために，人の波が毎日規則正しく都市の呼吸のように反復している。……都市は単調ではないか。昨日も今日も同一の生活の型がくりかえされている。」（鈴木栄太郎）と説いている。

だがこの単調すぎるとおもわれる生活の型も，集団参与と帰属意識の視点から照明をあてると，同心円型生活構造とは基調をことにした問題の指摘がなされている。すなわち生活構造の同心円型から異心円型への移行は同時に都市化の過程でとらえられるが，この過程は個人の集団参与と帰属意識にひとつの変革をもたらす。一例として，同心円型では家族および地域社会の血縁的・地縁的結合(第一次集団的結合)が緊密であるが，異心円型では弛緩し，職場および各種各様の随意的集団の利縁的結合(第二次集団的結合)が優先する。職場に帰属感の濃厚なホワイトカラーは，家庭生活が一種の〝下宿屋〟と化し，地域社会も帰って寝るだけのベッド・タウンとしての色彩がつよい。都市郊外住宅地では，家庭生活，近隣生活の実質的な担い手（運営・管理の責任者）が一家の主婦にあるところから，母権制家族，母権制家族地域と命名している社会学者もある。

## 二

ところで，「第二次集団的結合の優位に対する，血縁的紐帯の弱化，家族の社会的意義の喪失，近隣集団の没落，社会的連帯性の伝統的基盤の崩壊」（ルイ・ワース）に要約される，都市一般の特徴に関する社会学的定説に，さいきん，批判的見解がよせられてきている。米国におけるうごきであるが，これは理論構築上における新たな問題提示というより，都市生活の現実そのものにそくしている。異心円型生活構造の典型ともいうべき都市郊外の中産階級ホワイトカラー家族では，子供の員数が相対的に縮少より増加の傾向にある。ある心理学者は，家庭電化装置と家事合理化がピークにまで達した米国の主婦において，子供を生み育てることは，「レジャー享受上のペットとしての意義」あるいは「子供は最後の耐久消費財」という暴論にも近い解説をくだしているが，家庭生活に対する新たな志向がつよく台頭してきていることは事実であろう。親族の結合もきわめて濃厚であることは，独立した息子，娘夫婦と老親間の接触頻度がわが国とはひとつの対比をなしていることからも知れよう。半数以上が少なくとも週に1回は接触をもっているが，内容的には(イ)プレゼント，助言，金銭の援助などの相互扶助，(ロ)訪問，レクリエーションなどの社交，(ハ)買物，子供の世話，結婚の援助などのサービスの交換，などがふくまれている。

≪親族間接触頻度国際比較≫

| | 毎日 | 週一回 | 月一回 | 年一回 | 不定 | 通信のみ | 無し | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | % | | % | % | % | % | % | % |
| デトロイト（R.ブラッドの調査） | 49 | | 25 | 14 | | | 12 | 100 |
| サンフランシスコ（M.ヤングの調査） | 30 | 25 | 19 | 26 | | | | 100 |
| ロンドン（同上） | 30 | 21 | 24 | 25 | | | | 100 |
| 山梨県八代町（小山隆の調査） | 3 | 9 | 20 | 35 | 23 | 4 | 6 | 100 |
| 東京都杉並区（同上） | 3 | 3 | 12 | 32 | 34 | 10 | 6 | 100 |

こうした接触を具体的に可能にする条件として，米国の社会学者は，(イ)労働時間の短縮による余暇時間の増加，(ロ)電話の普及，(ハ)その他の交通通信手段の発達，(ニ)親の居住地をはなれることなしに，教育をうけ，就職を可能にした大都市域の発達などを指摘している。ジャーナリズムにも伝えられている〝スープのさめない距離〟が，親子間の理想とする心理的，時間的距離を象徴している。市街地高層アパートの一隅に老夫婦がひっ

そりと余生をおくる。あるいは，老人ホームに身をよせることは，期待される老人生活の像ではない。

筆者が一夏をすごしたピッツバーグのある中産階級の家庭（主人はピッツバーグ大学の血清学の教授。親日家で才媛の奥さんと男の子3人の家庭）では，奥さんの両親が自動車で5分ほどのところに住んでいた。両親とも70のなかばをこえ，足も不自由のほうであったが，娘婿の転勤に合わせて，ワシントン，ボストン，ピッツバーグと住居をかえていた。3日に1度は，晩餐をともにするため旦那さんが自動車で両親をむかえにいく。手製のパイとかサラダをかならず手土産とする両親の姿も印象的であったが，むかえにいかないときは，奥さんと息子が犬の散歩をかねて両親の家にご機嫌うかがいをする。こんなことなら，さいしょから両親と同居すればとわれわれなりに考えるが，仮りに屋根裏の部屋に間借りしても同居というかたちをとらないのは，米国人の生活信条のあらわれかもしれない。

## 三

親族間の血縁的結合とならんで，近隣間の地縁的結合に対する新たな志向もつよく，またこの志向に照らして地域社会の設計が企てられていることは興味がある。大都市中心街の高層アパート生活者が郊外の住宅地域に居をかまえるおおきな動機が，地縁的結合がえられるよろこびである。「パーク・フォレストでは，あなたは帰属感をもつことができます。私たちの町に足を踏みいれるや否や，あなたは気づくでしょう。あなたは温く迎えられ，大きなグループに仲間入りでき，孤独な大都会にかわって，友情に溢れた小さな町で生活することができ，あなたなしではすませない友達をもつことができ――そしてその人たちとの交際を楽しむことができることを。さあ，おいでなさい。パーク・フォレストの精神がどんなものであるかをみつけ出してください」，「一杯のコーヒー――それはパーク・フォレストのシンボルです。パーク・フォレストでは，コーヒー・ポットが1日中湯気を立てています。この友情のシンボルは，お隣り同士が互いの交わりをどんなに楽しんでいるかを物語るものです」（註：シカゴ市の有名な郊外団地パーク・フォレストにおける，ある住宅公社の広告文）の一節に示唆されているように，地縁的結合に価値をおく地域生活が可能な場であり，またこうした価値に志向する都市住民の拠点としての位置づけがこころみられている。

計画過程においても，建築家のみならず，社会学者，心理学者，精神分析家などが，第一次集団的価値の再現に可能な地域社会の設計に意を注いでおり，たとえばネイバーフッドの単位面積・人口，住宅の様式と配置，オープン・スペース，車の乗入れ禁止の遊歩道の設定，教会，公会堂，保育園，学校，レクリエーション・センター，ショッピング・センター，保健所などの位置（住宅と片道歩行距離の算定）とサービスについて，〝最適性の基準〟が企てられている。住宅の様式と配置では，郊外住宅団地は，櫛比する高層アパートではなく，ヤード付きの1戸建独立家屋(ないしは2戸1棟の共同家屋)がひとつの基準となっている。家屋と家屋との距離は，〝太陽と緑と空間〟にめぐまれた地域社会の規模からすると，〝近接〟の印象をうけるが，これは，象徴的には〝窓ごしに井戸端会議〟が主婦のあいだで交わされる距離が理想でもあるという。コミュニティ・シンボルとしての教会も，タワーの尖端が信者の家の窓から見透せ，また鐘の音が地域社会の隅々にまできこえるというのが，ひとつの理想ともされている。建物一つ，地域社会一つの設計に，社会学者，心理学者の活躍する領域のおおきくひらけていることは，とうぜんである。

## 四

わが国の住宅様式のひとつの標準にもなってきている住宅公団の郊外団地は，米国の事例とは対照的である。郊外団地が誕生して間もない時期に，米国のある建築家が実地見学して，きわめてたかく〝評価〟したと，間接的にきいたことがある。興味があるのは，〝評価〟の観点である。1DK，2DKの住宅設計が，伝統的な大家族制と観念に埋没していた日本人に，近代的小家族を単位として，しかも，西欧的な生活様式，ものの考え方を新しく定着するうえに貢献したというのである。

1DK，2DKの住宅設計がこれとは別の日本的事情の産物であることは，だれしもが承知していることだが，この〝評価〟ははなはだしい見当ちがいとか皮相的観察とだけでは済まされない示唆をふくんでいる。すなわち，建物一つ，地域社会一つの設計でも，住民一般の生活構造なり価値志向との脈絡における発想が，つねに他に優先している事実である。

わが国でよく問題になるフィジカル・デザインとソシアル・

デザインとの概念上の区別は，実質的な意味をもたない。それも，フィジカル・デザインの前提として社会的与件を考慮するというより，フィジカル・デザインの基軸そのものが，ソシアル・デザインといって過言ではない。したがって，逆に，一個のフィジカル・デザインを通して，特定の市民層なり地域社会，あるいは都市の，現時点から未来にわたる生活のしくみなりアスピレーションの共通項を察知することも可能である。社会学，心理学，文化人類学などを専攻した若い学徒がフィジカル・デザインの領域にも積極的に進出し，貢献している実情をみると，〝実態調査資料の提供者〟か〝局外的な社会評論家〟の位置にとどまっているわが国との対比が浮彫りされる。結局のところ，一個のフィジカル・デザインと生活体である住民との落差を埋めるものとして，公聴（パブリック・ヒアリング）のルートが行政体などで住民参加という新たな科学的武装をもって登場してきているが，これとても，ある計画的決定に対して住民にいかなる心理的一体感・受益感をいだかせるかのＰＲの技術の域を出ていない。決定そのものに，住民の生活構造に根ざしたニードをどう反映させるかが，本来的な意味での住民参加であろう。

話がそれたが，米国の建築家の〝評価〟とは別に，わが国の郊外住宅団地が近代的小家族とマイ・ホーム主義の享受に結果的には符合した生活空間を有していたことは事実である。また米国の団地住民とは対照的に，日常生活場面において近隣単位の各種地域集団活動に参加し，この過程をとおして地縁的結合をえることに喜びと意義をみいだすうごきの存在していないことも事実である。むしろ逆に，向う三軒両隣りの近隣的つながりから心理的にも物理的にも解放され離脱できる団地の環境条件に，住まいの意義をみいだしているといえよう。米国の郊外住宅団地を〝ソシアビリティ・タイプ（社交型）〟とするならば，わが国のそれは鍵一つで閉ざされた〝プライバシイ・タイプ（孤立型）〟ということにもなる。

団地にかぎらず，おしなべて日本人は，近隣単位をとおしての地縁的結合に消極的なかまえが支配的である。ある社会心理学者は，米国人にとって最大の魅力的条件である〝グッド・ネイバーズ〟（よい隣人）〟というイメージが日本人には希薄で，たとえば，〝向う三軒両隣りにどういう人をえるのが好ましいか〟をたずねても，即答できないのに対して，〝どういう人にいてもらいたくないか〟の場合には，よどみない回答がひきだせると説いている。朝日新聞社の大都市圏調査（1965年10月）で，「都会生活は近所づきあいが少ないから，わずらわしくなくてよいという人があります。また近所づきあいが少ないから，さびしくて，よくないという人があります。あなたはどちらの意見に賛成ですか」の質問に対して，「わずらわしくなくてよい」の回答比率が「さびしい」のそれを，京浜・中京・京阪神・北九州の各都市圏を通じて倍以上もひきはなしている事実は注目されよう。

都会生活の近所づきあい

| | わずらわしくなくてよい | さびしい | 都会でもつきあいは多い | その他 |
|---|---|---|---|---|
| 京浜 | 37% | 18% | 24% | 21% |
| 中京 | 38 | 16 | 23 | 23 |
| 京阪神 | 36 | 18 | 27 | 19 |
| 北九州 | 34 | 17 | 26 | 23 |

## 五

「隣りは何をする人ぞ」といった地域社会での匿名性とか無関心さが，都市住民の生活哲学なり魅力的条件であるということ，地縁的・血縁的紐帯からの離脱化が，孤独感，断絶感，疎外感といった病理的側面においてただちにとらえられないということは，わが国なりのしくみにおいて解きほぐさねばならない。おもいつくままにその２，３を指摘してみるならば，

第１に，たとえば郊外団地での住まいの契機が，住宅難という外部的条件から規制され，当の個人の心理的動機づけなり選択が，あまりゆるされていないという特殊事情。したがって，住まいの地域は〝一時の腰掛けの場〟であっても，〝永住の地〟としては認識されていない。ただ団地住民の前住地のおおくは，大都市中心部の狭小過密住宅で，騒音と過密と隣り近所のわずらわしさ（その意味では，ムラ的状況なりつながりの支配）に悩まされていただけに，鍵一つで〝プライバシイ〟の保持できる団地生活には，相対的意味での価値的魅力がみいだせる。高層アパートでの〝孤独〟で〝疎外〟された個人主義的都市生活→新しい人間関係の連帯性を通じての自己疎外状況の克服とコミュニティ生活の建設，が都市化の大きな流れとなる米

国と，ムラ的共同体規制からの解放と離脱→個人の主体性の確立とプライバシイの保持，が現時点での都市化のポイントであるわが国とのあいだには，段階的なズレがある。

第2は，米国のように職業，収人，教育程度，宗教，人類，その他の社会的属性について等質的な住民層が同一の地域に居住しているのとはことなり，わが国の郊外部では新来住層と地付層の二つの異質的階層に代表される住民間のあつれき，葛藤対立の問題が，つねに内在している。とくに住宅地域—商業地域—工業地域—歓楽地域のゾーニングさえもさだかでない混淆地域としての中心部では，来住層と地付層，ホワイトカラーとブルーカラー，高学歴層と低学歴層，高所得者と低所得者が同床異夢的な地域生活をいとなんでいる。社会・経済的地位の差をこえて，住民の共通の連帯性と問題意識を発見することが困難なのは当然で，おのずと地域疎外者である無関心層が量的に増加するというしくみになっている。

第3は，都市の郊外部，中心部，あるいは農村を通じて，わが国の地域生活環境条件は劣悪で，個人の生活にうるおいとはりをあたえるコミュニティ・イメージをそこに描くことは不可能である。とくに個人の生活に〝共同的利用〟と〝人間関係の場〟をあたえる生活環境施設（公園，広場，宗教的，教育的施設，レクリエーション・センター，保育所，医療機関その他）が量的に質的に欠如しており，地域住民の最低限のニードさえ充足するにはいたっていない。

## 六

ところで，地縁的・血縁的結合が希薄で，プライバシイ型の都市住民の生活像は，都市化に関する社会学の定説をそのままに裏書きしているが，しかしこの生活像が現時点から未来にもわたる，都市住民の価値志向を表現しているとはいえない。むしろ団地生活ひとつにしても，〝おしきせの〟物理的，社会的条件に，住民ひとりひとりの生活構造なりニードが合わされているという側面が存している。42年の2月，厚生省人口問題研究所，公衆衛生院，国立精神衛生研究所のスタッフによって，都市住民の生活空間に関する実態調査がおこなわれている。

東京都内の山手や下町，団地などの7地区約2,100世帯が調査されているが，その結果，1人当り3.5畳未満の部屋に住む人は，〝いらだち〟とか〝不満〟が多く，3.5畳以上になると，比較的安定した気持で建設的な生活に志向している状況が明らかにされている。3.5畳が健康な生活の限界線というわけだが，しかも「3.5畳以下では勤労意欲（モラール）があきらかに低下する」というおそるべき問題点が指摘されている。

総理府統計局の調査でも，1人当り3.5畳以下の世帯は東京で45%，大阪で42%，全国平均で30%。前記の実態調査でも下町で50%，団地でさえ30%，つまり日本人の半数近くが勤労意欲を減退させられる環境で生活しているという事実が明らかにされている。マイ・ホーム主義を享受する団地生活も，一転すると，刑務所の独房なみの生活空間ということになる。よく伝えられる「わが国の団地の棟は，刑務所を想起」という発言は，景観面での指摘にとどまらない。

しかも，狭小過密住宅に象徴される生活空間のせまさは，単に物理的空間の欠如にとどまらず，住民の住まいかた，生活哲学がこのせまさを倍加させる結果となっている。自閉的なマイ・ホーム主義は，一個の小宇宙としての生活空間を機能的に確立させる。猫のひたいほどの土地にも庭をつくり，不相応な玄関と客間（応接間）のための空間は，建売住宅ひとつみても，必須の要件となっている。しわよせされた一家団らんの居間にも，耐久消費財がところ狭しとならべられている。垣根で閉ざされた庭からは，地域社会の共同利用の場としての小公園なり児童の遊び場のニードは生まれてこない。客間と地域社会の集会所とのむすびつきもうすい。個人専用の図書を自宅に死蔵するところに，地域図書館を利用するという発想は存在しない。しかし逆に，地域社会に小公園なり集会所，図書館などの社会施設がそなわっていたとしても，これを利用するニードなり期待が皆無かというと，かならずしもそうではない。さいきん，筆者らは東京都および周辺都市について，「家庭生活と地域環境に関する調査」を実施したが，たとえばつぎのような設問（次頁）においても，地域住民の期待値はかなりにたかい。

むしろ，住民のひとりひとりは，幼少児より地域社会の共同利用の場を通じての社会的訓練をうけていないし，また，施設の具備した地域社会の像が生活経験に内在化されていない，というにすぎない。共同利用の場としての地域社会が，同時に，社会的しつけの場としての地域社会が，同時に，社会的しつけの場として，また市民意識涵養の場として機能することは，しだいに見失われつつある郷土愛精神（心のふるさと）を，次代

（例示）仮りに歩いて10分位までのところに，地域での生活を豊かにする次のようないろいろな施設が，一カ所にまとまってあった場合，お宅ではどれをよく利用なさいますか。主なものを5つまでえらんでください？

| みんなが利用できる | 老人用の | 青少年用の | 子ども用の |
|---|---|---|---|
| 1.集会室 | 9.集会室 | 12.集会室 | 15.集会室 |
| 2.談話室 | | 13.娯楽室 | 16.遊戯室 |
| 3.運動場・プール・体育館 | 婦人用の | 14.勉強室 | 17.図書室 |
| 4.図書室 | 10.集会室 | | |
| 5.工作室 | 11.託児室 | | |
| 6.宿泊室 | | | |
| 7.相談室 | | | |
| 8.娯楽室 | | | |

のヤング・シチズンに伝承し定着化するひとつの拠りどころともなる。またヤング・シチズンにかぎらず，現実に，労働時間が短縮し，週休二日制が普遍化する過程で，家庭および地域社会ですごす生活時間は，相対的に比重がます。「……自動車文化の発達とともに，郊外に新しい現象が生まれつつある。郊外の大きな道路に面したところには立派なレストランができ，そこは近隣のマイ・カー族で結こう繁盛している。そもそも休日にもまた都心の盛り場に足をむけるという都心主義の風習は，外国で生活したことのあるものにとっては不思議な現象であり，外国では郊外にこそうまいレストランがあって，人々は食事をするばあい，とくに休日には都心とは反対の方向に足をのばすのが普通である。……しかしレストランでの食事などは，しょせん，一時の気休めにすぎない。毎日毎日を社会の矛盾との葛藤の中で生活しているこの都会化された田舎としての郊外に新しい人間的つながりができ，そこで生活を楽しみながら同時に身の回りの問題を解決していくようにならなければ，解決はほんものではない。私はそういう意味でも，地域に関心のある活動家などが副業として，パブのような，あるいはもっと落着いたふんいきの酒場と集会所をひらいてくれないものかと考えている。そこにいくと，地域の文化人にも，学校の先生にも，またサラリーマンにも顔が合わせて，夫人たちもまじえて，地域のことが話しあえ，また精神的な交流もできるというようなことを考えるのは妄想であろうか。」（篠原一）はその一端を示唆している。

とくに家事の合理化と少子世帯化にともない子どもの世話から早く手がはなせる主婦層の場合，家庭外での活動が可能な精神的，物理的時間（ないしはファミリイ・ライフ・サイクルの変化にみあった社会的活動の可能な中高年令期の延長）が解放されている。家庭外での活動は，私的な余暇活動の側面にとどまらず，社会参加への方向づけが期待されよう。もとより，たとえば宗教活動に媒介される米国とはことなり，わが国の場合社会参加といってもその具体的内容と方向づけにおいて共通の理解と経験に欠けるが，地域社会でのヴォランティア活動ということでも，不毛とだけでかたずけられない。共働き世帯における〝鍵ッ子〟の保護，孤独な老人に対するコミュニティ・ケア，放課後児童の校外指導，〝他人の子どもも叱りましょう〟運動，郷里をはなれた工員・店員をむかえての一日里親運動，ホーム・タウンを学習する運動，新ネイバーフッド・センター建設運動など散発的ではあるが，豊富な具体的実例を通じて，今後にとわれる共通の問題領域の開拓が必要である。一方，かりに地域社会の環境条件および地域社会を中心とした社会的活動に十分な認識と理解をもたず，住民ひとりひとりがマイ・ホームという殻に閉じこもっていたとしても，そうした小宇宙への安住をさまたげる外部的インパクトが深化し，普遍化してきていることも事実である。内容的には，家庭の基本的日常生活利害に直接かかわる生活妨害問題を意味しているが，一例として，一家団らん精神に表徴される家庭生活のいこいとくつろぎを阻害するものとして，これまでの内部的要因（嫁姑，親子関係などの人間関係上のトラブル）に代って，公害（騒音，ほこり，日照，悪臭，振動など）などの地域生活環境条件における外部的要因がクローズ・アップされてきていることが，政府刊行資料においても明らかにされている。もとより次元の異なる二つの要因の比較は不適当だが，すくなくとも住民ひとりひとりの生活意識に公害が外部的インパクトとして呈示されてきているところに，問題がある。

生活防衛という消極的動機にせよ，あるいは，より豊かで幸せな家庭生活，地域生活を構築する過程での把握にせよ，社会的接点を欠いた都市住民の生活構造論は，砂上楼閣の域をでない。フィジカル・デザイン，ソシアル・デザインも，生活設計そのものの発想の論理に根ざす必要のあることは，いうをまたない。

（おくだみちひろ：東洋大学助教授・都市社会学）

# 都市の生活空間 — 新しい近隣空間を考えよう

上　田　　篤

## 1. 町内会のしごと

私の師である西山教授は，先年，ご自分の半生のすまいの移り変りを，「住み方の記」として，たいへん興味深くまとめられた。私も相当数多く家を住みかえてきたが，しかし，私は先生のようにすまい研究に対するすぐれた蓄積をもちあわせていないのでとうていそのような著作をものすことは今後ともできそうにないが，しかし，たった一つだけ先生のあまりふれられていない点について，あるいは経験を披瀝することができるかもしれない。それは，すまいの内部のことではなくて，外部の問題，近所どうしのつきあいや，町内会などに関する問題についてである。特にその中でも町内会については，いささかの苦労を経験させられてきた。

私がまだ学生の頃，親元にいたとき，そこの町内会に青年クラブがあった。私は，その会長を二年ほどつとめた。会員は大学生から工員までさまざまであった。レクリエーション活動から，火の用心の夜廻りまで，いろいろなことをやった。公民館のような気のきいたものがなかったので，近所の風呂屋と交渉して，毎週月曜日の休みの夜に，その脱衣場を借りて，コーラスやダンス・パーティーに打ち興じた。風呂屋は，私たち青年の「あつまりば」であり，「巣」であった。

私が結婚して最初に住んだ東京の40戸ほどの公社の団地では，薄給でとても人なみに家賃など払えなかったので，志願して管理人になった。その団地は建ってから相当になるので，住居者の年令水準も高かった。新入りで，しかも一番若い新婚の管理人は，人々の注目の的だった。水道ポンプがしよっちゆう故障して，私たち夫婦は，寝まき姿で交替で看視にいったり，誰かが威勢よく焼却炉でゴミを燃やしたため，朝まだき消防車に叩き起こされ，散々アブラをしぼられたりした。また団地の中の芝生の手入れが悪いといって責められたり，「上のベランダでじゅうたんをたたくのをやめてくれるように頼んでくれ」といった種類の投書が舞いこんだりして，その処置に悩んだ。しかし，そんなことよりも，もっと困ったのは，附近の町内会と団地の自治会との関係だった。いろいろな寄付や，お祭り，防犯灯の管理などをめぐって，附近の町内会と団地の自治会との意見や感覚は必ずしも同一ではない。第一，団地の住民はそんなことに無関心で，そういう会合には誰も出たがらない。

一方町内会の方は，元来その附近の農家が主である。土地を売った代金をほかに投資して，日頃は暇な人たちが多いので，何かというと寄りあいである。はじめはその辺の事情をよく知らなかったので，そういう会合にしよっちゅうひっぱり出されていたのだが，途中でこれはタマランと思って，自治会を結成して，その役員に肩がわりをしてもらった。ところが，役員の中には，このような地域活動は大切なことなのに，自治会が停滞しているのに対して，管理人は先頭に立ってもっと積極的に自治会活動に力を入れるべきであると，毎夜のように説教する人があって，私たち新婚家庭は悩まされつづけた。さすがの私もとうとうたまりかねて，2年たらずで管理人を辞して，他に移った。

その後，私が京大へ勤めるようになって京都へ来たときは，私の家庭も，もうすでに二人の子供をもつほどに成長していた。そして京都市の郊外の，ある市の分譲地を買って家を建てた。80宅地ほどのその住宅地で，私は5～6番目ぐらいに入居した。附近はほとんど空地であった。道路は整備されていず，水道はよく故障した。それに子供の遊び場も，集会所もない。早速自治会が結成された。そこで私は早くに入居したということで，副会長にさせられてしまった。造成の粗雑さや，管理の不備，公共施設の欠除などに対して，私たちは，市長を自治会の総会に呼び出し，また，何度も市に押しかけていって，市のやり方のズサンさを問責し，直ちに整備するように要請した。それに対し市長は，「予算がない。宅地の状況を承知の上で買ったはずだ」の一点ばりで，ぜんぜん相手になってくれなかった。主張は平行線をたどったまま，空しく一年が空費した。水道ポンプはしよっちゅう故障し，断水の日がよく続いた。道路の鋭いきりこみ砂利で，子供たちがよくケガをした。ハイヒールはすぐ駄目になった。自動車はしばしば溝に落ちた。

二年目に，私は会長になった。私は方針をきりかえた。いままでの市の責任追求一点ばりのやり方から，「何かしたいのなら，地元も半分金を出せ」という市長の日頃のいい分に従って検討することにした。市長の態度は変った。子供の遊び場も，「ちゃんとした広い土地を買え」というさいしょの要求から，「造成のあまり地でもよい」という線まで後退し，30坪分ほどの市有地の無償貸与がきまった。その遊び場に設置する遊具などの施設についても，地元と市と半々で費用をもつということにきめられた。地元は，金がないので労力奉仕ということになった。道路も，三年計画で舗装ということで，初年度分の経費は補正予算に計上された。公民館についても，貯水池の整備にともな

い廃止される水道タンク小屋敷地をあてることにきまった。建設費は，半々で両者がもつことになった。そのために度々役員会が開かれ，何度も市へかけあいにいった。ともかくこうして住宅地整備について一応の見通しがたった。住民の一人である私も，ほっと一息ついた。

このように私たちの要求は当初からは大きく後退したが，しかし市長の立場にたって考えてみればそのいい分にも，無理からぬ点がないでもない。小さな市の悲しさで，市の予算は絶対的に乏しい。それに対してあちこちからの陳情は山積している。そこで地元が経費の二分の一をもつという熱意を示したところから，漸次改善していこうというのである。それならうるさい議会をなっとくさせることもできる。つまりまちの中の環境整備は市の直かつ工事でなく，補助事業にしようということである。体裁よくいえば，「官民協力」のまちづくりである。

こういう方向に運動をもっていくことは，一口に「改良主義」ということになるかもしれぬ。こういう形での地域整備をすすめることがよかったか，悪かったか，私にはわからない。けれども，それによって現に住宅地が整備されつつあることだけは，事実である。ほかに例えば，もっと政治を通じてやる方法などもあろう。しかし，この市長も，間にたってくれた議員も，共に革新政党に所属している人たちである。私は地方政治においてイデオロギーというものが，いかに無力であるかということを，この二年間の地域整備の運動の中でつくづく思いしらされた。

## 2. しりあい社会での生活

前に，私はこういう話をきいたことがある。神奈川県の厚木市は，米軍のキャンプのあるところである。その附近では，米軍将校の多くが日本の家屋を借りて住んでいる。あるとき，そのうちの何人かが，附近の町内会に入りたいと申出てきた。町内会の方でも別に，日本人に限る理由もなかろうというわけで，「どうぞ，どうぞ」ということになった。ところで，町内会員になるためには，月百円の会費を納入しなければならない，ということになって，話がややこしくなった。米人は，「その会費を何に使うか」というのである。「いやこれは，街灯の電気代，ドブ掃除のときの薬代，お祭りのときの子供のお菓子代など，その他もろもろの町内の整備に使うのだ」と説明したが，なかなか納得しない。「そういうことは当然シティ・サーバントがやるべきことだ。そのためにわれわれは税金を払っているのではないか」というのである。どうやらその米人は，町内会を親善のためのクラブか何かと感違いしたようである。もちろん町内会にはそういう面もある。しかし，それ以外に日本の町内会は，住民がお互いに地域で共同生活していくための相互扶助的機能や，またそれに関連する都市行政の末端のような仕事をも，うけもたされている。もしいますべての町内会が解散したら日本の都市行政はマヒしてしまうかもしれない。このような町内会を一体どう考えたらいいのか。

戦前は，この町内会や隣組を通じて，人々の思想看視が行なわれたいまわしい思い出を，私たちはもっている。現在でも，町内会は，始めのうちは「まちづくり」に熱心で，進歩的活動をみせていても，ときがたってやることがあまりなくなってくると，形骸化し，一部の町内ボスの支配により，反動政治のよりどころと化していくケースが多い。このような特殊な性格をもつ半行政的，自治的近隣組織としての町内会は，日本独得のものかもしれない。少なくとも，都市コミュニティーの発達した西欧社会においてはみられないもののようである。

町内会のもともとの原型は，農村の部落会といえるだろう。都市がどんどん農村部に拡がっていくと，そこにあった部落がまちになり，部落会が町内会的なものに再組織されていく。日本では，地形上都市のすぐそばに農村が近接している。京都の町衆なども，元はといえば，そういった平安京の近郷の村落がまちとなって生まれたものである。西欧に比して，都市コミュニテイーの形成が弱い日本の都市では，かわりに，このような町内会的なものが，住民の自治組織として生まれたとしても，格別不思議ではないといえる。

そのような「系譜」の問題は別としても，部落と町内との人間関係では，共通している面が多い。その中でももっとも重要と思われることは，どちらも顔見しりの社会，「しりあい社会」ということである。都市コミュニティーと本質的に異なる点が，そこにある。都市は，何万という人間から構成されている。お互いに顔見しりになどなれるはずがない。そこで人々が連帯性をもちうるためには，なんらかの都市愛的な一つのイデオロギーが必要になってくる。コミュニティー精神というものが必要なのである。つまり，農村が「しりあい社会」であるのに対して，都市は「イデオロギー社会」なのである。そしてわが国の都市は，この西欧の都市の「イデオロギー社会」ではなく，むしろ農村的な「しりあい社会」の集合として考える方がどうもわかりやすいところに，一つの問題点があるのである。

例えば，都市の中でも，日本人は見しらぬ他人に対しては，よそよそしい。電車やバスの中でも「他人」を突きとばしてでもわれがちにと席を争う。ところが，そこに近所のしりあいや

会社の上役でものりあわせているのを見つけようものなら，サッと席をたって譲ろうとする。譲られた方も，すぐには坐らず，お互がいに，どうぞ，どうぞとしばし謙譲の美徳を発揮し合う。しかし，ひょっとするとついさっきまでこの二人は，「アカの他人」どうしとして，押しあい，へシあいをしていたのかもわからないのである。このように，都市の中でも，日本人は「しりあい」と「アカの他人」とを割合に区別する。「しりあい」の間では，折目正しい礼儀が存在するが，「アカの他人」どうしの間では，「旅の恥はかきすて」式の無礼講がなきにしもあらずである。

町内会は，このような近隣における一種の「しりあい社会」である。町内会の集まる時間は，一般に正確である。五分でも遅れようものなら，頭をかきかき陳謝しなければならない。私など，日頃、時間はルーズな方で，いつもまわりの人に迷惑をかけているが，町内会の集まりとなると，どういうものか時間が正確になる。あまり自慢になることではないが，そこにはなにか隣近所どうしの，職業や年令，階層をこえた，お互いに尊重しあわなければならない礼儀のようなものがあるように思える。しかしこれは単なる儀礼的なものではない。そこには同時に，地域社会での相互扶助的な実益も存在していることを見落せない。先にのべた私のささやかな経験なども，その例である。このように町内会は，わが国の地方行政の末端組織であるという性格の半面，近隣における一種の「しりあい社会」としての性格をもっている。特にその「しりあい社会」における相互扶助的な面は，人間の社会生活にとって欠かせないものである。

先ほど，東京婦人少年室の主催で開かれた「共かせぎ家庭問題懇談会」で，子供のいる人，いない人ともに共通した最大の悩みは，家庭内での料理，洗濯，育児などの家事ではなくて，近所づきあいだとのことであった。なかでも，一番困るのは，町内会の回覧板や，消毒剤などをもちまわる当番ができないこと，幼稚園や小学校の送り迎えの当番ができないこと，百貨店の配達や小包みなどを，いつも隣近所に預かってもらわなければならないこと，などである。

このように，「しりあい社会」における相互扶助的活動は，人間の社会生活にとって必要なものであるにもかかわらず，現在そのような生活組織，生活空間は共に貧しいものである。それを代替しているのが，町内会活動であるが，これは，前にも述べたように，いろいろの問題を内包している。

古来からこのような近隣自治組織について，哲学者や思想家たちは，さまざまに夢見てきた。西欧におけるユートピアの歴史は，ある意味では，このような人間の地域における自治組織の，理想的形態の追求史といえなくもない。数々の「新しい村」運動やコミューン，コルホーズ，人民公社などなどはその例である。現に，「キブツ」という形で国家をあげて追求している国さえある。

日本の都市社会においても，これをどう考えたらいいのか。

戦後，日本では古くからの家族制度がくずれて，「核家族」化が進行した。ダンチ族の大半は核家族といってもいい。そのためにいろいろな問題が生じている。例えば，共かせぎの場合問題なのは「カギッ子」である。共かせぎのしわよせが，子供に及んでいる。昭和42年度の青少年白書によると，留守家庭児童である「カギッ子」が，東京では，小学生の9.7％，中学生の11.8％，大阪市では小学生の13.8％，中学生の18.5％を占めている。これらが，青少年の非行化へとつながっていく一つの大きな原因であることにまちがいはない。戦前の一般的な世代家族では，こういった子供たちは老人が面倒をみた。戦後の「家族革新」により，老人たちは「ババヌキ」として社会の片隅に追いやられてしまっている。ところが，一方個人主義の国の西洋では，例えば，西独の住宅団地などにみるように，団地の子供の遊び場や入口近くに老人住宅があり，老人と子供の接触が自然にうまく行なわれるように設計されている。イギリスでも，スープのさめない距離に老人夫婦が住むのが一つの理想と考えられている。一体これをどう考えたらいいのか。

同じ地域に一緒に住むしりあいどうしが助けあい礼儀正しくすることは，人間の社会生活の基礎といっていい。ある意味でかっての日本社会にあったそのような「美風」が，いまは失なわれつつあるようである。私は核家族化を否定しない。それは戦後日本の家族制度の大きな進歩である。しかし家族どうしのたすけあいというもう一つの面がやや等閑視され，いろいろの問題をよんでいることも事実である。公団の２ＤＫ団地をみるがいい。どこもかしこも核家族だらけである。一せいにオシメが並び，一せいに幼稚園にいき，一せいに小学校へ上る。そのように画一空間におかれた家族たちをして絶えず競争意識を働かせるように，それは設計されている。前の西独団地にみるごとく相互扶助的なものへの配慮は，きわめて乏しい。

「しりあい社会」における活動の充足を充たすような生活組織と空間――つまり近隣生活空間への配慮が現在の住宅地計画，都市計画においてきわめて乏しいように思われる。

## 3. 新しい時代の近隣生活空間

とはいうものの，私は決して都市コミュニティーの精神を否

定するものではない。それは必要なものである。「旅の恥」式行為はまことに許せない。しかし，そのようなコミュニティ精神の確立は，一朝にしてできるものではない。西洋の都市コミュニティーが成立するまでに，市民と封建領主や貴族たちとの間に，どれほど長い斗いの歴史があったかを想起すれば，十分である。これからも，絶えざる市民意識の高揚が，ことあるごとに叫ばれなければならない。従って，都市コミュニティーに裏づけられたひろばや，都市公園などの大きな都市生活空間が必要であると同時に，一方では，しりあい社会のための近隣生活空間もまた必要なものである。にもかかわらず，それが欠如しているのは，一面において，現在の都市行財政の貧しさであると同時に，他の一面においては，いまだに「地方公共団体」を「お役所」とよぶ市民感覚の奥底に潜む，公共団体と市民との間の深い断絶感に根ざしているように思われる。それは，日本社会の「後進性」というよりは，一つの歴史の中ではぐくまれてきた「社会性」ともいうべきものかもしれない。それは，きだみのる氏が「にっぽん部落」で指摘している，日本を構成している異質的な二つの社会の，一つの「部落性のある社会」なのであろう。あるいは，それは,二つの社会の一つではなく，日本社会の一つの側面を構成するもの，といった方がいいのかもしれない。

ともあれ，かっては存在したこのような近隣生活空間でさえ，現在次々と破壊されていっている。むかし，私たちが住むまちの生活空間といえば，まず道路があった。道路で人々は，遊び，語らい，楽しんだ。しかし，いま道路は自動車が占領して，人々は，家の中に追いやられてしまった。かっての産土社である氏神の社や鎮守の森も，どんどんつぶされていく。お寺でさえも，バーやパチンコ屋に変身する。むかし人々の生活の場であった近隣生活空間，お祭りが行なわれ，夜店がたちならんだまちの空間は，逼息してしまった。そもそも都市コミュニティー空間が欠如している上に，このような近隣生活空間までも破壊されてしまったのでは，一体現在の都市は，人間にとって何なのであろうか。

こういう状況の中で，最近話題の「チビッコ広場」は，このような近隣生活空間復活への，一つの明るいニュースといえるだろう。京都市では，今年度中に300カ所つくる計画で，建設が進められている。京都市におけるチビッコ広場の第一号は，あるまちの人たちが，子供たちのための地蔵盆をする場所がなくて，みんなでさがしているうちに，まちの近くの無縁仏の共同墓地を見つけて，市に申請したことから始まる。チビッコ広場というものは，さいしょはみんな児童公園のことかと思っていたら，3坪でもいいということがわかって，それからあちこちの町内会で土地さがしが始まった。住宅の密集地帯では，安全でさえあれば，わずかな土地でも，子供の遊び場になる。善意の地主が土地を提供してくれる。こうしてチビッコ広場の運動はひろがった。もちろん児童公園はいいけれども，何しろ遠い。そこへいくまでが不安である。また大きな子供が自転車をのりまわしたり，大人たちが野球で占領してしまったりする。それにその数も少ない。それにひきかえ，チビッコ広場は家々のすぐ近くにある。そこで児童公園の方は，閑散としていっても，チビッコ広場の方はいつも子供で賑わっている，というような現象がみられてくるようになる。しかしこのチビッコ広場にも問題はなくはない。それは大部分が善意の地主の借地であるため，地主の気が変ったら取上げられてしまうかもわからない不安がある。また，これからはこういったチビッコ広場から，もっと大人も楽しめる近隣広場を整備する方向を，考えるべきであろう。土地がなければお寺や氏神社の境内などをもっと活用すればよい。また，そのための新たな土地対策をも講ずべきである。

私は，現在，自動車があふれ，巨大資本による歓楽施設や，冷たいコンクリートアパートがたちならんでいるまちの姿は，異常なもののように思う。

先日，ある団地で子供たちのためにお地蔵さんをおきたい，またある団地では夜店を出したいと陳情したところ，団地の美景がそこなわれるといって当局から拒否されたというニュースが，新聞に出ていた（朝日新聞，昭和42年6月24日）。その後どうなったかは知らないけれども，たとえ一時にもせよ，そういうものを拒否する発想がでてくるということは，すべてを「近代主義」で割りきろうとする当局者たちの悲しい感覚である。夜店やお地蔵さんに似あわない住宅団地など，庶民は欲してはいない。コンクリートの箱を並べたものでなく，人間のすむまちを，庶民は心から欲していることを知るべきである。科学技術が高度に発達した今日において，人間とその家族が，相互に独立しつつも，たすけあい，より豊かな生活を営むための新しい型の近隣生活空間を，これからの新らしい建築家は意欲をもって追求すべきではないかと思うのだが，どうだろうか。

（うえだあつし：京都大学助教授・地域計画）

# 座談会＝都市と人間生活

## 都市計画・都市交通・公害災害・消防火排煙・中小都市問題 団地生活・住民意識の高揚などの都市生活上の諸問題をつく

・と　き　昭和42年11月9日（木）
・ところ　近畿建築会館
・出席者　（順不同・敬称略）

近藤　達夫（大阪市綜合計画局再開発計画課長）
中西　健一（大阪市立大学経済学部助教授・経済学博士）
稲見　悦治（神戸大学教授・理学博士）
恩田　一則（大阪市消防学校長）
南野　三郎（西宮市市長公室長）
梁　雅子（作　家）
司会　大藪　寿一（大阪市立大学文学部助教授）

---

**大藪**　戦前も都市にはかなり人口が集中していたわけですが，戦後は特に技術革新とか，経済構造の変化，資本主義の高度化というようなことで集中スケールが随分戦前とちがいまして，過密状態を起こしたわけです。それがある一定時期まできて，徐々に周辺部の中都市および小都市に人口が流出して参ったわけです。この過程においていちばん問題なのは住民の人間生活がいろんな形において侵害されて，その被害が拡大化したことです。郊外化に伴って，都市から流出した人間は，郊外の低そうアパート，長屋的なアパート，文化アパートに住みつき，無秩序なスプロール現象がおきています。また中心部都市内部においても，大多数は粗末なアパートに住まっているという状態です。

さらに高層ビルや地下街が出現し，新しい災害の発生が心配されています。交通のラッシュ，住民の生活の侵害，公害，災害などの問題や，人口の流出によって中都市が新しく抱え込んでいる悩みなどについて話し合っていただきます。こういう問題を全体，関連的にお考えいただきまして，全体の考えのなかで，それぞれの問題にどう対処したらよいかをお示しいただきたいのです。

最初は都市計画，開発計画の問題をとりあげたいと思います。経済審議会の産業立地委員会の内部には一方には，拠点主義という立場があり，一応，首都圏整備計画，近畿圏整備計画，中京圏開発計画が出されました。同時にこの委員会内部には，格差是正主義という立場があり，新産都市というものが具体化せられた。これの功罪は別としまして，要するに今後都市を高度に再開発してゆこうという都市主義的立場と，大都市の機能を分散させて，将来，地域の統合を作り上げようというリージョナリズムの立場という二つの両極的立場があります。これを具体的な次元にあてはめると，大阪市の再開発を考える場合にも，この都心で完全に消化してゆくということと同時に，地方都市との関連で広域的な地域統合を目指すという方向があると思います。そういうことで大阪市の計画はどういう方向を考えておられるか，ひとつ近藤さんおねがいします。

### 都　市　計　画

**近藤**　現在の大都市の直面している問題としては，一般には過密の弊害というとらえかたをされておりますが，具体的には住宅難，周辺のスプロール，都市交通の混乱と，いろいろな問題がございます。これらをそれぞれ解決して好ましい都市の姿に持っていこうという計画が都市計画ですが，これにつきましてわたくしどもがどういうことを考えているかということを申しあげたいと思います。

まず従来の都市計画はいわゆる法定都市計画でございまして，都市計画法，建築基準法の二法律に基づきまして従来やってきたわけです。法定都市計画は大きく分けますと，つぎに申しあげます二つの方法により都市形成を好ましい姿に導いていこうとしていたんでございます。その二つの方法と申しますのは，第一番目に街路，地下鉄，公園，高速道路というような個々の都市施設の整備事業を行ないまして，それによって都市を計画的につくっていこうとしているわけです。第二番目の方法は，これは公共事業としてやるのじゃございませんが，地域制によりまして建築物の規制を行なっていこうという方法でございます。これには用途地域制，これは都市のなかの土地の使いかたを都市計画法で決めたもので，例えばここは住宅地，ここは工業地というような使いかたを決めたものでございます。そのほかに都市の防火性能を高めていこうというので防火地域という規制があります。都心部の商業施設の建てこんでいるような場所で木造を禁止して耐火性の高いものにします。また景色のいいところを保存してゆく風致地区とか，美観地区などございます。これらが地域制による建築に関する規制でございます。

こういうようなことで従来やって参りましたが，最近になりまして非常に急速な経済成長と，それにともなう都市化現象のためにいくつかの問題点が出て参りました。たとえて申しますと，人間の日常生活圏が非常に拡大して参りました。それは交通機関の発達におうところが多いんでございますが，ひとつの家族が郊外の住宅地に住んでおりまして，お父さんは御堂筋とか，中之島へんの会社へ行って，お母さんは近所の買物とかそんなところへ，子供たちは小学校とか，また大きい子供は京都の大学へ行っております。このように日常生活圏が広がって参りましたから，これまでの各単位都市ごとに計画をしていました都市計画をもっと広域計画という形にもっていく必要が出て参りました。

このような情勢の下に，現在大阪府が計画の大阪地方計画とか，近畿圏整備本部の近畿圏基本整備計画とか，こういった広域の計画案がなさ

れている途中にあるわけでございます。このように都市計画が非常に広域化して参りました反面では，細部のキメの細かな計画がまた必要になって参りました。たとえばコミニュティを重視した都市計画，小学校の通学区域のなかへ幹線道路が新しく開設されるようなことが起こりますと，通学区域がそれによって両断されまして，このため幼稚園や小学校に通う子供たちはあぶなくなったという，そういうことについても，都市計画ではいろいろ考えていかなければいけない。そんなような問題が出て参っております。



梁　雅子氏　　中西健一氏　　近藤達夫氏

このようにしまして，今日の都市計画はいま申しあげました，法定都市計画の枠を越えて大都市圏の理想的な姿（理想像）を追及していこうという方向を目指しておるわけです。いうまでもなく都市は人間生活の器でございまして，大阪で申しますならば，中国，四国，九州のほうから若い人たちが就職で大阪へ出て参りまして，生涯を託すところでありますので，住みよい都市，働きやすい町にしなければならないというふうに考えるわけでございます。そのためにはさきほど申しあげました通勤難とか，道路交通のマヒ，あるいは住宅難とか，公害というような問題点の解消が是非必要なわけでございます。

中馬大阪市長もときどきたとえ話でいいますように，以前は路地は子供の遊び場でありましたが，最近は自動車にとりあげられてしまい，子供の遊び場も老人のひなたボッコする場所もだんだん少なくなってきて，だんだんと住みにくくなるというような面がございます。こういうことをなんとかして解決してゆかなければならないと考えます。

このためには積極的には都市の再開発を進めてゆく必要があるわけでございます。最近，大正9年にできた都市計画法の改正でありますとか，建築基準法の改正でありますとか，あるいは都市再開発法——これは現在審議中でございますが——というのがありまして，こういう準備が進められております。まあ法律ができましてどのくらい再開発が現在より進められるかはまたこんごの問題でございますが，こういうものによって是非強力に進めてゆきたいと考えております。すでにご存じかと思いますが，大阪市ではマスタープランをつくりまして，将来は商業地域の船場はこういうようにしたいとか，住宅地はもっと高層住宅地をつくって，オープンスペースや子供の遊び場その他もとれるようにいろいろと絵をかいております。こういう夢が実際に実現できる経済力があるのかという疑問がここに出てくるかと思いますが，それには将来非常に国民総生産が伸びてゆくという希望的なといいますか，うれしい観測が経済審議会あたりから伝えられております。そこで所得が倍になりましてもわたくしどもはゴハンを倍たべるというわけではございませんので，余裕ができた分によってもっと都市の整備に資金を投入してゆくことが相当可能じゃないかと思います。本年も一つ夢をもってやってゆきたいと，こう考えております。

**大藪**　やはり大阪だけの都市計画じゃなくって広域的計画によって理想像をつくって行くというお考えですね。ではつぎに中西さんには交通のお話をしていただきます。長距離の輸送は汽車がいいか，飛行機がいいかとか，また，短距離は電車がいいか，自動車がいいかなどいろい論議がありますが，われわれ住民の生活と密着して，この問題をどう改善したらよいかお話しください。

## 都市交通問題

**中西**　はじめにおことわりをしておきますのは，都市の交通といいましても，貨物の輸送と人の輸送とあるわけでございます。さらに交通の手段についても大都市ともなりますと，空港や港湾，トラックターミナルなどももっておりますが，こういうものはきょうのお話のなかでは省きまして，やはりいちばん矛盾がはげしく出ております人の交通，それも通勤通学を主にしましたところの公共交通の問題と自動車の問題，これに限定をいたしましてお話をさせていただきたいと思います。

この都市交通の問題点というのも，住宅とか公害とか，その他のいわゆる都市問題と根は同じだろうと考えます。これをひとくちで申しますと，さきほどからお話が出ておりますように，大阪の場合でもいわゆる人口のドーナツ化現象が進み，増加する人口の大部分が郊外あるいは府下の衛星都市に住宅を持ち，そうして中心都市である大阪に通勤をしてくるという形をとるために，ラッシュアワーという現象が年々強くなっておるわけでございます。35年度の国勢調査と40年度の国勢調査を比較してみますと，毎日大阪市内へ周辺都市からはいってくる人口は35年の57万人から，40年度の88万人にふえている。その結果としまして，乗車効率が250%からなかには300%というような殺人的なラッシュが続いております。

ところが，この殺人的なラッシュという現象は国鉄，私鉄，公営交通事業といった企業体にとりましても，経営上いろいろな問題を引き起こしております。と申しますのは，現在までのところ，そういったような通勤需要の急増に対しまして輸送力の増強は車両をふやす，たとえばいままで5両連結であったのを6両とか，7両にふやす，それにともなってホームを延ばすとかというような，いわばある程度小回りのきくような方法で応急的に対処してきた。ところが応急的な方策が限界にきて，単線であったところを複線にする，あるいは複々線にするというような，線路自体の増設をしなければニッチもサッチもいかなくなった。

ところがこの線増の場合はいうまでもなく土地が必要ですが，都市における地価，土地の値段の異常な騰貴のために用地費が非常にかさむことがガンになりつつあります。そうして市内の場合について見てみますと，大阪市は，昭和44年度末，万国博までに環状線の内部，都心部の地下鉄網を現在の2倍にするという方針でどんどん建築を進めておりますが，この場合には用地費は地下をもぐりますからいりませんけれども，その代り建設費が非常に高くつく。キロあたりだいたい40億円から50億円というようなバカデカイ建設費を必要とする。このことは東海道新幹線がキロあたり7億3千万円ですから，これと比べていかに市内部の地下鉄の建設費が高くなるかがよくわかると思いますが，こういったような莫大な建設費を要する地下鉄がほとんど借金でまかなわれている。



稲見悦治氏　　恩田一則氏　　南野三郎氏

そのために利子がかさみ，資本コストが非常に大きくなる。ところがそういったようなコストを料金で回収するということは到底不可能なんです。そこで地下鉄の建設については，せめて道路なみの⅔の国庫補助が絶対に必要だと考えます。

しかし都市交通問題というのは輸送力つまり供給をふやすことのみでは，解決することは不可能で，需要を抑制することも必要ではないかと思います。つまり住宅の配置であるとか，都市計画，こういったような問題と密接に関連をしているわけで，このような問題を考えながら交通問題を考えるということでなければ，到底近い将来において通勤ラッシュを根本的に緩和するということは，まず望めないんじゃないかと思われます。

しかもそれにもってきて最近における自動車交通の急増はご承知のとおりでございます。現在大阪府下の自動車の保有台数は約70万台といわれておりますが，最近の10年間では，大阪府下の自動車の保有台数は5倍にふえ，東京都の4.5倍を上回るはげしい伸びかたを示しています。これに対し道路の整備は非常に立ちおくれております。自動車とそのいれものであるところの道路や駐車場とのアンバランスははげしくなる一方で，しかも今後自家用車，いわゆるマイカーが爆発的にふえるんじゃないかというようにいわれております。

ところが都市という人口密度の高い狭い空間の交通手段という観点から考えますと，鉄道か自動車かという議論があるわけですけれども，このマイカーというものはおそろしく非能率的であるし，かつ高くつくということは，否定することのできない事実だろうと思います。そうしますと，マイカーを中心にした自動車交通というものは大都市において，特に都市部ではなんらかの形で野放しの増大を押さえることが必要ではなかろうかと思われます。

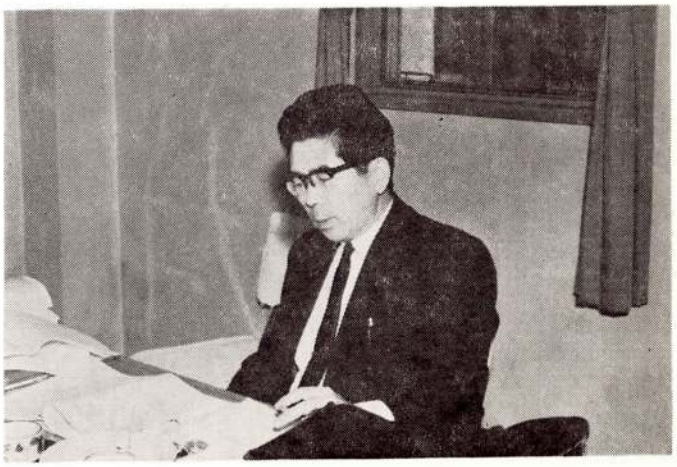
そのほか交通事故，排気ガスや騒音という公害の問題をもっているだけに，こんごの都市交通のありかたを考えるうえでは自動車規制は大きな問題だろうと考えます。

**大藪**　自動車の急増はますますたいへんな問題になりそうです。同時に住民生活一般を考えた場合には，公害というものがございます。これには，物理的な公害と社会的な公害とがあります。社会的な公害としては犯罪が多くなるとか，スラムが膨張するとかいう問題がありますが，稲見さんには特に物理的な公害のお話をしていただきます。四日市では典型的な公害を起こしていますが，一方，沼津三島コンビナートでは住民が反対運動をして，これを阻止したということでございます。これもまさに社会問題になりつつあります。この問題について，稲見さんおねがいします。

## 公害・災害

**稲見**　都市計画の広域化，大都市周辺都市の開発といろんな問題が出て参りますが，そうやればやるほどこんどは災害の広域化という矛盾が出て参ります。こういうことを是正するという意味でたしか終戦直後に大阪の人口を200万に押さえろとか，神戸は50万くらいにすれば非常にいい都市ができるんじゃないかといって人口の規制による都市の再編成ということをねらわれたことがあったと思います。わたくしもそれに興味をもって，大阪市や神戸市の懸賞論文に投稿し，幸い第一席に入選し，思いもよらぬ多額の収入を得たことがあります。ところが，そういうような都市の人口規制ということは一向に行なわれないでだんだんふえる一方で，それではいったいどうなるだろうかということで，わたくしは広島に行ってみたり，あるいは長崎に行ってみたりして，広島や長崎はどういう町になるんだろうか。長崎はどうかわってゆくんだろうかというように，戦災都市の発展というか，復興というか，そういう形をズーッと眺めておったこともあります。さいわいに広島はひどくやられた関係もあり世界注視の町であったので，都心部の再建はうまい具合にゆきました。しかし長崎は問題を残した。大阪や神戸の場合でしたら，まあ中途ハンパで，最近に再開発で街はごった返している始末です。そのなかで復興計画がうまくいったのはみなさんのご承知のとおりに名古屋くらいじゃないか。結局都市を開発しろ，開発しろといいながらいろいろな事情もあるだろうが，マイナスのほうにだんだん進んでゆくのが現状だと思います。しかし，近藤さんのお話にもありましたように，市当局のかたはいつも幸福なとか，住みよい都市とかというようなことを看板に

大藪寿一氏



掲げておられるが（笑い），そううまくゆかないのが現状でしょう。また広域開発というところにも新しい問題が生まれておるわけでしょう。たとえば地下水をどんどん汲みあげて工業を発達させれば地盤の池下は当然出てくる。あるいは新潟のように天然ガスをどんどん汲みあげればやはり同じような問題が出てくる。一方で開発すれば他方では苦しむ。ところが，開発をする人は苦しんだらいいんだけれども不幸なことには，開発する人はどんどんある程度収入があるのだが，そうでない人々が苦しむ形が出て参ります。そこに大きい社会問題があると思います。たとえば神戸市の場合でもどうしても町を守るために山をガッチリかためなくてはならない。

事実昭和13年にやられまして以後，神戸は14年から本格的な六甲山の砂防や植林をやりまして，そのために36年の集中豪雨には水害はほとんどなかった。こんどのやつも随分被害が出たように新聞あるいはテレビでやっておりましたけれども，ひとつひとつを分析してゆきますと集中豪雨そのものによる被害はすくないのです。というのは山から流れてくる土砂の大部分は砂防えん堤がせきとめたわけです。もしせきとめておらなかったら，それこそ13年の水害の二の舞とひどい被害を受けたでしょう。そんなら山をどんどん堅めて植林をすればそれでいいのかというと，かならずしもそうでもない。

山から砂や土が流れてきますと三角洲ができてどんどん人間の生活舞台が広がるわけなんです。それを人間の手でチェックしておさえてしまいます。そうするとふえるどころか，こんどは海のほうの力が充気してきて波がだんだん強くなり，いわゆる海岸侵食がひどくなる。阪神間をお歩きになったらわかりますが，ほとんど砂浜らしい砂浜はありません。昔の本では"白砂，青松の海岸"ということになっておりますが，阪神間だけじゃありません。須磨へ行きましても，まあやっとあそこは海水浴場は残っておりますが，ひなたぼっこをする砂の地があるかというとほとんどないわけですね。どうも山を治めるということの矛盾がそこへ出てくるわけです。そんならどんどん山から砂を流したらいいんじゃないかといえば，下には市街があってどうにもならない。

わが国は洪水防止方法として低水位工法から高水位工法に切り替え，堤防を高くして，いわゆる万里の長城式の堤防をつくりあげる方法をとったわけです。これが成功をして最近では大きな川の洪水はほとんどなくなりました。ところが万里の長城式の堤防をつくりますと，こんどは全部一カ所に水が集めるわけで，いわゆる鉄砲水（テッポウミズ）というんですか，一気に海へ流れこみます。するとひとたび一カ所が切れますとその地点を中心に集中攻撃を受けるわけなんです。昔の人は水と戦うなんていわないで水となれあいっこの治水をやっていた。どうしても水がはんらんしたかったら，どうぞしなさいと。はんらんした水を竹ヤブや森林で受けるとかというような形を取った，どうしても水が堤外にあふれたいのならあふれさせる。そうして堤外へ出たい水は遊水池という水の遊び場までつくって水と戦いながら，またなれあいっこのやりかたで洪水の防止をした。ところがいまは土地が不足をし，川の土堤の竹ヤブは全部切られてしまった。遊水池もどんどん埋められてしまって，もう水の遊び場はなくなった。それがためなまなましい，いま水害という形になっております。それも堤防が頑丈であればいいんですけれども，頑丈頑丈といくらいっても経済的限界があり，思いかけぬ降水量があると破堤します。

こういった矛盾がいたるところに出てきております。だから災害防止といってやればやるほど，まあ災害を受けると被害は集中形になる。大阪の場合でもジェーン台風ですっかり堤防をかためたり，あるいは低地のかきあげやったから，第二室戸台風では被害は非常にすくなくなった。しかし市民の側からいうと被害はすくなくなかったから，これでいいんだとは決していわない。たとえばこんどの神戸の場合でもなくなったかたはごくわずかなんですね。13年にくらべたら1/10もない。ところが，ひとりでも犠牲者がでたらというところに問題があります。開発と災害防止のむずかしさが出て参ります。

そうして大都市から地方都市にまで開発が進んでおります。まあ阪神間を例にとりましたら，もう明石も昔のように風流な町ではなく，明石の海岸を歩きましても1本の松の木もありません。砂浜もなくなっております。それからそれも明石だけかと思ったら，加古川や高砂ももう工場化のため，すっかり荒されてしまって住みよい町というものからだんだん遠ざかってきます。姫路は大丈夫と思ったら，最近の新聞報道では姫路は日本屈指の亜硫酸ガスの高いところだということになりました。その報道はどの程度正確かはわかりませんけれども，多分そうだろうと思います。

"阪神間で住みやすいところはどこや"というと海岸地帯にあまりない。内陸はどうかといえば，これもスプロール化しております。最近豊中へ調査にしばしば行きますが，豊中のイメージはたいへんよいと思っていたが，歩くほどにだんだん豊中のひどいところが見えてきました。"そりゃいったい誰れの罪か"もうすこし，ひとり，ひとりの人間，個人のほうが目ざめなければいくら当局者がどんなに声をからしてもおやりになっても住みよい町をつくることはできない。住みよい町づくりは結局ひとり，ひとりの市民じゃないだろうか。豊中だけではない。川西市もスプロール化は広がっております。海岸地域が荒れると同時に同じような荒れかたが内陸部の都市にもおよんでおります。住みよい町どころか，たいへんなことになります。ではいったい，これからはどうしたらいいのかということになるわけでございます。

**大薮**　再開発が進むにつれて高層ビルや地下街の建設が進んでいます。また特にそこを利用する人間が非常に群衆的になってきたということもあり，災害の防止という問題が非常にむずかしい局面を迎えていると思いますが，その点につき恩田さんから高層ビルと地下街の火災の見通しについて。

## 消防火・排煙問題

**恩田**　都市の周辺がスプロール化して建物が上にのびたり，下に拡がったりするのは都市の再開発上やむを得ないことで，このような現象は今後の都市の形態になると存じます。このことが都市防火の観点よりどうかという点で問題を残すということになるわけですが，ある意味においては非常にいい方向じゃないかと思うんです，と申しますのは高層化によって空地ができるとか，あるいは空地によって道路が拡張できると，それによってさらに交通難，パーキング難というものが解消されます。またそれ自体が高層して耐火性も有しているということで密集市街地の地域的な防火，延焼阻止にもなる。あるいは火災以外の災害の場合，パニック現象を中和するということ等，ある程度希望的な面があるわけです。その反面，マイナス面として，いままでの低層木造住宅の密集市街地を対象とした防火，消防の概念を根本的に修正しなければいけないと思います。

その具体的な例として，まず第一に建物の構造が高層化しますと，外部からの延焼は考慮しなくてもよいが，屋内の延焼特に，縦の延焼阻止ということが非常に大きな問題になり，さらに高層化の点で煙の速度，容積の増大による一酸化炭素あるいは酸素不足によって焼死という問題が益々増加する現象も現われて参ります。それと避難誘導という点で既設のようなものではむしろパニックが増大することも考えられますので，組織的なコントロールが行なわれなければいけないという問題も生じてまいります。その他，消火の際の消火用水の配水の問題，または既設消防力の効果以外の部分に対する措置といったような，いろいろな問題が出て参ります。

**大薮**　高層化の場合にも，プラスの面が多い反面，マイナスの面のお話もいただきましたが，地下街のような場合には煙がたくさん出て窒息死などの災害が多くなるんじゃないかといわれております。そういう面はどうでしょう。

**恩田**　ただ今は問題点のみをあげ言葉がたらなかったようですが，地上

地下共通のマイナス面の対策を考えてみますと，まず建物内の延焼に対し，二つの方法が考えられます。その一つには，現在の法規制によれば主要構造のみの耐火を要求し屋内の耐火は考えていない点があります。これは耐火のかまどにまきを燃やすのと同様で，建物が高くなると煙突の作用で益々燃焼をはげしくすることになります。これが防止として当然屋内を不燃化することが考えられます。収納物はともかく屋内を形成する平面の不燃化は是非必要であります。

いま一つは，延焼を局限するために防火区画が必要であり，その区画面積は小さい程有効でありますが，現行規制の1,500㎡は過大にすぎ，かつ，防災を主旨としていますが，今後は煙の防止も兼ね，少なくとも500㎡位に区画することが必要と考えられます。

次に問題の煙対策でありますが，要は排煙することにより，避難を有効にすることで，具体的には避難が階段で行なわれるのですから，階段が煙道とならないよう階段室に排煙専用の筒(排煙筒)を付設することが考えられます。またその配置は各階どの部分からも歩行距離20m～30m位になるよう配置を考えたいものです。20m～30mは，いわば人間の耐煙距離というべきものであります。

次に排煙筒の排煙方法が問題になりますが，それには風力によるもの，ファンによるもの，煙の温度浮力によるもの，加圧によるもの，並びにこれらを組合せたもの，といった方法が挙げられます。現在のところ，ファンによる吸引が効果があるように思います。

次に避難誘導でありますが，事故発生により，建物全体がパニック性を起すことが予想されますが，これによる2次災害をさけるため，これについての統制が必要と思われます。具体的には防災施設，手段が明確に，しかもワンタッチでできるようなコントロールルームの設置が考えられます。

さらに建物が高層化するのに対応して，消防力を直ちに強化することは，経済的，技術的，時間的に困難でありますので，それらの部分については，建物内部で，自らが火災の発見，通報，消火をし，対処しなければならないと思います。

これらの手段と，火災発見には，煙による感知を有効とし，消火にはスプリンクラーを用いるよう，発見と消火は自動的に連動操作することが必要となります。この他，消火用水の排水，高そう部分または地下部分に設けられる業態規制等もありますが省略させていただきます。

**大藪**　つぎは大都市の過密化に伴って中小都市にはたいへんな人口の流入が起っています。このためたとえば児童数の急増で校舎が足りないとか，財政的に苦しいとか，悩みが多いと思います。この点について南野さん，西宮市の例も含めてお聞かせください。

## 中小都市の悩み

**南野**　中小都市にもいろいろ問題が累積いたしております。特に経済機構の発展にともないまして，市民からの行政の需要というものは非常にふえてきております。ところが市の規模とか，能力というものには限界がございます。そこでわれわれとしても，広域の都市計画をやらなければならない。そこで道路網の問題とか用途指定とか，というようなことをやるんでございますが，市内の中心部についてはすでに用途規制はできているんでございますが，西宮市の場合はご承知のように六甲の南側と北側と両方に分れておるわけでございます。北のほうは用途規制をやろうと急いでいるんでございますが，いまだにその基本になる地図さえないような次第でいまあわててつくっている現状でございます。ところがすでに山肌をむいて家がつぎつぎと建ちつつある状態です。そのほか道路網の問題にしましても，用地の取得というような問題が非常に難点なんでございます。と申しますのは区画整理をやりたいと思いましても坪単価が非常にあがっているために，たとえば2割5分の減歩率があると，それを仮りに坪7万円でかけてみるわけですね。そうするとこれはいくらの損になるというようなことで用地の取得が容易にできない。そこで道路の拡幅すらできない。そこへ人間がどんどんふえると水の需要がふえる。産業を誘致しようとしても工業用水が足らない，こういうふうな問題を西宮だけでできるのかといえば，たとえば武庫川の水ひとつを使うにしても，西宮だけではどうにもならない。西宮なり宝塚なり，尼崎，伊丹の各市が一緒になってやらなければならないという問題もございます。

それから海岸開発の問題でありますが，数年前，財源確保の意味で西宮に日本石油を誘致して，今までの競馬，競輪を廃止してひとつ税収でやってゆこうじゃないかということで大計画を立てたんですが，住民から非常に大きな反対がありまして，そのためにつぎの市長選ではそれを提唱した市長はやぶれまして酒屋さんから出られたほうの市長が出られたわけです。そういうことでございますが，埋立はやはりやらなければならない。大阪，神戸ではどんどん埋立てが進んでいる。西宮は大阪湾のいちばん奥にあるので高潮のときにはいちばん大きな被害がでる。県にやかましくいいまして，大阪湾の西部海岸開発計画が最近県の手でできまして尼崎，西宮，芦屋をふくめまして，一応阪神港という形で港湾計画ができまして審議会にいまかけているような状態でございます。

その他煤煙とか，粉塵とか，ガス，地盤沈下にしましても，広域的に解決せねばいかん問題がたくさんあるわけでございます。たとえば煤煙の規制についても西宮で出さなくっても尼崎の煤煙が流れてくる。地盤沈下などもやはり武庫川を中心にしまして尼崎のほうにかたむいて沈下を起こしている。亜硫酸ガスまたは排気ガスの問題にしましても，実際に西宮の自動車がそれだけの排気ガスを出しておるかというと，そりゃないんですね。

西宮市の場合はほとんど通過交通なんです。第2国道があり，阪神国道があり，こんどは阪神高速道路が第2国道の上を通るわけです。それからさらに中国縦貫がこんど北部を通るわけですね。ですからもう日本の重要な幹線は全部西宮の町のなかをふたつにぶった切ってゆく。その上山陽新幹線が通ります。この問題にしましても西宮になんらプラスにはならんわけです。こんなよいところないといわれている住宅地のドマンナカをその新幹線が通るわけですね。と申しましてもわれわれはその新幹線を否定できないわけです。新幹線に反対している人も東京へ行くのにどんなにしてゆくかということ，みんな新幹線に乗ってゆくんですよ。そういう状態ですね。われわれ否定はできないが，しかしこれらに対してどのように対処するか，これがいちばん大きな問題なんですね。もうひとつは終戦直後にやっておきゃできた問題なんですが，今日までなおざりになっておったというのが，これには財政の問題もありますが，やはり為政者あるいは議会などの人たちが表面ばっかりを見ておった。

たとえば道路をつくると，あの人はよい道をつくってくれたということになるんですがね。下水をつくったといえばあの人は下水をつくってくれた，あの人は屎尿処理をやってくれた，あるいはりっぱなゴミ焼き場をつくってくれたというのは功績には結びつかないんですね。あの人は学校をつくってくれたとか，公民館をつくってくれたとか，道路舗装をしてくれたとかということは非常に大きな功績になるわけですね。下水の問題などいまそれをやるとなると，もう気の遠くなるようなカネがいるということですね。西宮の場合は文教住宅都市宣言をしておりますが，学校教育とか，公民館とかというものについてはよく整っております。公民館なんかは日本一というくらいで13も公民館がありましてね。公民館の職員が60人もおるというようなことですが，片方では至らない市政がまかり通っておるわけですね。

社会福祉の問題とか，その他いろいろな問題についてはわりあいに進められております。いわゆる正面に見えているもの，あるいは市民が端的に要求のできる問題はわりあいに解決しておるわけですが，市民の気のつかないというふうな問題についてはわすれられておったということですね。いままで都市の場合は人口がふえるということはその都市の実

力がついてきたということなんですが，西宮市の場合は都市の人口がふえたからといって，市の実力がどれだけふえたかというと，そうではない。

いわゆる大阪の生産する人たちを単に受け入れておるという形で，はっきりいえば，西宮がそれらの人たちのために住居を提供して子弟の教育をやらされているというところに多少問題があると思うんです。これは流出人口を見ましてもですね，調べてみると通勤者が8万6,000なんぼというのがよそへ出て行っておるわけです。そのうち5万2,000人が大阪市，これが家族3人ずつとしましても15～6万の子弟というものは大阪市の経済基盤の中で生活をしている人です。その人たちを西宮市が面倒見なければならんということなんですね。この人たちがいかに腰かけであるかということは，投票率を見てもわかるんです。たとえば，昭和41年に行なわれた知事の投票率を見ましたら33.5%，県会議員の投票は48%で，いちばんやかましい市長と市会議員の選挙は最近は55.6%ですから，わたくしはこのような人は市民やなしに準住民やというんです。これを甲子園団地で見ましたらこういうことになります。甲子園団地では約2万人くらいの人がいっぺんに急増したわけなんですね。この人たちのためにわたくしのところでは，保育所，幼稚園，小学校，中学校，高等学校を建てましてね。それだけの経費は9億3,700万円を入れているんですね。ところがね，この人たちから納めてくる市税の収入は41年度で6,700万円なんです。1世帯平均にしましたら，1万3,300円，ところが，子供の教育費はなんぼいるかといいますと，小学校だけで1人1万4,000円いるんです。中学校は1万7,000万円，高等学校は7万円，幼稚園5万円ですわ。ちと面白いのは保育所です。働く母親，共かせぎのうちの子供をあずかっておりますが，保育所に入れますと，保育児1人について12万7,000円いるんです。お母さんに働いてもらうために，月1万円ずつの補助を出しているようなものですね。人がふえたからといっても全然財政的にはプラスにはならない。持ち出しばかりなんですね。

その持ち出しはどこで辻ツマを合わせておるかというと，西宮市の場合はわりに市民税収入がいいほうなんです。基準財政額より上回っておりますので，国からは地方交付税は一銭もこないわけなんです。災害とかなんとかの場合に特別交付税がくるだけなんです。

そこでいまどうにか活路をしのいでおるのは競馬とか競輪ですわ（笑い）。これでまあ年間8億くらいはあるでしょう。そういうようなことをさせておるという国の行政のありかたに，わたくしは問題があるんじゃないかと思います。やるべき仕事はあまりにも多くして，その財政の裏うちをしてくれないということ，これは大都市でも最近は各地からどんどん人がくるから施設をどんどんふやさならんから，なにか入市税的なものを考えるべきじゃないかといわれておりますが，われわれのほうはどんどんこられて全くお手上げですわ。りっぱな産業の誘致も工業用水がなく用地も高くってこない。でその面の税金は期待できない。なるほど酒がありますが，これは全部国税です。市には全くはいらない。甲子園，西宮両球場の入場税は全部国のほうへ参りまして，むろん市には入ってこないというようなことで，中小都市の悩みというものは非常に大きいと，まあこういうことでございます。

**大藪**　その悩みは非常に切実なものですね（笑い）。実際に住民ではあるが市民ではない人々が多くなっています。被害は人口増加ということだけではなく，排気ガスまでふくめて大都市の被害が中小都市にシワ寄せされているということですね。

つぎに梁さんは千里ニュータウンといういちばん理想的なところにお住まいでございますが，その理想的なお住まいは大阪市内と比較をしてどういうところがちがうか，理想的といってもいろいろと問題点があろうかと思います。そういう点につきまして具体的にお話しください。

## 団地生活・千里ニュータウン

**梁**　わたくしは大阪の人間でございますが，公害とかいろいろの問題が起こってくると思って，思いきって千里のニュータウンへ行ったわけなんでございます。その時代は，もうほんとうに砂漠のなかにいるような感じがして，開発する最中でございましたが，みるみるうちに家が建っていったんでございます。千里ニュータウンといっても，いろいろの種類の住宅がございます。わたくし，そこへプレハブ住宅を建てることを条件付で，土地を求めたわけですね。そのころはみなそうなのでして，プレハブ住宅がズラリとならんで建っております。まあだんだんとよくなってはきましたが，こんご団地を建設するときはどうしても5万とか，7万以上の人口でないとよくはならないと思います。いまは人口も多いもんですから大阪のメーカーのものは，まずなんでもは売っているわけなんです。

わざわざ電車に乗って百貨店まで行かなくともだいたいのものはそろいます。レストランもあってわりといまは快適です。それはそれでいいんですけれども，府に文句をいいたいのはですね。住宅の配置が非常にわるい。

たとえば道路から片方は自分の土地に鉄筋とかいろいろと建てていらっしゃる。ところでその道路の向いはですね，こんなことといってはおこられるか知れませんが，プレハブ住宅の2階建ですね。それも粗末な長屋式のもの，その1軒が下も上も使っていられると思ったら上と下はちがう世帯です。

そういうふうに道路をひとつ距てて生活程度の差を示すみたいな配列はどちら側にも気の毒だと思うのです。そういう配列は見てゆくとたくさんあるんです。あれはもっと考えてほしい。あんなの配列だけでも社会問題を起こしているようなことになるわけです。あれいかんなと思います（笑い）。これは考えてほしいものです。

それから11階建ができまして，これは精神的な問題ですけれども，その11階とか，10階との建物のなかで大きくなった子供はいったい，どうなるだろうかというようなことを思うんです。やはり子供には土というものが非常に大切だし，そういうふうな配慮はあちらこちらにも公園なんかこしらえてあるとしてもですね，なにかその団地の鉄筋住宅のズラーッとならんであるところでは精神状態というものはだんだん変化してゆくのではないかと思うのです。こないだ朝日新聞でしたけれども電話がかかってきましてね，新聞にも出ましたけれども，団地の奥さんが人殺しましたね，その隣りに行って，それを向いの棟の人々がただ見ていたんですって。110番へ電話をかけることをしないで助けにも行かないで。その対面の棟では見ているだけで何もしなかった……。その心がおそろしいと思います。それは従来とは全く異ったケースでしょう。その疎外感ですね，孤独感ですね，それを考えるとコワイナという感じはしないでもないんです。その眼にみえない精神の問題においては2DKというのは狭ますぎると思うんです。

2DKがそのまま使えたらいいが，そこへ全部荷物を置きますわね，そうしますと特に男の人なんかは帰ってきたら自分の居間がないわけなんですね。だからわたくしはこれからの団地建設というのはやたらにたくさん人数を放りこもうというような企画ではなく，せめて3DKあって荷物と同居するようなそんな情けない形じゃなくって，やっぱりすこしくらいは，ゆとりのあるような居間構想をしないと，目に見えないんですけれども，非常にコワイ結果が出るのじゃないかと思うんです。

それからもう一つ，団地建設に文句をいいますけれども，はじめ山も木もザーッと全部を削ってしまって坊主にしてしまい，そこへ家を建てたあとからまた，細い木を樹えるでしょう。あれはおかしいと思うんです（笑い）。だから千里山なんかほんとうにりっぱな緑地帯だったんです。わたくしが行った時分にはまだウグイスが鳴いていたんです。それがこ

のごろは万博でまた削られていますけれども，家を建てる場所，樹々を残しておく場所をはっきり決めて造成してほしいものです。

ニュータウンでもまんなかあたりの住宅地には府が配慮した木はありません。あるのは住む人が自分で植えた木だけです。台風なんかの場合は非常にあぶないと思います。せっかくある木を全部切ってしまっているんですからね。

それから災害の場合，台風以外にはあまり不安はないのです。わたくしらのほうは1戸建ですから，こわがってはいないが，こないだ11階建のができましてですね，6階までしかシュノーケル車がないんです。それなのに11階まで全部はいっているんです。わたくしは怪しからんと思ってね，もしわたくしが市長だったらねえ，6階までしか入れないと思うんです（笑い）。だけれどはいっているんです。ああいうふうな高層建築の場合の火災について大いに考えてほしい。また高層建築にはいった人にききましたら，"途中でエレベーターのとまったときはこわかった，ほんとうに"とおっしゃるんですね。いまは千里ニュータウンというとなにか特別の場所みたように思っていますけれども，もうほんとうに都市なんです。ちっともかわらない。ただ工場がないということと煤煙がないというだけのことで，都市としての考え方をするべきだと思います。

それからもうひとつは千里ニュータウンは豊中と吹田の両方の都市にあるんです。そうしますといづれは15万人くらいになるでしょうが，そうした場合は非常に妙なことになると思うんです。道路をひとつ距てて税金もちがうわけなんです。ところでわたくしのほうの吹田市の場合ですね。これはまた妙なことを申しますけれどもゴミ焼却場の問題がありましてね。

**大藪**　大分ご活躍でしたね。

**梁**　ええもう，ほんとうに家の近くなのでね，50米の距離でしたから，それで随分運動をしましたが，運動によって町の人々が結束したんです。で皆が親しくなってみると，とてもいい方ばかりなんです。選挙の投票率なんかは高野台が全国でいちばんだったらしいんですね。なにかあった場合の結束は見事なもので，やはり最初の入居者にはフロンティア精神というようなものがあったのでしょうか……，これは本当によかったと思います。しかしニュータウンは非常に明るいんです，市民がね。それはやっぱり太陽がフンダンにあたる関係ですかね。妙なことをいいますけれども，非常に人間が明るいんです。これはなんといっても環境ですね。日曜日等，都会へ出ずに一家が楽しめる場所がありますしね。

それからこれはわたくしの理想なんですけれども，主人が出勤をして交通問題が非常に具合がわるいということが現代においては問題になりますけれども，わたくしはいつかテレビで見ましたが，イギリスなんかのように企業団地ができて，たとえば松下さんなら松下さんの会社工場があって，従業員がそこに住まわれて，そうして電車に乗らないでも行けるというふうなものが，こんど大都市の周辺にできれば中都市も繁栄するだろうし，やがてそうなると思いますけれどもね。

**大藪**　イギリスのニュータウンは職場と住宅と消費地が一緒になっていて，ほんとうのニュータウンですけれども，日本のは全くのベットタウンですね。ここにお話をいただきましたものを全体関連的につなぎまして，ひとつ総合的にお話をいただきたいと思います。まず全体的に見た場合，都市計画はいかにあるべきかについて，近藤さんは法定の都市計画じゃなくって大都市圏というものを想定した大都市圏の理想像としての都市計画があるんだというお話が出ました。それは梁さんから出ました意見と関連があると思うんです。というのは職場と住宅と消費地を一緒にした町づくりはある意味では，E.A.ガトキンドが提唱しているリージョナリズム（地域統合主義）ということになります。それに対して都市の効率的な開発というアーバニズム（都市主義）の立場があります。その点の調整はいかがお考えになるんでしょうか。広域化とおっしゃいましたが，一方におきましては広域化したところにどうして地域統合を作り出すかという問題があります。地域的統合が必要だというご要求もあると思うんですが。

## 住民意識の高揚

**近藤**　都市計画が一方で広域化する要請が強くて，広域化され統一された一本の計画を立てていかなければいけない反面，あるコミニュティといいますか，ある狭い地区に対するコミニュティ計画というのも同時に併行して考えていかなければならないということを先に申しあげました。梁さんのおっしゃった千里ニュータウンは名前はニュータウンでございますが，英国のロンドンの周辺地区にあるニュータウンは仕事場と住宅がセットになっておりまして徒歩圏内で就業先があるとか，そういうワンセットのニュータウンを計画してやっているわけです。日本のは実はベットタウンでして（笑い）……。梁さんのおっしゃった税金の問題も税財政制度が非常にわるいので，これも特に改正せねばならないということで，まず配分の適正化ということが先決問題だと思います。

法定都市計画と広域化計画については先に申しあげた点について広い意味で考えて，本座談会のテーマの"都市と人間生活について"について，すこし弾力性をもって追加的に申しあげたい。都市ということば自体が農村との対比でできたことばでございます。農村における人間生活というのは自然のなかで農耕というような自然の恵みによって生活を支えておるという形で自然と一体となって生活をしておるわけなんですが，都市における人間生活というのは自然の恵みを受けながらも，人が大勢集まって自然を極端に加工しながらそこで集中して生活し，また経済活動をするということがあると思います。同じ住むならば便利に安全に快適に住みたいというところから，交通の問題であるとか公害，災害防止の問題も出てくると思うんですが。

ところで人が集まれば集まるほど逆に電車がこんで不便であるとか，自動車がふえて危険であるとか，公害がふえて快適な生活ではなくなってしまうというような現状が起ります。また稲見先生のおっしゃった治山治水砂防工事を進めれば進めるほど，一方では海食という現象が起こり白砂青松の海岸はなくなり，また西宮の山陽新幹線は沿道にはあまり影響はないのに特に立退きを強いられる人には，プラス面よりマイナス面が非常に多いわけですが，国家的事業であるので反対はできないとか，いろいろ話が出ておりますが，自然を加工して進むならばですね，加工の仕方を十分に考えて加工のスピードを考えて人の集まってくるスピードとそういうための施設の整備の進み具合バランスをもって進められて，はじめて都市の形成がうまくゆくと思うんです。現在の大阪はどんどん人が集まり，それに併行して道路がふえるんじゃなし，自動車ばかりがふえて道路の整備はちっとも進まないという非常に都市学以前の問題で，結局は国として本年度これだけ使えるカネがあり，それをなにに使うか，というのは非常に大事なことであり，人が集まってきて都市生活者がふえれば，それに対応した形におカネを注ぎこんで都市を整備してもらうという方向にしなければいけない。そのためには選挙のときにもどなたがいったい都市整備に対し熱心であるかということが得票の多いすくないの岐路になるというような，住民意識の高まりがないといけないという気がいたします。まあそんなことを考えています。

**大藪**　理想像としてはそういうコミニュティというまとまりを考える必要がありますね。中西さんは自動車を規制するとおっしゃったが，規制以外には救う手だては考えられないわけですか。

## 自動車の規制

**中西**　自動車の場合はですね，手っとり早くは自動車の生産を一定のところでとめればよいが，それはメーカーがいうことをきかない。自動車産業は重要な日本の産業ですから。それに自動車の持っている便利さを

全面的に否定することはできない。ただ先に申しあげたように，都市のようないろいろの矛盾が出て，しかも限られたところではその便利さを発揮するということは限界がある。現にその限界がもうはっきりと出ているわけです。自動車を放任することによって都市がどんなに大きな損害をうけるか，すでにアリリカで経験ずみです。われわれはアメリカの失敗をくり返してはならないと思います。

**大藪**　自動車をもっている人々は道路をいっぱい使うから，自動車を持ってない人々に比べるともっと税金を払うべきでしょう。わたくしはもっとあげるべきだと思います。

**南野**　トヨタの自動車工場を見学して感じたことは，アメリカ輸出の分と日本国内の分とモノがちがうんです。アメリカのは公害防止の基準が高い。じゃ日本のはそうでなくていいのかという議論も成立つわけで，そこいらに政府や会社自体は反省せねばならんと思います。もうひとつ，わたしのところ庁舎の建築を考えています。で将来のために駐車場をつくれといわれているんです。

ところで自動車1台の出入を十分にするには10坪を要し，坪20万円とすると200万円いるんです。ところで問題は職員用でも現在百何十台と乗ってきて1日中駐車場においてある。すると来庁者，お客さんのため必要時には職員のクルマでいっぱいで，お客さんに不用のときは，この職員用のもみななくなるということで，こりゃ実際上駐車場をつくったところでどうにも仕方がない，というわけですな。

**大藪**　自動車もそうですが，現実の問題として通勤時の電車のラッシュはひどいですね。環状線などはアルバイトの学生が乗客のお尻を押して詰めこんでいます。あれなんとかなりませんか（笑い）。

## 通勤電車タダ乗り論？

**中西**　結局はこれもカネですね。いまのところはいってくる通勤通学者がふえて輸送力が追いつかないんです。でそういうラッシュのときの問題が起こります。その通勤通学者をまず減らして一方，車両の増強以外には手はないが，その通勤通学者を減らすということは，これだけ都市化が進んでいる時代にはまずはむずかしい，不可能な話ですな。輸送力の増強も結局つまるところはカネの問題で，そうかといって乗客に運賃の値上げをいつもやって負担をかけるというわけにもゆかない。それにはこんな話もあります。国鉄の副総裁で磯崎というかたが"通勤電車タダ乗り論"それは結構で満員スシずめのお客のよろこびそうな話にも受けとれますが，そうじゃなくってですね，つまりその話は通勤輸送のために莫大なカネを出して東京周辺だけでも第三次7カ年計画をやっています。5,800億くらい，東京周辺の通勤者のために投資をしなければならん。それはですね，その期間にだいたい160万人くらい新しくお客がふえる。その人のために5,800億円の投資をしている。ところがそれは全部借金なんで高い利子もいる。それをその160万人で割りますと，1人あたりの年間の利子の負担だけでも2万8,000円くらいいる。というわけです。それに対してじゃその運賃収入は年間に1万4,000円，つまりは利子の半分しかならんというわけです。ですから国鉄はそんなバカな投資をするよりも，それをみんな政府の税金でまかなってもらって，国鉄はその人を車を走らせるだけにしたい。その代り運賃は一銭もいただかんでもよろしい。そのほうがむしろトクだというのが"通勤電車タダ乗り論"なんです。やっぱりカネの問題です。

**大藪**　すると社会計画を確立して，その線に沿ってコミュニティをつくって，そこで住民意識の高揚を計ることが必要ですね。これは少々余談にわたりますが，W.H.ホワイトの『組織のなかの人間』という本の中で，パークフォレスト団地のことが紹介されています。住宅の募集の仕方をみると，駅から歩いて何分ということはいわないで，"そこにはあたたかい友情が待ってます"とか，"コーヒーを一緒に飲み語りあう友"，最後には"あなたなくしてはすまされない，友情があなたを待っています，さあいらっしゃい，パークフォレスト団地へ……"という宣伝文なんですね。イギリスのニュータウンでは，その職場を見ますとゼットエンヂンやプラスチックの工場とか，気象庁など高級な職場があります。だから住民は自分のコミュニティに誇りを持っています。そういう計画があれば通勤の半分くらいは減少されすま。ところでこれは稲見さんのほうから住民の自覚が必要だ，それで解決すべきだとおっしゃいましたが，現状では住宅は無規制的に詰まっています。また業者の民間アパートを建てるということについて単に住民の自覚だけで解決するかどうかという点について……。

## 災害の防止

**稲見**　わたくしはある大きい造成地が山林原野からどのような住宅地に変わって行くか，後日の記録にするために写真をとってくれとたのまれて，仲間と写真を1年半近く取りつづけている。最初"ああええ山やな，一口申込しようか"と考えた。ところが，さてその後1カ月たち，2カ月たって行ってみると山はひどいことになっています。こんなやり方であるなら，もう人には推選はせんというと，造成業者の言い分もちゃんとあります。あなたのいうように，あの丘，この丘と残して緑地としたら理想的な住宅地ができます。ところがそんな作業をするとモノすごいカネがかかります。それをみんな入居者に押しつけるのかと。それじゃコスト高で入居者は悲鳴をあげる。そういう矛盾は千里山にもあるんじゃないか。千里山は非常に快適だといわれているし，またわたくしもそうだとは思いますが，ところで迷惑をしているのは，周囲の吹田と豊中です。開かれれば開かれるほど，これいったいどないなるんやろうかと。先般某市の市長さんから災害防止報告書の執筆をたのまれたが，"一方で野ばなしの宅地造成を黙認し，他方で災害防止といってもそんな器用なことは不可能です"と答えると，あなたは教師やからアッサリいうが，為政者が水害防止不可能論を主張したらどうなる。こういわれると放ってはおけませんので，調査を続けています。やっぱり山をハダカにしないでちゃんとおいておけば，災害防止の方法もある程度メドがつくが，そうでないとメドもつきかねます。たとえば先日新聞に出た神戸のゴルフ場，あれなんかも人災や天災などといわずに，ガケップシから，すくなくとも30〜40メートル奥にゴルフ場をつくっておけばよかっ

砂防えん堤上を埋めた最近の住宅街――神戸市長田区高取山山腹――（稲見氏提供）



たのではないか。それでは面積がすくなくなるとおっしゃるが，そこまで引込ませておいてズレてきたら罹災者もあきらめがつく。ギリギリのところまでやってるからあんなことになります。

ゴルフ場の経営者もがけ下のお家のこともすこしは考えれば，あんな悲劇はおこらなかったでしょう。営利一本でゆくところに問題もあります。わたくしは悲観論をいうが悲観論ばっかりでは片づかん問題もあります。第一政府や神戸市のやっている川は被害はなく，また新聞でコッピドクたたいている造成屋の責任（西宮の分は別ですよ）というよりも個人無自覚が災いをしています。まあうしろに絶壁の斜面があるのに，できるだけうしろうしろへ下げて前面にお庭をつくっていますね。それで，うしろの山から土砂がザーッときたら一家全滅ですよ。

ですから，その人たちはもうすこし余裕をとって，なるほどお庭は少々狭くなりますが，神戸は景色がよいからまえの海を眺めておれば，お庭はげずってもね（笑い）。で，自覚というか，自然に対する考えがゆきとどいておればかなり助かっていると思うんです。絶壁に対して大丈夫なのは頑丈な鉄筋コンクリートの建物で，ガラス戸くらいはこわれても建物はビクともしていません。それをやっておけばかなりのものは防げると思います。それからポイッと一足に飛べる神戸の川，というよりもミゾですが，家を建てるときは，この川も考えておくことです。

**大藪**　住宅は別として大阪の場合は堺のコンビナートの完成につれて大気の汚染の問題が出ます。泉北のニュータウン，堺市，松原あたりへの大気汚染はどうですか。

**稲見**　大阪のかたには少々いいにくいが，堺の場合は，運河やグリーンベルトなど大気汚染防止にはほとんど役立たないように思われる。騒音，火災防止に意味はあるが。問題は空でしょう。歩行者には運河と松林でちょっと安心感を与えますが，上へ向けば大きなあの煙突があります。現に松にしても浜寺の松はだんだんあわれな格好で枯れていますよ。また風向と工場地帯と住宅地帯との関係も気にかかることです。

**大藪**　すると大阪の南部は見込みがないということですか。

**稲見**　いやいやそんなことをいわれちゃ困まります。土地がないんですから，いまは……（笑い）泉南地区は西風の強いところで風上みに工場風下に団地をつくる格好ですね。それは非常に気になることです。といってすでに工場は集まってしまった。こう集めてしまえば職場のまわりに住宅をつくらねばならんし，困まったことです。

## 自　衛　消　防

**恩田**　公設消防力の効果のおよばないとき，あるいはその不足している場合はどうするかということですが，消防力自体はその大半木造を対象とし，その効果は消防力が消火するまでの時間が家屋の燃焼速度より早やい場合のみでありますので，その絶対値は現状で残念ながら家屋の燃焼速度が早やいのです。また耐火構造の燃焼はもちろん木造と異なりますが，最近はその燃焼速度および温度など木造と大差のない現象があります。煙がこもるという点では木造以上にやっかいなものであります。従って，消防力に依存することは考えものであります。ただ消防力は延焼防止などにはすぐれた威力をもっておりますことはもちろんであります。結論的には消防力の及ばない場合の措置としては現在のところ自衛手段にまたねばならないということです。

**梁**　新聞にも書いてたんですがね，部屋をキチンとしめてですね，そうして自分の室以外のところへは煙のゆかんように炎のゆかんようにせよと注意をされておるわけですね。それはよく解っているのですけれどね。それでは全部その，税金も払わずに自衛したらいいわけですね。それはどうもおかしいと思うんです。個人は個人としての万全を尽しても追付かないときにはどうなるのですか。消防のほうでなにを助ける，助けない，とにかかわらず，やっぱり方法がある，方法を講ずるような設備があって，危いときは助けて貰い，近所には知らしてもらわないとね（笑い）。

**恩田**　いや，その自衛的手段というのは，建築基準法では建物の構造，設備面で防災措置を義務付けており，消防法ではその規制のみでは万全でないので火災の発見，通報消火，避難，消火活動上の施設といったものを消防力を加味しながら，建物の権限者にそれぞれの設備の設置，維持を義務付けしております。従って，これらの義務としての手段と義務の如何をとわず自主的に自衛されるものを含んでの自衛ということであります。

**大藪**　最後に，中都市が大都市の被害を受けているということについて南野さんから近藤さんのほうにご注文を……。

## 緑　地　の　保　全

**南野**　たとえば西宮にはカブト山があり，阪神間では誰れもが残したい山なんです。あれを民間に払い下げられようとしたのでなんとか買戻したいと，和歌山で大きな山を買って交換して，西宮市のものになりました。ところが西宮はそれに8,000万円ほどのカネを払い，また陳情などの労力も大したものなのです。せっかくの緑の山をと西宮では残したんですが，いちにちのいこいにくる人は大阪や尼崎の人たちでときには木を折ったりゴミを捨てたりで跡片けに困まっております。行かれたらわかりますが，よく手入れされ都心に近いこんないいところはほかにはないんです。そのままで保存したいと思っていたら，こんどは県が県制百年の記念公園にするというんです。そうして4億なんぼかのカネで計画をするから無償で県へよこせというんです。

西宮だけですと自然のままにおいてほしいんです，が県は広域的にやってくれるんなら，それもよろしいが，せっかくきてくれる人は大阪や尼崎の人です。そんなら市は放っておいてもいいんですが，放っておけば国が民間に払い下げて全部ハダカになっていますわ。現に苦楽園に近いところは払い下げを受けて相当もうけているらしいんです。

鳥原貯水地南の急傾斜面にへばりつくように進出した新興住宅街の悲劇――神戸市兵庫区氷室町――（稲見氏提供）



それでわたくしは西宮の緑地帯じゃなしに，近畿圏の大きな立場で保全区域として国が残すんだということで考えてやってほしい。続いて東六甲400町歩はほとんど市の山なんです。植林をやっていますが，人の道はつくっても，自動車の道はこれ以上つくらないことです。現に六甲の山上の松の木なんかはほとんで枯れています。だから山上まで自動車をあげる必要はないと思う。山へいっていい空気を吸いたかったらケーブルか歩いてゆけばいいんで，ぬくぬくとすわってふんぞり返って，いい空気を吸いたいというのは，問題だと思います。

## 巨帯都市化と地域社会

**近藤**　それについて思い出すのはスイスの山ではケーブルを利用して登って，あとは馬車なんです。自動車は使わないんです。いまのお話の西宮のカブト山も，そういう快適な場所なんですが，阪神地区全体を考えてみると，さっきのお話で，お父ちゃんは大阪の会社へ，お母ちゃんは近所へ買ものに，子供は西宮の学校に行くとか，非常に人間の生活範囲が広がってきています。大阪は都心部の道路もせっせとつくり，交通の行き詰まりの打開に努め地下鉄も整備しています。しかも一方では近郊都市はレクリエーションの施設もつくっておられまして，それはそれなりに非常に結構なことと考えます。ただそれをだれの財布でやるかが問題でして，現行税財政制度はまず改正しないといけないと思います。それから行政区域自体も電車で行けばパッパと通過しまして，どこが何市かはわからない状態でも行政面では各市で税金のとりかたも，水道料金もすべてがちがうんです。これは自然の景観と反対で均等であるべきものにデコボコがあり，早く改正の要もあります。西宮市では人口の増加で学校もふやさないかんし，税金はすくないとのことですが，大阪市はもっとひどいんですよ。昼間の収容人口，つまり通勤して働いている人からは住民税もなんにもはいらない。

**南野**　ところが法人税というのがあるでしょう。

**近藤**　いや法人税は国へ吸いあげられて大阪市へ戻ってくるのは，まことに微々たるものです。現在ははっきりいって新産都市とか工特地域とか，わけのわからんものにカネが使われて，その新産都市に人が集まらないで，かえって逆に大阪に人が集まってきているのが現状であります。これに対する対策はただ大阪市のみが一生懸命になっても財源の見込がなくては再開発も思うように進められません。

**南野**　こりゃね，府県の配置にも問題があります。明治22年施行のままですから，もっと以前の摂津，河内，和泉（笑い），このほうが合理的やないかと思います。

**大藪**　そうなんです，当面の問題として町村の廃止ですね。次に焦点になるのは府県の境界です。これに対してゴットマンが言い出したメガロポリスという境界の切り方がある。東京から大阪までを巨帯都市圏として考えようというわけです。また，ドクシアディスという人は，エキメノポリスということをいっております。エキメノのというのは「可住」という意味と「世界」という意味があり，世界の都市化が進めば「世界中どこでも住める」という気分になるのかも知れません。実際にメガロポリス化が進んでいるし，東京，大阪のどちらに住んでいても地理的，社会的距離が気にならなくなるかもしれません。しかし現実をふり返ってみれば，なんといっても，われわれは関西にへばりついて同じような生活をしております。これをよくするためには，そういった大きな計画と同時に地域社会に足をふんまえた計画が検討される必要があると思います。

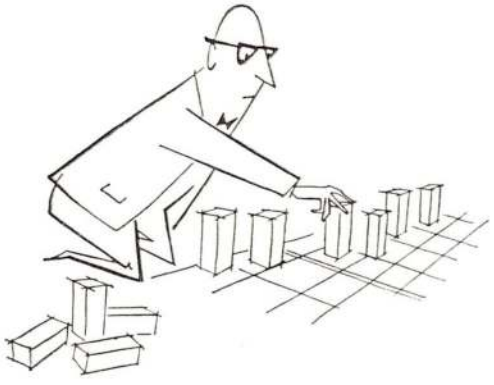
このほか都市問題には土地の問題などあると思いますが，一応いろんな角度から討論いただき，「こうあるべきだ」という共通した結論が出たと思います。その実現は国家の施策以外には手がないというわけですが，同時に，本日の結論を生かし，人間尊重の都市計画を実現するためには，住民の側から「人間生活を守る」という気運の高まりが必要ですね。ほんじつはどうもありがとうございました。



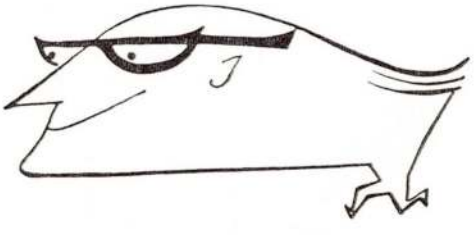
Artist



Teacher



City Planner



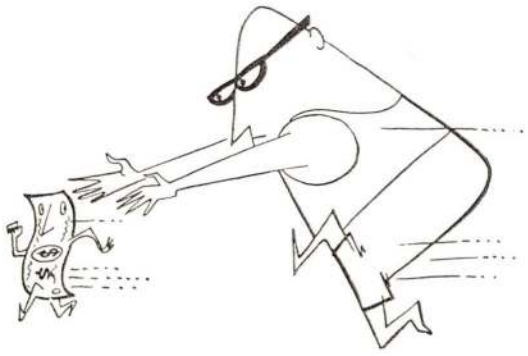
Industrial Designer



Supervisor



Salesman



Cost Accountant



Architectural Analyst



Sociologist



Landscape Architect



Office Administrator



Environment Shaper

*Illustrations by Sol Ehrlich*

(ARCHITECTURAL RECORD 誌 '66.7 より)

# 都市建設とその隘路

吉富重夫

## 1. 都市建設の目標

都市は人口産業の集積の場という意味で，地域の核というだけでなく，そこを中心として，人間や財貨が流動してゆくという意味で，地域の軸としての地位をもつ。都市は単なる施設の堆積ではなくして，流動の中心として把捉さるべきである。この流動の幅の大小が，都市の規模のいかんを決定する。それは都市の後背地といわれるものに他ならないが，都市の規模は，後背地の大小によって決定されるともいうことができる。

都市建設に当って留意すべき第一点は，都市が地域社会の核であり，そこにおける人間や物質の流動の振幅が，都市の実質規模を規定しているという事実である。市域は，単なる公法人としての地方公共団体の管轄権の範域を意味するにすぎない。都市における行政需要は，市域内に定着している人と物，ならびに市域外から流入するそれらのものとの間に形づくられる流動の交錯によって織りなされるのである。こうした内圧と外圧との相乗が，都市の行政需要の根元を形づくっている。

都市が，多かれ少なかれ都市圏とよばるべきものを形づくりながら存立し，しかもその市域内においては，内圧外圧の相乗という形での行政需要が成立せしめられているとするならば，都市建設の目標とさるべきものは，まさにここに存するといってよい。都市圏の核心都市，近郊都市，衛星都市，地方中心都市といった都市の存在性格に応じて，行政対象とさるべき区域に広狭が存するのは当然であるとしても，市域に凝集される行政需要の流動性を把捉しながら，市域を超えた範域での将来構想に立つことが，何よりも期待されるのである。

## 2. 広域都市計画の欠除

都市が，多かれ少なかれ圏域を形づくりながら存立するものであるならば，都市建設の基礎は，まずこうした広域都市圏の実態認識の上に立つことが必要である。自己の都市が，地域社会でどのような位置づけを有するかを知らずして，都市建設に当りうべくもない。しかるに，このことは，必ずしも都市のすべてに期待されうることではない。一つは都市の無自覚によって，他は制度上の制約によってである。

無自覚は，存在性格に対する自覚をもつことによって克服することもできるが，なおその上において制度上の困難は，人為的であるだけに，かえって超えがたい壁を形づくっているようにも思われる。都市建設の基礎たるべき都市計画は，都市の区域によるべきことが原則であるとしても，必要ある場合は，主務大臣の指定によって市域を超える都市計画区域の設定も，不可能ではない。しかしながら，このことは，都市が連担状況において存在するところにおいて，最も必要とされるのに，現実的には，そのようなところにおいて，最も困難である。市域を超える事務は，府県へという公式にもとづいて，広域都市計画の主体を府県にうつす思考もあるが，それでは，都市は自らの都市建設にも当りえないという，無能力者の地位に陥ることともなろう。都市自ら都市建設に当らしめる建前をつらぬくとすれば，地域社会の中心となるべき核心都市に，周辺地域をふくめた広域都市計画の策定に必要な権限が与えられるべきである。そのさい核心都市の専断を防止するためには，周辺地域の利害代表者からなる審議会を付設して，その議を経て計画の策定に当るべきことを義務づければよい。

府県都市計画審議会は，本来個別的に策定された都市計画をび縫するにすぎないのであるから，計画自体が広域的に一体的に策定される必要がある。しかも都市の自主性を尊重するという建前をつらぬくのであれば，地域社会の核心となるべき母都市に，リーダーシップを法的にも行政的にも認めることが必要だと考えられる。広域都市計画は，こうして始めて可能である。

## 3. 制度運用上の欠陥

都市建設の基軸である都市計画が，現行法上は機関委任事務であって，国政事務であり，自治事務でないというのだから，まったくもっておかしげなことであるというべきである。機関委任事務だからというわけでもあるまいが，都市計画には，中央各省が関係する。都市計画の主務大臣は建設大臣であるとしても，現実的には教育施設については文部大臣，厚生施設については厚生大臣といった形で，中央のセクショナリズムは，地方を舞台にして発現する。これを克服するためには，内閣，各省，府県，市町村といった行政のレベルごとに，調整機構を発展させることが必要である。都市では，現実の必要にともなって，企画部局を設置して，調整機能の展開をめざしているものも少なくない。中央各省の系列における縄張り主義も，せめて都市的レベルにおいては，克服されていることが必要である。近年盛んになりつつあるマスター・プランの策定は，こうした

傾向を促進するであろう。

行政的には調整機能が必要であるが，計画の実現に当って財源措置が重要性を有するのは，いうまでもない。都市の行政需要は，内部における人，財貨の流動頻度だけでなく，流入する人，財貨の流動によって相乗されるものであることはすでに述べたが，都市の財源は，こうした実態に見合う形では与えられていない。国，府県，市間における法人税の配分率を修正すべしという意見が出されるのは，こうした理由にもとづく。

それにしても，事業執行に伴う国庫補助金は，その基準単価において現実離れであり，当初から不足は自明であるのに，超過負担という言葉で，あたかも地元の過剰要求であるかのように取扱われる。中央各省の計数では，100% 財政需要を満たしているとされるものが，現実的には２分の１，３分の１の需要しか充足しえていないのである。補助金とともに，起債についても，収益債については，余り煩瑣な統制は必要でないと考えられる。しかしこうした補助金，起債のそれ自体の運用改善もさることながら，広域都市計画やその事業化に対して，補助金や起債枠の配分を優先させるという，補助金，起債の広域運用を図るべきである。それが，中央各省の真の知的リーダーシップを形づくることとなろう。

## 4. 市民精神の欠除

都市計画が国の仕事とされてきたからでもあるまいが，由来わが国の都市建設には，市民不在という事実が余りにも顕著である。ギリシアの都市にみられる市民広場アゴラは，その民主政治を支えた支柱であった。古代ローマや中世ゲルマンの世界でも，そうした伝統があり，広場の民主政治というのが，その実態である。ヨーロッパの中世都市では，教会は市民生活の精神的中心であり，市場は現実生活の中心であった。都市の形成が，こうした市民生活の拠点を中心になされたことは，都市をして緊密な形で市民と密着せしめるにいたった。石だたみの道路は，市民の生産活動を容易ならしめる条件であったし，整備された下水道は，市民の健康を守る手段でもあった。市庁舎が，市民生活の中心となり，象徴となったのも，いわれのないことではない。

わが国では，戦前から市民は支配の対象にすぎなかったというも過言でない。それだけでなく，市民生活の拠りどころであった鎮守の社も，地蔵盆も，急激な都市化の渦の中に埋没されて了っている。都市建設の要め石は，市民参加にあるのだから，市民参加を組織化し，誘導する方策こそ真剣に検討さるべきであるのに，いまもって行政担当者からはそ知らぬ顔をされ，市民自身からは無気力で放任された状態にあるといえよう。地域改善という運動は，町全体，国全体の改善にもつらなるものであるから，こうした自治活動を通じて，市民の市政参加の道を大ならしめることを期待したい。民主的な政治家や近代的な政党が，こうした市民運動と無関係であるというのも，日本の特異な現象である。

## 5. 都市政策の不在

市民不在のままで都市建設が行なわれる傾きがあるだけでなく，都市の利害が正当に国政に反映されていないこともはなはだしい。都市の利害が国政に正当に反映されていないということが，都市における今日の交通戦争，水飢饉，住宅不足から，塵芥し尿，公害，不衛生の根元となったといっても，過言ではない。農村の利害は，米価審議に象徴されているように，比較的よく代表されているのに，都市に関しては，我不関といった有様である。このことの根拠となっているのは，都市的選挙区の寡少代表にある。

国会における今日の議席配分の基礎となっているのは，昭和20年当時の人口基準であるが，戦後復興にともなって，都市への人口復帰，人口集中には，顕著なものがあった。大都市ことにその周辺地区においては，人口の激増傾向がみられ，終戦時の数倍から10倍程度にまで及んでいるものも，少なくない。にもかかわらず議席の配分は，旧のままである。大都市ならびにその周辺の選挙区において，農村選挙区に比すれば，２分の１，３分の１の代表しか与えられていない事実が，都市を不当に軽んずる結果を生むにいたった。

国家繁栄の基礎が都市にあるにもかかわらず，地域格差の是正という幻影におどらされて，現実を軽視した結果が新産都市という奇怪な都市まで生み出すにいたったのである。生産活動の停滞，繁栄の停止を象徴するものが，交通戦争，公害等々の都市悪であるとするならば，今こそ政党も政府も，真剣に都市政策と取組むべきである。その暁にこそ，都市は日本の繁栄を象徴するであろう。

（よしとみしげお：大阪市立大学教授・法学博士）

# 経済成長と都市建設

竹　内　正　己

## まえがき

都市が経済活動の中心となっているという意味では経済成長は，都市の発展に集中的に表現される。すなわち経済の量的成長は都市の膨張に，経済の質的高度化は都市の機能と形態の変化に，経済成長を支えその枠組みを与える体制は都市の建設や運営の仕組みのうちに端的に表現されることとなる。

ところで，経済成長という場合は，一般的にはそれの量的拡大をさしているが，量的拡大は必然的に質の変化をひきおこすし，また質の変化が量的拡大にも反映してくる。それにはまた経済を動かす主体と客体の条件のからみあいで大きく規定されるから，経済の体制，産業秩序維持の在り方と密接に関連をもってくる。したがって経済成長と都市建設の関係をみるためには，経済成長の量的側面だけでなく，その質や経済運営の仕組みとの関係で問題を考えねばならない。ここでは経済成長にともなう都市化要因の変化と，そこにおける問題点を明らかにし，経済成長の仕組みとの関連で，都市建設の方向づけをどう考えるべきかについて検討する。

## 経済成長と都市化要因の変化

経済成長にともなう都市化の方向のうちには相反するふたつの動きがある。ひとつは，巨大都市化，巨帯都市化という方向であるが，それと同時に，他方では地方中心市の発展と農村自体の都市化，すなわち，全面的都市化への方向も現われつつある。経済企画庁の超長期予測では，昭和40年には市部人口比68.1%，人口集中地区人口比48.1%であったものが，昭和60年には前者は78.2%，後者は62.8%へと増大するものと見込まれているが，建設省の国土建設の長期的予測では，前者は80%以上と見込まれている。このような市部人口比の増大は，都市地域における都市圏の拡大と同時に，分散化された都市化によってもたらされるものである。両者は相反する動きのようにみえながら，実は，遠心化の孤を貫く求心性の一層の強まりという形をとおして進展しており，両者を統一的に把握することによって，将来における都市建設の方向づけも，はじめて可能となるであろう。そのためには，経済成長過程で生じた都市化要因の変化と，現実に進展しつつある都市化のうちに現われている諸問題をしっかりと把握しておくことが必要となろう。

まず第1の変化は，都市化要因としての工業のもつ意味が相対的に低下し，情報産業を含むサービス部門のもつ役割がきわめて大きくなってきたということである。物的生産や流通は大型化するにしても，直接物的生産を担当する部門での労働力節約が進展し，集権化された管理諸部門，情報伝達機構，サービス諸部門が，国民経済的にみても，企業単位にみても大都市への集中を強め，それの下部機構が地方広域都市や地方都市に配置され，求心的な支配機構が強く働いた都市の重層構造ができあがりつつある。したがって分工場，支店，出張所の新設という形で，地方都市の発展がみられるにしても，それは巨大資本の求心的な支配，管理網に包摂された都市建設の性格を強くもっている。行財政国家金融機構の面においても同様であり，この場合には東京の支配力，それの求心性は圧倒的に強い。

第2には，産業の高度化，迂回生産化の進展にともなって集積の利益，接触の利益を求めて都市周辺に立地しようとする高次加工部門の産業が増大し，大都市産業人口の外延的拡大とあいまって過密地域の拡大化からくる大都市地域の混乱は一層著しくなることが予想される。そこに住み，そこに働きうる環境を整備しながら，大都市の再開発と有機的に結びつけて，送り出しと受け入れを計画的に実施する新しい都市づくりが必要であるが，行政の壁，地価対策のおくれが，資金の効率的使用をはばみ，都市機能の純化効率化も進まず，救い難い混乱がそこに現出されつつある。

第3には，地方都市や農村の都市化は，支店，分工場の町としての発展傾向が強く，そこでは地方都市としての独自の性格や特色もない都市化が進展しつつある。しかも現在都市化といわれている現象のうちには，マス・プロ，マス・セール，マス・コミによって誘発され，堀りおこされた購買力によって支えられた大衆消費があるだけで，それは所得の上昇，ストックの増大に支えられた生活水準の向上とはおよそ程遠いものがある。

経済の急速な成長がもたらす都市化の姿がこのような結果を生んでいるのはなぜであろうか。それは基本的には，巨大化する資本支配のもつ矛盾の現われとして把握されねばならないであろうが，技術経済的な問題としては，経済成長に応ずる都市建設が要求する，社会資本需要をみたす仕組みやそれの効率的投資を確実にする機構が，現在の都市建設のなかに欠けているからであるといえる。

## 経済成長と社会資本需要

経済審議会が試算した20年後の「地域展望のための前提と地域計量モデルによる条件付予測」によれば，20年後の国民総生産と社会資本需要の関係は次のごとくなっている。

20年後のGNPと社会資本ストック

| | 人口（百万） | GNP（兆） | 総民間資本ストック（兆） | 民間住宅ストック（兆） | 社会資本ストック（兆） | うち盤生活基ストック（兆） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 38年 | 96(1.0) | 17.4(1.0) | 32.8(1.0) | 18.5(1.0) | 18.8(1.0) | 4.5(1.0) |
| 60年 | | | | | | |
| Ⅰ | 116(1.2) | 101.5(5.8) | 175.9(5.4) | 57.4(3.1) | 95.3(5.1) | 13.5(3.0) |
| Ⅱ | 116(1.2) | 100.0(5.8) | 175.2(5.3) | 57.1(3.1) | 95.0(5.1) | 13.5(3.0) |
| Ⅲ | 116(1.2) | 105.7(6.1) | 177.9(5.4) | 57.9(3.1) | 96.1(5.1) | 13.5(3.0) |
| Ⅳ | 116(1.2) | 97.9(5.6) | 174.1(5.3) | 57.2(3.1) | 96.7(5.2) | 26.8(6.0) |

（備考）Ⅰは標準型過去の発展を基準とする予測
Ⅱは分散型の開発がとられた場合の予測
Ⅲは交通，通信体系の整備を重視し，経済的距離短縮を見込んだ場合の予測
Ⅳは公共投資を半外生化して，意識的に生活環境整備に力を注いだ場合の予測

これらの予測結果は，地域的にはかなりのちがいがでてくるが，国全体としては，20年後の6倍経済（GNP）に対して，民間資本ストックは5.3～5.4倍，民間住宅ストックは3.1倍，社会資本ストックは5.1～5.2倍，生活環境ストックは3倍（意識的に拡大した場合には6倍）が必要であるということをしめしている。すべての場合を通じて総民間資本ストックが社会資本ストックを1.7～1.8倍も上回っており，現状とほとんどかわりがない。経済成長は民間投資によって支えられることはうたがいないが，民間投資と社会資本投資の需要量の関係を過去におけるそれと同じ関係にみて計画をたてるというところに大きな問題がある。生産の大型化，社会的分業の深化にともなう外部経済の利益の享受，輸送手段の大型化と高速化，重化学工業化にともなう用水需要の増大等々のほか，公害防除のための施設など今後の経済成長においては，生産の増大以上の社会資本需要がおこってくるであろう。また生活水準の上昇による消費支出の増大以上に社会資本需要の速度が急速であるのも周知の通りである。自動車を購入すれば，それにともなっておこる道路輸送需要は著しく増大する。広域化し多様化し，加速化されつつあるレクリエーション需要増大にともなう社会資本需要の増大も著しいであろう。

国民生活審議会は20年後の国民1人当所得は現在のアメリカ並みの2,500ドルとなるが，このときにおける生活基盤整備のための支出は国民所得の7％を必要とするとみている。ところがわが国ではせいぜい3～4％を見込みうるに過ぎないといっている。現実にGNPの伸びをはるかに上回る交通事故や公害が発生している一事をみても，経済成長と社会資本需要を過去におけるそれとほとんど同じにみた計画をたてるならば，都市建設に必要な資金需要をみたすことなど思いも及ばない。経済成長を支えた重化学工業投資のうらには，私的企業の費用として計上さるべき性質のものまで，社会的費用に転嫁されているものが多いことを思えば，経済成長の速度をおとすか，受益者負担制度を拡充し，あるいは新たに原因者負担制度や開発利益の公費への還元を制度化して，地価高騰による不当利得者をなくするなどの方法を講じていかねば，経済成長に応ずる都市建設の資金の捻出も，効果の住民一般への公正な配分も，期待しえないこととなるであろう。社会資本の捻出の新たな方法と効率的な支出が考慮されねばならない。

## 適正な成長と住みよい都市建設

E.L.ソーンダイクの作成した都市の福祉測定指数では，中小企業都市の指数はあらゆる点で，大企業都市を上回っている。この指数は37の重要項目からなっているが，スラム街の比率，乳幼児死亡率，死亡率，中途退学の割合などが中小企業都市で低く，文化的，娯楽的な用役に対する1人当り支出額が中小企業都市で比較的高いという結果がでている。（小原訳 E.キーフォーヴァー「少数者の手に」218頁）。また同じ人口をもつ都市で，急速に発展した都市と地方に古くからある産業を土台としてゆるやかに発展してきた都市とでは，後者がはるかに生活環境面でまさっていることも同書において明らかにされている（前掲書第5章「独占と地域社会」）。都市の集権的な重層構造が巨大資本の支配を背景としてできあがっているわが国にも当然あてはまるであろうし，そのような仕組みのもとで急速な都市の膨張が進展すれば，住みよい都市の建設は容易にのぞみえなくなる。大資本はもともと地域社会には関心がうすいからである。大資本の活動が地域社会と密接につながりながら，地域社会と運命共同体的性格をもつ地域の産業や企業を育成するという方向にむかうことが，都市建設にとって基本的に重要なこととなるであろう。

それはまた大企業にとっても，みずからがたっている経済の地域的基盤を強固なものとし，みずからの発展にも役立つこととなる。経済の効率化と規模の巨大化は同一ではない。規模経済への盲信と，総体と平均で語られる量的成長への過信とが，都市建設の在り方をいがめているという点について多くの反省が加えられねばならないであろう。量的にはモダレートであっても，質的に高い成長こそのぞましいところであり，住みよい生活環境をもつ都市建設は，そのような成長のもとではじめて実現されうるであろう。

（たけうちまさみ：桃山学院大学教授・経済地理）

# 都市建設についての一考察

巽　和夫

## 1. 都市建設の特質

都市建設の特質は各種の施設建設が交錯的に行なわれるところに見出される。建築の建設と比較すると明瞭であろう。建築は一般には特定の建築主によって企画され，建築家によって設計され，建設業者によって施工される。建築物が完成すれば建築主に引渡されて使用過程(同時に維持管理過程)に入ることになる。非常に明解である。都市建設の場合はどうであろうか。まず，施設の種類がいろいろある。建築，街路，上・下水道，ガス施設，電気施設，橋梁，公園など。これらのうちのたとえば建築にしても，ずい分さまざまな用途の種別がある。建築主体は大別して公共と民間とになるが，民間については各々の施設についてすべて異ると考えてよい。さらに，建設主体が全国的であるか地域的であるかということもある。たとえば，同じく大阪市域に建設される公共住宅といっても，公団住宅と市営住宅とでは都市建設の観点からは意味が異ろう。このような幾通りにも性格の異った施設について，新設，維持，修繕，更新が行なわれるのであるから，まったく複雑きわまりない。

法定都市計画があり，用途地域制や容積制などの土地利用の制限と規制を通じて，建設活動は間接的にコントロールされることになっているが，都市構成の乱雑さは正に目を覆わしめるものがある。「都市計画」は計画機能をほとんど喪失しているといってよい。計画があるとするなら，それは個別施設においてであって，無数の個別施設計画の総和があるにすぎない。しかしながら，もちろんこれが資本主義都市建設の本然の姿なのであって，都市計画はそもそもこういう事実の認識から出発すべきである。建築系の都市計画家・設計家がしばしばおかす誤りは，都市をあたかもひとつの建築のごとく錯覚するところに原因がありそうだ。

都市計画事業は都市計画にもとづいて，法的な根拠と資金的な裏づけをもって公的な事業主体によって行なわれる。直接投資によるいわば積極的な街造りである。事業の性格からいえば公共的であり土木的である。街路事業，道路事業，上下水道事業などの脈絡的施設が主になるのも特徴といえる。これらの事業は都市計画事業と総称されてはいるけれども，総合的な事業計画があるわけではなく（あったとしても支配力が弱い），それぞれの事業計画のもとで個々バラバラに施行されているのが現実である。事業計画の原理そのものにかなり違いがあって，たとえば街路事業とか地下鉄事業は新設投資・集中投資型であるのに対して，同じ道路でも比較的細い道路を対象とする道路事業は補修工事も多く，こまぎれ投資型である。普及率がほぼ100％に達している上水道事業は補修，取替，増設のタイプである。巨大な公共施設の需要に建設が追いつけないのはどの施設についても同じであって，いずれにせよ追いかけ型の投資にならざるを得ないが，ことに，道路・上下水道などは発生トラブルの処理に追われている。建設事業に政策的意図が強く働く場合ももちろんあって，日の当る事業とそうでない事業に較差もできる。こういうわけで，いっけん計画的な建設が可能かにみえる公共施設の建設事業も，結局は都市建設一般の事情とそう変りはない。

こういう矛盾のもっとも典型的な現われが，いわゆる道路の「掘返し」である。各種供給サービスの管網施設は道路に埋設されているから，これら管網の新設，補修，増設，撤去には道路を掘返して工事せざるを得ない。上水道，下水道，ガス，電気など管網施設建設事業者がお互に連絡なく工事を行なったとしたら，同一場所をそのつど繰返し掘返すことになる。道路利用者，付近住民に迷惑のかけるのはもちろん，掘返し・修復の費用のムダも少なくない。同時一斉に施工するように調整できればいいのであるが，供給方式，規模，材質，耐用年数，普及率，建設速度のいずれについても，それぞれ独自の性格があって，実際にはなかなかむつかしいのである。大阪市における「掘返し」の修復件数は，昭和40年度について年間約5万件，その費用は約6億6千万円の巨額に達している。35年度の約2倍である。これは下水道工事分を含んでいない。また，道路舗装工事と下水道工事との関係についていえば，コンクリートまたはアスファルト舗装工事の40％は下水道との調整がつかず，舗装を先行させているといわれる。「掘返し」のムダを極力さけるために関係事業主体による「調整会議」が持たれたり，舗装後一定年限の掘返しを禁じたりしているが，抜本的な対策とはなり得ていないように思われる。根本的な解決のためには管網施設を集約して納める共同溝の設置が最もよく，昭和38年には共同溝整備法が公布されている。しかし，これも費用の点で交通量の激しい幹線街路に限定されざるを得ない。今後の各種サービス供給の普及，需要量の増加を見込むと，「掘返し」はますますふえると考えないわけにいかない。

## 2. いくつかの問題

都市における最近の建設動向には注目すべきところが多い。まず，第一には都市における投資のめざましい増大と工事規模の大型化があげられよう。昭和42年度建設投資額（推計）の対35年度比は3.2であることをもってしても近年の急速な成長ぶりがうかがわれるし，大都市生活者が日頃身をもって実感していることでもある。大都市にとって建設工事は，特殊的・臨時的なものでなく日常化している。投資量の小さい時代には，工事の都市生活に及ぼす影響も小さく，また一時的なものとして処理できた。工事間の関係も考える必要もなかった。今日発生している問題のいくつか，たとえば前節に述べた「掘返し」問題

も，結局工事量の増大による工事間の接触が原因なのである。

工事の大型化はいろいろな問題をはらんでいる。巨大な建築は本来の建築のほかに都市施設を含むことによって複合化される。複合化される施設には公共駐車場・高速道路・バスターミナル・広場・公園・大規模変電所などがあり，もはや建築というより一個の都市部分である。従来の概念における建築と土木施設の区別ははなはだ怪しく，また無意味でもある。巨大規模施設の突如の出現はその地域に甚大な影響を与える。たとえば，霞ケ関に目下建設中の三井ビルは36階の高層で，収容人口は3万人に達するといわれる。この3万人の通勤者の相当部分が利用するであろう地下鉄虎ノ門駅は現在でもラッシュ時飽和状態にあるのだから，恐らく利用不能に陥ることであろう。道路のマヒはいうまでもない。電気・ガス・上水道・下水道・通信のサービス供給施設は，一地点での巨大な需要への対策に追われることになる。もし対策が不十分であったとしたら，このビルは強力新鋭の建築設備にものをいわせて周辺ビルからサービスを吸上げてしまうのではないか。私的資本にとっては計画的な，しかし都市にとってははなはだ無計画なこのような建設が今後とも随時各所に行なわれ，都市計画事業が専らその処理に終始するとしたら，都市はたちまち混乱に陥ることは明かである。

第二は建設公害の発生である。建設工事量の増加，工事の大型化は必然的に工事による公害をひきおこすことになった。工事現場の騒音や振動，地下水の汲み上げによる建物の被害および井戸水の涸渇，土砂運搬大型自動車による事故，現場管理の不注意による住民の事故，沿道工事のための営業権・生活権の侵害などがあげられている。こういう公害は工事の側に原因があるばかりでなく，人口の過密化，生活の高度化にも大きな関係がある。しかも，工事が日常化していることから，住民は忍耐しがたくなっている面もある。脈絡施設とか地下鉄のように道路が工事現場となる場合には，自動車交通をどう処理するかが大問題になっているといわれる。道路の巾員の一部を交通にあて，工事の進行に応じて位置を変えることで対処できる場合はよい。それで不十分の場合には交通の方を規制しないで工事の方を夜間にし，昼間は仮舗板を敷いて交通を許している有様である。いうまでもなく，夜間工事は建設労働者を劣悪な労働条件におき大きな犠牲を払わせることになり，付近住民の安眠をさまたげる。こういう非能率な工事の費用が割高になるのはもちろんである。そもそも自動車交通のためにこのような一方的な犠牲を払わなければならぬいわれはさらにない。工事現場は製造業における工場であって操業中立入禁止が原則であろう。自動車交通が激化しているという現実の圧力で弱いところにシワを寄せるのは全く誤った現実主義である。

第三に再開発事業にともなう移転・移住というタイプの問題がある。再開発は現に人が住んでいたり，建っていたりする施設を取りこわして建て直すのであるから，居住者や特定の設備の移転・移住は当然ともなう。居住者に適当な住居を与えて住まわせ，再開発後に再収容するといった仕事はなかなか容易ならぬものがあろう。そもそも，再開発事業においてその地域の多様な要求をまとめて建築化に持込むこともこういうタイプの仕事であって，総合・調整・連絡などという内容をもつ。再開発事業に本質的な技術というべきである。

最後に経済性の問題をとりあげておきたい。建築にせよ，土木施設にせよ，建設の経済性の概念があまりにも少なすぎたのではないか。建設によって得られる便益の獲得という一面的な価値観に支配されていて，費用はかかるだけかかるといった甘さがある。もちろん，これには理由がある。第一に公共事業は私的投資による利潤追求の対象になりにくい部分を引受けており，投資に対する収益は期待できないか，または極めて小さい。したがって経済性の観点が成立ちにくい。第二に経済的効果の測定がむつかしく明確さを欠く。この方面の研究は最近進んできているようであるが，都市建設の特質である交錯した条件の解析はなかなかむつかしい。第三に経済性が入札における最低価格落札として制度的に計られているということから，かえって技術上の経済性が見失われがちになる。

周知のごとく，近年事業用地価格は高騰しており，その結果，投資の効率は著しく低下している。大阪市の例でいうと，住宅事業用地地価は昭和41年度の対35年度比が7.8倍であるのに対して，街路事業用では実に17.3倍にも達しており，街路事業費中にしめる用地費は昭和35年の43%から39年の77%に上っている。つまり，39年には工事そのものに使われた費用は総額の21%でしかないのである。地価問題は建設事業レベルをはるかに越えて，基本的問題ではあるが，それにしても計画と建設のプロセスのものにも何らかの技術介在の余地がありそうに思えるのだが。脈絡施設は技術的に細かく分割できない性質がある。たとえば1mの街路築造は無意味である。その反面非完結的な性質もある。汚水用下水道は管渠の布設だけでは十分でなく，終末処理場とともにはじめて完全に機能する。建設におけるセット性とでもいうべきか。このように考えてみると各種施設にはそれぞれ何らかの経済上の建設単位や建設セットがありうる。

## 3. 都市建設の技術とは

以上の2節で都市建設が各種の施設の交錯的な建設の総体であり，個別施設とは性格を異にすること，および都市建設において最近特に顕著に現われているいくつかの事象について述べてきた。そして，筆者はこういう特質の基盤の上に生起している諸問題解決のなかに都市建設技術の本質を見出すのである。

いうなれば，それは個別技術そのものではなく，個別技術と個別技術をつなぐ総合技術ないしシステム技術である。物そのもののみを対象とする工学技術ではなく，人や組織のかかわる社会的技術でもある。建築技術があり，土木技術があり，そして造園技術がある。しかしそれらは各々自己完結的であって，都市という場の技術として開かれているとはいえなかった。前節に述べたのはいわばその不適応現象である。これまでの都市計画はいわば都市の出来上り計画である。ここに述べた都市建設技術との相互フィードバックのなかで，はじめて真の「都市計画」への道が開かれるだろう，と考えている。

（たつみかずお：京都大学助教授・工博）

# 都市対策のあるべき方向

浦　西　良　介

## はじめに

今日は都市化の時代である。

野も山も，人々の生活も，すさまじい勢いで都市化しつつある。経済，社会がすすむにつれて，都市に人口が集中すること，とくに大都市においてその傾向が著しいことは，図1のとおり，各国共通の現象であるが，とりわけ，わが国における都市化のテンポは急激である。

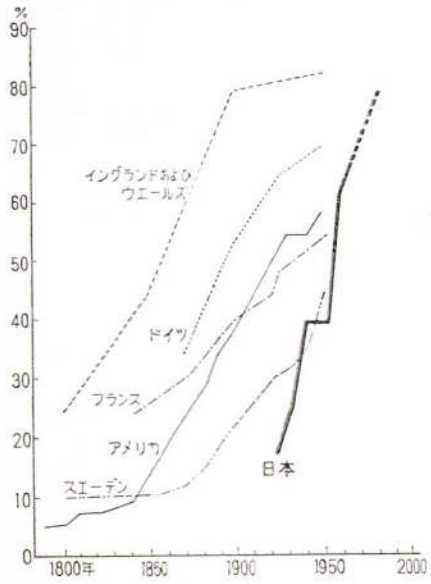



図1　各国の市部人口比率
注1. ヴオイチンスキー「世界の経済」
2. 日本の点線部分は国民生活審議会答申による予測

わが国は，昭和30年頃を境にして，市部・郡部の人口比が逆転し市部人口の増加が著しいが，これとほぼ同じ時期に，表1のとおり人口減少府県の数が激増している。

すなわち，わが国における都市化の進展は経済が高度の成長をとげた昭和30年代以後，僅か10数年の間に，特定地域へ人口がきわめて大規模に集中するという形で急激にすすんだ。このため，大都市地域において，住宅，用水，道路，公園等の不足を生じ，さまざまの弊害がみられ，生活環境の悪化と都市機能そのものの低下をみるにいたり，ようやく都市問題が世論の注目を浴びることになり，さまざまの都市対策が提言されたが，事態は一向に改善されず，むしろ悪化の一途をたどりつつあるといってよい。

表1. 人口減少府県の数の推移

| 年次 | 府県 |
|---|---|
| 大正9～14年 | 1 |
| 14～昭和5年 | 0 |
| 昭和5～10 | 3 |
| 10～15 | 13 |
| 15～20 | 9 |
| 20～25 | 3 |
| 25～30 | 7 |
| 30～35 | 26 |
| 35～40 | 25 |

（注）国勢調査結果

そこで従来論議されてきた都市対策について，若干の問題点をとり上げ，対策のあるべき方向について考えてみよう。

### 1. 大都市とその周辺地域には，今後なお人口集中が継続する。

都市問題が論じられるとき，「過大都市」，「過密弊害」が問題になり，大都市への人口集中は抑制されるべきだということが政策目標にされることが多い。

事実，昭和35～40年の国勢調査結果をみても，大都市の人口増加率は東京都区部7.1%，大阪市4.8%，名古屋市14.0%といずれも低く，都心部では人口減少が目立ってきている。

しかしながら，大都市の周辺地域では，表2のとおり著しい人口増加をみており，このような傾向は今後も当分の間は継続すると考えられる。

表2. 人口増加の著しい都市（昭40/35）　（%）

| 都市 | 増加率 | 都市 | 増加率 |
|---|---|---|---|
| 寝屋川（大阪） | 126.3 | 茨木（大阪） | 60.2 |
| 小平（東京） | 99.1 | 枚方（大阪） | 58.8 |
| 松戸（千葉） | 85.3 | 府中（東京） | 54.0 |
| 調布（東京） | 71.8 | 春日井（愛知） | 52.1 |
| 柏（千葉） | 71.4 | 茅ヶ崎（神奈川） | 47.1 |
| 吹田（大阪） | 68.5 | 豊中（大阪） | 46.7 |
| 船橋（千葉） | 65.9 | 川口（埼玉） | 43.4 |
| 高槻（大阪） | 65.4 | 豊田（愛知） | 42.5 |
| 町田（東京） | 62.6 | 藤沢（神奈川） | 40.6 |
| 相模原（神奈川） | 60.7 | 伊丹（兵庫） | 40.4 |

（注）1. 国勢調査結果
2. 人口10万人以上の市で，昭和35～40年の増加率40%以上のもの

したがって，都市対策を考えるにあたってもっとも重要なことは都市圏の規模（人口と区域）について，理想的（あるいは希望的）目標を設定するのではなく，その地域の持つ人口吸引エネルギーを適確に見通し，合理的，客観的な目標を想定することである。

大都市へ集中する人口・産業の分散拠点として，その育成につとめてきた新産業都市および工業整備特別地域の人口増加状況は，表3のとおり，一部の地域を除き，全体としてはきわめて低滞気味である。もちろん，このような地域開発の効果は，もう少し長い眼でみる必要があり，短期間の人口動向のみをもってしては，軽々に評価すべきではないが，ここ当分の間は，事柄の是非にかかわりなく，大都市とその周辺地域になお相当の人口集中があることを予想すべきである。

表3. 新産業都市および工業整備特別地域の人口増加率（40/35）　（%）

| | 地区 | 増加率 | | 地区 | 増加率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新産業都市 | 岡山県南 | 5.1 | 新産業都市 | 富山高岡 | 0.0 |
| | 大分地区 | 4.5 | | 不知火，有明，大牟田 | △1.3 |
| | 日向延岡 | △1.5 | | 道央地区 | 20.6 |
| | 徳島地区 | 1.4 | | 秋田湾 | 2.7 |
| | 東予地区 | △1.7 | 工業整備特別地域 | 鹿島地区 | △4.9 |
| | 松本諏訪 | 2.0 | | 東駿河湾 | 10.0 |
| | 新潟地区 | 3.3 | | 東三河 | 7.7 |
| | 常磐郡山 | △1.6 | | 播磨地区 | 9.3 |
| | 仙台湾 | 8.3 | | 備後地区 | 2.2 |
| | 八戸地区 | 4.0 | | 周南地区 | 2.6 |

（注）国勢調査結果

### 2. 大都市近郊地域に対する先行的な街つくりの配慮が重要である。

大都市における今日の混乱を解決するためには，ぼう大な投資が要求されることから，都市対策の議論において，大都市の整備か後進地域の開発かという選択的な形で政策課題が提起されることが多い。これは主として投資効率という点から，大都市の改造よりは，後進地域の開発のほうがすぐれているという立場から論じられる。

しかし，大都市の現状からみると，地域を大都市と後進地域に二分して論ずるのは適切でない。大都市の周辺地域には，急速に市街化をみている地域，しかも道路，下水道，公園等の基礎的な生活環境施設の整備が十分行なわれぬまま，市街化しつつある地域がきわめて多く，かつその区域を年々拡大しつつある。

これらの地域に対して，先行的な都市施設整備を緊急に行なうのでな

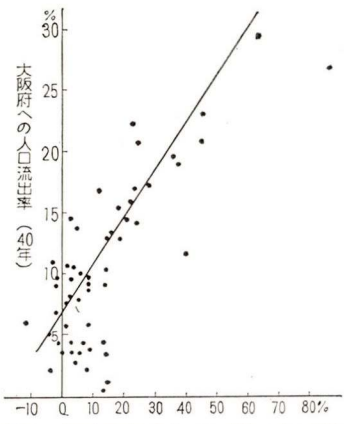



図2　大阪府周辺市町村の人口増加率と大阪府への人口流出率との関係

ければ，大都市内にみている弊害をさらに拡大することになるのは必至である。

これらの地域は，現在人口増加率がきわめて高いか，近い将来急激にのびると見込まれる地域であるが，図2のとおり，大都市地域への依存度を深める方向で人口が増加しており，これらの地域の整備については，大都市地域と一体的に考えて配慮しなければならない。

### 3.　費用負担の公平をはかるため，受益者負担制度を活用すべきであるが，同時に大都市地域の改造には思いきった財政投資が必要である。

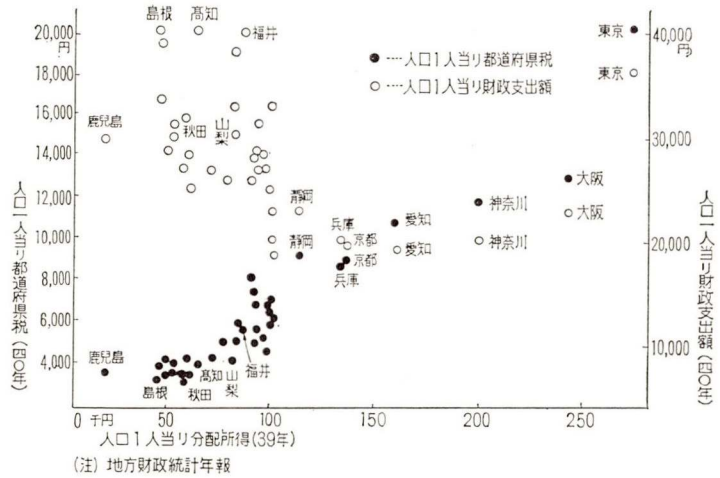
大都市地域の改造をすすめ，その周辺地域の都市整備をすすめるには，巨額の投資が必要であるが，その財源をどこに求めるか。

大都市に集中，集積された投資の利益はばく大なものであり，この利益あるが故に集中する人口，産業である以上，大都市に立地する企業，大都市に居住する住民からは，積極的に都市整備に必要な資金を調達すべきであるという意見が最近有力になりつつある。たしかに，この地域にあって，ぼう大な公共投資を利用する企業の活動等に対し，それぞれの利益に応じた費用分担を求めることは，むしろ合理的であり，特定の人達のみを公共投資によって利させるようなことは許さるべきでもない。

この意味では，受益者負担の制度を活用して，民間資金を導入するということは，今後の都市対策をすすめるにあたって，もっと考慮されてしかるべきであろう。

ただ，その場合，今日の大都市における混乱が，民間セクターの活動が著しくのびたのに対して，公的セクターの活動がこれに十分ともなっていなかったことに起因していることに留意すべきである。

すなわち，大都市地域においては，経済成長が著しく，人口・産業の急激な増加がみられる一方，後進地域においては，経済成長が停滞し，




（注）地方財政統計年報

図3　都道府県別税収と財政支出との関係

人口の流出がひどく，深刻な過疎問題がみられたため，地域間の格差是正がさまざまの形ではかられてきた。

図3は財政の面からみたこのような格差是正の結果を示すものであるが，そのため大都市地域においては，財政投資がその行財政需要に比して著しく立ちおくれ，このことが大都市における混乱を一層ひどいものとしていることに注意する必要がある。

したがって，大都市の改造にあたっては，民間資金の導入をはかりつつも，その主柱は依然として財政投資以外にありえないので，その思いきった重点投資がこの際必要と考えられる。

### 4.　大都市の改造を行ない，その周辺地域の整備をすすめるためには，抜本的な土地政策を確立すべきである。

土地は本来商品ではなく，公共の福祉に沿って利用さるべきものである。それが投機の対象とされ，異常な地価騰貴のブームをよび，公共事業の最大のガンになっていることは周知のとおりである。

表4はその一例を示しているが，今日の都市問題の多くは，土地問題

表4.　都市計画（街路）事業費に占める用地費の割合　(%)

| | 昭和35年度 | 36 | 37 | 38 | 39 |
|---|---|---|---|---|---|
| 大阪市 | 43 | 58 | 46 | 73 | 77 |
| 横浜市 | 28 | 47 | 72 | 69 | 52 |
| 名古屋市 | 69 | 76 | 86 | 89 | 87 |
| 京都市 | 37 | 49 | 64 | 47 | 43 |
| 北九州市 | 43 | 63 | 55 | 58 | 69 |
| 合計 | 48 | 62 | 63 | 74 | 74 |

（注）柴田徳衛「現代都市論」

が解決しさえすれば，解決できるといって過言ではない。

土地対策のうち，その中心をなすものは，

1）土地利用の規制強化：宅地開発の許可制，土地細分化の規制，土地の高度利用促進と未利用地の規制など
2）公共用地の取得増加
3）地価抑制対策強化：土地基準価格の設定，不当な地価騰貴による利潤に対する差別課税など

等であろう。

もとよりこれらは，今日の諸制度の根本的な変革なしにはなしえないが，しかしまた，このような大手術を行なわずしては，今日の都市が当面ししている諸問題の解決は期すべくもない。

## むすび

わが国の都市化のテンポは，今後もますます加速度を加えて，全国的な規模で進行するに違いない。

好むと否とにかかわらず，大都市圏の拡大は必至であろう。これを政策的に抑制しょうとすればかえってその混乱を大きくするだけである。

むしろ，今日重要なことは，大都市圏の拡大を率直に認め，これに即して先行的な配慮を加えることにある。

都市は生きものであり，日々成長交替をつづけている。

大きくなったもの，大きくなりつつあるものには，それに見合った上衣を用意すべきであり，あらかじめきめられたわくにこれを封じこめ，「適正規模」にとどめようとしても，所詮無理というものではなかろうか。

（うらにしりょうすけ・大阪府企画部企画室）

# 都市住宅生産の展望

島津良樹

## 1.

従来，住み方調査などの一連の分析的研究の上に立って，住宅の平面計画では多くの試みがなされてきた。いわば戦後派住宅とでもいうべきn—DKスタイルの住宅は，公団住宅をはじめとして，低質な建売住宅においてすらも，その平面型として定着して以来すでに久しい。寝室と食事室(兼居間兼台所）とを基本的な二つのスペースとした住宅の考え方は，規模においてまた程度において，様々なヴァリエーションを持ちながらも，今後大きく変わることのない勢力を保っているかのようにみえる。

ところで，このモダンリビングは結果としての平面プランは同じでも，美はそこにいたるプロセスで二つの大きな流れの相異があるように思われる。この流れは未来モノとして自由に提案されている住宅のプロジェクトに明瞭にあらわれている。今かりにその二つを簡単に，居間重点型と寝室重点型と呼ぼう。

**居間重点型**　都市化の進行は都市に住み働らく都市人を単一機能体とする。都市の人間は都市的であろうとすればするほど自らを単一機能体に対象化せざるを得ない。しかし人間は本来そんなものではない筈だ，という経験をどこかで得て来た都市人は単一機能体化していくことを必死で避けようとするだろう。この相剋的な状況の中でマイホーム主義が生まれて来た。住宅における居間重点型はかつて封建時代の滅私奉公の現代版，すなわち資本の時代における「滅私奉公家庭」のあらわれであり，典型的な都市的消費の思想を育成しているのではなかろうか。ここ当分の間のモダンリビングは，寝室（個室）スペースの相対的縮少という代償のうえに，居間の拡大をヨリ一層顕著にして行くことになるかも知れない。都市に住み働らくことが一般化していくにつれ，一方で別荘の夢が描かれねばならない遠因も，このマイホーム主義的消費の思想の延長上にあるのである。

**寝室重点型**　人間単一機能化への反抗が内部にこもってマイホーム主義を強調するならば，外部へ発展して新しいレクリエーションの様式を求め，労働の概念を変革しょうとする主張が芽生えて来る。あるいは労働の概念を資本経済の論理の枠内でではあるが，再構成しょうとする試みがなされるようになって来る。マイホーム主義が逃げ帰り型であるのに対して，これは社会的任意集団志向型であろう。この型の生活行動様式はまだそれほど一般的に認識されているわけではない。実際，かかる認識を可能ならしめるだけの生活基盤が用意されているわけでもない。現代におけるマイホーム主義の魅力は，わずらわしさが常につきまとい，しかも画一的な人間関係から一切断絶するところにある以上，あえてマイホーム以外に自己対象化を存分にできる場を発見しょうとすることは限りない無益な努力が要求されるかのように思われるのである。しかし生活における物質的豊かさに対して一向に満たされない（あるいは，遅かれ早かれやって来る）精神的行為の貧しさゆえの現実喪失感は，自己の顕在化をどこかに強く求めるようになるであろう。われわれはそれを期待するときに“それでは集まろうではないか”とふと思いつくことになるのである。ここに都市生活における偶発的な社会的任意集団の形成のキザシをみることができよう。

寝室重点型の住宅は家庭内部でのコミュニケーションを第一義のものと考えない。したがって住宅は個室（マイルーム）としての寝室の集合体として計画されることになる。居間や食事室というだんらんのためのスペースは片すみに押しやられて，本来の機能を発揮することを期待されない。さもなければ，個室（マイルーム）群の残余スペースに居間の名称が与えられるだけのことになるだろう。ヒトハ「外」デ生キネバナラナイノデアル!!

都市の人間の生活行為の主要な部分が経済的要因によって決定される時代はまた生活空間の主要な部分を経済的に決定される時代でもある。この決定力は今後強まりこそはすれ，弱まることは考えられない。マイホームの夢は悪夢に近い。同様にマイルームの夢も悪夢？　の入口である。とすれば，少なくてもマイホームやマイルームだけがギリギリの住宅の夢であるかぎり——そしてそれらは事実，戦後派住宅に託された夢であるのだが——都市人間は自分の住宅をさらに一層空疎なものにして行くに違いない。

## 2.

住宅問題・土地問題・都市問題，農村問題などすべての社会的な問題の発生源は同じである。だからわれわれは住宅空間のありさまをとうして都市空間，地域空間の貧困を見出すことができる。たとえば，われわれは都市生活や地域生活の貧しさが，住居における生活様式に十分反映されていることを知っている。社会的な生活の貧しさが，家庭（マイホーム）生活を少しでも豊かにし，そこに安らぎを求めることにわれわれの目標を向けさせている。ヨリ積極的・行動的に見えるマイルーム主義も，多くは職場や家庭ですら求めて得られない精神的緊張感への欲求の裏返しにしかすぎないものである。

未来ブームは今日日頃ではやや下火だが，未来像が華やかにこそ描かれる必要があったのは現代が地獄だからである，といういささか皮肉な観点が成立つのも理由なきことではない。そして将来の住宅が依然としてマイホーム，マイルームの延長であり続けるならば，未来もまた地獄であろう。ならば，いっそのこと，堂々たる地獄絵を描いてひらきなおってみたらどうだろう。そのための資料ならばコト欠くことはない。何かをつっつけば，そこには必らず地獄への導火線が用意されている。

住宅のみならず，われわれの住む都市そのものが地獄的である。

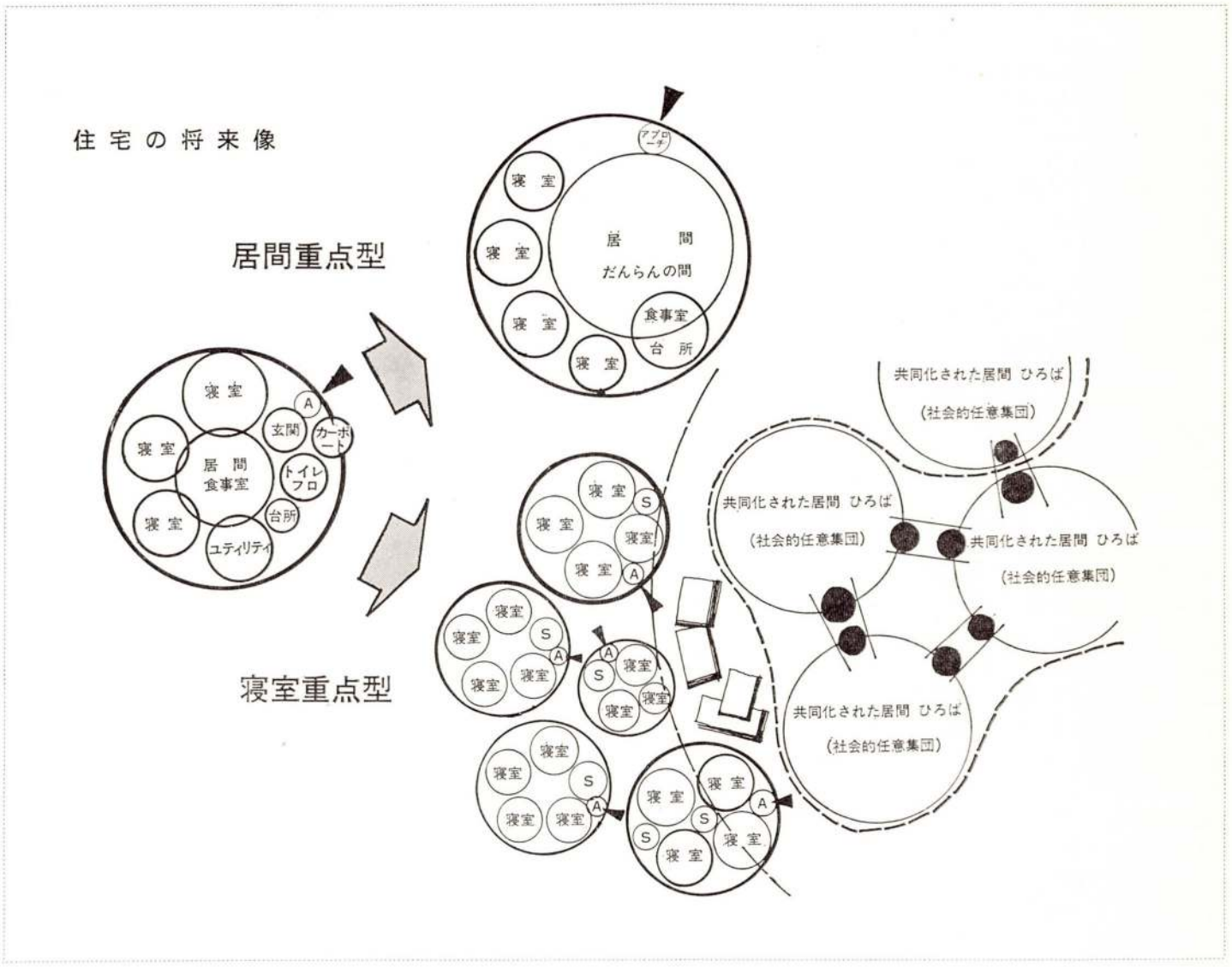
すでに交通地獄という言葉が生まれて久しい。公害，文化財破壊，景観破壊，成人病やら物価高にいたるまで都市は地獄的である。ある人々はこの状況を都市の廃墟であると考えている。都市は農村自然と隔絶されて近代都市になったとき，すでに廃虚への道を辿り始めていたと考えている。搾取のための手段 はいよいよ 鍛えられて 残忍になりこそはすれ，その逆ではない。

都市住宅の夢 はどのように描 かれようと，それらはすでに 悪夢である，と前に述べた。都市の空間的な構成のされ方，という点からみるとき，都市住宅の地獄的ありさまは当然の結果である。つまり社会的な都市生活空間はまず私的な性格を持つ居住空間に歪のふきだまりをつくっている。

いうまでもなく，都市は社会的ないし公共的に使用されるべきものである。使用の権利を得たいならば，同時に公共的な建設の任務を自覚しなければならない。都市はそこに住み働らく人間のための基本的な生活の手段である。しかしこの単純な原則が十分に認識されているかといえば甚だ不十分であるとしかいいようがない。だいたい，認識はあっても実践への有効な方法が容易なことではみつからない。発見不能の体制的しくみが確固として存在しているのである。都市空間の非公共的利用と建設とが現在の巨大な地獄的都市をつくり上げている。

別の面から見れば，都市の住宅は今後も生産され続けて行く都市空間全体の歪の指標である。

住宅はプライベートな空間であると同時に，一方できわめて公共性に富んだものである。たとえば，住宅が生産されていくプロセスは，すべて




の他の建築物と類似した社会性を持っている。また，住宅地としてある一定の地域的ひろがりを持つ場合，その住宅地にはおのずから社会性が濃厚ににじみ出てくる。いわゆる住宅団地はかかる公共的性格を作為的につくり出そうとしたものであろう。公共住宅とは，住宅における私的性格のうちから可能な限りの公共性を抽出して，大量の社会性を集中させることにより，経済的な効果を目的としたものに他ならない。しかし，多くの郊外の住宅地には，都市空間構成の面からみて公共的な斉合性など全くないのが普通である。公共的な施策住宅においても大同小異ではあるが，およそ住宅地立地の法則性は都市の空間的構成の全体像を描くことなく，ひたすら空地・未利用地充てん主義に没入し，不合理性の再生産という法則性をくり返しているにすぎない。

まさに都市は矛盾そのものである。国家的資本や地方自治体施策の大規模な住宅団地は，公共という名のもとに都市内部の矛盾を郊外・農業地域に持ち出し，新しく発生する矛盾の布石としたものである。民間の資本による大小様々な住宅建設勢力はそれに便乗し，矛盾露呈の触媒となっている。都市再開発は資本流通の道を広々と開けて住宅の高家賃をさらにつり上げ，都市から本来の意味での公共性を抹殺しつつある。都市は住宅を踏み石として，いよいよ地獄の形相を厳しくしていく。

## 3.

都市の人間は社会的な無機質化への反逆として，マイホーム，マイルーム主義という生活様式を固めようとしている。これらの生活様式の空間的表現としての住宅は，未来に向けて自由に提案されたプロジェクトの中にあらわされている。都市での人間生活は，都市そのものの現実に規制される。ここには，徹底的に必然の論理が作用している。そして都市の現実とは，公共性の不均衡，矛盾の各所露呈，不合理被覆的施策の集大成，価値の倒錯と地獄の狂躁である。要するにわれわれは，その現実を資本の論理と呼び得るわけである。とすれば，都市の人間——にかぎらずすべての人間がそうであるのだが——は資本の論理にしたがい自らの生活様式を決定せざるを得なくなっていることになろう。こういった現実の諸関係については多くの識者の指摘されているところだし，また，この小文であつかい得る範囲を越えている。われわれの現実は地獄的だ，そして未来もまた地獄的だ，というひらきなおりの態度を取り得ることから出発しなければならない，ということを言えるだけである。そうすれば，マイホーム，マイルーム主義の極限がいかにも豊かなものにみえて来る。逆説的にいえば，人間は自己の対象化を志向し，満たされなく

ても，なおかつ必要に応じて（あるいは直接的には不必要でも）価値を生産して行くものなのだから。

われわれのまえにはまだ究わめられていない住宅の未来図がある。しかしその未来図は，もし生産のプロセスについての検討がないならば，一瞬にして無力極まりないものとなろう。われわれの描くべき未来図はプロセスを伴った未来図なのであって，時間の要素をヌキにした突発的な未来図などは，もはやフンパンものにしかならないのである。

われわれが確実に描ける展望には現実的な条件がある。ひとつは，現実の中にあるところの課題や問題の認識の程度であり，もうひとつは，現実の中にあるところの問題解決の手段である。われわれは誰しも常日頃から痛切な問題を抱え込みながら生活しているから，問題認識の程度は必らずしも低くない。もし住宅や都市などに対する空間的な要望，すなわち，問題意識の空間的表現が少ないとすれば，それはまだほかにもっと切実な問題があるからか，ないしは表現の方法に慣れていないからである。芸術性やコンピューター的システム性を付け加えなければならないほどに，建築や都市は日常的思考対象のうちでもヨリ高級なものであるのかも知れない。

それはともかく，都市生活空間，なかでも住宅の生産のプロセスはどのように検討されるべきか。そしてそれはどのような展望を描かせてくれるだろうか。

家族の大きさ，構成のタイプ，長年の間に動き難いものとなったこの世の身分，階級，階層，慣習……これらは今までの住宅の平面計画に基本的要因として作用して来た。量から質へと転換したと一部では言われている住宅問題は，実際には依然として消失してはいない。その現実に対処するために，住宅建築の計画企画・設計・研究に従事している人々は「狭くても住みやすい家」の実現のために，きわめて実践的な仕事を続けて来ている。それでもなお，住宅事情の改善には，遠くおよばないかのようである。もともと，住宅は住み手の自由意志にもとづいて形づくられていくべきものである。だから「定式」はあり得ない。住宅計画の最大のにない手は住む人みずからである。そして住宅のデザイナーは住む人それぞれが自分たちの自由意志を最大に発揮でき発展させることのできるような環境を，あらゆる場合についてととのえてやることに彼らの職能を確立すべきである。たとえ悪夢であっても，マイホーム，マイルーム主義の両者を兼ねそなえた住宅へのあこがれは無限だし，また少しづつでも現実的なものになっていくであろう。「ヨリ広い家」「もう一部屋」ののぞみは当分尽きることがないであろう。

都市は高密度化している。やがて都市圏も均質的に高密になっていくであろう。事実，高密度は現代における社会，経済的繁栄のキヤッチフレーズであり，情報理論はこの社会存亡のための武器になりつつある。コンピュートピアは夢ではなくて，現実だ。ところで，この高密度社会は居住環境における高密度をも当然要求することになるだろう。マイホーム，マイルームに基調を置き，さらに，高密度居住を余儀なくされる。とすれば，言うまでもなく，現在とは異質な都市空間が出現せざるを得ない。都市建設，住宅建設における新らしい方法とシステムが考え出されなければならない。現在，都市の人間は身軽るに居住地を変えることはできない。しかし住み方に応じて自由に住宅を選択したいという移動要求も出て来るであろう。この運動はますますはげしく，多くなっていくだろう。これもまた住宅建設の新らしい方法と，システムとを急いで確立することを促がすものである。

いわゆる住宅生産の近代化がこの要求に応ずる。住宅が流通消費財になるのはそれほど遠い将来ではない。都市が高層化のみならず立体化されるのもそれほど遠い将来ではない。住宅と都市の持つそれら二つの性格は，一方は都市近郊の民間建売住宅やアパート群，もう一方は都心のオフイスビル群にすでにあらわれている。建設主体を問題にしなければならないのであるが，住宅市場の整備が急がれ住宅産業が割のいい産業として成立しそうになるとき，その建設主体はどこからでも，確実にあらわれて来る。住宅建設の技術，システム，オペレーションは宇宙船打上げのそれにくらべれば，全く幼稚なものにしかすぎないのである。技術的にははなはだ低級なものにとどめられている部分が多いといえよう。だが，究極的にはコンピューターシステムに乗った住宅建設のオペレーションは住宅の流通消費財化と大量多種生産性とを現実的なものとしていくだろう。そしてそれはマイホーム，マイルーム主義の住宅観を物質的に支えていくことになるだろう。都市の高密化は都市の立体化として一層推進させられることになるだろう。

住宅に対する需要の測定を行ない，それを実践的に集約化する理論の開発が急がれねばならない。われわれが当面している最大の課題は増大する住宅需要の量的・質的な変化の傾向を認識することであり，それを集約化していくことである。住宅生産のプロセスの検討は，まさにこの課題へのアプローチから始められるべきものであろう。住宅の供給側面における技術的な課題，システムの再編成，生産組織論的課題などは需要集約化の各段階において必然結果的に決定されていくものと思われる。

## 4.

結局，われわれは望んでしかも得られない住宅の夢が住宅生産の不合理性にもとづくものであることを知らねばなるまい。選択する権利の行使のことを自由と呼ぶならば，われわれの多くにはわずかな自由しかない。多くの不自由をしのぶばかりではない。われわれには望みもしないことが押しつけられているのである。これは地獄絵だ。現在のわれわれの地獄的状況は生産の不合理性に，最大の，そして本質的な原因を有している。

しかし，住宅産業が住宅需要を組織化し集約化し市場を広く深く一見合理的に開拓して行くこともまたあり得ることである。「豊かな社会」における住宅生産のイメージはそういう時代の到来を予想させる。生産プロセスでの各個技術的な問題は生産イメージの強調に効果的な結論を用意するであろう。超高密化して行く都市空間——その中での住宅に持たされる役割は，現在よりもけた違いに豊かな空間のヴァリエーションを伴って，きわめて魅力的である。しかも公共的施策の目標が，まさにそこをねらっているとすれば，われわれの夢は一層確かなものとなるらしい。地獄絵はただちに極楽絵に描きかえられるのか……。

しかし，それは幻想である。われわれが現在あるがままの住宅の夢を得るために，どれほどの自由を放棄しなければならないかは注意深く隠蔽されている。はじめに述べたように，「豊かな住宅」への希求は資本の論理——巧妙にして細心の作為，必然の論理——の枠内でしか試みられない。住宅は依然として自由意志の産物とはなり得ないし，自由意志の対象にすらなり得ていない。

眼に見えてよくならなかったものがよくなっていくときの逆説をこそ批判の対象とすべき時代が早晩訪れることになりそうだ。住宅の生産と供給はまさに豊かさの現象をリアリティを持って現実化している。豊かさの進展は，建築・住宅の生産の近代化という技術的条件の上に，開花の時期を迎えようとしている。

（しまずよしき：京大大学院）

# 10
# 建設業界史話

## 屋根葺工史話（3）板葺史話（その2）

宮　村　次　郎

### 小　板　葺

註　中村達太郎日本建築辞彙にはこけらぶきと同じとあるが，ここでは長二，三尺位の小板にて葺く屋根をいうことにする。

小板葺の材料は枌ぎ易く，しかも耐久性のある樹種，例えば，椹，桧，栃栗などの柾目材が喜こばれていたのは当然で，その寸法は地方によって相当の相違がある。例えば，信州では長板は長二尺から二尺五寸，巾は五寸位，厚さは二分から二分五厘位に割った縁板が普通で，一般に葺足は六，七寸内外で，屋根勾配は一間に二尺落（即三寸三分勾配）を標準としている。葺いた上に丸太や角材などを以て押えとし普通石置屋根にしている。屋根石は手近にある石を使うのはもちろんだが，落ちないように丸い石でなければよいようなものだが，地方によっては習慣で忌む石があり，気を付けなければならない。例えば，鉢巻石といって，石に鉢巻の文様のある異質の色の入っている石を屋根に乗せると，母親が頭を病むとか，親の死に目に会わぬなどいう類いで，かなり古くからの迷信のようである。

これらの板葺の屋根は粗末なものは自分達（農民）がユイとかスケ等の協力組織を持って，お互に材工を出し合って葺いていたが，やや高級なものは肝心な化粧になる軒廻り，けら端，棟廻り等を専門の屋根屋に頼み，あるいは指導をして貰って葺上げていくという草葺屋根と同じやり方で，自給自足をしていたようである。洛中洛外図屏風（上杉家蔵）の小板葺の絵は家内の者まで総出で，屋根葺を行っているほほえましい街の風物を画いている。これで見ると屋根葺は，庶民の間では田舎ばかりではなく，町でも自分達の仕事としていた時代がつい最近まであったのである。材料の屋根板は，古くは農民が初冬に自分達の山野から伐ってきた木材を冬の農閑期を利用して，コツコツと割って貯えていたもので大家などでは下男などのよい夜なべ仕事の一つであったらしい。町家の人達はこのような農家のものを買って屋根葺をしたらしく，先にも記したように，小板の材木売が街を売り歩いていた。したがって大きな町や宿場の大火などで，突発的に大きな需要先ができたときなどには思いがけぬ金銭収入で，農村が潤ったこともしばしばあったものだという。

しかし山村の農家の枌板作りも，農作業が複雑になり，他に有利な金銭収入の途が開けて来るようになると，小板や枌板作りも次第に専業化し，屋根葺のときの下手伝のみが賃金の低い昔ながらの農民の暇を作っての仕事として残っているというのが，一部の農村の現状であろう。

一方都市においての板葺屋根の専業化は，材料の性質からも草葺より遥かになり易く，都市の大きさにもよるが，定住した屋根職人も早くからでき，忙しいときは労力は葺手の渡り職人のような者の導入によって充足されていた。江戸でも文化文政頃（一八〇〇）ともなると，草葺屋根は甚だ少くなくなり，板葺の家が目について多くなってきている。北斎の隅田川両岸一覧の図を見ると，草葺の家が萱では修理ができず，痛んだところに小板を差込んで醜いながら雨漏りを防いでいる家が数多く画かれている。北斎が庶民のふところ具合をチョッピリ見せた面白い絵だが，都市の建築の移り変りを見せてくれる有力な資料でもある。

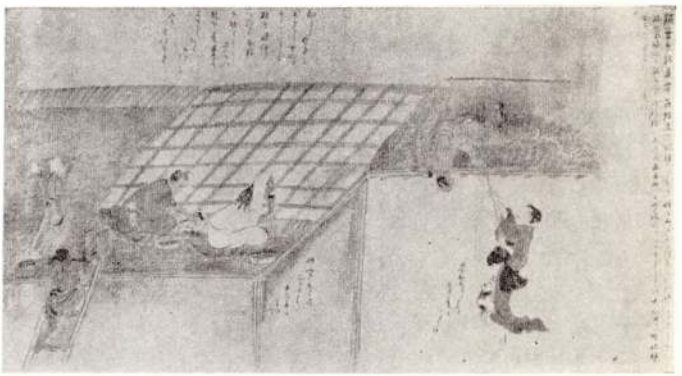
この時代にまでなると，屋根屋といういろいろの綜合的に屋根仕事をする請負業者もできて，それぞれ顧客を持って商売ができるようになったのである。なお瓦葺を主体とする屋根屋は庶民の経済力が地についてきた元禄を一寸遡る当りに請負として成立したのではなかろうかと考えている。土居葺とか下屋や，庇の板葺などでいろいろの単能工が，屋根葺一般の屋根葺工となって一家を成すに至る者ができてきたのは，庶民の家がよくなってきたこの頃位からであるように思うのである。

### 枌　板　葺

枌板葺は椹杉材等を一分前後の厚さに枌いだ長さの短い薄板で葺いた屋根である。板の長さも板厚も時代により処によりまちまちのようで，概して古い時代の方が長さは長く厚さも厚いようである。また厚さによって名称が異なり，厚一分五厘位までのものを柿（コケラ）といい（註：これを「かきいた」と称するは甚しき誤りなり〔中村達太郎〕），一分五厘から三分までの厚さのものを木賊葺と称し，三分以上を栩葺と称している。

いずれにしても機械枌となるまでは人手によることであり，材料の質や工具の鋭さにもよって厚さなどまちまちになるのは当然で，あえてやかましく区別を論ずることもできないと思う。

さて，枌葺ともいえそうなものに桧皮葺に似た杉皮切板葺がある。杉皮の表三尺ものを三ツ切位にし，葺足も二寸位にして葺くもので竹釘を使っている。古い文献が見当らないので，筆者の私見であるが，国宝建造物の修理などに瓦葺下の土居板としてかなり古い杉皮葺があり，時代は下っているが，近世職人尽絵詞（文化二年・一八〇五）を見ると，民家のとんとん葺に杉皮切葺の絵があり，女まで混って職人らしくない姿の人達までが職人と共々に屋根を葺いている絵がある。側に竹釘入れの桝が葺手一人に一つづつ置いてあり，竹釘が一升何程で売買されていた



上：洛中洛外図屏風（町田家蔵）ー建築中の図ー
下：　〃　（上杉家蔵）ー　〃　ー





上杉家蔵・洛中洛外図部分

という話と符合して面白くみることができる。

このような絵を見ると，杉皮の枌葺は実際には枌板葺よりもかなり古くからあって，あるいは桧皮葺の下級なものと差別がなかったことがあったのではないかと想像できる。七十一番歌合絵巻の桧皮葺の絵を見ると，材料の桧皮は一端は切り揃えており，他端は木から樹皮を剝したままの状態になっている。先端は現場で切ったようでもある。

現在見るような長さや巾を切揃えたものを何種類か用意して，材料拵えに手間の半分以上もかけるという桧皮葺とは一見したところ，大分違うように受取れる。このようなことから，古くから桧皮葺と共に杉皮切板葺に属するものがあったと思うのである。耐久力の乏しい材料である枌葺には遺構はないが，鎌倉時代の宮殿の室内や厨子などに使ったものに桧皮葺を型取ったものが，偶々そう見えるのか明かではないが，現在の枌板と少しも変らない枌葺の伝世物が残っている。実際には，工芸的には可能でも当時の建築の屋根となると，また別に考える必要がある。おそらく本物の枌板を作ることは大量には甚しく困難であったに違いないし，そのような場合は当然桧皮葺で葺かれたと考えるのが妥当であろう。

すなわち薄い水の浸透しない板で屋根を葺くアイディヤは，桧皮葺で実証済であり，桧とほとんど同じような杉皮葺，同切葺が特に文献などにはなくとも，混同され実用化されていたと考うべきであろう。枌葺は昔は竹釘葺であり竹釘が通り易いように，杉や椹の柾目取りの板を良とした。栩葺は鉄釘止めでしたがって材料も栗類などが用いられた。鉄釘を使用する関係から屋根として現われたのは鉄釘の比較的自由に使えるようになった桃山時代からが考えられるが，目立って釘の使われるようになるのは徳川時代に入ってからであるので，屋根葺やその仕舞や納りに釘が多く使われ出したのは前掲の慶長年間とされる絵巻物の出た時分であろう。気のせいか，絵がそのようにも見えるのだが，如何なものであろう。

ただし栩葺は関西には少なく関東，東北にむしろ多いという。（明治前，日本建築技術史）

## 土　居　葺

瓦葺の土居葺の最も古い式のものは原型を留めているか否かに疑問があるが，例えば，法隆寺の舎利殿や絵殿など国宝建造物の修理の写真によると，あたかも有合せの似たような厚さや太さの木片を並べて木の間の隙間をなるべく小さくし，木舞掻をするように縄類で連結した面を土居葺の地とし，その上に直接瓦を葺いたものや興福寺の東金堂のようにその上に杉皮を土居葺して瓦を葺いているようなまことに粗末なものである。その上に古代は瓦のゆがみが多く，馴染が悪い瓦であったことを思うと，雨漏りは避けられず，旧態を残せる屋根は無いのが当然といえそうである。室町末期の洛中洛外図屏風（上杉家蔵）の材木売の絵で見てもこの時代になっても，いまだ心細い割材を担いで売歩いている状態を考えると，そのわずか三百年位前と思える時分に改修された法隆寺の諸院や殿舎の葺下地の惨さも当然である。

したがって土居葺の杉皮葺の場合でも一番下のものは，木舞に葛などで縛りつけて留めていた程度のものであったとも思われる。石山寺造営の際の桧皮葺の調書の中に黒葛の名が出ているのは，そのようなことを証明しているように見えるのである。

このように瓦葺の下地も心細いものであったが，前記の室町時代からの工具の改良があってからは，技術も格段の進歩を見て近代に通じる土居葺が考えられるようになったと見てよいと思う。それまでの瓦葺下地には，当時の技術者もよほど困っていたらしく，興福寺の東金堂の改修で（一四一一年建立のもの）明らかとなっている下地を参考に書いて見ると，野地板はかなりしっかりとした檜材の長七尺位，巾七，八寸，厚七，八分の割板を流板張にし，その葺足を二尺七寸五分乃至三尺四寸に張立てていた。したがって一カ所の重ねは三枚づつとなり，その上に杉皮の土居葺をし瓦桟を打っている。瓦の馴染の悪さは想像に余りあろう。権力もあり経済的に余裕のある官寺の建物でさえ，この不器用さであることは，大鋸の有無工具の改善の如何に重要であるかを物語っており，この後戦国の混乱期でさえ，建物は目立った進歩を見せた建築界が，次の桃山時代に一時に花と咲いた状態となったのも，これにつながることと思うと，今更ながら機械工具の重要さを痛切に感ずるのである。

土居葺の枌葺等についてはことさらに多くを語るを要さないと思う。ただ江戸の初期から土居葺枌葺として一般化する機運となることを記せば足るであろう。

次号には「いつまで草と石灰の話」を掲載いたします。

# 砕石コンクリートについて

廣　橋　康　充

## （一）コンクリート用骨材としての砕石の重要性

近年，建設事業の活発化と治水事業の発達，また一方河川の保護管理に対する当局の規制等により，コンクリート用骨材の枯渇を憂える声が次第に昂まり，昭和40年11月建設省が「河川砂利採取の現況と今後の見通し」という砂利白書を公表するにいたり，骨材対策が緊急の問題として脚光をあびてきた。周知の通り，土木工事および外国の諸コンクリート工事では，従前から砕石を多く使っていたが，わが国の建築工事では土木工事に比し軀体工事の断面が狭小なのにもかかわらず多数の鉄筋を入れる習慣になっているので，コンクリートの充填が楽でないためワーカビリティの点で難点のある砕石をつとめて避けていたのである。しかしながら，洪水による砂利採取床の再生が間に合わず，砂利は次第に粗大となり過大粒が使われるようになってくると，豆板の発生が目立ちはじめ良質な天然砂利が枯渇しはじめると，砕石への転換が色々な角度で検討を加えられるようになった。従来では道路用，軌道用に砕石の用途は大部分を占めていたが，早晩建築用にも砕石が100％用いられる時代がくるであろう。河川砂利に恵まれない関東，九州地方の一部ではすでに多くの工事が砕石に依存している実情である。

ところで，一般的に従来からいわれている“砕石コンクリートの難点は砕石が角ばっているので，コンクリートのワーカビリティが悪い，砕石の空隙率が大きいのでセメント量が増加する”という考え方が圧倒的であった。しかしその後の研究でこれらの難点に対処する方法が見出され，経済的，技術的にも河川砂利と同様に，砕石を骨材として使用するのに何等支障を来さないところまできているのである。それではどのような砕石をどう使用すれば良いのか，という点に焦点を絞って種々の問題点を記述してみよう。

## （二）コンクリート用骨材としての砕石が要求される特性

ＪＩＳ表示許可工場から生産される砕石ならびにＪＩＳ表示許可に準ずる砕石，すなわちその石質，粒形，粒度が適当であると，天然砂利と何等変らないコンクリートが打てる。

### （イ）石　質

石質としては天然砂利に要求されると同様で，すなわち堅硬，清浄，耐久，耐火で安定性のあるものがよい。これらの条件に合うものとしては，玄武岩，安山岩，硬質砂岩，硬質石灰岩およびこれに準ずる石英斑岩，閃緑岩が良く，現在砕石として生産されているものは，この種のものが多い。片岩，片麻岩，軟質砂岩，軟質凝灰岩，風化した岩石などで軟弱なもの，および砕くときに亀裂を残すおそれのあるものは使用してはならない。

### （ロ）吸　水　率

砕石の吸水率の尠いものは石質が堅硬密実であるといえる。砕石の原石が同じ場合コンクリートとして適当な粒形のものは不適当な粒形のものに比して，実績率（単位体積中の骨材の実体積）も大きく，また吸水率が尠なくなる場合がある。したがって吸水率は骨材用砕石の良否の一つの目安となるため，その値が２％以下である事をＪＩＳでは規定している。

### （ハ）比　　重（表乾）

2.5未満のものは，一般的に軟かすぎるので比重は2.5以上のものであることが必要である。

### （ニ）粒　　形

扁平なもの細長いものであってはならない。したがってなるべく角が鈍角なものを使用すると良い。粒形は一般的に原石が硬質にすぎると，角が鋭角になり易くまた扁平になる。したがってあまり強度の大きい原石は必要でない。粒形が不良であるとコンクリートのワーカビリティは悪くなり，またセメント量も多くなる。砕石の粒形の適否は実績率の値と密接な関係にあるわけで，実績率が58％以上のものであると，ワーカビリティーは川砂利（実績率は普通60～68％位）を用いた場合と全く変らず，57％の場合軟練りのとき川砂利と同程度である。これに対し実績率が55％以下であるとワーカビリティーは極端に悪くなり，スランプは急激に小さくなる。したがって実績率は尠くとも55％以上のものが必要で，できれば57～58％以上のものを使用すると良い。

砕石の粒形は原石の石質に左右されるが，原石が同じでは砕石の製造に用いるクラッシャーの形式で異る。すなわち原石破砕で砕石がクラッシャーの翼や反撥板に当る回数が多いほど，扁平なものや角ばったものが尠くなるので，インペラ式が最も良いというのが通説である。

### （ホ）不　純　物

ゴミ，泥，有機不純物などの有害物を含んではいけない。これらの不純物は骨材表面に付着してセメントペーストと骨材の付着を阻害し，コンクリート強度の低下を来たし，セメントの硬化を妨げる。ただし砕石の製造時に生ずる微粉末は砕石とまじっていても差しつかえなく，コンクリートのワーカビリティを良くする傾向にある。

### （ヘ）粒　　度

砕石の粒度は一般に連続粒度が用いられ，ＪＩＳA5005で規定しており，粒度はかなり正確に調整出来るのが大きな特色である。粗骨材としての砕石の場合砕石混入率を100％とすると，径５㍉～10㍉を約30％，径10㍉～20㍉を約70％の割合で配合すと，コンクリート用2005（ＪＩＳ規格）としての粒度範囲内に入るようである。Ｆ・Ｍを6.65とし強度その他の Factor をできるだけ満足する条件を求めると，上記配合のものが一番好結果をもたらすということが実験上ならびに実際の現場練りにおいても実証されている。

## （三）砕石コンクリートの特性について

### （イ）砕石混入率とコンクリートの調合について

川砂利コンクリートに対する砕石コンクリートの単位水量との関係は，川砂利コンクリートに比して，砕石混入率の増加に従い，単位水量

は増加し，砕石混入率20%で102%，40%で約104%となり砕石混入率10%について約1%増となる，これはＪＡＳＳの砕石による補正値とほぼ等しい。

さて，川砂利に砕石を混合した骨材の性質は，当然川砂利と砕石との中間にあり，これを使用したコンクリートの性質も砕石混入率の多少に応じ，砂利コンクリートに近い性質から砕石コンクリートに近い性質に移行する。砕石の混合率によるスランプの低下を調べると，セメント使用量，セメント水比を一定とした場合で，砕石の増加率とスランプの低下はほぼ直線的である。したがって所要のワーカビリティのコンクリートを得るために必要な単位水量は，砕石の混入率に応じて増加する。また砕石混入率が増加するにつれて，S/A も増加する故，当然細骨材の量を補正する必要を生ずる。一方 S/A は増加するが，反面粗骨材が減少する。弊社の現場打ちの例では，砕石混入率 100 %の場合13%～15%減，また関西生コン協会の報告書でも11%～12%の減となっている。なおこれらについては，昭和41年４月建設大臣官房技術参事局室より，砕石コンクリートの配合設計方法が指示されているので参照されたい。

**（ロ）ワーカビリティの低下**

砕石を用いることによるワーカビリティの低下について，伊東，児玉三浦，郡教授らの実験では，細骨材率（S/A）は砂利を用いたときに比べ約５～６%大となり，また単位水量は 15～17kg/m³ 増加している。また同一配合の場合には砕石コンクリートのスランプは砂利コンクリートのスランプに比べはるかに小さいが，砕石の粗粒率（F・M）が大きく，粒形が球形に近いほど，また単位水量の多くなるほど（スランプが大なるほど）その低下率は減少している。配合が同じなら砕石コンクリートのスランプは砂利コンクリートのスランプより約７cm少ない。逆に同一スランプのコンクリートを砕石コンクリートとしてうるためには，単位水量を大体 18kg/m³ 増さねばならないという。建築学会の標準配合では砕石を用いるときは砂利を用いるときにくらべ，単位水量の増加は８%を標準としている。これらのワーカビリティの低下は砕石が角ばっているために因るもので，混和剤を併用することによってワーカビリティの低下を相当緩和できる。すなわちビンゾールレジン，リグナール，ポゾリスなどの混和剤，ＡＥ剤を併用すると砂利コンクリートに匹敵するコンクリートがえられる。

**（ハ）水セメント比と圧縮強度との関係**

横道教授らのデーターでは砕石コンクリートは同一セメント水比の砂利コンクリートに比較すると，圧縮強度は大となり，その増加率は配合，強度の種類によって，異るがほぼ10%～30%である。また伊東教授もセメント水比 1.8～2.8（W/C≒55～36%）の範囲に対し，同一セメント水比の砕石コンクリートは，砂利コンクリートに比し圧縮強度で７～15%，曲げ強度で約17%の増大を示し，単位セメント量を同じにすれば曲げ強度で５%増，圧縮強度ではほぼ同一か多少大きい程度であると報告されている。さらに川砂利コンクリートで強度が150kg/cm²～250kg/cm²，スランプが10cm～20cmの比較的軟練りの配合に対し，同一配合の砕石コンクリートの強度と比較された児玉教授の実験では曲げ，引張強度は大となっており，圧縮強度では大差がなかったという結果がでている。弊社が児玉教授に依頼してやって戴いたセグメント用砕石コンクリートの強度試験においても，材令28月で砂利コンクリートの強度に比して約９% 強くでている（ただし早強セメントを使用，混和剤 マジノン *No.* 100 示方配合も砂利コンクリートの場合と全く同じ）砂利を砕石に替えたのみ。スランプは１cmの硬練りで供試体の破壊状況はいずれも正常であり，強度の材令的増進状況も正常であった。また曲げ強度は圧縮強度の12.4%を示し，曲げ折片の圧縮強度は円柱強度の約1.14倍を示していて，普通の砂利コンクリートの場合と何等変わるところはないという報告をいただいている。

**（四）結　論**

良質な砂利が容易に入手できる場合はともかく砕石使用の止むなきにいたっている現在，なるべく経済的な砕石コンクリートを使用するようつとめねばならない。そのための注意としては，つぎのとおりである。

(イ) 空隙率の小さい粒形の良いものを選ぶこと。
砕石の値段が 40円/m³ 高くなっても空隙率が１%小さくなれば損はないからできるだけ粒形の良いものを使用する。

(ロ) 単位セメント量を同一にした場合，同一スランプをうるためには単位水量は増加するが強度はほぼ等しい（または少し増大する）。しかし，セメント水比が大となるため水密性などが低下する。これを補うには，混和剤，ＡＥ剤などの使用により減水ないしはセメント節減と減水をはかるか，良質のフライアッシュなどの混用も効果がある。

(ハ) 水セメント比，ワーカビリティを一定にする場合には，砕石コンクリートの強度は大となるが，単位セメント量も増大する。そのため同一強度に対し砂利コンクリートとは異なった水セメント比（やや大きくえらびうる）を用いてなるべくセメント量の小さい配合を決定すること。

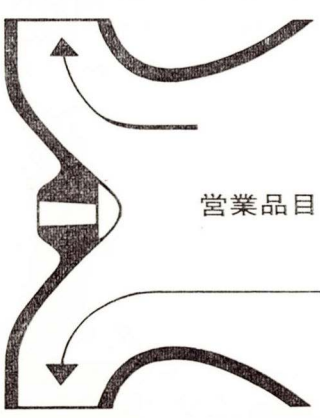
上記三点に留意して戴き JIS 規格に合格せる砕石を使用された場合，必らずや満足していただける砕石コンクリートが打ち上げられることを確信して擱筆させていただきます。


参 考 文 献

1）日本砕石協会（浜田稔編）建築工事への砕石の利用
2）横道・林・田口「砂利コンクリートと砕石コンクリートの比較研究」
3）建設省「河川砂利基本対策要綱」
4）児玉・仁枝：砕石のコンクリートへの利用
5）郡，宇都宮：砕石コンクリートの性質
6）砕石コンクリート講習会
　奥島正一教授，岡田清教授
7）技術委員会報告　No.4，No.6
　関西生コンクリート協会


（ひろはしやすみつ・KK森組砕石部）


Taniyama
送風機
株式会社 谷山鐵工所



営業品目
●ＬＡＦ形　リミットロード送風機
●ＴＡＦ形　可変式軸流送風機
●Ｓ　Ｌ　形　ストリームライン送風機
●Ｃ　Ｌ　形　セントリーライン送風機
●プレートフイン・ヒーター・クーラー

本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代７８０３～９
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
電話　東京（811）３４３５・３４４０

# 日本建築協会 月間の動き

## □昭和42年11月分□

### 定時評議員会

28日　4時～4時半　於会館集会室
出席者（評議員）神谷議長ほか7名
委任状出席者　77名　計85名
（理　事）東畑会長ほか5名
議事(1)昭和43年度評議員選出数決定に関する件
(2)理事1名補選延期に関する件

### 理事会

1日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　東畑会長ほか9理事 海上，五十嵐監事　井手京都支部長
議事(1)定時評議員会開催の件
(2)取引銀行預金口座名儀変更と会計事務処理内規制定の件
(3)忘年懇親会開催日変更の件
(4)事務局職員採用の件
(5)建築6団体合同新年交礼会開催の件
(6)新年午さん会の件
(7)日本建築総合試験所移転に伴う空室利用の件
(8)建築データシート出版に伴う予算措置の件
(9)建築データシート出版を50周年記念事業に追加の件
(10)入退会者承認の件
(11)報告事項　(イ)50周年記念事業収支見込報告　(ロ)そのほか

### 編集理事会

28日　4時半～5時半 於会館1階会議室
出席者　政岡主幹，長谷川，尾亀，横田各理事
議事(1)来年度の編集方針（特集内容の報告）
(2)データシートとの関係
(3)広告および広告企画の件
(4)発行日1日発行（報告済）
(5)青年建築家特集の件

### 建築データシート編集委員会

#### 編集デザイン分科会

6日　正午～3時　於会館集会室
出席者　池田幹事ほか4名
議事(1)3月第1回シート配付までの作業について
(2)見本シート印刷開始について
(3)ファイル中表紙などの決定について

#### 編集Cグループ打合会

6日　12時半～4時　於会館集会室
出席者　樫原幹事ほか2名
議事(1)各工事別による掲載依頼会社について
(2)そのほか

#### 編集Bグループ打合会

6日　5時半～9時半　於会館集会室
出席者　篠崎幹事ほか2名
議事(1)各工事別による掲載依頼会社について
(2)そのほか

#### 編集Aグループ打合会

8日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　西川幹事ほか4名
議事(1)各工事別による掲載依頼会社について

#### 編集幹事会

9日　5時半～10時半　於会館集会室
出席者　中原委員長ほか5名
議事(1)編集デザイン分科会報告について
(2)編集Aグループ報告について
(3)各工事別による掲載依頼会社の決定について
(4)予算案，出版計画(工程)の決定について

#### 委員会

16日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　中原委員長ほか14名
議事(1)第2，3，4回幹事会の報告について
(2)各工事別による掲載依頼会社の決定について
(3)3月第1回シート配付までの作業について
(4)出版計画（含行程），予算案について
(5)編集デザイン分科会の報告について

#### 編集幹事会

18日　正午～5時半　於会館集会室
出席者　中原委員長ほか5名
議事(1)各工事別による掲載依頼会社の決定について

#### 編集Eグループ打合会

22日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　宮武幹事ほか3名
議事(1)機械設備に関する掲載依頼会社の決定について

#### 編集Cグループ打合会

27日　正午～2時半　於会館集会室
出席者　樫原幹事ほか2名
議事(1)塗装工事関係について　(2)そのほか

### 編集委員会

#### 表紙デザイン小委員会

6日　正午～1時　於会館1階会議室
出席者　村尾委員ほか2名，山田宗雄氏
議事　昭和43年正月号の表紙デザインについて

#### 座談会＝都市と人間生活

9日　2時～4時半　於会館集会室
出席者　大薮寿一氏ほか6名
正月号＝「都市生活特集号」用として開催

#### 委員会

10日　4時～6時　於会館集会室
出席者　長谷川委員長ほか8委員
議事(1)12月号＝建築と生命特集報告
(2)1月号＝都市生活特集報告
(3)2月号＝都市のいこいの場特集報告
(4)3月号＝50周年記念事業記録号
(5)4月号＝幼児施設特集幹事会の件
(6)10月号＝都市のアクセサリー特集の件
(7)編集理事会の件
(8)編集OBの件
(9)シリーズものの件
(10)昭和43年度表紙の件

#### 編集幹事会

24日　4時～7時　於本会1階会議室
出席者　多胡幹事ほか3名
議事　幼児施設特集企画

### 住宅委員会

#### 住宅スライド小委員会

10日　5時半～8時半 於会館1階会議室
出席者　高田，垣内，勝浦，村田，山田各委員
議事　映写スライドの選定

#### 住宅資料蒐集小委員会

13日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　大橋主査，楢崎，北本各委員
議事　住宅資料の蒐集方針および内容について

#### 委員会

14日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　黒谷，野々村両副委員長ほか7委員
議事(1)住宅スライド作成に関する件
(2)住宅資料蒐集に関する件
(3)そのほか

#### 住宅総務小委員会

22日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　黒谷副委員長，坂井主査，星野，山本各委員
議事　12月の委員会開催について

#### 住宅資料蒐集小委員会

27日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　大橋主査，楢崎，北本各委員
議事(1)住宅相談作成資料の編集方針について
(2)住宅資料の蒐集について

### 教育委員会

#### 委員会

16日　3時半～5時　於会館集会室
出席者　橋本委員長ほか5委員
議事(1)鋼構造設計規準案による講習会企画の件
(2)工高生デザインコンクール，現場実務講習会の経過報告
(3)そのほか

### 出版委員会

#### 鉄骨デザイン幹事会

17日　5時半～10時30分　於会館集会室
出席者　木田，宮川幹事
議事　出版工程と作業，断面算定表の修正，そのほか

#### 委員会

24日　5時半～7時半　於会館集会室

出席者　石崎委員長ほか10委員
議事(1)委員長，副委員長，幹事の選出について
(2)各部会の構成員について
(3)前年度よりの出版事業について
(4)本年度の出版事業について

## 建　材　委　員　会

**委　員　会**

**24日**　3時～5時　於会館集会室
出席者　堀内委員長ほか6委員
信越ほか2メーカー
議事　左官用セメントの検討会（第3回）

## 事　業　委　員　会

**忘年会受付分科会**

**17日**　6時～8時半　於太閤園
出席者　山野主査ほか2名
議事(1)受付方法（責任者の決定）
(2)チャリティ（　〃　）
(3)抽せん方法（　〃　）
(4)景　　品（管理者の決定）
(5)そのほか

**忘年進行分科会**

**20日**　6時～8時　於太閤園
出席者　近藤主査ほか1委員
議事(1)進行プログラム
(2)余興関係
(3)舞台関係
(4)そのほか

**建築と消防展企画小委員会**

**21日**　6時～8時半　於会館集会室
出席者　竹口市審査課長，奥田，田中，高橋市消防局，窪田副委員長，駒，鈴木委員
議事　企画内容の検討

**委　員　会**

**28日**　5時半～7時　於会館集会室
出席者　政岡，山野，尾亀正副委員長，平田幹事ほか8名
議事(1)忘年懇親会の実施内容について
(2)1月～3月の事業企画について
(3)建築と防火展計画について
(4)そのほか

## 法　規　委　員　会

**委　員　会**

**22日**　3時～5時　於会館集会室
出席者　福永委員ほか8名
議事(1)その後の審議会の報告
(2)基準法改正問題
(3)士法改正問題
(4)法令コーナー

## 見　　学　　会

**建材委員会見学会**

（イビセメント，日本化成，日本スタッコ各工場見学会）
**11日**　9時～午後7時
参加者　13名

**京都の庭園と古建築を見る会**

「竜安寺庭園，妙心寺開山堂庭，東海庵庭，退蔵院庭，大心院庭，霊雲院の庭園」
解説者　中根金作氏（中根庭園研究所長）
**20日**　10時～午後4時
参加者　21名

**P．C工法の工場と現場見学会**

大阪市住宅供給公社新北野分譲住宅現場
施工　株式会社　竹中工務店
大成プレハブ長岡工場と建築現場
**25日**　1時～5時
参加者　59名

## 講　演　と　映　画　会

**最近のP．C工法講演と映画会**

**9日**　2時～5時
於大阪科学技術センター
聴講者　101名
講師　最近のP．C工法
江里口富久也氏（日本住宅公団量産課長）
映画　前進する量産住宅（カラー）
スライド　ヨーロッパのプレハブの現状

## 講　　習　　会

**第16回現場実務講習会**

**6日～11日**（6日間）
各日　午前9時～午後5時
会場　日本生命中之島ビル3階講堂
聴講者　187名

**6日**　建築工事の着工から竣工までの業務総論　大阪府営繕課　中居誠之助氏
材料の検収とその管理
鴻池組　矢田貝計一氏
土工事，基礎工事，排水工事
間組大阪支店　渡辺　勇氏

**7日**　地下工法
竹中工務店　水畑　輝雄氏
労務管理と安全管理
鹿島建設大阪支店　岸田　成計氏

**7日，8日**　鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事
清水建設大阪支店　金尾　寛氏

**8日**　仮設物と仮設材料
松村組　井上　司郎氏

**8日，9日**　積算，木工事，屋根工事サッシュ外工事
鹿島建設大阪支店　高橋　裕氏

**9日**　施工計画
大成建設大阪支店　梅原　洋一氏

**9日10日**　石工事，タイル工事，ブロック工事
藤木工務店　矢野　豊作氏

**10日**　工事機械と工器具類
大林組　木下　幸一氏

**10日，11日**　防水工事，左官工事，塗装工事
銭高組　塩脇　昭司氏

**11日**　現場に関する諸法規とその手続
大成建設大阪支店　種村　恒夫氏
現場製図
大林組　窪田　祐氏
設備工事
竹中工務店　玉田　健氏

## 工高生デザインコンクール表彰式

**16日**　2時～3時　於会館集会室
出席者　彦谷審査委員長，清水「一の会」代表，橋本，辛木教育正副委員長
上野委員
入選者　9名
入選者に対し賞状，賞牌をまた最優秀作に対し「一の会賞」を授与した後，入選者を中心にした茶話会を開催した（入選者の氏名などは12月号会告欄に発表済）。

## 説　　明　　会

**実務に直結した建築工事別説明会**
**「金属外装材の問題点説明会」**
**29日**　2時～5時　於大阪科学技術センタ

聴講者　85名
ペンタイトおよびステンレス
日新製鋼株式会社市場開発部長代理　末貞　敏彦氏
〃　技術サービス課長代理　佐々木重晴氏
カーテンウォールの機能と材料の問題点
不二サッシュ工業株式会社設計課長　平林　義雄氏

## 12月の入会者〔敬称略〕

〔団体会員2社〕
三協アルミニウム工業株式会社大阪営業所
㈱M.A設計事務所

〔個人会員　33名〕

| | | |
|---|---|---|
| 安崎三佐男 | 重田　正 | 西森　淳二 |
| 足立　道雄 | 島田　洋二 | 連井　哲美 |
| 青草　健喜 | 鈴木　進 | 平井久仁男 |
| 伊藤　勝美 | 田代　芳信 | 迎　豊 |
| 宇藤　石夫 | 多田　誠之 | 村上　靖夫 |
| 江口　善文 | 武川　仁志 | 森　勇雄 |
| 尾原　重信 | 谷　富士夫 | 森山　敏夫 |
| 兼子　秀造 | 時岡　築造 | 山森　公一 |
| 河村　幸一 | 中尾　義昭 | 吉田　昭郎 |
| 児島　正徳 | 長島　隆一 | 和田　久雄 |
| 後藤　辰巳 | 西垣　実 | 和田　良順 |

〔准会員　5名〕（氏名省略）

## 会員の死亡〔敬称略〕

藤木正一　76才　㈱藤木工務店　42年10月23日死去


**求　人　広　告**

**構造技術者募集**

**構造デザインセンター**
（構造図面・構造計算）
大阪市天王寺区上本町4丁目1の2
TEL（768）4475

信用ある技術と伝統の

# アスファルト工事 専業大店

## 株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

# 室谷

## 内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
直通電話　神戸(33) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
直通電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5 (電話㉒2923)

## ビル設備の補修は 補修専門の 株式会社 岸工作所へ

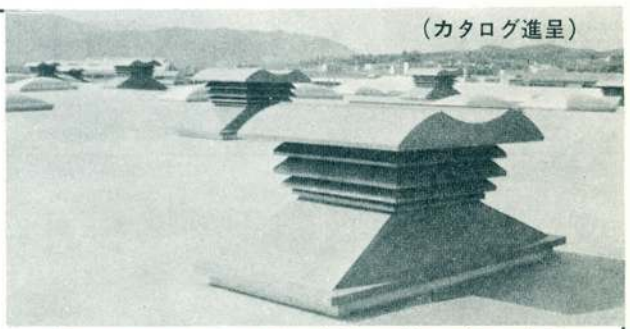
- ボイラーや冷凍機の故障のとき　シーズンオフの手入れや検査等のとき
- ポンプやファンの故障のとき　シヤフトやベヤリングの取替のとき
- エンヂンの故障のとき　ヂーゼルエンヂン・ガソリンエンヂン等の故障のとき
- 給水や排水管の詰ったとき　漏水したとき
- 衛生器具の故障破損のとき　陶器や金具の取替のとき
- 窓枠やシヤッター・出入口の故障のとき　サッシュ・ドアーチェック・ブラインドの故障のとき
- タンクやピット・浄化槽の掃除のとき　鉄板タンクの錆落しやペンキ塗りのとき

本社　大阪市旭区今市町1－262
TEL 953－0870～1・(夜間) 951－0244
出張所　大阪市北区堂島浜通1－25　新大ビルC階
TEL　361－3225・341－5819

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置
新型　換気塔 NSライン　(強制換気扇付)
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

(カタログ進呈)



## 岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電話 (981) 0616～0618

# 賀　正

## 1968

## 設計事務所有志

---

## 伊東建築設計事務所

伊　東　正　也

大阪市浪速区幸町通り２－６(清光ビル)　電話(562) ４３４３～４

---

## 石川建築事務所

石　川　寛　三
石　川　　宏

大阪市天王寺区茶臼山町１１１　電話(779) ９４９１～２
東京都豊島区駒込１－２８　電話(946) ５４３１～２

---

## 株式会社小河建築設計事務所

代表取締役　小　河　吉之助

本　　社　大阪市南区瓦屋町4番丁8番地　電話大阪(761) 6957代表
東京事務所　東京都中央区日本橋両国50番地　(ニッセンビル内)
分　　室　大阪船場・和歌山・名古屋　電話東京(866)9606・2349

---

## 株式会社大阪建築事務所

取締役社長　高　橋　慶　夫

本社並びに支所　大阪市西区京町堀２丁目75　電話　大阪(441)9351㈹
東京支所　東京都港区赤坂1丁目1番14号(溜池東急ビル)　電話　東京(583) 8169
名古屋支所　名古屋市中区栄2丁目6番地12号(白川ビル)　電話名古屋(221)8566㈹
九州支所　北九州市小倉区紺屋町1丁目20-1(丸源ビル)　電話　小倉(52) 5211

---

## 株式会社小林得志建築事務所

代表取締役　小　林　得　志

大阪市北区堂島北町２０　藤田ビル内　電話(362) ５６５８～９

---

## 株式会社 シグマ 建築設計事務所

代表取締役　川島春秋

日本建築家協会々員

大阪市南区久左衛門町8（松竹関西支社ビル2階）
TEL 直通213－0875代　交換211－5631代

---

## 株式会社 昭和設計事務所

設計・監理

取締役社長　岡本行善

大阪市西区西長堀北通1－8　四ツ橋ビル　TEL．代表532－0415

---

## 株式会社 田中小西 建築事務所

取締役社長　小西岬

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 大阪市西区阿波座南通2－60 | 電話 (532) 4051大代表 |
| 東京事務所 | 東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3(大木ビル内) | 電話 (256) 9301代表 |
| 名古屋事務所 | 名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内) | 電話 (201) 4035 2735 |
| 大津事務所 | 大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内) | 電話（2）5373～4番 |

---

## 株式会社 竹内建築事務所

内藤一真

林茂

大阪市浪速区元町1－742（藤本ビル）　電話(641) 5089・1156

---

## 株式会社 東畑建築事務所

代表取締役　東畑謙三

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 大阪市東区伏見町5丁目19 | 電話 大阪(06)202-0391 |
| 東京事務所 | 東京都千代田区永田町2(永田町ビル) | 電話 東京(03)581-1251 |
| 名古屋事務所 | 名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル) | 電話名古屋(052)571-8471 |
| | 九州支所・広畑支所 | |

---

## 株式会社 富家建築事務所

代表取締役　富家宏泰

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 京都市中京区押小路通烏丸東入 | 電話 代表（23）6357 |
| 大阪事務所 | 大阪市東区北久宝寺町2丁目(いせとビル3階) | 電話 代表（541）1553 |
| 東京事務所 | 東京都中央区銀座東7丁目1(松慶ビル7階) | 電話 代表（261）1751 |
| 千葉事務所 | 千葉市市場町2　千葉自治会館内 | 電話 代表（27）6181 |

## 日建設計工務株式会社

取締役社長　塚本猛次

大阪市東区横堀2丁目38番地　電話 (203) 2361 (大代表)

## 株式会社 内藤建築事務所

代表取締役　内藤資忠

本　社　京都市左京区田中大堰町189番地　電話 (78) 6196代
営業所・出張所　東京・松本・静岡・名古屋・京都
大津・大阪・広島・高知・福岡

## 村野・森建築事務所

村野藤吾
森忠一

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－31　電話 (622) 0926代表
研究所　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話 (271) 7901
東京事務所　東京都中央区茅場町2－3　電話 (661) 7158

## 株式会社安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区淡路町2－34　電話 (202) 3836(代) 8091(代)
東京事務所　東京都千代田区平河町1－1　電話 (261) 5101(代)
名古屋事務所　名古屋市中区錦3－24(日本生命ビル)　電話 (961) 1861(代)

## 阪神造園建設業協同組合

理事長　森俊一

組合員一同

事務所　大阪市北区高垣町86　福田ビル内　電話大阪(313)0975・4010

# 賀　正

## 1968

## 造園設計事務所有志

---

### 株式会社 ＡＩＮ造園研究所

代表取締役　荒木　芳邦
代表取締役　井上　卓之
代表取締役　西川　晴之助

大阪市西区京町堀2丁目(京二ビル)　電話 06 (443) 7 4 2 0

---

### 株式会社 荒木造園設計事務所

代表取締役　荒木　芳邦

大阪府池田市鉢塚2丁目8番12号　電話 0727 (61) 8874・1298

---

### 井上造園設計事務所

井上　卓之

京都市右京区宇多野福王寺町54　電話 075 (44) 5 0 7 7

---

### 株式会社 西川環境設計研究所

代表取締役　西川晴之助

大阪府枚方市中振1丁目18－4　電話 0720 (31) 1 2 7 1 ～ 2

---

造園・緑化・遊園運動場器具

### 株式会社 三芳園

取締役社長　森　俊一

本社　箕面市新稲705番　電話 0727 (21) 3 0 5 8 番
支店　大阪市北区太融寺町48番地　電話 大阪(313)2451・(361)4785番

---

# 賀　正

## 1968

## 建設業者有志


株式会社 **淺沼組**

取締役社長　淺沼猪之吉

本　社・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表 (762) 0251
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・秋田・岩手・水戸・千葉・立川・横浜・新潟・北陸・静岡・岐阜
長野・三重・奈良・京都・郡山・和歌山・神戸・高松・徳島・熊本

株式会社 **新工務所**

取締役社長　新順一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表大阪(313)1331番
支　店・東京都千代田区神田猿楽町二丁目七　電話 代表東京(291)3741番
営業所・神戸市葺合区八幡通五丁目六松井ビル内　電話神戸 (22) 3316番
・名古屋市中区錦三丁目十七番十一号　電話　名古屋 (971) 2253番
・尼崎市三反田字生田四十　電話　大阪 (429) 4009番

**安藤建設株式会社大阪支店**

取締役大阪支店長　鎌田幸二郎

大阪市西区江戸堀北通一丁目七番地　電話　代表 (441) 3788・9365
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 **大林組**

取締役社長　大林芳郎

本　店・大阪市東区京橋三丁目七五番地　電話　大代表 (941) 861番
支　店・東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松

株式会社 **奥村組**

社長　奥村太四郎

大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話 大阪 (621) 1101 (大代表)
支　店　東京・名古屋・広島・高松・北九州

## 鹿島建設株式会社

会長　鹿島守之助

社長　渥美健夫　大阪支店長　橋本正二

本社　東京都中央区八重洲五の三
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一(瓦町ビル)　電話大阪(202)代7461・8166

## 株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　佐伯武男

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話(341)7371～4番
本店・姫路市北条口86－3　電話代表姫路(23)2021－3

## 株式会社 熊谷組大阪支店

常務取締役支店長　泉治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地　電話(538)1841番(大代表)
本社　東京都新宿区筑土八幡町二二番地　電話(260)2111番(大代表)
支店　東京建築・東京土木・北関東・名古屋・広島・四国・福岡・札幌・仙台

## 株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本店　大阪市此花区伝法町北3－67　電話　代表(462)1631
支店　東京・名古屋・福岡・広島・松江

## 佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・大阪支店長　山本良勝

本社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京(661)1231(代表)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25　電話　大阪(203)7221(代表)
支店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島

## 清水建設株式会社

会長　清水正雄
社長　吉川清一

本社・東京都中央区宝町2の1
専務取締役支店長　白井周二
大阪支店・大阪市西区土佐堀通2の2　電話(443)5431大代表

## 島藤建設工業株式会社 大阪支店

支店長　月野定吉

本社　東京都渋谷区大和田町７７番地　電話　東京（462）２２２１～８
支店　大阪市北区茶屋町３１番地の２　電話　大阪（372）６００１代表

## 住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　宮脇晴美

大阪支店　大阪市東区北浜５丁目２２番地(新住友ビル２階)　電話（202）代表7421番
本店　東京都新宿区荒木町13番地　電話（353）代表5111番

## 株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本店　大阪市西区阿波座上通３丁目２番地　電話 大阪（531）6431番(大代表)
支店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・津
京都・神戸・岡山・高松・松山・北九州・熊本・長崎・大分

## 大成建設株式会社

専務取締役
支店長　稲田芳郎

大阪支店　大阪市東区南本町４丁目２０番地　ＴＥＬ大阪（252）1131大代表

## 大鐵工業株式会社

代表取締役社長　伊藤正惠

大阪市北区茶屋町３８番地電話㊸６０１７１～５番
支店　天王寺・福知山・米子・津・名古屋

## 大日本土木株式会社 大阪支店

取締役支店長　山田豊

大阪市北区堂島北町９番地　電話 06（341）代表５９３１
東京本社　東京都千代田区神田松永町19番地
本店　岐阜市長住町２丁目３番地　電話 0582（２）代表６１４１
支店　東京・名古屋
営業所　神戸・京都・奈良・和歌山・上六・岡山・九州・静岡・長野
中津川・新潟・横浜・千葉

## 株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹　中　錬　一

本　店　大阪市東区本町４丁目２７　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

## 鐵建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　勝　田　頼　春

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル)　電話 (358) 0321 (代表)
本社・東京都千代田区神田三崎町二丁目六番地　電話東京 (263) 3411 (代表)

## 戸田建設株式会社大阪支店

取締役支店長　加　納　秀　雄

大阪市北区真砂町三二番地　電話 (364) １６５１ (代表)
本　社・東京都中央区日本橋本町１丁目１６番地の２
大阪支店営業所・京都・神戸・福井・金沢・富山

## 飛島建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　小　林　正　雄

大阪市東区島町２丁目２８番地　電話 (942) ２４８１ (代表)
本　社　東京都千代田区九段南２－３－２８

## 西松建設株式会社関西支店

取締役支店長　上　田　明

本　社　東京都港区芝西久保桜川町１３番地　電話東京大代表 (502) 0211番
支　店　大阪市東区釣鐘町２丁目４１番地　電話大阪大代表 (942) 1131番

## 株式会社 間組大阪支店

常務取締役支店長　遠　藤　巖

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話 (203) 代表 ２８２１
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話 東京 (402) 代表8171
支　店・仙台・名古屋・大阪・福岡

## 株式会社 藤田組 大阪支店

取締役
支店長　古賀文之介

大阪市北区堂島中二丁目三八番地　電話(362)代表7671
本　社・東京都渋谷区千駄ケ谷四ノ六
支　店・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島・九州

---

## 前田建設工業株式会社大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942)1301(代表)
本社　東京都千代田区富士見町2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

---

## 真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　漆村重一

大阪市天王寺区生玉寺町6番地の7　電話大阪(772)3813番(代表)
本社　金沢市彦三町1丁目13番43号　電話金沢(31)1266番(代表)

---

## 株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吉

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 代表大阪(352)1131
支　店・東京・札幌・名古屋・広島・福岡

---

## 三井建設株式会社 大阪支店

常務取締役
支店長　竹内慶久

大阪支社　大阪市北区絹笠町一五番地　電話大阪(361)代表7651
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支店所在地　札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

---

## 株式会社 森組

取締役社長　森幸治

本　社　大阪市東区横堀2丁目14番地　電話(231)8283～7番
(支店)東京・名古屋　(営業所)奈良・和歌山・尼崎・神戸・岡山

---

## 株式会社 森本組

代表取締役社長 森本積善

本社 大阪市天王寺区夕陽ヶ丘町三番地 電話 大阪 (779) 1451
支店 東京・名古屋・広島
営業所 松江
出張所 神戸・奈良・紀南・河合・米子・興津・木曾川・八王寺・下北山
鮎沢・幡多

## 株式会社 あめりか屋

取締役社長 前野慶太郎

仮事務所 大阪市大淀区豊崎東通3丁目13の5番地 電話代表(371) 2931番
2月中旬完成新社屋 大阪市北区常安町17番地 電話代表(444) 1501番

## 株式会社 青山工務店

代表取締役 湯原来

守口市八雲西町2丁目150番地 電話 大阪 (993) 3951～4

## 株式会社 新井組

本社 西宮市池田町9番18号 電話 西宮26－3111(大代表)
大阪支店 大阪市北区芝田町72 電話 大阪 372－5011(代表)
支店・営業所 東京・名古屋・京都・神戸・岡山・広島・高松・金沢
出張所 水島

## 大木建設株式会社大阪支店

常務取締役大阪支店長 大木末次

大阪支店 大阪市西区南堀江通3丁目3番地 電話(538) 3075(代表)
本社 東京都港区元赤坂1丁目2番1号 電話(403) 4131(代表)

## 株式会社 金剛組

代表取締役 金剛利隆

大阪市天王寺区椎寺町66番地 電話 (779) 代表7731～5・5930

## 株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区東野田町二丁目一五番地　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目一番地　電話　神戸(33)1780

## 株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話(354)0581～5
出張所　神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一　電話(33)6060
出張所　埼玉県所沢市大字中富字北見元秋津分990番地　電話所沢(22)6263

## 株式会社 岡組

取締役社長　岡三郎

本社　大阪市北区堂山町8　電話(313)1121(代表)
東京支店　東京都港区南青山4丁目21番25号　電話(404)6111(代表)
名古屋支店　名古屋市中区栄3丁目23番14号　電話(251)9705
福岡支店　福岡市舞鶴1丁目1番5号　電話(74)1917
営業所　神戸・尼崎・岡山

## 株式会社 小坂井組

代表取締役　小坂井正夫

本店　大阪市北区太融寺町五六番地　電話代表(341)9331
営業所　西宮市
出張所　河内市・奈良市・和歌山市・堺市

## 株式会社 大末組

取締役社長　山本末男

本社　大阪市南区大和町1番地　電話(213)大代0555
松原工場　大阪府松原市丹南町635の1　電話松原⑧大代8600
東京支店　東京都千代田区神田駿河台2の9　電話(293)代5301
名古屋支店　名古屋市中区錦1丁目2番11号(岩田ビル)　電話(211)代5421
営業所　横浜・立川・滋賀・神戸・奈良・和歌山・岸和田・堺・岡山・広島・九州

## 大洋建設工業株式会社

取締役社長　木戸口信義

(本店)　大阪市天王寺区北河堀町五四番地　電話大阪㈹代表2672・3880
(支店)　東京・和歌山　(営業所)京都・堺　(出張所)泉大津・河内長野

## 株式会社 西田工務店

取締役社長　西田義郎

本　　社　岸和田市加守町６２６　電話岸和田貝塚③2881代表
大阪営業所　大阪市浪速区元町４丁目２２７　電話(632)４００１代表
出張所　和歌山・東京・堺・名古屋・神戸

---

総合建設　株式会社 長谷川工務店　ビル経営

取締役社長　長谷川武彦

本　　社　大阪市東区平野町５の４０　TEL (203) 5661(代表)
東京支店　東京都渋谷区栄通１の５　TEL (463) 5451(代表)
名古屋出張所　名古屋市中区錦2丁目17の30(河越ビル)TEL (201) 7956～8
神戸出張所　神戸市葺合区坂口通７の１　TEL (23) ７２３８

---

## 不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

本　　社　大阪市南区鰻谷仲之町５７番地　電話　大阪(271)4771
東京支社　東京都中央区銀座西４丁目１番地　電話　東京(567)1751
名古屋支店　名古屋市中区錦１丁目３番４号　電話　名古屋(211)5141
北海道支店　札幌市北四条西４丁目１番地　電話　札幌(26) 6526
仙台支店　仙台市東一番丁１１番地　電話　仙台(25) 4257
千葉支店　千葉県木更津市桜井字仲町１２６　電話　木更津　６１７１
九州支店　北九州市八幡区白川町２番地の２　電話　八幡(68) 9336
営業所　横浜・茨木・神戸・岡山

---

## 株式会社 盛工務店

代表取締役　盛道雄

本　社・大阪市旭区赤川町二丁目八番地　電話大阪(921) 3471(代表)
営業所・神戸・福岡・西宮

---

## 野村建設工業株式会社

取締役社長　鎌田楢次郎

本　　社　大阪市東区高麗橋二丁目九番地　電話(202) 代表４７９１
東京支店　東京都千代田区大手町二丁目二番地　電話(241) 代表４１７１

---

## 株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本　　社　大阪市西区靱本町４の１０３　電話大阪(代)(532)0081～5
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町字上鉤中教田171　電話(07755)(２)1361～2

## 水野建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　水野正三

大阪市北区太融寺町120番地　電話大阪(341)(代)3931～3933
工作場　寝屋川市大字高宮　電話　寝屋川(21)0395
本社　京都市下京区西七条市部町77　電話(312)代表0431
営業所　横浜市・平塚市

## 望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本社　大阪市北区堂島上一ノ一八　電話大阪(344)8651代表
工作所　豊中市島江一丁目一　電話(392)4831～2番

## 東海興業株式會社大阪支店

常務取締役大阪支店長　小松英二

大阪市北区梅田町27（サンケイビル）　TEL (313) 代表0451番
神戸出張所　TEL (23) 5100番　京都出張所　TEL (35) 6747番

## 日東建設株式会社

社長　長久保俊夫
取締役大阪支店長　榎宝一

本社　東京都千代田区平河町1－2－12　電話大代表東京(03)265-4281
大阪支店　大阪市北区末広町12(新末広ビル)　電話代表大阪(06)351－0623

## 日本建設株式会社

社長　生田重政

本社　大阪市東区安土町4－5　TEL (261) 7591－6
支店　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・四国

## 長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電話(771)(代表)4148・4149・4140
工作場　大阪市生野区巽四条町103の2
電話(791)2744番

# 阪神土木工業株式会社

取締役会長　泉谷平次郎
取締役社長　藤原正一

本　　社　大阪市北区梅田町93番地　電話(312)5691～5
西宮営業所　西宮市池田町4の31　電話　西宮(22)3433
神戸営業所　神戸市灘区御影町上東802　電話　神戸(85)5362
出張所　芦屋・尼崎・京都・川西・寝屋川

# 不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本　社　大阪市北区阿波座上通4丁目8　電話大阪(06)541-5534代表・9301代表
支　店　東京都新宿区淀橋441-4　電話東京(03) 377-5171代表
　　名古屋市中区藪田町41　電話名古屋(052) 321－8481代表
出張所　京都(075)211-5636代・姫路(0792)36-5111代表・大垣(0584)78-2876

# 矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本　社　東京都中央区銀座七丁目五番地　電話東京(572)代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話大阪(271)代5837
取締役副社長
支店長　仁平信也
支店・営業所　仙台・名古屋・福岡・浦郡・和歌山

# 株式会社　米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL (771) 代表7771

# 賀　正

## 1968

## 建材・設備業者有志

ポリシール

コンクリートは勿論
鉄・木・ガラスに濡れていても接着する
ゴム状の弾力性ある
ポリウレタン・合成ゴムの塗膜防水剤
〝ポリシール〟

アスニュー式防水工事
アスニューシン吹付工事
マルケイアスファルト床工事
マルケイアスファルトブロック工事

責任施工

# アスニュー工業株式會社

本社・工場　大阪市東淀川区西中島町1－125　電話(301) 9081～4
営業所　東京・福岡・徳島・名古屋・岡山・富山・仙台

## 株式会社 エバレヂン工業所

特許　第421051号
特許　第501385号
エバレヂン合成樹脂防水剤
製造販売及防水工事施工

本　　社　大阪市東区北浜２丁目25（武田ビル）
　　電話（203）７０７１～５
東京営業所　東京都中央区日本橋村松町32田中ビル
　　電話（851）８８０８　（866）４８８９

## 大阪アルミニウム株式会社

本　　社　堺市下田町２６番地　電話　堺（62）5551(大代表)
東京営業所　東京都中央区銀座西７丁目２番地(日軽ビル)　電話　東京(575) 2476(代表)
札幌営業所　札幌市大道4丁目1番地道銀ビル(日本軽金属㈱北海道営業所内)電話(22)8722
福岡営業所　福岡市薬院１丁目１７番３２号　電話（77）５３５４
建材事業部
大阪営業所　大阪市東区高麗橋５丁目５０番地　電話　大阪(231) 2417(代表)

陶磁タイル・オリエンタルモザイコ
（陶磁・ガラスを主材とする壁画構成・立体構成）

## 関西タイル商会

大阪市西区江戸堀北通１ノ１９(オカダビル)　電話　(443)　９１３１(代表)

冷暖房・空調機器専門製作

## 木村工機株式会社

代表取締役　木村悦造

本　　社　大阪市東区上町１３番地　電話（761）6921番(代表)
東京営業所　東京都千代田区神田和泉町1番地ノ1(直江ビル)　電話（862）0741番(代表)
名古屋出張所　名古屋市中区錦１丁目４番27号(高野ビル)　電話（211）5048番(代表)
福岡出張所　福岡市大名１丁目12番52号(内藤ビル)　電話（77）0628番(代表)
工　　場　大阪府八尾市北久宝寺２丁目２番７号　電話（３）0621番(代表)

JIS表示許可工場　KJ KJA認定工場

## 三協アルミニウム工業株式会社

取締役社長　竹平政太郎

本社・工場　高岡市早川７０番地　電話　代表（22）5030
第二工場　高岡市佐加野２の２　電話　代表（22）6750
大阪営業所　大阪市西区京町堀通1の125 東洋ビル　電話　代表(443) 9601
東京・札幌・仙台・新潟・名古屋・神戸・高松・広島・福岡

## 株式会社 シエル石油大阪発売所

フリントコート施工販売部

専務取締役　鴻野精彦

本　社　大阪市北区堂島浜通り１－２５　電話　大阪(363) 0441大代表
分　室　大阪市東淀川区西中島町2－76　電話　大阪(302) ５９３７代表
事務所　東京・福岡

空気調和設備設計施工
給排水・衛生設備設計施工

株式会社 **清水工業所**

取締役社長 清水愛明

本　　社 大阪市北区堂山町58番地 電話大阪(313) 2691代表～6番
東京出張所 東京都江東区北砂町6丁目1番23号 電話 東京 (646) 6511～4番
群馬出張所 群馬県邑楽郡大泉町大字吉田2066番地 電話 大泉 (6) 3394～5番
山陰出張所 島根県出雲市今市本町 電話 出雲 (21) 1285番
鳥取出張所 鳥取市立川町5丁目 (鳥取三洋電機㈱内) 電話 鳥取 (23) 1189番

**タナカ風呂**

代表者 田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747 (但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側)
電話 (641) 5313・6221・8128

工場 守口市大宮通り4丁目25 電話 (992) 3822

一般塗装工事請負

**竹林塗装工業株式会社**

取締役社長 竹林昭二

本　　社 吹田市山手町2丁目8番35号 電話(388) 0708番
大阪営業所 大阪市北区茶屋町78番地 電話(372) 6431～3番

鉄筋ラス・親子ラス・ダイヤラス・ラスシート・リブラス

**中川ラス製作所**

代表者 中川安蔵

大阪市南区鰻谷仲之町31 但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話 (271) 5228～9・8248

プラスチック床材

**ニッセンタイル Hi-COLOR**

日泉化学工業株式会社

本　　社 新居浜市新田町3丁目7の17 電話 (2) 4171 (代表)
営 業 所 大阪市西区立売堀南通5の1 住友銀行ビル 電話(541) 3352 (代表)
東京・名古屋
千葉工場 千葉県君津郡富来田町真理1070 電話 (下郡) 131

アスファルト防水工事(日本アス協組員)
ゴムプルーフ(シート)防水
N.S塗膜防水工法(冷工法)

**日新工材株式会社**

代表取締役 井場績

大阪市西区新町北通1－17 電話 (541) 3785～6・2721
倉庫・西区新町北通1－18

エレベータ・コンベヤー
ホイスト・リフト・クレーン・エスカレータ

設計・製作・据付・修理

## 日本エレベータ工業K.K.

本　　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目　天六阪急ビル　電話大阪(351) 4927(代)
東京営業所　東京都北区田端町３１１　東京建築興業ビル　電話東京(822) 0995(代)
工　　場　大阪市東淀川区小松中通５丁目６番地　電話大阪(328) 0363(代)

## 明研化学工業株式会社

取締役社長　村田鞆二

内外装材
特許 エマルリシン
RC リシン
エマレックスリシン
エマルスキン

内装材
エマオール
エマミックス

本　　社　明石市中谷町８８８番地　電話明石代表(913)3456
大阪営業所　大阪市東区淡路町２丁目53　淡路ビル　電話　(203)0603・0906
東京営業所　東京都墨田区両国4丁目37-13坂井ビル　電話　(634)1756～8

## 宇部セメント

宇部興産株式会社

大阪支店　大阪市北区曽根崎新地３－51(桜橋東洋ビル)電話(361) 1361(大代)
本　　社　宇部市西本町１－１２－３２
東京支社　東京都千代田区霞ヶ関３－７－２
その他支店　名古屋・広島・福岡
営業所　高松・新潟・岡山・静岡・小倉・千葉・姫路・横浜

## 大阪セメント

大阪セメント株式会社

本　　社　大阪市北区堂島浜通１丁目５７番地　電話(361) 1231(大代)
支　　店　大阪・東京・名古屋
工　　場　伊吹・高知・大阪・横浜・芝浦・市川・堺

## 住友セメント

住友セメント株式会社

大阪営業所　大阪市東区北浜５丁目２２番地
新住友ビル第２号館２階　電話　北浜(203) 2321(大代表)
本　　社　東京都台東区東上野5丁目2番2号　電話　東京(843) 1111(大代表)
営業所／名古屋　出張所／青森・仙台・富山・小倉・広島・高松

## アサノセメント

日本セメント株式会社

大阪支店　大阪市北区梅田１番地　大阪神ビル７階　電話大阪(361)3351～8
本　　社　東京都千代田区大手町１丁目４番地
支　　店　北海道(札幌)・東京・名古屋・大阪・九州(北九州)
営業所　仙台・新潟・富山・広島・高松　福岡



# 大阪府住宅供給公社

（設 立 者）　設立団体は「大阪府」であります。
（理 事 長）　高田敏一「大阪府副知事」であります。
（業務内容）
1．積立分譲住宅、一般分譲住宅の建設及び分譲
2．賃貸住宅の建設及び管理
3．産業労働者住宅の建設
4．中高層建物（オール住宅又は一部事務所のビル）の建設及び分譲
5．住宅団地の開発
6．宅地の分譲
7．団地に関連する公共、公益施設の建設、管理及び分譲
8．団地に関連する商店、事務所等の建設、管理及び分譲

**問合せ先**　詳しいことは次にお問合せ下さい。
大阪市東区今橋2丁目22（藤浪ビルディング5階）
**大阪府住宅供給公社業務課**
TEL 代表 (203) 5451



**《大阪市の再開発》**
**《勤労者に住宅を》**

1．積立分譲住宅 / 一般分譲住宅 の建設・分譲
2．賃貸住宅の建設・管理

# 大阪市住宅供給公社

理 事 長　大　島　　靖
副理事長　松　田　達　美
専　　務　八　木　健　二

大阪市東区本町4丁目4番地（本町野村ビル9階）　TEL代表 (262)－0231

暖冷房・換気・温湿度調整・衛生諸設備
設計・施工

## 曉建設工業株式会社

代表取締役　田中喜久雄
大阪出張所長　猪俣英雄

本社　東京都中央区日本橋通３－１　電話(201) 0181(代)
出張所　大阪市北区樋ノ上町５　電話(363) 4108～９
名古屋市中村丸ノ内２－17－10　電話(231)3046・6007
福岡市東湊町３８　電話 (74) ６８６３
(75) ５４８２

---

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

## 斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話　大阪 (443) ５０４１～５番

東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地(日本ビル)
電話　東京 (270) ７４１１番(代表)

札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井㉔2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山㉔5486

---

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

## 株式会社朝日工業社

本店　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302)2271～9(代)
大阪支社　同上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話 (434) 6171(大代)
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

---

創業　暖冷房・換気・温湿度空気調和　設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備　施工

## 株式会社斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内２の２　丸ビル６７６号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通１の１　大同ビル６１６号
電話 443代　3361
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地　電話　61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄３の５番２９号　千代田ビル５１４号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町４８番地　電話　68(代)1781

---

General Electric (G. E) 社製
冷暖房機「ゾンナル」「ウェザートロン」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」(西独WEBSTO社技術提携)

西日本総販売元

## 岩佐物産株式会社

本社　大阪市北区老松町３－56(西天満ビル)　電話 (364)2238(代表)
東京　東京都中央区霊岸島１－１０　電話 (551)1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通２－７　電話 (821) ３５５８
四国　八幡浜市大黒町３　電話 八幡浜 514・1４

---

冷暖房　6Sサッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

## 三機工業株式会社大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本店　東京・日比谷・三信ビル
支店・出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松

---

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

## 株式会社大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 ５８９２

---

空気調和・衛生設備
設計施工

## 株式会社三晃商会

本社　大阪市北区富田町16番地　電話(364) 代表7031
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町１丁目２番22号　電話( 47 ) 代表4535
福岡市大名１丁目８番12号　電話( 76 ) 代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

---

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

## 大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳

本店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　北海道(札幌)・東北(仙台)・北陸(金沢)・中国(広島)
出張所　京都・神戸・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・津

---

## 須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島

---

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和の ケンザイ　株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座西6－3 ㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島２－22 ㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦２－２－13 ㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・北陸・神戸・広島・松山・九州

---

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

## 第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話 (351) (代表) ２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話 (811) (代表) ６２９４
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
**第一工業株式会社大阪支店**
大阪市北区富田町30　電話 (361) 5177(代) (364) 0977(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式會社 **西原衛生工業所大阪店**
大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3151番
出張所＝京都・福岡

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
**髙砂熱学**
大阪支店　大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪 (312) 4521(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

給水　衛生　空気調和設備
設計施工
**平山工業株式会社**
取締役社長 平山京平
大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話 大阪 (441) 代1994　(443) 代0331

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
**東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店**
大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話 大阪 (344) 1512(大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店東京・名古屋 出張所 九州
工場埼玉県北足立郡・東京都足立区

暖冷房・給排水・衛生・消火設備
設計施工
株式会社 **森野工務店**
本社 大阪市北区菅原町75　電話(361)代6571
支店 東京都新宿区新小川町3－32　電話(269)2833～4

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工
**東洋熱工業株式会社大阪支店**
大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工
**山田工業株式会社**
本社 大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443)代表8161～9
出張所 東京都北区上十条1丁目9番22号　電話(900) 5141
名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(34) 1778・4386
広島市袋町6番4号　電話(47) 7575・7588

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
**日本管工業株式会社**
代表取締役 市川繁雄
本　社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(68) 5101～5・夜間専用(69) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
**理研鋼機株式会社**
大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45(興銀ビル別館)
電話 大阪 代 (202) 7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の8
電話 東京 代 (901) 3191番
空調事業部　東京都港区西麻布4-15-23(第5興和ビル)
電話 東京 代 (409) 0151番
支店　名古屋・仙台　連絡所 福岡

Carrier
**冷暖房は CARRIER キャリア**
東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店
**日本冷熱工産株式会社**
本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

カーテン・室内装飾・リノリューム
ビニールタイル・壁張り
合名会社 **利倉幸商店**
営業所　大阪市南区長堀橋筋二ノ二〇(日本橋バス停前)
電話 大阪 (211)0571～4
(販売部) 電話 大阪 (211)0575・6923
京都出張所　京都市中京区河原町夷川下ル指物町
電話 京都 (23) 3277・8779

各種電気工事設計施工

**浅海電気株式会社**

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

---

電気設備 ε 設計施工

**朝陽電気株式会社**

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)　1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)　1361
営業所　京都市中京区西ノ京中合町20の11
TEL　代表　(81)　9296

---

電気工事設計施工

**工藤電気株式会社**

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪(313)代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所　名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

---

電気設備工事設計施工

**東光電気工事株式会社**
**大阪支社**

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

---

電気工事・計装工事
設計施工

**栗原工業株式会社**

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支　店　東京・名古屋・舞鶴・広島・九州・神戸

---

電気工事 中 設計・施工

**中本電気株式会社**

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所②2607・4259

---

電気工事設計施工

**株式会社　三興社**

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊾3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊿1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

---

各種電気工事設計施工・制御盤製作

**野里電気工業株式会社**

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

---

電気・暖冷房・空調工事設計施工

**三宝電機株式会社**

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

---

電気工事設計施工

**富士電業株式会社**

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

---

電気工事・計装工事・設計施工

**中央電気工業株式会社**

取締役社長　今村騰

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

---

各種電気工事設計施工

**株式会社　ヤマト電気商会**

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京営業所　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

青写真とマイクロフイルム

株式会社 **内 外 写 真**

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊸ 9055（代表）

奉仕感謝の店

**タイル工事施工**

特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
**SSS タイル 新発売**

（カタログ進呈）

㊐ 株式会社 **川岸窯業商店**

大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前
電話　大阪（532）０４６１～４番




トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
**三幸商會**

大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　４０３１

営業品目
- ● カネボウゴーレックス防水
- ●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
- ●樹脂砂壁エバーサンド吹付
- ●樹脂蛭石エバテックス吹付

**合同特許建材工業株式会社**

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。



株式会社 **吉田芳雄商店**

本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4―78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　(231)　４２５７－８番

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物、船舶等造作工事
家具、建具、寄木、室内装飾工事　設計施工
内外装飾織物・窓掛、敷物、壁紙類一式

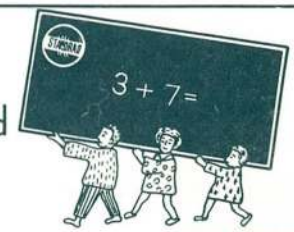
㊐ **二葉屋装備工業** 株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町２の６
（創業大正７年）　電話・大阪(371) 3321～3・3630

㊐ 社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル

**(株) 大 仏**

| | | |
|---|---|---|
| 本　社 | 京都市東山区今熊野大仏池田町９の９ | 075（56）3555 3725 |
| 大阪営業所 | 大阪市北区空心町１丁目２８ | 06（351）0703 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市守山区大字小幡山脇27 | 0560（51）1321 |
| 東京営業所 | 東京都渋谷区上原１丁目29の４ | 03（467）1641 |
| 工　場 | 京都清水・山城・瀬戸 | |




Standard Board&Slate

**フタバ黒板**

大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪(717)4561～2

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



**ナニワ緩勾配瓦**

３寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目四二番地 電話(641)五五五五

特許 **白蟻**

松平式白蟻殺滅予防所

所長　防除士　松平藤佐根

奈良市南城戸南方町２８　電話（22）4098
奈良市登大路二番町(博物館前)　電話（22）4098
本部　高知県宿毛市宿毛町２６３９

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許　鈴木シヤタア

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シヤタア・リンググリル®シヤタア・
ステンレスシヤタア・アルミニュームシヤタア・
40・ピーアップ®シヤタア・汎用シヤタア
その他特殊シヤタアの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地　電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)21—2287

スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499)8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シヤッター

設計
製作
施工

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区若松町30　電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社工場　大阪市西淀川区佃町4—33　TEL(471)8331代表
支店　東京(771)1171・名古屋(331)6171・大阪(352)4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

ニチレ® ナイロン **ユーロン®カーペット**

表はナイロン 100%の植毛ですから弾力性に富み耐久力に優れています。

施工用……**ユーロンカーペット**の独特の品質を特別な裏ゴム加工を施して工事用に合理的な価格で作り上げました。

デラックス……スベリ止め加工、重量感のある豪華さ。

スタンダード……裏は板ゴムで特に工事向の価格。

大誠化工株式会社 本社 大阪市東区安土町1丁目23(新船場ビル) 電話 (06)261－5716(代表) **U-LON**

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

OKUYAMA·KAKOGYO WATER·PROOF OAM

**カッパー防水帯** コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 **デラタイト**

**奥山化工業株式會社**

東京都中央区銀座西8－3 電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所 大阪市都島区都島中通り5－4 電話 (921) 2497
名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 電話 (811) 3660

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹脂）モルタル工事

**N.G.C.式**

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド } 販売

各種シート防工事 責任施工

新防水材リベットルーフ 責任施工

**内外工業株式会社**

本社 大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号 電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)

工場 大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地

特許 内外式 意匠登録

**電動ベンチレーター**

屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により

1．最高の換気率
2．スマートな外観
3．雨仕舞の完全
4．価格の低廉
5．直備工による施工の完璧
6．行届いたアフターサービス

近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m/m(モートル3HP)40基

**内外建材株式会社**

移転仮営業所 大阪市西区江戸堀北通2の3(新坂ビル) TEL(441)3983－4・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962)1149

内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

カーテンウォール
アルミニウム サッシ・ドア
ステンレス サッシ・ドア
新製品
規格サッシトッカ70
公共住宅型サッシトッカKJ
住宅用夢窓サッシ

●超高層時代をになって、カーテンウォールの果す役割はますます大きくなりました。カーテンウォール工法の開拓者である東京カーテンオール工業の、この分野における特異な技術は広く業界に認められていますが、アルミ、ステンレス、アルキャスト等を使用した美しい金属外装で都市に一層の美観をそえることも、またビルディングドレスメーカーとしての東カテの使命です。先般米国レイノルズインターナショナルInc、に対してアルキャストの技術を輸出しました。

TKK 東京カーテンオール工業
本社及工場 東京都荒川区西尾久4丁目12－12
電話（893）0111大代
大阪支店 大阪市南区順慶町通4－25（順慶町ビル）
電話（252）5891代

腐らない そして 燃えない
法定不燃材 829号
ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん
屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄（782）4171代

●法定不燃材の屋根長尺現地成型
ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です
●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル（SPM）
カラースーパーオリエンタルメタル（CSPM）
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪（481）8085～9
大阪支店 尼崎市北新町4－41（古川ビル） 電話 大阪（481）8085～9
東京支店並工場 埼玉県蕨市東町2－20－4 電話 蕨（32）3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波） 長サ965m/m 1,818m/m
ダイニチ・アーモライト 波板・平板
（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）
製造販売 大日本硝子工業株式会社
大阪支店 大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル） 電話（441）1389・3389・3281
本社 神奈川県相模原市小山字久保224 電話（72）3101～4

ジ・フェノール酸誘導樹脂塗料

トップフィニッシュ

床用塗料

ライトレックス

一液ポリウレタン樹脂塗料

<呈カタログ>

正

（製造元・総発売元）

大阪塗料工業株式会社

大阪市城東区古市大通３－２４　TEL（931）３２７１～３

東京出張所　東京都墨田区文花３丁目21～17　TEL（611）１　０　４　３

コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪（471）1493～4・8267

第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪（471）０４２６

パテタイル

# 石膏壁は

# ＳＳＳプラスター

（ボード用プラスター）

ＳＳＳプラスターＣ （セメントモルタル下地用）
ＳＳＳプラスターＰ （ペイント下地用・金鏝仕上）
ＳＳＳプラスターＳＰ （発泡軽量コンクリート下地用）
ＳＳＳ混合プラスター （上 塗 用 ・ 白 色）

●建 築 用 ・ 美術工芸用 ・ 各種焼石膏●

## サンエス石膏株式会社

本社工場・姫路市神屋町４－７７
ＴＥＬ 姫路（22）３８３７（代表）
東京営業所・東京都新宿区東大久保１丁目３３１番地
ＴＥＬ(351) ０３９６・(351) ６９６２
中部営業所・瀬戸工場・瀬戸市苗場町１１３
ＴＥＬ 瀬戸（82）９１８５～６
大阪営業所・大阪市西区江戸堀１－24(三興ビル２階)
ＴＥＬ （441）００９４・５３７５
福岡営業所・福岡市七隅２８２－３
ＴＥＬ （82） ９ ４ １ ９

SK

# 全国的に大好評の…
# 新興の繊維壁材！

◉お部屋のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）
・チェリーコート ・ママウオール ・ほたるかべ ・麝香
・いすゞかべ ・パビロン ・ふくよかべ ・清流 ・金蘭
・カセロンウオール ・パーマエース ・あ り あ け ・錦上壁Ｋ （三種繊維壁材）
・スーパーウォール ・瑞雲 ・ニコニコ ・蛍光壁 ・龍鳳
・センカウオール （二種繊維壁材） ・明光壁 ・日本壁 ・金龍
・あけぼの ・錦上壁 ・昭和壁 ・すずらん （特殊壁）
・新興壁 ・大阪壁 ・新日本壁 ・桃山 ・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤 ●防錆剤エバコン ●耐湿剤オートン ●化学糊スーパーシンケン糊 （全国有名建材店に有）

## 株式会社 新興建材工業所

大阪市西区四ツ橋 ＴＥＬ(538)2951代(541)5757代
営業所 東京・大阪・明石・広島・福岡

# 簡易で生均質なコンクリート

## 関西生コンクリート協会

大阪市北区兎我野町67番地の1（梅田グリーンビル6階）
電　話（312）3267（直）　（312）8831（交）

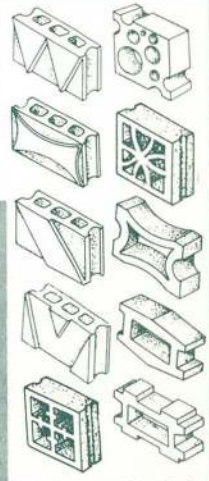
| | | |
|---|---|---|
| 麻生コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話(441) 0234～7番 |
| | 工　場 | 堺(泉北一区)・高石・高砂 |
| 大阪アサノコンクリート株式会社 | 営業所 | 電話（361）3351(代) |
| | 工　場 | 津守・淀川・鮎崎・城東(河内) |
| 大阪宇部コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話（361）1361(代) |
| | 工　場 | 大阪(新福崎町)・吹田・桜島・姫路 |
| 大阪生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(361) 1231番(代) |
| | 工　場 | 佃・千島・向日町・神戸・和歌山・大東・姫路・堺 |
| 関西小野田レミコン株式会社 | 営業所 | 電話（341）8331(代) |
| | 工　場 | 尻無川・京都・神戸・茨木 |
| 関西菱光コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話（313）0431(代) |
| | 工　場 | 尼崎・大阪(北福崎東)城東(門真)阪南(松原) |
| 近畿生コン株式会社 | 営業所 | 電話　京都（58）5111～2 |
| | 工　場 | 京都(山科) |
| 堺宇部コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電　話　堺（41）0461～3 |
| | 工　場 | 堺 |
| 堺小野田レミコン株式会社 | 営業所 | 電話　堺（38）5405～6番 |
| | 工　場 | 堺 |
| 西脇生コン株式会社 | 営業所 | 電話(203) 2321番(代) |
| | 工　場 | 堺・西宮・大東・茨木・神足・春日出・大津・姫路・北港 |
| 塩山船渠株式会社 | 営業所 | 電話（341）8331番 |
| | 工　場 | 難波島 |
| ツルガ生コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話(361) 6235～7番 |
| | 工　場 | 大阪(春日出)・宝塚 |
| 徳山生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(202) 0531番(代) |
| | 工　場 | 大阪(南海岸通)・大東・神戸 |
| 枚方生コンクリート株式会社 | 営業所 | 寝屋川　（31）　4421 |
| | 工　場 | 枚方 |
| 藤井コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 八尾　（2）3385～7 |
| | 工　場 | 八尾 |
| 豊国生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(312) 3637～9番 |
| | 工　場 | 尼崎・大阪(守口)・高槻 |
| 八幡高炉コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話 堺（3）2323～5 |
| | 工　場 | 第一・第二(堺)・千里 |

# デザインブロック®
# スクリーンブロック
# キュービックブロック®

**全国各地区各市（全関東除く）の生産実施工場を紹介させて頂きます。**

また、全国有力ブロックメーカーあるいは東北、東海、北陸、近畿、中国四国、九州の各コンクリートブロック工業組合へ直接お問い合せくださっても結構です。





営業所―仙台・東京
京都・福知山・大阪
米子・熊本

ニッパツ　日発実業株式会社　京都市中京区西洞院通四条上ル・ウオジビル
電話京都(075)23―3487・21―7996・21―7948

# 昭和43年1月号


基礎 kk武智工務所 ……表3
鉄骨筋コンクリート 住友金属工業kk ……表2
関西生コンクリート協会 ……139
日本コンクリート工業kk ……36
コンクリブロック シポレックス販売kk ……60
防水 日発実業kk ……139
奥山化工業kk ……135
柏原瀝青kk ……137
kk久保商店 ……111
合同特許建材工業kk ……133
シェル石油kk ……27
東西日本アスファルト事業協同組合……31
内外工業kk ……135
日新工業kk ……37
日本アスファルト防水工業協同組合……34
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
kk油脂化工社 ……表3
石 kk矢橋大理石商店 ……133
タイル陶 kk川岸窯業商店 …… 133
衛 kk吉田芳雄商店 ……133
屋根葺張 朝日石綿工業kk ……表4
屋壁 オリエンタルメタル製造kk …136
大島応用化学kk ……136
大同鋼板kk ……表4
kk大仏 ……133
ナニワ瓦kk ……133
日新製鋼kk ……29
金属 岩元工業kk ……111
kk三幸商会 ……133
内外建材kk ……135
左官 サンエス石膏kk ……138
kk新興建材工業所 ……138
建具 小俣シャッター工業kk ……134
kk鈴木シヤタア商会 ……134
ダイケンサッシkk ……35
東京カーテンオール工業kk ……136
東洋シャッターkk ……134
kk日本シャッター製作所 ……40
kk三高製作所 ……134
建具金物 永和工業kk ……32
kkゴール ……64
日本エルミンサッシkk ……58
日本ドアーチェック製造kk …33
硝子 旭硝子kk ……26
大日本硝子工業kk ……136
塗装 大阪光和建材kk ……54
大阪塗料工業kk ……137
関西ペイントkk ……66
山本窯業化工kk ……39
内壁・天井装 kk奥村重兵衛商店 ……56
室谷商事kk ……111
内床装 田島応用化工kk ……30
大誠化工kk ……135
東洋リノリュームkk ……25
(合)利倉幸商店…… 131
家具装飾 二葉屋装備工業kk ……133
保全 kk岸工作所 ……111
ミヅシマ工業kk ……38
山崎産業kk ……62
設備機器 岩佐物産kk ……130
関西媛房工業kk ……140
kk谷山鉄工所 ……108
空調・衛生設備 暁建設工業kk ……130
kk朝日工業社 ……130
kk大阪城口研究所 ……130
大阪電気暖房kk ……130
kk建材社 ……130
斎久工業kk ……130
kk斎藤省三商店 ……130
三機工業kk ……130
kk三晃商会 ……130
須賀工業kk ……130
第一企業kk ……130
第一工業kk ……131
高砂熱学工業kk ……131
東洋キャリア工業kk ……131
東洋熱工業kk ……131
日本管工業kk ……131
日本冷熱工産kk ……131
kk西原衛生工業所 ……131
平山工業kk ……131
kk森野工務店 ……131
山田工業kk ……131
理研鋼機kk ……131
電気設備 浅海電気kk ……132
工藤電気kk ……132
栗原工業kk ……132
kk三興社 ……132
三宝電機kk ……132
中央電気工業kk ……132
朝陽電気kk ……132
東光電気工事kk ……132
中本電気kk ……132
野里電気工業kk ……132
富士電業kk ……132
kkヤマト電気商会 ……132
総合建材雑 kkＡＢＣ商会 ……28
大阪市住宅供給公社 ……129
大阪府住宅供給公社 ……129
kk内外写真 ……133
フタバ黒板…… 133
松平式白蟻殺滅予防所…… 133


恒例の年賀広告（設計・建設・建材・設備業者）の目次は省略させていただきます。ただし112頁から128頁まで記載してあります。


KANDAN
●空気調和設備 ●給排水衛生設備
●各種送排風機 設計施工
関西媛房工業株式会社
本社 大阪市住吉区万代東六丁目三番地 電話 大阪（672）大代表1281
出張所 名古屋・広島・福岡 工場 堺・和泉・名古屋

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

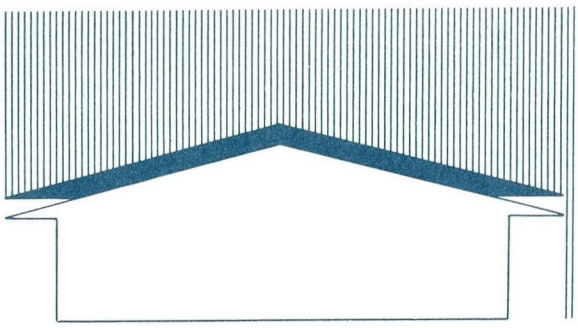
# ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

仕様書型録贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　大阪市東区船越町２－３１（船越ビル）　電話（941）2626・2628
連　絡　所　宝塚市高台上の池　電話　宝塚（36）2153
出　張　所　電話　東京(431)8648・名古屋(321)1331・仙台㉓0721・札幌㊲1111
ウォータイト式防水工事代行店　電話　大三工業 高松(2)0016　安藤工事 福岡（28）５２０７　豊永建材広島（61）６３７１



モルタル・コンクリート用

# マノール

●防水工事責任施工

製品

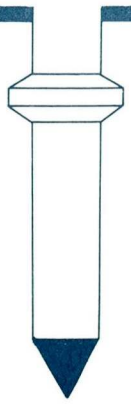
防水剤
急結剤
A号
接着剤
剥離剤

●セメント混和剤のトップ……

ご一報次第カタログ進呈します

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区大井１－１５　電話（774）4111(代表)
大阪営業所　大阪市東成区西今里２－48　電話（971）4765・0063



●基礎施工の悪條件を克服する

# 武智式 日信三角杭

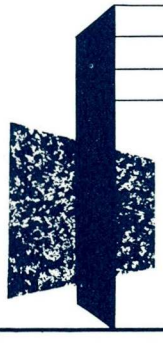
特　　許●第２３３７４４号
特　　許●第２５０１０８号
実用新案●第２５－１０９４２号
実用新案●第３７－３６１０６号

株式会社 武智工務所

本　　社　大阪市東区高麗橋２－２０（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区船入町１－12(服部ビル)
TEL 名古屋（582）３０３６(代)
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町５－２７
TEL 大阪（672）３２２３・３２２４
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（７）１１９１・１１９２

日本建鉄の

# PS型レデイメードサッシ



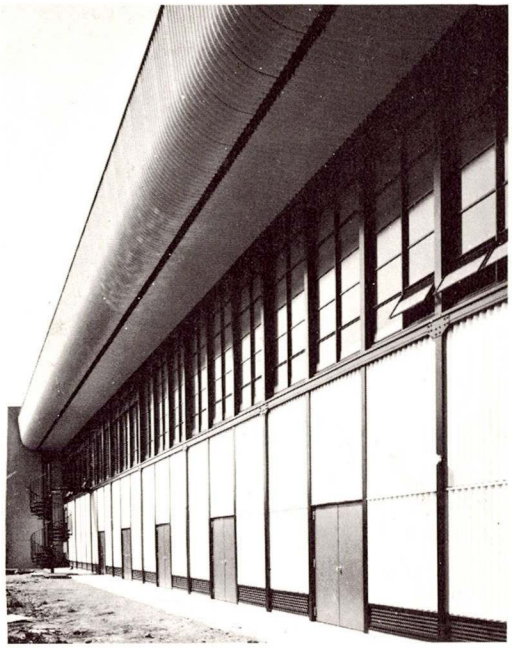
# アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町２～８　TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店　大阪市北区梅田町４７(新阪神ビル)　TEL大阪（361）6758（代）

屋根●外壁●内壁●天井に

建設省認定 **朝日の不燃建材を**



**工場・倉庫・住宅に**

法定不燃材
朝日波形スレート
朝日フレキシブルボード
朝日大平板
朝日ステンドスレート
朝日ネットインスレート

**ビル・工場に**

朝日耐火パネル
朝日防火パネル
朝日グラスインパネル
朝日フェザーパネル
朝日コルゲートインパネル
吹付石綿
朝日プロベスト

ASK
**朝日石綿工業株式会社**

大阪支店／大阪市北区神山町4 3 電話(312)8521(代表)
本　社／東京都中央区銀座 7−3 電話(573)5111(大代)
営業所／東京・横浜・静岡・名古屋・富山・大津・姫路
岡山・広島・門司・福岡・長崎・延岡・高松
新居浜・札幌
工　場／横浜・山梨・大阪・水島・玉島・門司

**屋根材の決定版**
**防露・断熱・防音カラー鉄板**
**ダンネット®**

●《ダンネット》は着色亜鉛鉄板《カラーグリップ》と難燃性《ポリウレタンフォーム》の複合建材です



特長
1. 防露性　屋内の温度変化が小さく、ルーフィングなど不要室内に露滴落下の心配がありません。
2. 断熱性　太陽の直射や屋外寒気などを防ぎ、熱貫流抵抗は20㎜厚の木毛セメント板に等しい。
3. 吸音遮音性　雨音の発生が少なく、室内・室外の騒音を吸収。静かな環境をつくります。
4. 加工性　長尺ロール成形、波付加工及び現場施工は従来の亜鉛鉄板と同様に簡単です。
5. 経済性　施工が容易、工程が簡単、その上軽量であるため工事費がグーンと節減できます。
6. 防火性　特殊難燃処理が施されたウレタンフォームは自己消火性を有し防火上安全です。
7. 防水性　ウレタンフォームがコーキング材の働きをして防水性を高め、雨漏りの心配無用です。

■標準寸法及び色彩

| 種類 | 長尺・平板・波板 |
|---|---|
| 厚さ | カラーグリップ<br>0.27㎜(#31)〜0.60㎜(#24)<br>ポリウレタンフォーム　5㎜ |
| 寸法 | 幅 914㎜ (3尺)<br>長さ50㎜まで　m |
| 色彩 | カラーグリップの色　標準色8色<br>ポリウレタンフォームの色　灰色・黄色 |

**大同鋼板**

本　社　大阪市東区高麗橋2−41　TEL (203)0751
営業所　東京都千代田区丸の内3−10　TEL (212)0501

■カタログ・見本帳ご希望の方は《建築と社会》とご記入の上ご請求下さい


■昭和43年1月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可
■ご入会のお申込みは・社団法人　日本建築協会　大阪市東区北浜3-37　電話大阪(231)9648・9649・9640　振替口座大阪39975番
定価 300円(送料共)